



取扱書

よくお読みになってご使用ください。
取扱書は車の中に保管しましょう。

VOXY



イラスト目次

イラストから検索

1 安全・安心のために

お客様に**必ず**お読みいただきたいこと

2 メーターの見方

メーター・警告灯／表示灯の種類・見方など

3 各部の操作

ドア・ドアガラスの開閉や、運転操作前の調整など

4 運転

運転に必要な操作やアドバイス

5 室内装備・機能

室内装備の使い方など

6 お手入れのしかた

車のお手入れ・メンテナンスの方法

7 万ーの場合には

故障したときや、緊急時などの対処

8 車両情報

車の仕様やお好みに合わせて選べる機能の情報など

さくいん

症状から検索

音から検索

アルファベットで検索

五十音で検索

知っておいていただきたいこと	6
本書の見方	10
検索のしかた	11
イラスト目次	12

1 安全・安心のために

1-1. 安全にお使いいただくために	
運転する前に	22
安全なドライブのために	24
シートベルト	26
SRS エアバッグ	32
お子さまの安全のために	40
子供専用シート	41
チャイルドシートの 取り付け	49
排気ガスに対する注意	56
1-2. ハイブリッドシステム	
ハイブリッドシステムの特徴 ..	57
ハイブリッドシステムの注意 ..	61
1-3. 盗難防止装置	
イモビライザーシステム	67

2 メーターの見方

2. 計器の見方	
警告灯／表示灯	70
計器類	74
マルチインフォメーション ディスプレイ	77
エネルギーモニター	82

3 各部の操作

3-1. キー	
キー	86
3-2. ドアの開閉、ロックのしかた	
フロントドア	90
スライドドア	93
バックドア	104
スマートエントリー& スタートシステム	109
3-3. シートの調整	
フロントシート	114
セカンドシート	115
サードシート	117
ヘッドレスト	118
シートアレンジ	121
3-4. ハンドル位置・ミラー	
ハンドル	127
インナーミラー	129
ドアミラー	130
3-5. ドアガラスの開閉	
パワーウィンドウ	133

4 運転

4-1. 運転にあたって

運転にあたって	138
荷物を積むときの注意	147

4-2. 運転のしかた

パワー（イグニッション） スイッチ	148
EV ドライブモード	153
トランスミッション	156
方向指示レバー	163
パーキングブレーキ	164

4-3. ランプのつけ方・
ワイパーの使い方

ランプスイッチ	165
フォグランプスイッチ	167
ワイパー&ウォッシャー （フロント）	168
ワイパー&ウォッシャー （リヤ）	170

4-4. 給油のしかた

給油口の開け方	172
---------------	-----

4-5. 運転支援装置について

クルーズコントロール	175
運転を補助する装置	178

4-6. 運転のアドバイス

ハイブリッド車運転の アドバイス	183
寒冷時の運転	185

5 室内装備・機能

5-1. エアコンの使い方

フロントエアコン	190
リヤエアコン（リヤエアコン装着車）	197
リヤクーラー（リヤクーラー装着車）	200
快適温熱シートヒーター	203

5-2. 室内灯のつけ方

室内灯一覧	205
・インテリアランプ	206
・パーソナルランプ	206
・インテリアランプ （中央／うしろ）	206

5-3. 収納装備

収納装備一覧	208
・グローブボックス	209
・カップホルダー／ ボトルホルダー	209
・小物入れ	212
・助手席シートバック ティッシュポケット	213

5-4. その他の室内装備の使い方

その他の室内装備	214
・サンバイザー	214
・バニティミラー	214
・アクセサリーソケット	214
・アームレスト	215
・買い物フック	216
・アシストグリップ	217
・後席用サンシェード	218
・時計	218
・ステアリングスイッチ	219
・ワイヤレス充電器 （おだけ充電）	220
ラゲージルーム内装備	226

6 お手入れのしかた

6-1. お手入れのしかた

外装の手入れ	230
内装の手入れ	233

6-2. 簡単な点検・部品交換

ボンネット	236
ガレージジャッキ	239
ウォッシュ液の補充	240
タイヤについて	242
エアコンフィルターの交換	246
キーの電池交換	249
ヒューズの点検・交換	251
電球（バルブ）の交換	254

7 万一の場合には

7-1. まず初めに

故障したときは	266
非常点滅灯 （ハザードランプ）	267
発炎筒	268
車両を緊急停止するには	270

7-2. 緊急時の対処法

けん引について	271
警告灯がついたときは	276
警告メッセージが表示 されたときは	280
パンクしたときは （応急用タイヤ装着車）	295
パンクしたときは （タイヤパンク応急 修理キット装着車）	305
ハイブリッドシステムが 始動できないときは	318
電子キーが正常に働かない ときは	320
補機バッテリーが あがったときは	322
オーバーヒートしたときは	328
スタックしたときは	332

8 車両情報

8-1. 仕様一覧

メンテナンスデータ
(指定燃料・オイル量
など).....336

8-2. カスタマイズ機能

ユーザーカスタマイズ
機能一覧.....342

8-3. 初期設定

初期設定が必要な項目346

さくいん

こんなときは
(症状別さくいん).....348

車から音が鳴ったときは
(音さくいん)352

アルファベット順さくいん.....353

五十音順さくいん354

1

2

3

4

5

6

7

8

知っておいていただきたいこと

本書の内容について

本書はオプションを含むすべての装備の説明をしています。そのため、お客様の車にはない装備の説明が記載されている場合があります。また、車の仕様変更により、内容がお車と一致しない場合がありますのでご了承ください。

トヨタ販売店で取り付けられた装備（販売店オプション）の取り扱いについては、その商品に付属の取扱説明書をお読みください。

イラストは、記載している仕様などの違いにより、お客様の車の装備と一致しない場合があります。

不正改造について

- トヨタが国土交通省に届け出をした部品以外のものを装着すると、不正改造になることがあります。
- 車高を下げたり、ワイドタイヤを装着するなど、車の性能や機能に適さない部品を装着すると、故障の原因となったり、事故を起こし、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
- ハンドルの改造は絶対にしないでください。ハンドルには SRS エアバッグが内蔵されているため、不適切に扱うと、正常に作動しなくなったり、誤ってふくらみ、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- 次の場合はトヨタ販売店にご相談ください。
 - ・ タイヤ・ディスクホイール・ホイール取り付けナットの交換
異なる種類や指定以外のものを使用すると、走行に悪影響をおよぼしたり、不正改造になることがあります。
 - ・ 電装品・無線機の取り付け・取りはずし
電子機器部品に悪影響をおよぼしたり、故障や車両火災など事故につながるおそれがあり危険です。
- フロントウィンドウガラス、および運転席・助手席のドアガラスに着色フィルム（含む透明フィルム）などを貼り付けしないでください。視界をさまたげるばかりでなく、不正改造につながるおそれがあります。

車両データの記録について

お車には、車両の制御や操作に関するデータなどを記録するコンピューターが複数装備されており、主に次のようなデータを記録します。

- ・ エンジン回転数
- ・ 電気モーター回転数
- ・ アクセルの操作状況
- ・ ブレーキの操作状況
- ・ 車速
- ・ シフトポジション
- ・ 駆動用電池の状態

グレード・オプション装備により記録されるデータ項目は異なります。なお、コンピューターは会話などの音声や映像は記録しません。

● データの取り扱いについて

トヨタはコンピューターに記録されたデータを車両の故障診断・研究開発・品質の向上を目的に取得・利用することがあります。

なお、次の場合を除き、トヨタは取得したデータを第三者へ開示または提供することはありません。

- ・ お車の使用者の同意（リース車は借主の同意）がある場合
- ・ 警察・裁判所・政府機関などの法的強制力のある要請に基づく場合
- ・ 統計的な処理を行う目的で、使用者や車両が特定されないように加工したデータを研究機関などに提供する場合

イベントデータレコーダー

お車には、イベントデータレコーダー（EDR）が装備されています。EDRは、一定の衝突や衝突に近い状態（SRSエアバッグの作動および路上障害物との接触など）が発生した時に車両システムの作動状況に関するデータを記録します。EDRは車両の動きや安全システムに関するデータを短時間記録するように作られています。ただし、衝突の程度と形態によっては、データが記録されない場合があります。

EDRは次のようなデータを記録します。

- ・ 車両の各システムの作動状況
- ・ アクセルペダルおよびブレーキペダルの操作状況
- ・ 車速

これらのデータは、衝突や傷害が発生した状況を把握するのに役立ちます。

注意：EDRは衝突が発生したときにデータを記録します。通常走行時にはデータは記録されません。また、個人情報（例：氏名・性別・年齢・衝突場所）は記録されません。ただし、事故調査の際に法執行機関などの第三者が、通常の手続きとして収集した個人を特定できる種類のデータとEDRデータを組み合わせて使用することがあります。EDRで記録されたデータを読み出すには、特別な装置を車両またはEDRへ接続する必要があります。トヨタにくわえ、法執行機関などの特別な装置を所有する第三者が車両またはEDRに接続した場合でも情報を読み出すことができます。

● EDRデータの情報開示

次の場合を除き、トヨタはEDRで記録されたデータを第三者へ開示することはありません。

- ・ お車の使用者の同意（リース車は借主の同意）がある場合
- ・ 警察・裁判所・政府機関などの法的強制力のある要請に基づく場合
- ・ トヨタが訴訟で使用する場合

ただし、トヨタは

- ・ データを車両安全性能の研究に使用することがあります。
- ・ 使用者・車両が特定されないデータを調査目的で第三者に開示することがあります。

RF 送信機の取り付けについて

お車へ RF 送信機を取り付けると、次のようなシステムに影響をおよぼす可能性があります。

- ハイブリッドシステム
- EFI コンピュータ
- クルーズコントロール
- ABS（アンチロックブレーキシステム）
- SRS エアバッグ
- シートベルトプリテンショナー

悪影響を防ぐための措置や取り付け方法については、必ずトヨタ販売店にお問い合わせください。

ご希望により、RF 送信機の取り付けに関する詳しい情報（周波数帯域・電力レベル・アンテナ位置・取り付け条件）をトヨタ販売店にてご提供します。

保証および点検について

保証および点検整備については、別冊「メンテナンスノート」に記載していますので、併せてお読みください。

日常点検整備や定期点検整備は、お客様の責任において実施してください。（法律で義務付けられています）

ハイブリッドシステムについて

ヴォクシーは電気モーターとガソリンエンジンを組み合わせたハイブリッドシステムを採用しています。

ヴォクシーを安全・快適にお使いいただくために本書をしっかりとお読みください。

本書の見方



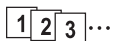
警告

お守りいただかないと、お客様自身と周囲の人々が死亡、または重大な傷害につながるおそれがあることを説明しています。



注意

お守りいただかないと、車や装備品の故障や破損につながるおそれがあることを説明しています。

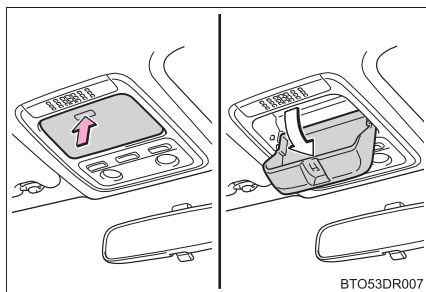


1 2 3 ...

操作・作業の手順を示しています。番号の順に従ってください。

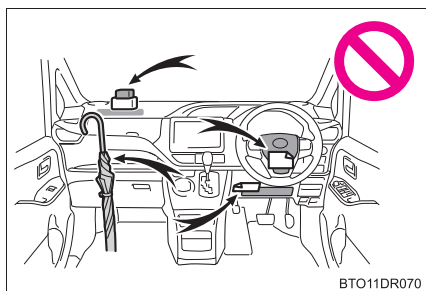
➡ 押す・まわすなど、していただきたい操作を示しています。

➡ フタが開くなど、操作後の作動を示しています。



➡ 説明の対象となるもの・場所を示しています。

⊘ “してはいけません” “このようにしないでください” “このようなことを起こさないでください” という意味です。



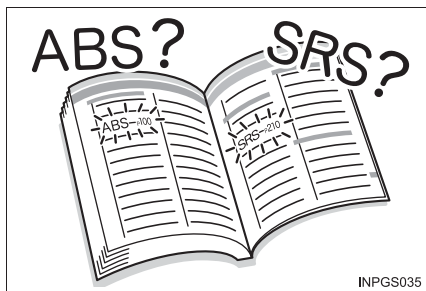
知識

機能や操作方法の説明以外で知っていただきたい、知っておくと便利なことを説明しています。

検索のしかた

■ 名称から探す

- ・ 五十音順さくいん354
- ・ アルファベット順
さくいん353



■ 取り付け位置から探す

- ・ イラスト目次 12



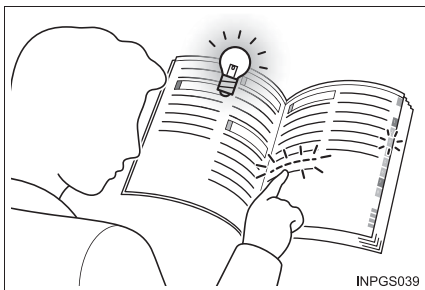
■ 症状や音から探す

- ・ こんなときは
(症状別さくいん)348
- ・ 車から音が鳴ったときは
(音さくいん)352



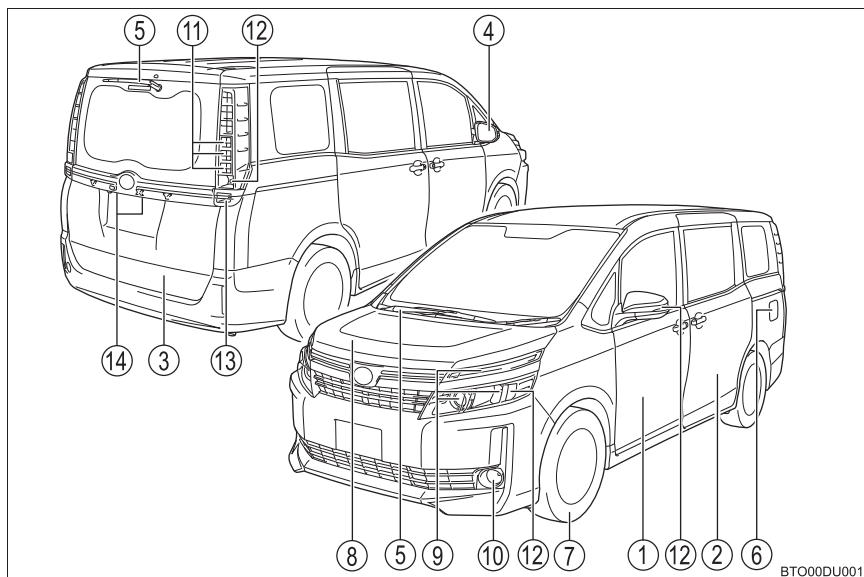
■ タイトルから探す

- ・ 目次2



イラスト目次

■ 外観



BTO00DU001

- | | | |
|---|-------------------------|-----------------|
| ① | フロントドア | P. 90 |
| | 施錠／解錠 | P. 90, 91 |
| | ドアガラスの開閉 | P. 133 |
| | メカニカルキーでの施錠／解錠 | P. 320 |
| | 警告灯 | P. 71, 278, 285 |
| ② | スライドドア | P. 93 |
| | 施錠／解錠 | P. 93 |
| | ドアガラスの開閉 | P. 133 |
| | 車内から開ける | P. 95 |
| | 車外から開ける | P. 94 |
| | 警告灯 | P. 71, 278, 285 |
| ③ | バックドア | P. 104 |
| | 施錠／解錠 | P. 104 |
| | 車外から開ける | P. 104 |
| | 警告灯 | P. 71, 278, 285 |
| ④ | ドアミラー | P. 130 |
| | 鏡面の角度調整 | P. 130 |
| | ミラーの格納 | P. 130 |
| | 曇りを取る (ミラーヒーター) ★ | P. 131 |

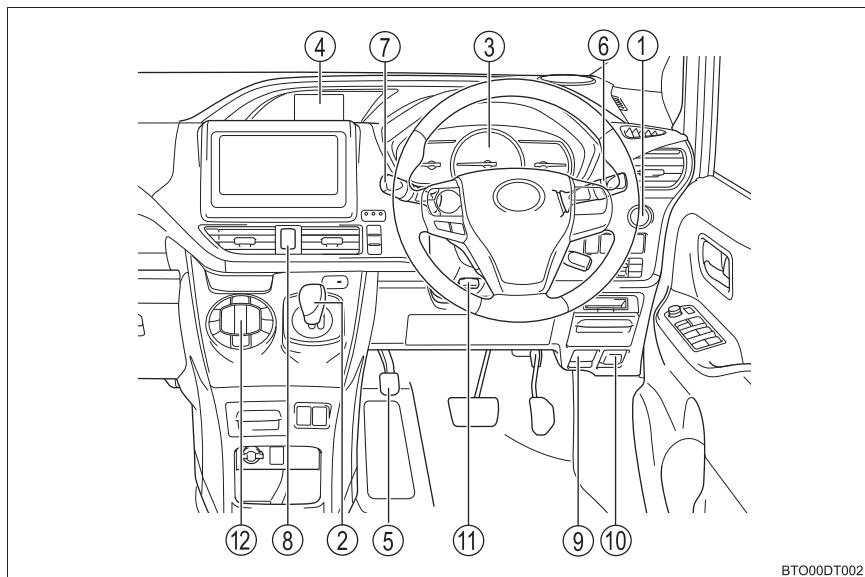
- ⑤ **ワイパー**.....P. 168, 170
 冬季の注意P. 185
 凍結防止（フロントワイパーデアイサー）★P. 192
- ⑥ **給油口**.....P. 172
 給油方法P. 172
 燃料の種類・燃料タンク容量P. 172, 336
- ⑦ **タイヤ**.....P. 242
 サイズ・空気圧P. 340
 冬用タイヤ・タイヤチェーンP. 185
 点検・ローテーションP. 242
 パンク時の対処P. 295, 305
- ⑧ **ボンネット**P. 236
 開け方P. 236
 エンジンオイルP. 337
 オーバーヒート時の対処P. 328

走行に関わる外装のランプバルブ

（交換要領：P. 254, ワット数：P. 341）

- ⑨ **ヘッドランプ・車幅灯**.....P. 165
- ⑩ **フロントフォグランプ★**P. 167
- ⑪ **尾灯**P. 165
- ⑫ **方向指示灯**P. 163
- ⑬ **後退灯**
 シフトポジションをRにするP. 156
- ⑭ **番号灯**.....P. 165

■ インストルメントパネル

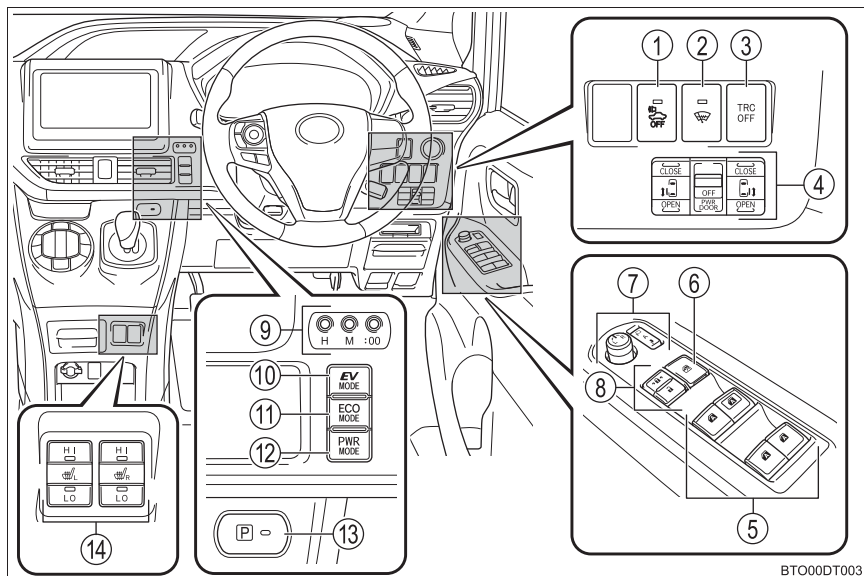


BT000DT002

- ① **パワースイッチ**P. 148
 ハイブリッドシステムの始動・モード切りかえP. 148
 ハイブリッドシステムの緊急停止P. 270
 ハイブリッドシステムが始動できないときの対処P. 318
 警告メッセージP. 291
- ② **シフトレバー**P. 156
 シフトポジションの切りかえP. 156
 けん引時の注意P. 271
- ③ **メーター**P. 74
 見方P. 74
 明るさの調整P. 75
 警告灯／表示灯P. 70
 警告灯点灯時の対処P. 276

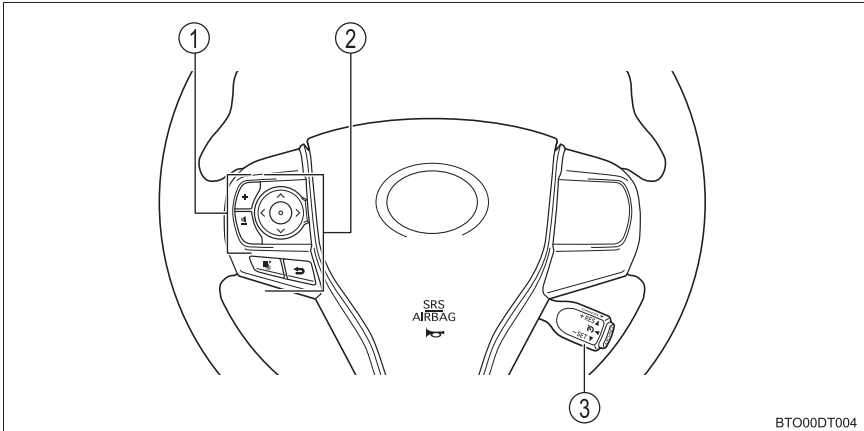
- ④ マルチインフォメーションディスプレイP. 77
 - 表示内容 P. 77
 - エネルギーモニター P. 82
 - 警告メッセージ表示時の対処 P. 280
- ⑤ パーキングブレーキP. 164
 - かける・解除する P. 164
 - 冬季の注意 P. 186
 - 警告ブザー P. 276
- ⑥ 方向指示レバーP. 163
 - ランプスイッチP. 165
 - ヘッドランプ・車幅灯・尾灯 P. 165
 - フロントフォグランプ★ P. 167
- ⑦ ワイパー&ウォッシャースイッチP. 168, 170
 - 使い方 P. 168, 170
 - ウォッシャー液の補充 P. 240
- ⑧ 非常点滅灯スイッチP. 267
- ⑨ ボンネット解除レバーP. 236
- ⑩ 給油口オープナーP. 172
- ⑪ ハンドル位置調整レバーP. 127
- ⑫ オートエアコン P. 190, 197, 200
 - 操作方法 P. 190, 197, 200
 - リヤウィンドウの曇り取り (リヤウインドウデフォッガー) ... P. 192

■ スイッチ類



BTO00DT003

- ① 車両接近通報装置一時停止スイッチ.....P. 58
- ② フロントワイパーデアイサースイッチ★.....P. 192
- ③ TRC OFF スイッチ.....P. 179
- ④ パワースライドドアスイッチ.....P. 95
- ⑤ パワーウィンドウスイッチ.....P. 133
- ⑥ ウィンドウロックスイッチ.....P. 133
- ⑦ ドアミラースイッチ.....P. 130
- ⑧ ドアロックスイッチ.....P. 91
- ⑨ 時刻調整スイッチ.....P. 218
- ⑩ EV ドライブモードスイッチ.....P. 153
- ⑪ ECO MODE スイッチ.....P. 158
- ⑫ PWR MODE スイッチ.....P. 158
- ⑬ P ポジションスイッチ.....P. 157
- ⑭ シートヒータースイッチ★.....P. 203

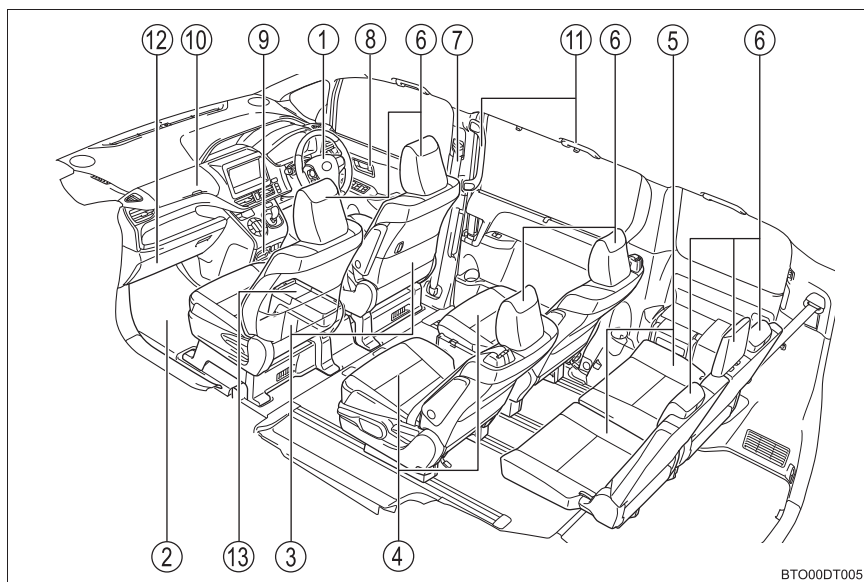


BTO00DT004

- ① オーディオ操作スイッチP. 219
- ② マルチインフォメーションディスプレイ操作スイッチP. 78
- ③ クルーズコントロールスイッチ★P. 175

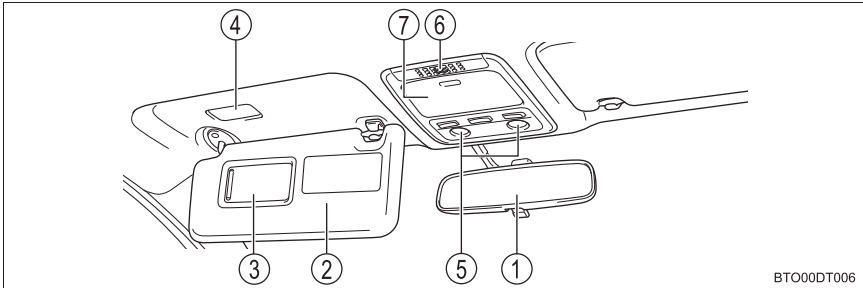
★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

■ 室内



BTO00DT005

- | | |
|---------------|-------------|
| ① SRS エアバッグ |P. 32 |
| ② フロアマット |P. 22 |
| ③ フロントシート |P. 114 |
| ④ セカンドシート |P. 115 |
| ⑤ サードシート |P. 117 |
| ⑥ ヘッドレスト |P. 118 |
| ⑦ シートベルト |P. 26 |
| ⑧ ロックレバー |P. 91 |
| ⑨ カップホルダー |P. 209 |
| ⑩ 助手席アッパーボックス |P. 212 |
| ⑪ アシストグリップ |P. 217 |
| ⑫ グローブボックス |P. 209 |
| ⑬ ワイヤレス充電器★ |P. 220 |



BTO00DT006

- ① インナーミラーP. 129
- ② サンバイザー※P. 214
- ③ バニティミラーP. 214
- ④ バニティランプP. 214
- ⑤ パーソナルランプP. 206
- ⑥ LED ダウンライトP. 205
- ⑦ 小物入れP. 212

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

※：やむを得ず助手席にチャイルドシートを取り付ける場合には、チャイルドシートをうしろ向きに取り付けしないでください。重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
(→ P. 55)



安全・安心のために

～必ずお読みください～

1

1-1. 安全にお使いいただくために	
運転する前に.....	22
安全なドライブのために	24
シートベルト.....	26
SRS エアバッグ.....	32
お子さまの安全のために	40
子供専用シート.....	41
チャイルドシートの 取り付け.....	49
排気ガスに対する注意	56
1-2. ハイブリッドシステム	
ハイブリッドシステムの特徴 ..	57
ハイブリッドシステムの注意 ..	61
1-3. 盗難防止装置	
イモビライザーシステム	67

運転する前に

点検整備

日常点検整備や定期点検整備は、お客様の責任において実施していただくことが法律で義務付けられています。適切な時期に点検整備を実施し、お車に異常がないことを確認してください。

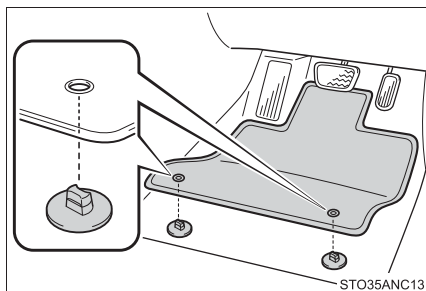
日常点検整備や点検項目などの詳細については、別冊「メンテナンスノート」を参照してください。

異常が見つかった場合は、トヨタ販売店で必ず点検整備を受けてください。

フロアマット

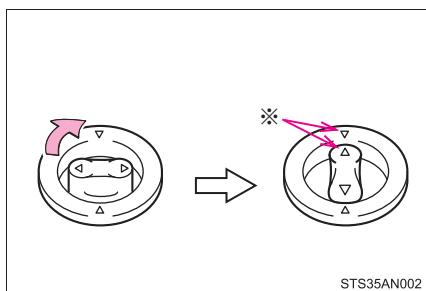
専用のフロアマットを、フロアカーペットの上にとしっかりと固定してお使いください。

- 1 固定フック（クリップ）にフロアマット取り付け穴をはめ込む



- 2 固定フック（クリップ）上部のレバーをまわして、フロアマットを固定する

※ △マークを必ず合わせてください。



固定フック（クリップ）の形状はイラストと異なる場合があります。

警告

次のことを必ずお守りください。

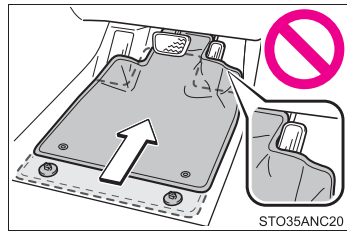
お守りいただかないと、フロアマットがずれて運転中に各ペダルと干渉し、思わぬスピードが出たり車を停止しにくくなるなど、重大な事故につながるおそれがあります。

■運転席にフロアマットを敷くとき

- トヨタ純正品であっても、他車種および異なる年式のフロアマットは使用しない
- 運転席専用のフロアマットを使用する
- 固定フック（クリップ）を使って、常にしっかりと固定する
- 他のフロアマット類と重ねて使用しない
- フロアマットを前後逆さまにしたり、裏返して使用しない

■運転する前に

- フロアマットがすべての固定フック（クリップ）で正しい位置にしっかりと固定されていることを定期的を確認し、特に洗車後は必ず確認を行う
- ハイブリッドシステム停止およびシフトポジションが P の状態で、各ペダルを奥まで踏み込み、フロアマットと干渉しないことを確認する

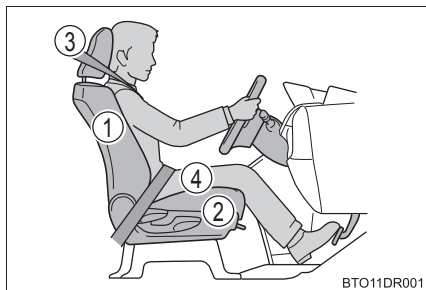


安全なドライブのために

安全に運転するために、走行前にシートやミラーなどを適切に調整してください。

正しい運転姿勢について

- ① まっすぐ座り、運転操作時に背もたれから離れないよう、背もたれの角度を調整する（→ P. 114）
- ② ペダルをしっかりと踏み込め、ハンドルを握ったときにひじが少し曲がるようなシート位置にする（→ P. 114）
- ③ ヘッドレストの中央が耳のいちばん上のあたりになるようにする（→ P. 118）
- ④ シートベルトを正しく着用する（→ P. 26）



シートベルトを正しく着用する

すべての乗員は、走行前に必ずシートベルトを正しく着用してください。（→ P. 26）

シートベルトを正しく着用できない小さなお子さまを乗せるときは、適切な子供専用シートをご用意ください。（→ P. 41）

ミラーを調整する

後方が確実に確認できるように、インナーミラー・ドアミラーを正しく調整してください。（→ P. 129, 130）

 **警告**

次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- 走行中は運転席の調整をしないでください。
運転を誤るおそれがあります。
- 背もたれと背のあいだにクッションなどを入れないでください。
正しい運転姿勢がとれないばかりか、衝突したとき、シートベルトやヘッドレストなどの効果が十分に発揮されないおそれがあります。
- フロントシートの下にものを置かないでください。
ものが挟まるとシートが固定されず、思わぬ事故や調整機構の故障の原因になります。
- 他の車や歩行者など、周囲の状況に常に注意を払い、安全運転を心がけてください。
- 飲酒運転は絶対にしないでください。お酒を飲むと注意力と判断力がにぶり、思いがけない事故を引き起こすおそれがあります。また、眠気をもよおす薬を飲んだときも運転を控えてください。
- 運転中に携帯電話を使用したり、装置の調節などをしないでください。周囲の状況などへの注意が不十分になり、大変危険です。ハンズフリー以外の自動車電話や携帯電話を運転中に使用することは法律で禁止されています。
- 長距離ドライブの際は、疲れを感じる前に定期的に休憩してください。
また、運転中に疲労感や眠気を感じたときは、無理に運転せず、すみやかに休憩してください。

シートベルト

走行前にすべての乗員は必ずシートベルトを正しく着用してください。

正しく着用する

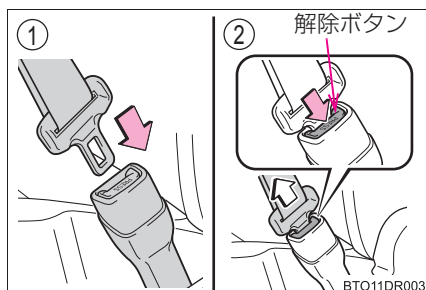
- 肩部ベルトを肩に十分かける
首にかかったり、肩からはずれないようにしてください。
- 腰部ベルトを必ず腰骨のできるだけ低い位置に密着させる
- 背もたれを調整し、上体を起こし、深く腰かけて座る
- ねじれがないようにする



BTO11DR002

着け方・はずし方（サードシート中央席を除く）

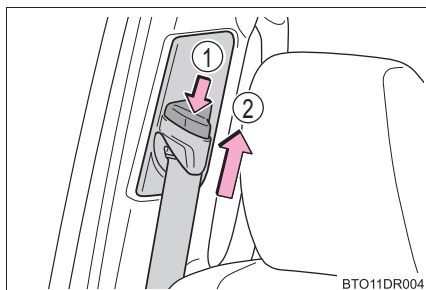
- ① ベルトを固定するには、“カチッ”と音がするまでプレートをバックルに挿し込む
- ② ベルトを解除するには、解除ボタンを押す



BTO11DR003

シートベルトの高さ調整（フロント席）

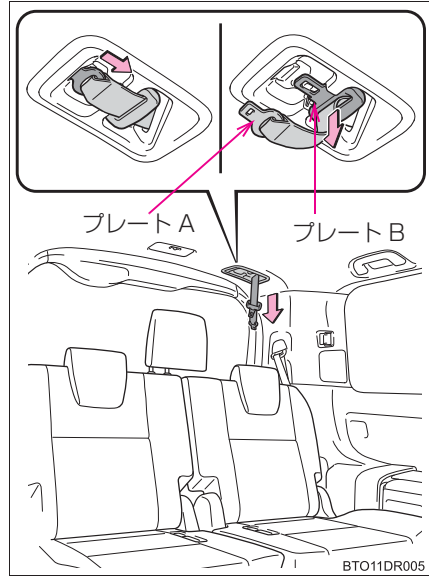
- ① 解除ボタンを押しながら、アジャスターを下げる
- ② アジャスターを上げる
“カチッ”と音がして固定される場所まで動かしてください。



BTO11DR004

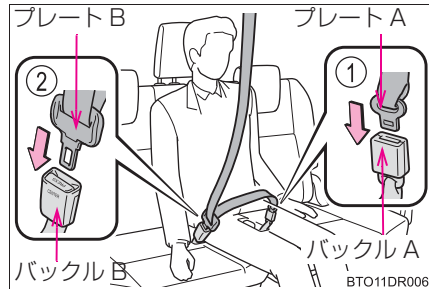
着け方 (サードシート中央席)

1 プレートを取り出す



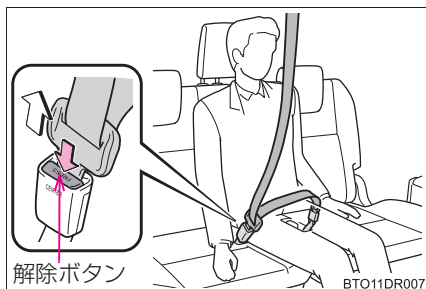
2 ベルトを固定するには、プレートA、プレートBの順に“カチッ”と音がするまでプレートをバックルに挿し込む

- ① プレートA、バックルA
- ② プレートB、バックルB



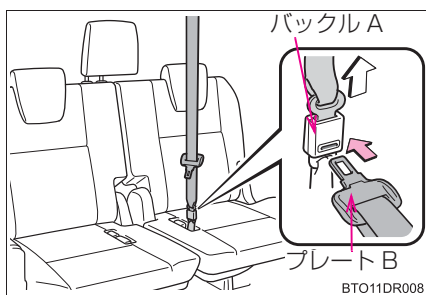
はずし方・格納の仕方（サードシート中央席）

- 1 バックル B の解除ボタンを押して、ベルトを解除する



- 2 メカニカルキー、またはプレート B をバックル A に挿し込み、ベルトを分離する

シートベルトを格納するときは、ベルトを持ちながらゆっくり巻きもどします。

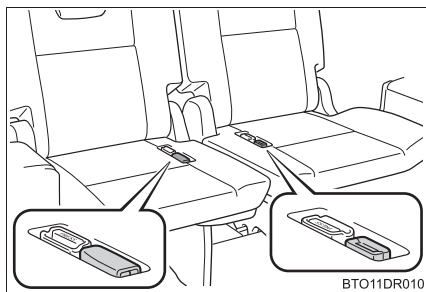


- 3 プレート A、B を図のようにし、もともにもどす

確実に固定されるよう、しっかりと奥まで押し込みます。



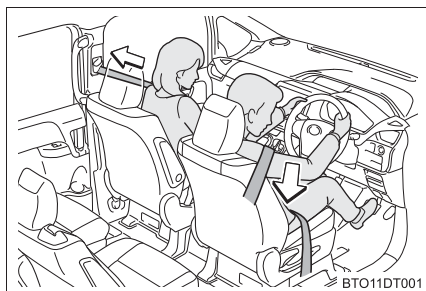
- 4 バックルをシートクッションの穴に格納する



シートベルトプリテンショナー（フロント席）

前方、側方から強い衝撃を受けたとき、シートベルトを引き込むことで適切な乗員拘束効果を確保します。

前方、側方からの衝撃が弱いときや、うしろからの衝撃、横転のときは通常は作動しません。



知識

■ シートベルトロックの解除方法

急停止や衝撃があったときベルトがロックされます。急に体を前に倒したり、シートベルトをすばやく引き出してもロックする場合があります。シートベルトがロックしたまま引き出せないときは、一度ベルトを強く引いてからゆるめ、ゆっくり動かせば、ベルトを引き出すことができます。

■ お子さまのシートベルトの使い方

この車のシートベルトは、シートベルトを装着するのに十分な、大人の体格を持った人用に設計されています。

- シートベルトが正しい位置で着用できない小さなお子さまの場合は、お子さまの体に合ったチャイルドシートを使用してください。（→ P. 41）
- シートベルトが正しい位置で着用できるお子さまの場合は、シートベルトの着用のしかたに従ってください。（→ P. 26）

■ シートベルトプリテンショナーについて（フロント席）

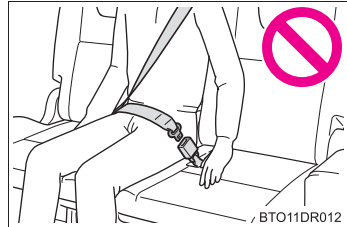
シートベルトプリテンショナーは一度しか作動しません。玉突き衝突などで連続して衝撃を受けた場合でも、一度作動したあとは、その後の衝突では作動しません。

警告

急ブレーキや事故の際のけがを避けるため、次のことを必ずお守りください。お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■シートベルトの着用について

- 全員がシートベルトを着用する
- シートベルトを正しく着用する
- シートベルトは一組につき一人で使用する
お子さまでも一組のベルトを複数の人で使用しない
- サードシート左右席シートベルトを使用するときは、ベルトハンガーにシートベルトがかかっていること
- お子さまはリヤ席に座らせてシートベルトを着用させる
- 背もたれは必要以上に倒さず、上体を起こし、シートに深く座る
- 肩部ベルトを腕の下に通して着用しない
- 腰部ベルトはできるだけ低い位置に密着させ着用する
- サードシート中央席のシートベルトを使用するときは、プレート A とバックル A および、プレート B とバックル B を結合する (→ P. 27)

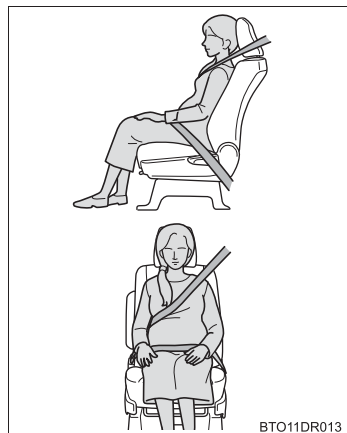


■妊娠中の女性の場合

医師に注意事項を確認の上、必ず正しく着用してください。(→ P. 26)

通常の着用のしかたと同じように、腰部ベルトが腰骨のできるだけ低い位置にかかるようにお腹のふくらみの下に、肩部ベルトは確実に肩を通し、お腹のふくらみを避けて胸部にかかるように着用してください。

ベルトを正しく着用していないと、衝突したときなどに、母体だけでなく胎児までが重大な傷害を受けたり、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。



 **警告****■ 疾患のある方の場合**

医師に注意事項を確認の上、必ず正しく着用してください。

■ お子さまを乗せるとき

お子さまをシートベルトで遊ばせないでください。

万一ベルトが首に巻き付いた場合、窒息など重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

誤ってそのような状態になってしまい、バックルもはずせない場合は、ハサミなどでシートベルトを切断してください。

■ プリテンショナー付きシートベルトについて（フロント席）

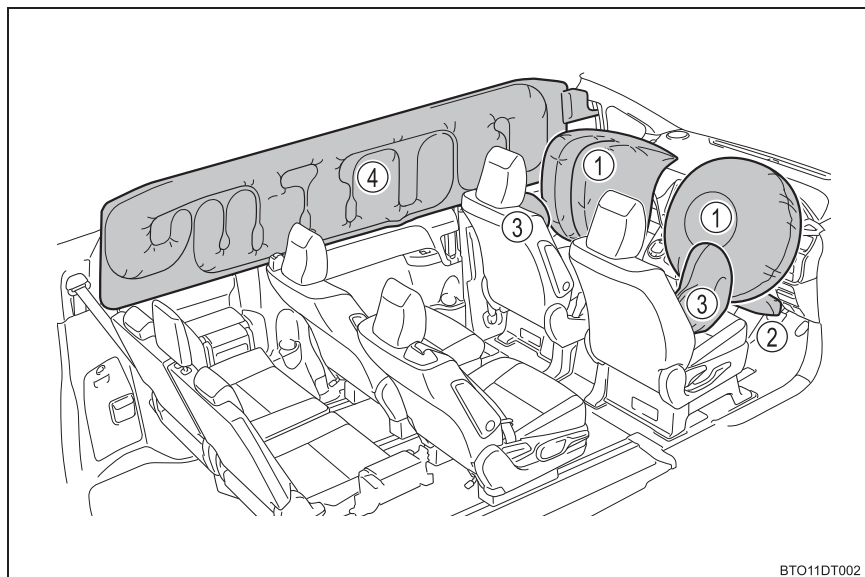
シートベルトプリテンショナーが作動すると、SRS エアバッグ／プリテンショナー警告灯が点灯します。その場合は、シートベルトを再使用することができないため、必ずトヨタ販売店で交換してください。

■ シートベルトの損傷・故障について

- ベルトやプレート・バックルなどは、シートやドアに挟むなどして損傷しないようにしてください。
- シートベルトが損傷したときはシートベルトを修理するまでシートは使用しないでください。
- プレートがバックルに確実に挿し込まれているか、シートベルトがねじれていないかを確認してください。うまく挿し込めない場合はただちにトヨタ販売店に連絡してください。
- もし重大な事故にあったときは、明らかな損傷が見られない場合でも、シート、シートベルトを交換してください。
- プリテンショナー付きシートベルトの取り付けや取りはずし・分解・廃棄などは、トヨタ販売店以外でしないでください。不適切に扱うと、正常に作動しなくなるおそれがあります。

SRS エアバッグ

SRS エアバッグは乗員に重大な危害がおよぶような強い衝撃を受けたときにふくらみ、シートベルトが体を拘束する働きと併せて乗員への衝撃を緩和させます。



◆ フロント SRS エアバッグ

- ① 運転席 SRS エアバッグ／助手席 SRS エアバッグ
(運転者と助手席乗員の頭や胸などへの衝撃を緩和)
- ② 運転席 SRS ニーエアバッグ
(運転者の衝撃緩和を補助)

◆ SRS サイド&カーテンシールドエアバッグ

- ③ SRS サイドエアバッグ★
(フロント席乗員の胸などへの衝撃を緩和)
- ④ SRS カーテンシールドエアバッグ★
(フロント席とリヤ外側席乗員の主に頭部への衝撃を緩和)

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

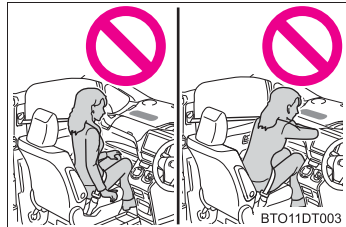
警告

■ SRS エアバッグについて

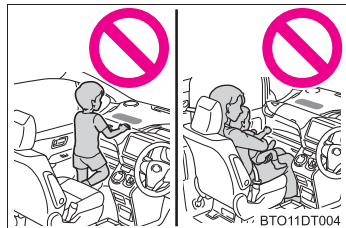
次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

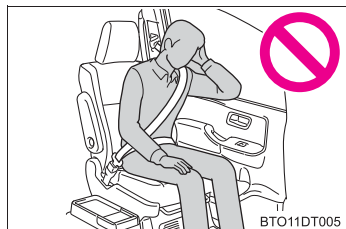
- 運転者と乗員すべてがシートベルトを正しく着用してください。
SRS エアバッグはシートベルトを補助するためのものです。
- 助手席 SRS エアバッグは強い力でふくらむため、シートの背もたれを調整して、シートをできるだけ SRS エアバッグから離し、まっすぐに座ってください。
- お子さまが小さくてシートベルトを使用できないときは、チャイルドシートでしっかり固定してください。お子さまはリヤ席に乗せ、チャイルドシートまたはシートベルトを着用させることをおすすめします。(→P. 41)
- シートの縁に座ったり、ダッシュボードにもたれかかったりしない



- お子さまを助手席 SRS エアバッグの前に立たせたり、ひざの上に抱いたりしない
- 運転者および助手席乗員は、ひざの上に何も持たない



- SRS サイドエアバッグ & SRS カーテンシールドエアバッグ装着車：ドアやフロントピラー・センターピラー・リヤピラー・ルーフサイドレールへ寄りかからない

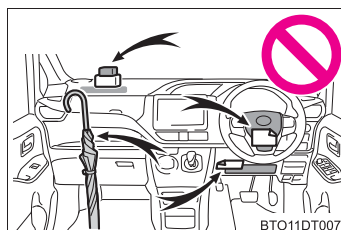


警告**■ SRS エアバッグについて**

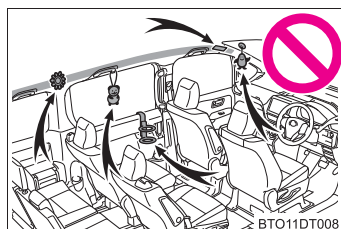
- SRS サイドエアバッグ & SRS カーテンシールドエアバッグ装着車：助手席・リヤシートでは、ドアに向かってひざをついたり、窓から顔や手を出したりしない



- ダッシュボード・助手席アップパーボックスのフタの上・ハンドルのパッド部分などには何も取り付けたり、置いたりしない



- SRS サイドエアバッグ & SRS カーテンシールドエアバッグ装着車：ドア・フロントウィンドウガラス・ドアガラス・フロントピラーおよびリヤピラー・ルーフサイドレール・アシストグリップなどには何も取り付けない（速度制限ラベルを除く → P. 307）



 **警告****■ SRS エアバッグについて**

- SRS ニーエアバッグがふくらむ場所にビニールカバーが付いている場合は、取り除いてください。
- SRSサイドエアバッグ&SRSカーテンシールドエアバッグ装着車:SRSサイドエアバッグがふくらむ場所を覆うようなシートアクセサリーを使用しないでください。エアバッグが展開する際、アクセサリーが干渉するおそれがあります。そのようなアクセサリーがエアバッグが正常に作動するのをさまたげ、システムを不能にしたり、またはエアバッグが誤って展開したりするおそれがあります。
- SRS エアバッグシステム構成部品の周辺は、強くたたくなど過度の力を加えないでください。
SRS エアバッグが正常に作動しなくなるおそれがあります。
- SRS エアバッグがふくらんだ直後は、構成部品が熱くなっているため、ふれないでください。
- SRS エアバッグがふくらんだあとに、もし呼吸が苦しく感じたら、ドアやドアガラスを開けて空気を入れるか、安全を確認して車外に出てください。皮膚の炎症を防ぐため、残留物はできるだけ早く洗い流してください。
- SRSサイドエアバッグ&SRSカーテンシールドエアバッグ非装着車:SRSエアバッグが収納されているパッド部に傷が付いていたり、ひび割れがあるときは、そのまま使用せずトヨタ販売店で交換してください。
- SRSサイドエアバッグ&SRSカーテンシールドエアバッグ装着車:SRSエアバッグが収納されているパッド部およびフロントピラーガーニッシュ部に傷が付いていたり、ひび割れがあるときは、そのまま使用せずトヨタ販売店で交換してください。

 **警告****■改造・廃棄について**

トヨタ販売店への相談なしに、次の改造・廃棄をしないでください。SRS エアバッグが正常に作動しなくなったり、誤ってふくらむなどして、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- SRS エアバッグの取りはずし・取り付け・分解・修理
- ハンドル・インストルメントパネル・ダッシュボード・シート・シート表皮・フロントピラー・センターピラー・リヤピラー・ルーフサイドレール周辺の修理・取りはずし・改造
- フロントフェンダー・フロントバンパー・車内側面部の修理・改造
- グリルガード（ブルバー・カンガルーバーなど）・除雪装置・ウインチなどの取り付け
- サスペンションの改造
- CD プレーヤー・無線機などの電化製品の取り付け

 **知識****■SRS エアバッグが作動すると**

- SRS エアバッグとの接触により、打撲やすり傷などを受けることがあります。
- 作動音と共に白いガスが発生します。
- SRS カーテンシールドエアバッグ非装着車：フロント席などだけでなくエアバッグ構成部品（ハンドルのハブ・エアバッグカバー・インフレーター）も数分間熱くなることがあります。エアバッグそのものも熱くなります。
- SRS カーテンシールドエアバッグ装着車：フロント席・フロントピラー・リヤピラー・ルーフサイドレールの一部分などだけでなくエアバッグ構成部品（ハンドルのハブ・エアバッグカバー・インフレーター）も数分間熱くなることがあります。エアバッグそのものも熱くなります。
- フロントウインドウガラスが破損することがあります。

■ SRS エアバッグが作動するとき（フロント SRS エアバッグ）

- フロント SRS エアバッグは、衝撃の強さが設定値（移動も変形もしない固定された壁に、車速約 20 ～ 30km/h で正面衝突した場合の衝撃の強さに相当する値）以上の場合に作動します。

ただし、次のような場合はエアバッグが作動する車速は設定値より高くなります。

- ・ 駐車している車や標識のような衝撃によって移動や変形するものに衝突した場合
- ・ もぐり込むような衝突の場合（例えば、車両前部がもぐり込む、下に入り込む、トラックの下敷きになるなど）
- 衝突条件によってはシートベルトプリテンショナーのみ作動する場合があります。

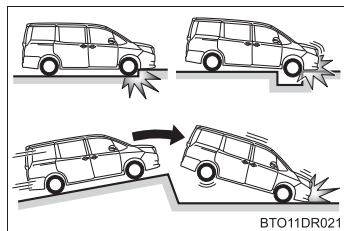
■ SRS エアバッグが作動するとき（SRS サイド&カーテンシールドエアバッグ）

- SRS サイド&カーテンシールドエアバッグは、衝撃の強さが設定値（約 1.5 t の車両が約 20 ～ 30km/h の速度で客室へ直角に衝突した場合の衝撃の強さに相当する値）以上の場合に作動します。
- 前面衝突時でも、特に衝撃が大きい場合は左右の SRS サイド&カーテンシールドエアバッグが開く場合があります。

■ 衝突以外で作動するとき

次のような状況で車両下部に強い衝撃を受けたときも、フロント SRS エアバッグ・SRS サイド&カーテンシールドエアバッグが作動する場合があります。

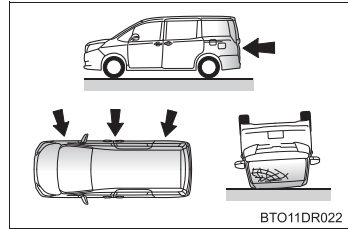
- 縁石や歩道の端など、固いものにぶつかったとき
- 深い穴や溝に落ちたり、乗り越えたとき
- ジャンプして地面にぶつかったり、道路から落下したとき



■ SRS エアバッグが作動しないとき（フロント SRS エアバッグ）

フロント SRS エアバッグは、側面や後方からの衝撃・横転・または低速での前方からの衝撃では、通常は作動しません。ただし、それらの衝撃が前方への減速を十分に引き起こす場合には、フロント SRS エアバッグが作動することがあります。

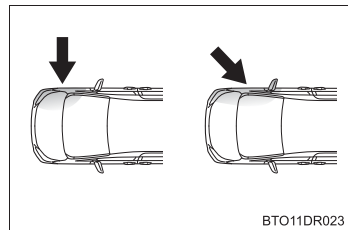
- 側面からの衝突
- 後方からの衝突
- 横転



■ SRS エアバッグが作動しないとき（SRS サイド&カーテンシールドエアバッグ）

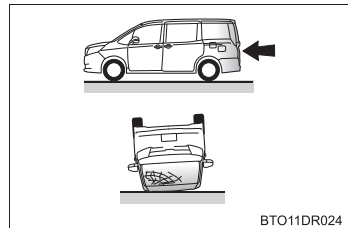
斜めから衝撃を受けた場合や、客室部分以外の側面に衝撃を受けたときには、SRS サイド&カーテンシールドエアバッグが作動しない場合があります。

- 客室部分以外の側面への衝撃
- 斜めからの衝撃



SRS サイド&カーテンシールドエアバッグは、後方からの衝撃・横転・または低速での側面からの衝撃で作動するようには設計されていません。

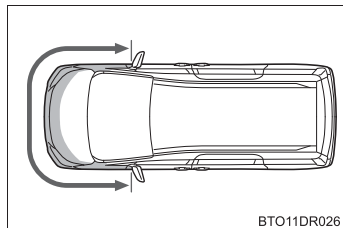
- 後方からの衝突
- 横転



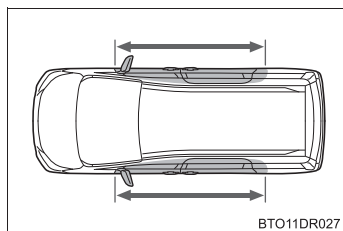
■ トヨタ販売店に連絡が必要な場合

次のような場合には、修理・点検等が必要になります。できるだけ早くトヨタ販売店へご連絡ください。

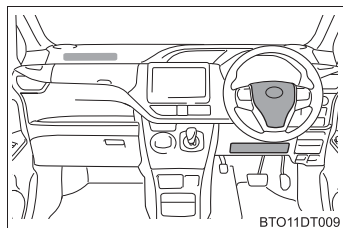
- いずれかの SRS エアバッグがふくらんだとき
- フロント SRS エアバッグはふくらまなかったが、事故で車両の前部を衝突したとき、または破損・変形などがあるとき



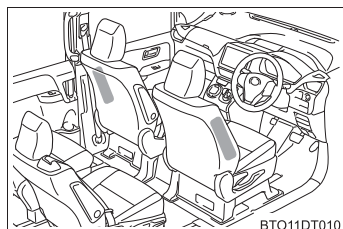
- SRS サイド&カーテンシールドエアバッグはふくらまなかったが、事故でドアおよび、その周辺部分を衝突したとき、または破損・変形などがあるとき



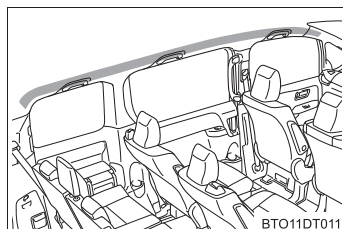
- ハンドルのパッド部分・ダッシュボードの助手席 SRS エアバッグ付近・インストルメントパネル下部が傷付いたり、ひび割れたり、その他の損傷を受けたとき



- SRS サイドエアバッグが内蔵されているシート表面が傷付いたり、ひび割れたり、その他の損傷を受けたとき



- SRS カーテンシールドエアバッグが内蔵されているフロントピラー部・リヤピラー部・ルーフサイド部が傷付いたり、ひび割れたり、その他の損傷を受けたとき



お子さまの安全のために

お子さまを乗せるときは、次のことをお守りください。

- お子さまにも必ずシートベルトを着用させてください。シートベルトを正しく着用できない小さなお子さまを乗せるときは、適切な子供専用シートをご用意ください。(→ P. 41)
- 運転装置にふれるのを防ぐため、お子さまはリヤシートに乗せることをおすすめします。
- 走行中にドアを開けたり、パワーウィンドウを誤操作したりしないように、チャイルドプロテクター(→ P. 96)・ウィンドウロックスイッチ(→ P. 133)をご使用ください。
- 小さなお子さまには、パワーウィンドウ・ボンネット・スライドドア・バックドアやシートなど、体を挟まれるおそれがある装備類を操作させないでください。

警告

- お子さまを車の中に残したままにしないでください。車内が高温になって熱射病や脱水症状になり、重大な健康障害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
また、お子さまが車内の装置を操作し、ドアガラスなどに挟まれたり、発炎筒などでやけどしたり、運転装置を動かして、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 車にお子さまを乗せる場合は、お子さまの安全を確保するための注意事項やチャイルドシートの取り付け方などをまとめた「チャイルドシートの取り付け」を参照してください。(→ P. 49)

子供専用シート

子供専用シートの固定機構を使用して、子供専用シートを固定することができます。

知っておいていただきたいこと

- 車の仕様やお子さまの年齢・体格に合わせて、適切な子供専用シートをお選びください。
- 子供専用シートの取り付け方法および取りはずし方は、それぞれの子供専用シートに付属の取扱説明書をお読みください。
- この車は2006年10月1日施行の保安基準に適合したISOFIX対応チャイルドシート固定専用バーを標準装備しています。

子供専用シートの適合性一覧表について

■ 質量グループについて

ECE R44 ※の基準に適合する子供専用シートはお子さまの体重により次の5種類に分類されます。

- グループ0: 10kg まで
- グループ0⁺: 13kg まで
- グループI: 9 ~ 18kg
- グループII: 15 ~ 25kg
- グループIII: 22 ~ 36kg

この本では代表的な次の3種類の子供専用シートをシートベルトで固定する方法を紹介します。

※ ECE R44 は、子供専用シートに関する国際法規です。

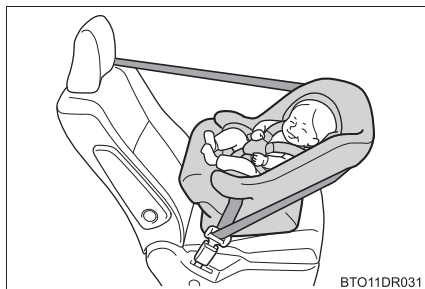
■ サイズ等級、固定具について

子供専用シートに表示される分類記号と、それにとまなう取り付け器具の記号になります。

子供専用シートの種類

▶ ベビーシート

ECE R44 基準のグループ 0、
0⁺に相当



▶ チャイルドシート

ECE R44 基準のグループ 0⁺、
Iに相当



▶ ジュニアシート

ECE R44 基準のグループ II、III
に相当



シート位置別子供専用シート適合性一覧表 (シートベルトでの取り付け)

質量グループ	着席位置（または他の場所）			
	フロントシート	セカンドシート	サードシート	
	助手席	左右席	左右席	中央席
0（10kg まで）	×	U※ ¹	U※ ¹	×
0 ⁺ （13kg まで）	×	U※ ¹	U※ ¹	×
I（9～18kg）	うしろ向き ×	U※ ^{1, 2}	U※ ^{1, 2}	×
	前向き UF※ ^{1, 2}			
II（15～25kg）	UF※ ^{1, 2}	U※ ^{1, 2}	U※ ^{1, 2}	×
III（22～36kg）	UF※ ^{1, 2}	U※ ^{1, 2}	U※ ^{1, 2}	×

● 上記に記入する文字の説明

U： この質量グループでの使用を許可された汎用（ユニバーサル）カテゴリの子供専用シートに適しています。

UF： この質量グループでの使用を許可された汎用（ユニバーサル）カテゴリの前向き子供専用シートに適しています。

×： 子供専用シートを取り付けることはできません。

※¹ 背もたれを直立状態にしてください。シートの高さ調整ができる場合は、いちばん高い位置に調整してください。

※² ヘッドレストと子供専用シートが干渉して子供専用シートが正しく取り付けられない場合、ヘッドレストの取りはずしが可能なときは、ヘッドレストを取りはずしてください。

子供専用シートの装着に際しては子供専用シートの取扱説明書もご確認ください。表に記載されていない子供専用シートを使用する場合は、子供専用シート製造業者または販売業者にご相談ください。

シート位置別子供専用シートの適合性一覧表 (ISOFIX 対応トップテザーアンカーでの取り付け)

質量グループ	サイズ 等級	固定具	車両 ISOFIX 位置
			セカンドシート
			左右席
キャリコット	F	ISO/L1	×
	G	ISO/L2	×
0 (10kg まで)	E	ISO/R1	IL
0+ (13kg まで)	E	ISO/R1	IL
	D	ISO/R2	IL
	C	ISO/R3	IL
I (9 ~ 18kg)	D	ISO/R2	×
	C	ISO/R3	×
	B	ISO/F2	IUF、IL*
	B1	ISO/F2X	IUF、IL*
	A	ISO/F3	IUF、IL*

● 上記に記入する文字の説明

IUF：この質量グループでの使用を許可された汎用（ユニバーサル）カテゴリの ISOFIX 対応の前向き子供専用シートに適しています。

IL： ISOFIX 子供専用シートのリストに示す準汎用（セミユニバーサル）カテゴリの子供専用シートに適しています。

×： ISOFIX 子供専用シートを取り付けることはできません。

* ヘッドレストと子供専用シートが干渉して子供専用シートが正しく取り付けられない場合、ヘッドレストの取りはずしが可能なときは、ヘッドレストを取りはずしてください。

子供専用シートの装着に際しては子供専用シートの取扱説明書もご確認ください。表に記載されていない子供専用シートを使用する場合は、子供専用シート製造業者または販売業者にご相談ください。

ISOFIX 子供専用シートのリスト

質量グループ	サイズ等級	固定具	ISOFIX 子供専用シート	カテゴリー
0 (10kg まで)	E	ISO/R1	トヨタ純正 NEO G-Child ISO baby	準汎用
	E	ISO/R1	トヨタ純正 NEO G-Child ISO leg	準汎用
0+ (13kg まで)	E	ISO/R1	トヨタ純正 NEO G-Child ISO baby	準汎用
	E	ISO/R1	トヨタ純正 NEO G-Child ISO leg	準汎用
	D	ISO/R2		
C	ISO/R3			
I (9 ~ 18kg)	B	ISO/F2	トヨタ純正 NEO G-Child ISO leg	準汎用
	B1	ISO/F2X		
	A	ISO/F3		

 知識

■ ISOFIX 対応チャイルドシート固定専用バーについて

この車に標準装備されている ISOFIX 対応チャイルドシート固定専用バーは、ECE R44 に適合している子供専用シート取り付け専用です。それ以外のものを使用することはできません。

■ 子供専用シートの選択、使用について

- お子さまに最適な子供専用シートについては、子供専用シート製造業者、または販売業者にご相談ください。
- お子さまが成長し、適切にシートベルトが着用できるようになるまでは、お子さまに合った子供専用シートを使用してください。
- 体が十分大きく、子供専用シートが不必要なお子さまは、リヤシートに乗せて車のシートベルトを使用してください。

■ シートベルトで取り付けるタイプの子供専用シートの選択について

「シート位置別子供専用シート適合性一覧表」(→ P. 43)を参照し、子供専用シートを取り付け可能な位置と、対応する子供専用シートの種類(記号)をご確認の上、適したものを選択してください。

■ ECE R44 適合の ISOFIX 対応子供専用シートの選択について

「シート位置別子供専用シートの適合性一覧表」(→ P. 44)を確認して、適切なシートを選択してください。

1 お子さまの体重から、該当する「質量グループ」を確認する

(例 1) : 体重が 12kg の場合、質量グループは「0⁺」になります。

(例 2) : 体重が 15kg の場合、質量グループは「I」になります。

2 サイズ等級を選択する

手順 1 で確認した「質量グループ」から該当するサイズ等級を確認します。*

(例 1) : 質量グループが「0⁺」の場合、サイズ等級は「C」・「D」・「E」が該当します。

(例 2) : 質量グループが「I」の場合、サイズ等級は「A」・「B」・「B1」・「C」・「D」が該当します。

* ただし、該当のサイズ等級でも適合性一覧表の「車両 ISOFIX 位置」に「×」と記載されているものは選択できません。

3 子供専用シートに表示されているマーク／ラベルを確認して、基準に適合したシートであることを確認する

汎用(ユニバーサル)子供専用シートには、次に示すマーク・ラベル類が表示されています。

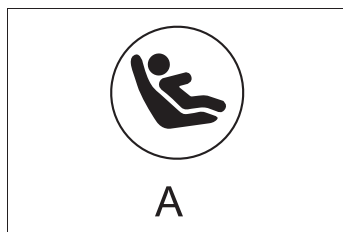
* 表示されている位置・記号などは、商品により異なります。



① ISOFIX 対応子供専用シートであることを示す表示

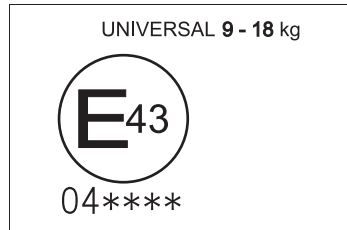
サイズ等級が示されています。(表示される文字は、製品により異なります)

手順 2 で確認したサイズ等級に適合しているものを選択してください。

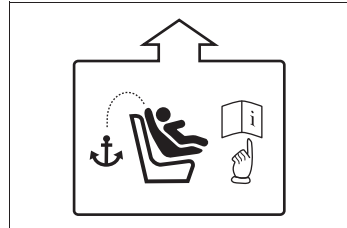


② 汎用（ユニバーサル）子供専用シートの
認可マーク

UNIVERSAL は汎用品の認可であることを表し、併せて、対象となるお子さまの体重の範囲が記載されています。



③ トップテザー（→ P. 49）を示すマーク
商品の取り付け装置の位置により、意匠
は異なります。



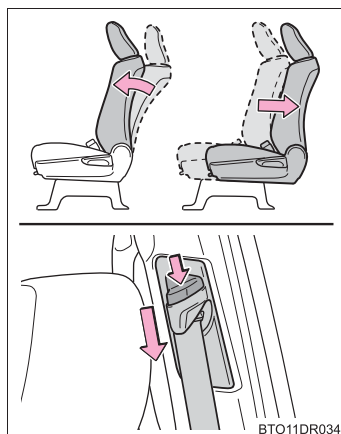
■ ISOFIX 対応子供専用シートの種類（サイズ等級別）

A-ISO/F3	全高前向き幼児用チャイルドシート
B-ISO/F2	低型前向き幼児用チャイルドシート
B1-ISO/F2X	低型前向き幼児用チャイルドシート (B-ISO/F2 と別形状のもの)
C-ISO/R3	大型後向き幼児用チャイルドシート
D-ISO/R2	小型後向き幼児用チャイルドシート
E-ISO/R1	後向き乳児用チャイルドシート
F-ISO/L1	左向き位置用チャイルドシート（キャリコット）
G-ISO/L2	右向き位置用チャイルドシート（キャリコット）

■ 助手席に子供専用シートを取り付けるとき

やむを得ず助手席に子供専用シートを取り付ける場合には、助手席シートを次のように調整し、子供専用シートを前向きに取り付けてください。

- シートをいちばんうしろにさげる
- 背もたれを直立状態（一度背もたれを前に倒し、一段目の固定位置まで起こす）にする
- シートベルトの高さをいちばん低い位置まで下げる



■ キャリコットについて

キャリコットは横向きに取り付けることのできるベビーシートのことです。詳しくは子供専用シート製造業者または販売業者におたずねください。

⚠ 警告

■ 子供専用シートを使用しない場合

- 子供専用シートを使用しないときであっても、シートに適切にしっかりと取り付けられた状態にしてください。ゆるめた状態で客室内に置くことは避けてください。
- 子供専用シートの取りはずしが必要な場合は、車両からはずして保管するか、ラゲージルーム内に容易に動かないように収納してください。

チャイルドシートの取り付け

シートベルトを正しく着用できない小さなお子さまを乗せるときは、チャイルドシートをお使いください。お子さまの安全のために、チャイルドシートはセカンドシート、またはサードシートに取り付けてください。

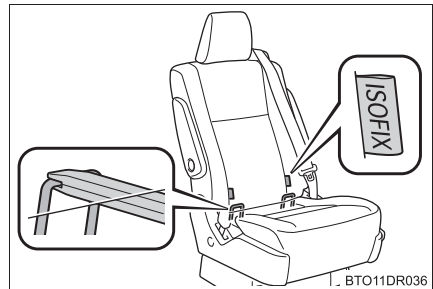
取り付け方法は、商品に付属の取扱説明書に必ず従ってください。

シートベルトによる取り付け
(→ P. 50)



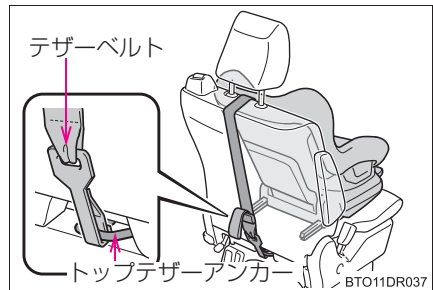
ISOFIX 対応チャイルドシート固定専用バー (→ P. 51)

セカンドシートに装備されています。
(固定専用バーが装備されていることを示すタグがシートに付いています)



トップテザーアンカー (→ P. 51)

テザーベルトを固定するときに使います。
トップテザーアンカーはセカンドシートのそれぞれの座席に装備されています。



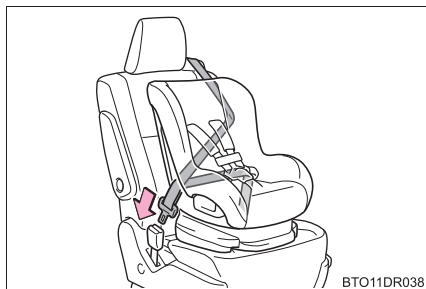
シートベルトで固定する

1 背もたれを一度前に倒し、一段目の固定位置まで起こす

2 ヘッドレストをいちばん下まで下げる (→ P. 118)

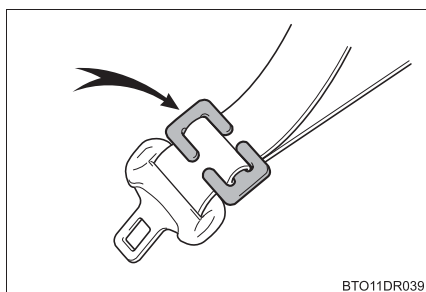
3 チャイルドシートにシートベルトを取り付け、プレートバックルに“カチッ”と音がするまで押し込む。ベルトがねじれていないようにする

チャイルドシートに付属の取扱説明書に従い、シートベルトをチャイルドシートにしっかりと固定させてください。



4 チャイルドシートにシートベルトの固定装置が備わっていない場合は、ロックングクリップ (別売) を使用して固定する

ロックングクリップの購入にあたっては、トヨタ販売店にご相談ください。(ロックングクリップ品番: 73119-22010)

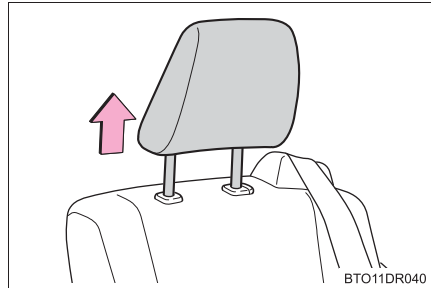


取り付け後はチャイルドシートを前後左右にゆすり、しっかりと固定されていることを確認してください。

ISOFIX 対応チャイルドシート固定専用バー&トップテザーアンカーで固定する

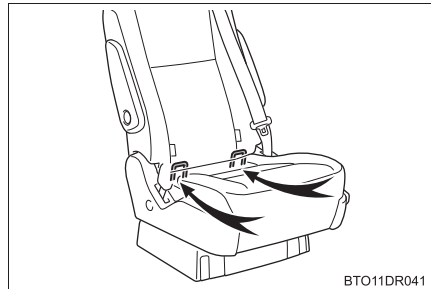
- 1 ヘッドレストをいちばん上まで上げる (→ P. 118)

チャイルドシートがヘッドレストにあたる場合は、ヘッドレストを取りはずしてください。



- 2 ISOFIX 対応チャイルドシート固定専用バーの位置を確認する

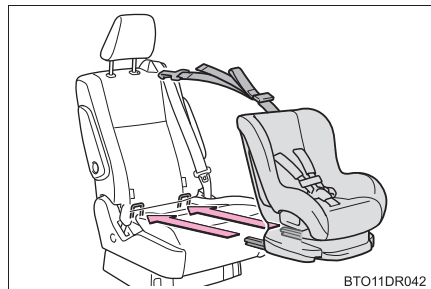
固定専用バーは、シートクッションの奥にあります。



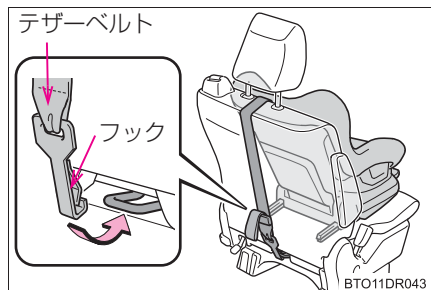
- 3 チャイルドシートをシートに取り付ける

チャイルドシートの取り付け金具をチャイルドシート固定専用バーに取り付けます。

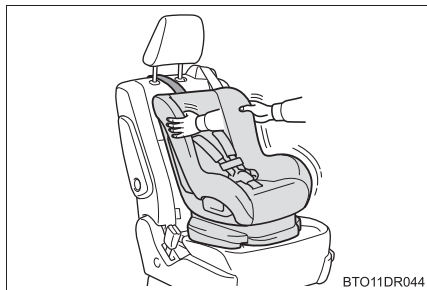
取り付け方法は、それぞれのチャイルドシートに付属の取扱説明書に従ってください。



- 4 トップテザーアンカーにフックを固定し、テザーベルトを締める
テザーベルトをピンと張り、フックがしっかり固定されていることを確認します。



- 5 取り付けしたチャイルドシートを前後左右にゆすり、固定されていることを確認する



 **警告****■チャイルドシートについて**

- 事故や急停止の際、効果的にお子さまを保護するために、必ずお子さまの年齢や体の大きさに合ったシートベルトまたはチャイルドシートを使用してください。お子さまを腕の中に抱くのはチャイルドシートのかわりにはなりません。事故の際、お子さまがフロントウインドウガラスや乗員、車内の装備にぶつかり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- お子さまの年齢や体の大きさに合ったチャイルドシートを使用して、リヤシートに取り付けてください。
- チャイルドシートに座らせている場合でも、ドア・シート・フロントピラー・リヤピラー・ルーフサイドレール付近にお子さまの頭や体のどの部分もたれかけないようにしてください。SRSエアバッグがふくらんだ場合、大変危険であり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- チャイルドシートによっては、取り付けができない、または取り付けが困難な場合があります。必ずチャイルドシートに付属の取扱説明書をよくお読みの上、確実に取り付け、使用方法をお守りください。使用方法を誤ったり、確実に固定されていないと、急ブレーキや衝突時などに、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■チャイルドシートを取り付けるとき

- お子さまをシートベルトで遊ばせないでください。万一ベルトが首に巻き付いた場合、窒息など重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
誤ってそのような状態になってしまい、バックルもはずせない場合は、ハサミなどでシートベルトを切断してください。
- シートベルトのプレートとバックルがしっかり固定されて、ベルトがねじれていないか確認してください。
- チャイルドシートを前後左右にゆすって、しっかり固定されているか確認してください。
- チャイルドシートを固定したあとは、シートを調整しないでください。

警告**■チャイルドシートを取り付けるとき**

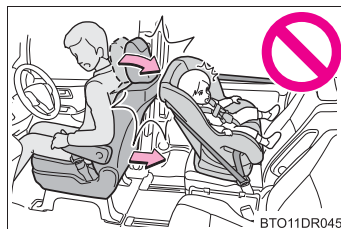
●運転席とチャイルドシートが干渉し、チャイルドシートが正しく取り付けられない場合は、助手席側のリヤ席に取り付けてください。

●助手席シートとチャイルドシートが干渉しないように、助手席シートを調整してください。

●やむを得ず助手席に前向きにチャイルドシートを取り付ける場合には、助手席シートをいちばんうしろにさげて取り付けてください。

助手席SRSエアバッグはかなりの速度と力でふくらむので、お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

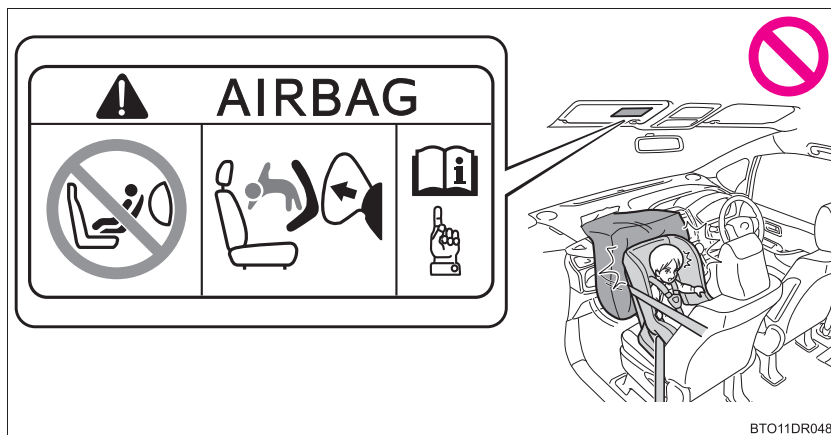
●シートの前後位置を調整するときは、手や足などを挟まないようにしてください。



警告

■チャイルドシートを取り付けるときは

- やむを得ず助手席にチャイルドシートを取り付ける場合には、チャイルドシートをうしろ向きに取り付けしないでください。
うしろ向きに取り付けていると、事故などで助手席 SRS エアバッグがふくらんだとき、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。助手席側のサンバイザーに、同内容のラベルが貼られています。併せて参照してください。



- ジュニアシートを使用している場合は、肩部ベルトが常にお子さまの肩の中心にくるようにしてください。ベルトを首から離すと共に肩から落ちないようにしてください。お守りいただかないと、事故や急ブレーキの際に重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- ISOFIX 対応チャイルドシート固定専用バーを使用するときは、周辺に障害物がないか、シートベルトが挟まっていないかなどを確認してください。

排気ガスに対する注意

排気ガスには吸引すると人体に有害な物質が含まれています。

警告

排気ガスには無色・無臭で有害な一酸化炭素（CO）が含まれているため、次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、排気ガスが車内に侵入し、多量の排気ガスが眠気を招き事故の原因となるほか、重大な健康障害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■ 走行中の留意事項

バックドアを閉じてください。

バックドアが閉じているのに車内で排気ガス臭がするときは、ドアガラスを開けて空気を入れかえ、すみやかにトヨタ販売店で点検整備を受けてください。

■ 駐車するとき

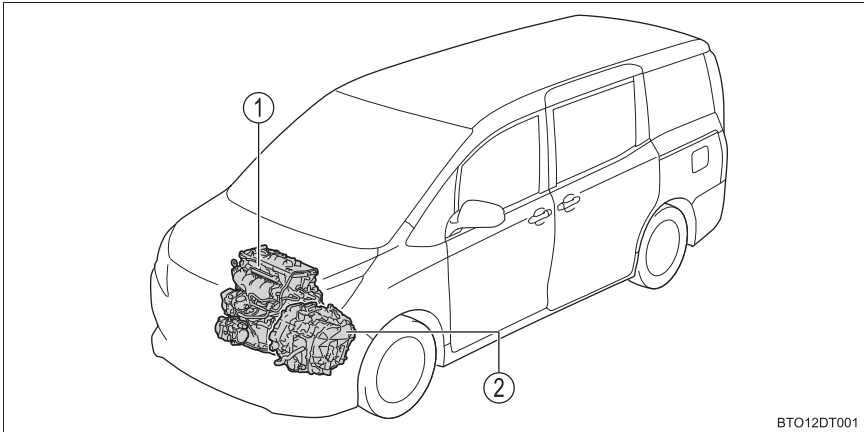
- 車庫内など換気が悪い場所や囲まれた場所では、ハイブリッドシステムを停止してください。
- 長時間ハイブリッドシステムが作動したままにしないでください。
やむを得ないときは、開かれた場所に車を止め、排気ガスが車内に入ってこないことを確認してください。
- 降雪時や雪が積もった場所では、ハイブリッドシステムが作動したままにしないでください。まわりに積もった雪で排気ガスが滞留して、車内に侵入するおそれがあります。

■ 排気管について

排気管は定期的な点検する必要があります。排気管等の腐食などによる穴や亀裂、および継ぎ手部の損傷、また、排気音の異常などに気付いた場合は、必ずトヨタ販売店で点検を受けてください。

ハイブリッドシステムの特徴

ヴォクシーのハイブリッドシステムは、電気モーターとガソリンエンジンという2つのパワーのシナジー（相乗）効果により、優れた動力性能と低燃費化の両立を高い次元で実現したシステムです。さらに、排出ガスを低減、クリーン化した環境に配慮した技術となっています。



BTO12DT001

イラストは説明のための例であり、実際とは異なります。

- ① ガソリンエンジン
- ② 電気モーター

◆ 停車時・発進時・低速走行時

停車中はガソリンエンジンを停止^{*}します。

発進時は電気モーターを使って発進します。

低速走行時や下り坂走行時もガソリンエンジンを停止^{*}し、電気モーターを使って走行します。

シフトポジションがNにあるときは駆動用電池への充電が行われません。車両停止時は必ずPにしてください。また、渋滞時などでも、DまたはBで運転してください。

^{*} 駆動用電池の充電が必要なときやエンジン暖機中など、ガソリンエンジンが自動停止しないことがあります。（→ P. 59）

◆ 通常走行時

主にガソリンエンジンを使用して走行します。

必要に応じて電気モーターを発電機として動かし、駆動用電池へ充電します。

◆ 急加速時

ガソリンエンジンに加え、駆動用電池からも電気モーターに電力を供給し、電気モーターの出力を上げ、力強く加速します。

◆ 減速時・制動時（回生ブレーキ）

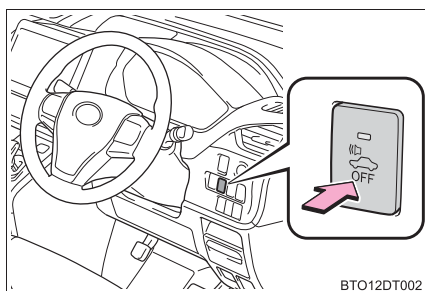
車輪が電気モーターを発電機として動かし、駆動用電池へ充電します。

車両接近通報装置

ガソリンエンジンが停止した状態での走行時、車両の接近を周囲の人に知らせるため、車速に応じた音階で音を鳴らします。車速が約 25km/h をこえると消音します。スイッチ操作で消音することもできます。

消音するには、パワースイッチが ON モードのとき、スイッチを押す

スイッチ上のインジケーターが点灯します。再度スイッチを押すと ON になります。パワースイッチを ON モードにすることで、車両接近通報装置は ON になります。



BTO12DT002

知識

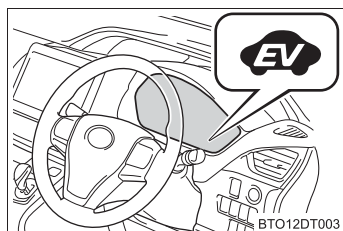
■ 回生ブレーキについて

次の場合、車の運動エネルギーを電気エネルギーに変換し、駆動用電池へ充電すると共に減速力を得ることができます。

- シフトポジションがDまたはBで走行中に、アクセルペダルから足を離れたとき
- シフトポジションがDまたはBで走行中に、ブレーキペダルを踏んだとき

■ EV 走行インジケーターについて

ガソリンエンジン停止中や、電気モーターのみで走行しているときに、EV 走行インジケーターが点灯します。



BTO12DT003

■ ガソリンエンジンの自動停止について

車両状態に応じて、ガソリンエンジンは自動的に始動・停止します。ただし、次の状態では自動停止しないことがあります。

- ガソリンエンジン暖機中
- 駆動用電池の温度が高いとき、または低いとき
- 駆動用電池充電時
- 暖房をかけているとき

■ 駆動用電池の充電について

● ガソリンエンジンの動力による充電や回生ブレーキにより、駆動用電池が充電されるため、車外からの充電は必要ありません。しかし、車両を長時間放置すると、少しずつ放電します。そのため少なくとも、2～3ヶ月に一度、約30分間または16kmほど運転してください。

万一、駆動用電池が完全に放電し、ハイブリッドシステムを始動できないときはトヨタ販売店にご連絡ください。

● シフトポジションがNのときは、駆動用電池への充電が行われません。車両停止時は必ずPにしてください。また、渋滞時などでも、DまたはBで運転してください。

■ 補機バッテリーの充電について

→ P. 324

■ 補機バッテリーがあがってしまったり、交換などで取りはずしたとき

ガソリンエンジンの自動停止が行われないことがあります。

自動停止しない状態が2～3日続く場合は、トヨタ販売店へご連絡ください。

■ハイブリッド車特有の音と振動について

ハイブリッド車は、READY インジケーターが点灯し、走行可能な状態でも、通常の車のように、エンジン音や振動がないことがあるため、走行可能な状態であることに気が付かない場合があります。安全のため、駐車時はパーキングブレーキをかけて、確実にシフトポジションをPにしてください。

ハイブリッドシステム始動前・始動後は、次のような音や振動が発生する場合がありますが、異常ではありません。

- エンジンルームからのモーター音
- ハイブリッドシステム始動時や停止時に聞こえるフロントシート下部および駆動用電池からの音
- バックドアを開けたときに聞こえる作動音
- ハイブリッドシステム始動時や停止時に聞こえるトランスミッション付近からの音
- 急加速時のエンジン音
- ブレーキペダルを踏んだときに聞こえる回生ブレーキの音
- ガソリンエンジンの始動・停止による振動
- 助手席下部にある吸入口から聞こえるファンの音
- エアコン（エアコンコンプレッサー、ファンモーター）の作動音

■車両接近通報装置について

次のような場合は、周囲の人に通報音が聞こえにくくなる場合があります。

- 周囲の騒音が大きい場合
- 雨または強風の場合

また、車両接近通報装置は車両前側にあるので、車両前方と比較して、車両後方は聞こえにくくなる場合があります。

■メンテナンスや修理・廃車について

お車のメンテナンスや修理・廃車の際は必ずトヨタ販売店にご相談ください。特に廃車する場合は、トヨタ販売店を通じて駆動用電池の回収を行っていますので、ご協力ください。

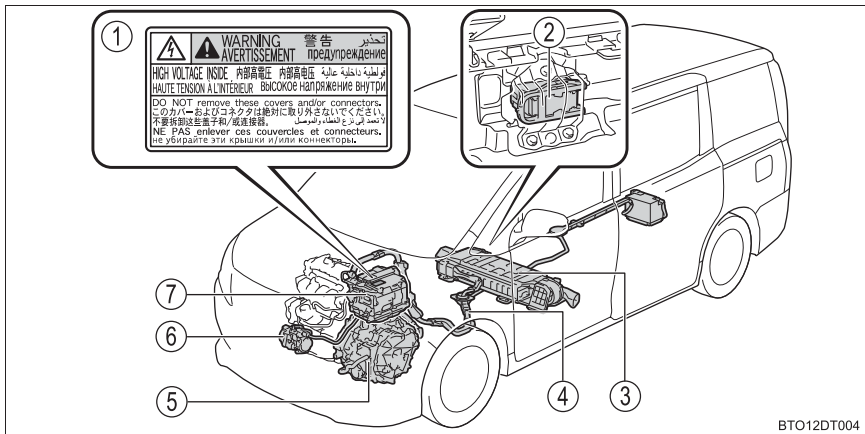
■カスタマイズ機能

車両接近通報装置の音量を大きくすることや、EV インジケーターを点灯しないように変更できます。

（カスタマイズ一覧：→ P. 342）

ハイブリッドシステムの注意

ハイブリッドシステムには、駆動用電池・パワーコントロールユニット・オレンジ色の高圧ケーブル・電気モーターなどの高電圧部位（最高約650V）や、冷却用ラジエーターなどの高温部位がありますので、ご注意ください。なお、高電圧部位などには、取り扱い上の注意を記載したラベルが貼付してありますので、ラベルの指示に従って正しい取り扱いをしてください。



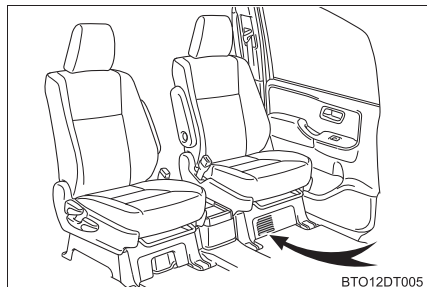
BTO12DT004

イラストは説明のための例であり、実際とは異なります。

- | | |
|------------------|------------------------------------|
| ① コーションラベル | ⑤ 電気モーター |
| ② サービスプラグ | ⑥ エアコンコンプレッサー |
| ③ 駆動用電池 | ⑦ パワーコントロールユニット・
DC / DC コンバーター |
| ④ 高電圧ケーブル（オレンジ色） | |

駆動用電池冷却用吸入口

助手席下部には、駆動用電池冷却用の吸入口があります。吸入口をふさいだりすると、駆動用電池の過熱や出力低下の原因となります。



緊急停止システム

事故により衝撃を受けたときなどは、ハイブリッドシステムを停止して高電圧を遮断します。また、フューエルポンプ制御により燃料供給を停止し、燃料もれを最小限に抑えます。この場合、ハイブリッドシステムを再始動させることができなくなるためトヨタ販売店へご連絡ください。

警告メッセージ

ハイブリッドシステムの異常やお知らせしたい事項が発生すると自動で表示されます。

警告メッセージは、マルチインフォメーションディスプレイに表示されます。

表示された画面の指示に従ってください。(→P. 280)



 知識**■ 警告灯が点灯したときや、警告メッセージが表示されたとき、または補機バッテリーとの接続が断られたとき**

ハイブリッドシステムを再始動できないおそれがあります。

もう一度始動操作をしてもREADYインジケーターが点灯しない場合はトヨタ販売店にご連絡ください。

■ ガス欠になったとき

ガス欠でハイブリッドシステムが始動できないときは、燃料残量警告灯（→ P. 278）が消灯するまで給油してから再始動してください。少量の給油では始動できない場合があります。（給油量は車両水平状態で約 8.5L です。車両の傾きによって給油量はかわります）

■ 電磁波について

- 高電圧部位や高電圧配線は、電磁シールド構造になっています。従来の車や家電製品と比べて、電磁波が多いということはありません。
- アマチュア無線の一部（遠距離通信）において、受信時に雑音が入る場合がありますので、あらかじめご了承ください。

■ 駆動用電池について

駆動用電池には寿命があります。寿命は車の使い方、走行条件により異なります。

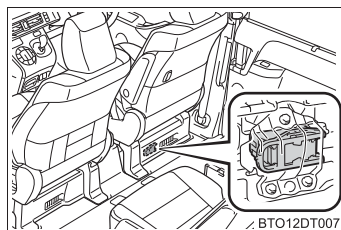
■ 適合宣言

この車両は、ECE100（バッテリー電気車両安全）に基づいた水素排出量に適合しています。

警告**■ 高電圧・高温について**

この車は、高電圧システムを使用しています。次のことをお守りいただかないと、やけどや感電など重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- 高電圧部位・高電圧の配線（オレンジ色）およびそのコネクターの取りはずし・分解などは絶対に行わないでください。
- 走行後はハイブリッドシステムが高温になります。車に貼ってあるラベルの指示に従い、常に高電圧・高温部位に注意してください。
- サービスプラグが駆動用電池に設置してあります。サービスプラグはトヨタ販売店にて車両の修理時などに、駆動用電池の高電圧を遮断するためのものです。取り扱いを誤ると感電のおそれがあるため、絶対にさわらないでください。



BTO12DT007

 **警告****■事故が発生したとき**

次のことをお守りいただかないと、感電など重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- 続発事故防止のため安全な場所に停車して、パーキングブレーキをかけ、シフトポジションを P にして、ハイブリッドシステムを停止する
- 高電圧部位・高電圧配線（オレンジ色）などには、絶対にさわらない
- 車室内および車室外に、はみ出している電気配線には絶対さわらない
- 液体の付着やもれがある場合は絶対にさわらない
駆動用電池の電解液（強アルカリ性）が目や皮膚にふれると失明や皮膚傷害のおそれがあり危険です。万一、目や皮膚に付着した場合はただちに多量の水で洗い流し、早急に医師の診察を受けてください。
- 万一、車両火災が発生したときは、ABC 消火器を使用して消火する
水をかける場合は、消火栓などから大量にかけてください。
- 前輪が接地した状態でけん引しない
電気モーターから発電され、破損の状態によっては、漏電による火災のおそれがあり危険です。（→ P. 271）
- 車の下の路面などを確認し、液体のもれ（エアコンの水以外）が見つかった場合、燃料系統が損傷している可能性があります。そのままハイブリッドシステムを始動すると燃料に引火するおそれがあり危険です。始動しないでください。
この場合は、トヨタ販売店に状況を連絡するときに併せてお伝えください。

■駆動用電池について

- 絶対に転売・譲渡・改造などをしないでください。廃車から取りはずされた駆動用電池は事故防止のため、トヨタ販売店を通じて回収を行っていますので、ご協力ください。
適切に回収されないと、次のようなことがおこり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
 - ・ 不法投棄または放置され、環境汚染となるばかりか、第三者が高電圧部位にふれてしまい、感電事故が発生する
 - ・ 装備された車両以外で駆動用電池を使用（改造などを含む）し、感電事故、発熱・発煙・発火・爆発事故、電解液漏出事故などが発生する特に、転売・譲渡などを行うと、相手にこれらの危険性が認識されず、事故につながるおそれがあります。

 **警告**

- 駆動用電池を取りはずさないままでお車を廃棄された場合、高電圧部品・ケーブル・それらのコネクタにふれると、深刻な感電の危険があります。お車を廃棄するときには、トヨタ販売店で駆動用電池を廃棄してください。駆動用電池は適切に廃棄しないと、感電を引き起こし、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

 **注意****■ 駆動用電池冷却用の吸入口について**

- 吸入口をふさぐように荷物などを置かないでください。
吸入口がふさがれると駆動用電池が過熱したり、故障の原因となります。
- 吸入口は、目づまりしないよう定期的に清掃してください。
- 吸入口に水や異物を入れないでください。
駆動用電池を損傷するおそれがあります。
- 駆動用電池周辺に多量の水をこぼさないよう注意してください。
誤ってこぼしてしまったときは、トヨタ販売店で点検を受けてください。

イモビライザーシステム

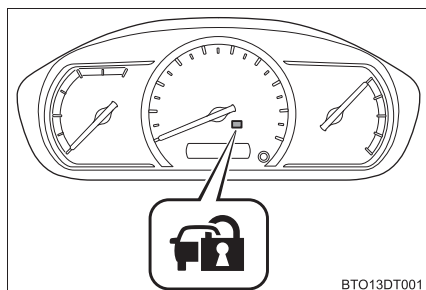
キーに信号発信機が内蔵してあり、あらかじめ登録されたキー以外ではハイブリッドシステムを始動できません。

車両から離れる場合は、車内にキーを残さないでください。

このシステムは車両盗難の防止に寄与する機能であり、すべての車両盗難に対する完全なセキュリティを保証するものではありません。

パワースイッチをOFFにすると、システムの作動を知らせるためにセキュリティ表示灯が点滅します。

登録されたキーを携帯し、パワースイッチをアクセサリモードまたはONモードにするとシステムが解除され、セキュリティ表示灯が消灯します。



知識

■ メンテナンスについて

イモビライザーシステムのメンテナンスは不要です。

■ システムが正常に作動しないとき

- キーが金属製のものに接したり、覆われているとき
- キーが他の車両のセキュリティシステム用キー（信号発信機内蔵キー）と重なっているときや接近しているとき

⚠ 注意

■ イモビライザーシステムを正常に作動させるために

システムの改造や取りはずしをしないでください。システムが正常に作動しないおそれがあります。

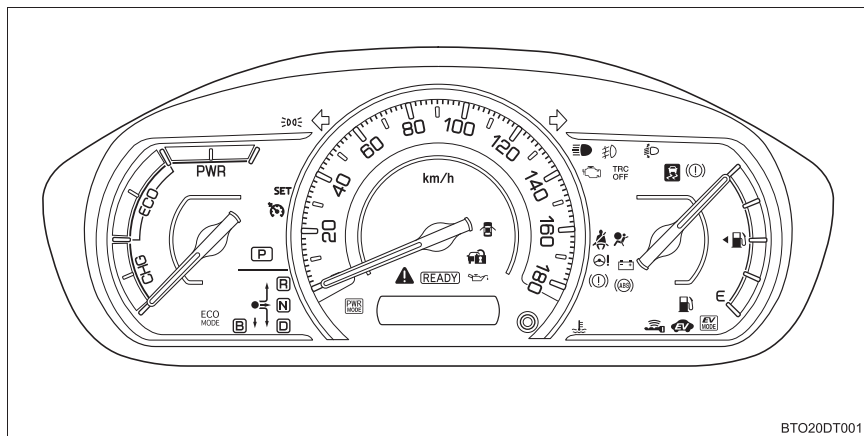
メーターの見方

2

2. 計器の見方	
警告灯／表示灯.....	70
計器類.....	74
マルチインフォメーション ディスプレイ.....	77
エネルギーモニター.....	82

警告灯／表示灯

メーター内の警告灯／表示灯でお車の状況をお知らせします。
次のイラストは、説明のためすべての警告灯／表示灯を示しています。



警告灯

システム異常などを警告します。

- | | | | |
|---|---|---|---|
| <p>※
 
 (赤色)</p> | <p>ブレーキ警告灯
 (→P. 276)</p> | <p>※
 
 (黄色)</p> | <p>電子制御ブレーキ警告灯
 (→P. 277)</p> |
| <p>※
 </p> | <p>充電警告灯 (→P. 276)</p> | <p>※
 </p> | <p>半ドア警告灯 (→P. 278)</p> |
| <p>※
 </p> | <p>油圧警告灯
 (→P. 276)</p> | <p>※
 </p> | <p>ヘッドランプ
 オートレベリング警告灯
 (→P. 277)</p> |
| <p>※
 </p> | <p>エンジン警告灯
 (→P. 276)</p> | <p>※
 </p> | <p>スリップ表示灯
 (→P. 277)</p> |
| <p>※
 </p> | <p>SRS エアバッグ/
 プリテンショナー警告灯
 (→P. 277)</p> | <p>※
 </p> | <p>燃料残量警告灯
 (→P. 278)</p> |
| <p>※
 </p> | <p>ABS & ブレーキアシスト
 警告灯 (→P. 277)</p> | <p>※
 </p> | <p>シートベルト非着用警告灯
 (→P. 278)</p> |
| <p>※
 
 (点灯
 または
 点滅)</p> | <p>高水温警告灯
 (→P. 276)</p> | <p>※
 
 (赤色/
 黄色)</p> | <p>パワーステアリング警告灯
 (→P. 277)</p> |
| <p>※
 </p> | <p>マスターウォーニング
 (→P. 278)</p> | | |

※ 作動確認のためにパワースイッチを ON モードにすると点灯し、数秒後またはハイブリッドシステムを始動すると消灯します。点灯しない場合や点灯したままのときはシステム異常のおそれがあります。トヨタ販売店で点検を受けてください。

表示灯

システムの作動状況を表示します。



方向指示表示灯
(→ P. 163)



EV ドライブモード表示灯
(→ P. 153)



ハイビーム表示灯
(→ P. 165)



PWR MODE 表示灯
(→ P. 158)



EV 走行インジケータ
(→ P. 58)



ECO MODE 表示灯
(→ P. 158)



尾灯表示灯
(→ P. 165)



READY インジケータ
(→ P. 148)



フロントフォグランプ
表示灯★ (→ P. 167)



セキュリティー表示灯
(→ P. 67)



TRC OFF 表示灯
(→ P. 179)



スマートエントリー&
スタートシステム表示灯
(→ P. 149)



スリップ表示灯
(→ P. 179)



シフトポジション表示灯
(→ P. 156)



クルーズコントロール
表示灯★ (→ P. 175)



クルーズコントロール
セット表示灯★(→P. 175)



低温表示灯
(→ P. 80)

※ 1 作動確認のためにパワースイッチを ON モードにすると点灯し、数秒後またはハイブリッドシステムを始動すると消灯します。点灯しない場合や点灯したままのときはシステム異常のおそれがあります。トヨタ販売店で点検を受けてください。

※ 2 システム作動時に点滅します。

※ 3 マルチインフォメーションディスプレイ内に表示されます。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

 知識

■ カスタマイズ機能

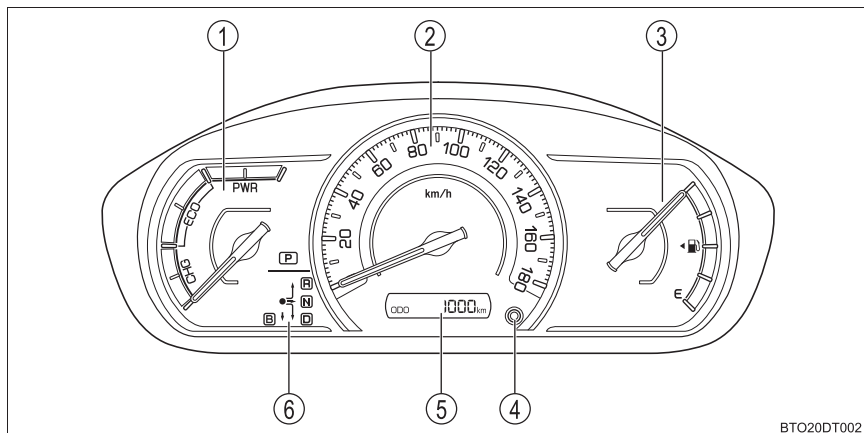
EV 走行インジケーターの設定を変更できます。
(カスタマイズ一覧：→ P. 79, 342)

 警告

■ 安全装置の警告灯が点灯しないとき

ABS や SRS エアバッグなどの安全装置の警告灯が、ハイブリッドシステムを始動しても点灯しない場合や点灯したままの場合は、事故にあったときに正しく作動せず、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。

計器類



BTO20DT002

- ① ハイブリッドシステムインジケーター
ハイブリッドシステムの出力や回生レベルを示します。(→ P. 76)
- ② スピードメーター
車両の走行速度を示します。
- ③ 燃料計
燃料残量を示します。
- ④ 表示切りかえボタン
→ P. 75
- ⑤ オドメーター、トリップメーター、メーター照度調整画面
オドメーター：
走行した総距離を km の単位で表示します。
トリップメーター：
リセットしてからの走行距離を km の単位で表示します。区間距離は、トリップ A、トリップ B の 2 種類で使い分けることができます。
メーター照度調整画面：
メーター照度の明るさを調整できます。
- ⑥ シフトポジション表示
選択されているシフトポジションを表示します。(→ P. 156)

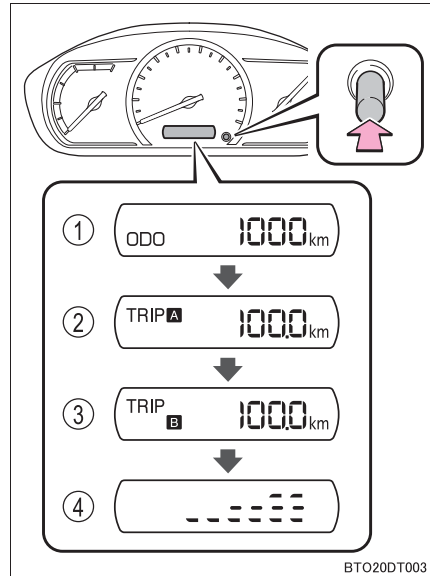
表示切りかえボタン

ボタンを押すごとに以下のように切りかわります。

- ① オドメーター
- ② トリップメーター A ※¹
- ③ トリップメーター B ※¹
- ④ メーター照度調整画面※²

※¹ 長押しで0にもどります。

※² 長押しで照度を調整できます。
車幅灯消灯時と点灯時それぞれの
明るさレベルを調整することが
できます。



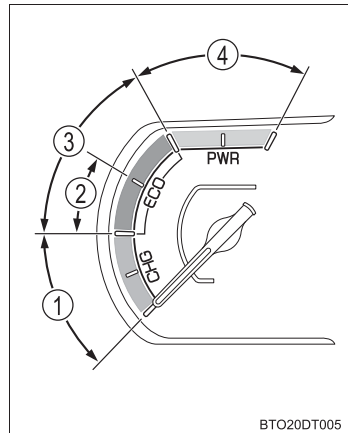
知識

■メーター・ディスプレイの作動条件

パワースイッチが ON モードのとき

■ハイブリッドシステムインジケータについて

- ① チャージエリア
回生ブレーキ機能により、エネルギーを回収している状態を示します。
- ② ハイブリッドエコエリア
ガソリンエンジンの動力を使用しない状況を多く含む状態を示します。
ガソリンエンジンは、各種の条件により自動的に停止・再始動します。
- ③ エコエリア
エコ運転（環境に配慮した走行）をしている状態を示します。
- ④ パワーエリア
全開走行時など、エコ運転の範囲をこえている状態を示します。



- インジケータの針をエコエリアに保つことで、エコ運転が可能です。
- チャージエリアは、回生[※]状態を示します。回生した電力は、駆動用電池を充電します。

※ ここでの「回生」の意味は、運動エネルギーを電気エネルギーに変換することです。

⚠ 注意

■ハイブリッドシステムや構成部品への損傷を防ぐために

この車両には、水温計のかわりに高水温警告灯（→ P. 276）が装備されています。高水温警告灯が点滅または点灯したときは、オーバーヒートのおそれがあるため、ただちに安全な場所に停車してください。完全に冷えたあと、ハイブリッドシステムを確認してください。（→ P. 328）

マルチインフォメーションディスプレイ

マルチインフォメーションディスプレイは、外気温や走行に関するさまざまな情報を表示します。



ドライブインフォメーション

走行に関するさまざまな情報を表示します。



エアコン

フロントエアコン、リヤエアコン★の温度・風量・吹き出し口の設定ができます。



時計表示

- ・ 3種類のアナログ表示を選択できます。
- ・ 12時間／24時間表示を選択できます。
- ・ “時”、“分”を調整できます。



メッセージ

車両に異常が発生した場合に、内容・対処法などのメッセージを表示します。
(→ P. 280)



設定、操作ガイド

- ・ メーターの表示設定などを切りかえることができます。(→ P. 79)
- ・ ステアリングスイッチの操作を説明します。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

◆ 操作方法

メーター操作スイッチを使って次のように操作します。

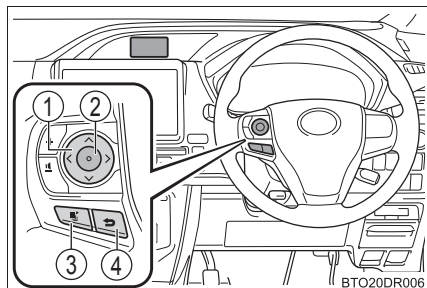
- ① 選択 / ページ送り
- ② 決定 / 設定
- ③ 単押し：スイッチに登録した画面を表示する

未登録時はドライブインフォメーション画面を表示します。

長押し：表示中の画面をスイッチに登録する

登録画面が表示されます。登録できない画面を選択しようとした場合は、登録不可のメッセージが現れます。

- ④ ひとつ前の階層にもどる



ドライブインフォメーション

■ 瞬間燃費

現在の瞬間燃費とリセット間平均燃費を表示します。



■ 航続可能距離

現在の燃料残量で走行できるおおよその距離を表示します。

- ・ 表示される距離は過去の平均燃費をもとに算出されるため、表示される距離を実際に走行できない場合があります。
- ・ 燃料給油量が少量の場合、表示が更新されないことがあります。
給油の際はパワースイッチを OFF にしてください。万一、パワースイッチを OFF にせず給油した場合、表示が更新されないことがあります。

■ リセット間平均燃費

リセット後の平均燃費（参考）を表示します。

リセットするには、決定 / 設定スイッチを長押しします

■ 1 分間燃費

1 分間ごとの燃費を表示します。

■ エネルギーモニター

車両駆動状況、ハイブリッド作動状況およびエネルギーの回収状況を表示します。(→ P. 82)

設定

■ 言語

表示される言語を選択することができます。

■ 単位

燃費表示の単位を選択することができます。

■ EV 表示

EV 走行インジケータの表示・非表示を選択することができます。

■ 割込表示★

状況に応じて割り込み表示される項目の表示・非表示を選択することができます。

- ・ S-FLOW 割込み表示
- ・ 着信割込み表示

■ スイッチ設定



スイッチにお好みの項目を登録する方法を表示します。

お好みの項目を登録しておくと、 スイッチを押したときに登録した項目を表示させることができます。

■ 時計表示切替 (12H / 24H)

12 時間 / 24 時間表示を選択できます。

■ 時刻調整

“時”、“分”を調整できます。

時刻調整スイッチによる調整 (→ P. 218)

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

■ カラー

カーソル色を選択することができます。

■ 照度調整

10段階から選択できます。


■ 初期化

すべての設定項目を初期状態にもどすことができます。

知識

■ 外気温表示について

次の場合は、正しい外気温度が表示されなかったり、温度表示の更新が遅くなったりすることがありますが、故障ではありません。

- 停車しているときや、低速走行（約 20km/h 以下）のとき
- 外気温度が急激に変化したとき（車庫・トンネルの出入り口付近など）
- “-” または “E” が表示されたときは、システム故障のおそれがあります。トヨタ販売店で点検を受けてください。
- 外気温度が約 3℃ 以下のときは、外気温度表示の横に  が表示されます。

■ 補機バッテリー端子の脱着をしたとき

補機バッテリー端子の脱着を行うとき、次のデータはリセットされます。

- 平均燃費
- 航続可能距離

■ 設定画面の操作について

設定画面操作中に次の状況になると操作が一時中断されます。

- 警告メッセージが表示されたとき
- 走行し始めたとき

■ 液晶ディスプレイについて

ディスプレイに小さな斑点や光点が表示されることがあります。これは液晶ディスプレイ特有の現象でそのまま使用しても問題ありません。

 **警告****■ 低温時の画面表示について**

画面の温度が極めて低いときは、画面表示の切りかえが遅れる場合がありますので、車室内を暖めてからご使用ください。

■ ディスプレイの設定を変更するとき

ハイブリッドシステムが作動した状態で操作を行うため、車庫内など囲まれた場所では、十分に換気をしてください。換気をしないと、排気ガスが充満し、排気ガスに含まれる一酸化炭素（CO）により、重大な健康障害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

 **注意****■ ディスプレイの設定を変更するとき**

補機バッテリーあがりを起こす可能性がありますので、確実にハイブリッドシステムが作動している状態で実施してください。

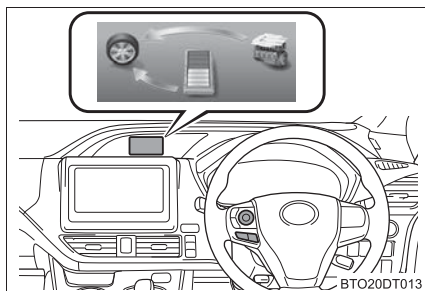
エネルギーモニター

ハイブリッドシステムの状態を、マルチインフォメーションディスプレイに表示します。

エネルギーモニターの見方

■ マルチインフォメーションディスプレイ表示

メーター操作スイッチを使ってエネルギーモニターを表示させる



	マルチインフォメーションディスプレイ
電気のエネルギーで走行しているとき	
ガソリンと電気の両方のエネルギーで走行しているとき	
ガソリンのエネルギーで走行しているとき	
駆動用電池に充電しているとき	
	
エネルギーの流れがないとき	
駆動用電池の残量表示	少ない 多い 

表示画面については実際の状況とわずかに異なる場合があります。

各部の操作**3**

3-1. キー	
キー	86
3-2. ドアの開閉、ロックのしかた	
フロントドア	90
スライドドア	93
バックドア	104
スマートエントリー& スタートシステム	109
3-3. シートの調整	
フロントシート	114
セカンドシート	115
サードシート	117
ヘッドレスト	118
シートアレンジ	121
3-4. ハンドル位置・ミラー	
ハンドル	127
インナーミラー	129
ドアミラー	130
3-5. ドアガラスの開閉	
パワーウィンドウ	133

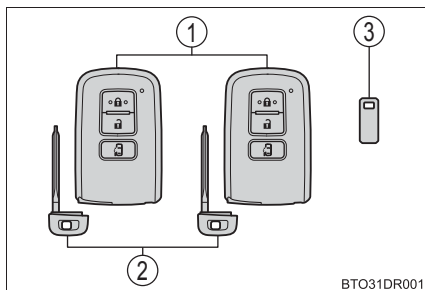
キー

キーについて

お客様へ次のキーをお渡しします。

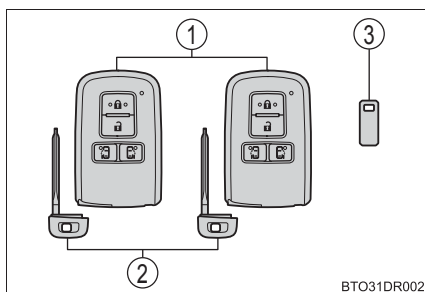
▶ タイプ A

- ① 電子キー
 - ・スマートエントリー&スタートシステムの作動
(→ P. 109)
 - ・ワイヤレス機能の作動
(→ P. 86)
- ② メカニカルキー
- ③ キーナンバープレート



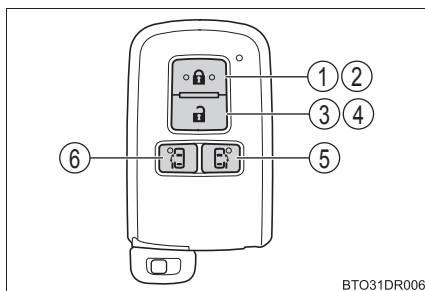
▶ タイプ B

- ① 電子キー
 - ・スマートエントリー&スタートシステムの作動
(→ P. 109)
 - ・ワイヤレス機能の作動
(→ P. 86)
- ② メカニカルキー
- ③ キーナンバープレート



ワイヤレスリモコン

- ① ドアの施錠 (→ P. 90)
- ② ドアガラスを閉める*
(→ P. 90)
- ③ ドアの解錠 (→ P. 90)
- ④ ドアガラスを開く*
(→ P. 90)



- ⑤ 運転席側パワースライドドア★を開ける (→ P. 94)
- ⑥ 助手席側パワースライドドアを開ける (→ P. 94)

*カスタマイズ機能での設定変更が必要です。(→ P. 342)

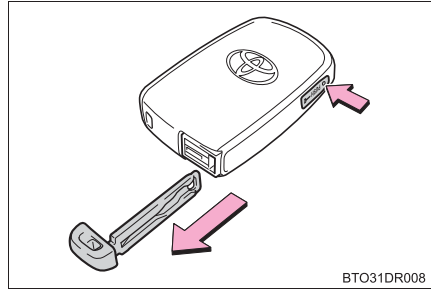
★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

メカニカルキーを使うには

メカニカルキーを取り出すには、解除ボタンを押してキーを取り出す

メカニカルキーは挿し込み方向に指定のある片溝キーです。キーシリンダーに挿し込めないときは、キー溝面の向きをかえて挿し込んでください。

使用後はもとにもどし、電子キーと一緒に携帯してください。電子キーの電池が切れたときやスマートエントリー&スタートシステムが正常に作動しないとき、メカニカルキーが必要になります。(→ P. 320)



知識

■メカニカルキーを紛失したとき

キーナンバープレートに打刻されたキーナンバーと残りのキーから、トヨタ販売店でトヨタ純正品の新しいキーを作ることができます。

キーナンバープレートは車の中以外の安全な場所（財布の中など）に保管してください。

■航空機に乗るとき

航空機にキーを持ち込む場合は、航空機内でキーのスイッチを押さないでください。また、かばんなどに保管する場合でも、簡単にスイッチが押されないように保管してください。スイッチが押されると電波が発信され、航空機の運行に支障をおよぼすおそれがあります。

■ 電池の消耗について

- 電池の標準的な寿命は 1 ～ 2 年です。
- 電池残量が少なくなると、ハイブリッドシステムを停止した際に車内から警告音が鳴ります。(→ P. 293)
- 電子キーは常に電波を受信しているため、使用していないあいだでも電池が消耗します。次のような状態になったときは、電池が消耗している可能性があります。新しい電池に交換してください。
 - ・ スマートエントリー&スタートシステムやワイヤレスリモコンが作動しない
 - ・ 作動範囲が狭くなった
 - ・ 電子キーの LED が点灯しない
- 電池の著しい消耗を防ぐため、次のような磁気を発生する電化製品の1m以内に電子キーを保管しないでください。
 - ・ TV
 - ・ パソコン
 - ・ 携帯電話やコードレス電話機、および充電器
 - ・ 電気スタンド
 - ・ 電磁調理器

■ 電池の交換方法

→ P. 249

■ キー登録本数の確認について

車両に登録されたキーの本数を確認することができます。詳しくはトヨタ販売店へご相談ください。

 **注意****■ キーの故障を防ぐために**

- 落としたり、強い衝撃を与えたり、曲げたりしない
- 温度の高いところに長時間放置しない
- めらしたり超音波洗浄器などで洗ったりしない
- キーに金属製または磁気を帯びた製品を取り付けたり、近付けたりしない
- 分解しない
- 電子キー表面にシールなどを貼らない
- テレビやオーディオ・電磁調理器などの磁気を帯びた製品や、低周波治療器などの電気医療機器の近くに置かない

■ キー取り扱いの注意

電子キーは電波法の認証に適合しています。必ず次のことをお守りください。

- 電池交換時以外は、不用意に分解しないでください。
分解・改造したものを使用することは法律で禁止されています。
- 必ず日本国内でご使用ください。

■ キーを携帯するとき

電源を入れた状態の電化製品とは 10cm 以上離して携帯してください。10cm 以内にあると電化製品の電波と干渉し正常に機能しない場合があります。

■ スマートエントリー&スタートシステムの故障などで販売店に車両を持っていくとき

車両に付属しているすべての電子キーをお持ちください。

■ 電子キーを紛失したとき

電子キーを紛失した状態で放置すると、盗難の危険性が極めて高くなります。車両に付属している残りの電子キーをすべてお持ちのうえ、ただちにトヨタ販売店にご相談ください。

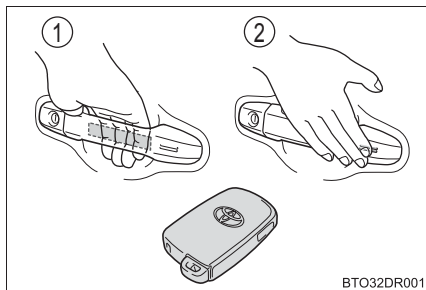
フロントドア

車外からの解錠／施錠

◆ スマートエントリー&スタートシステム

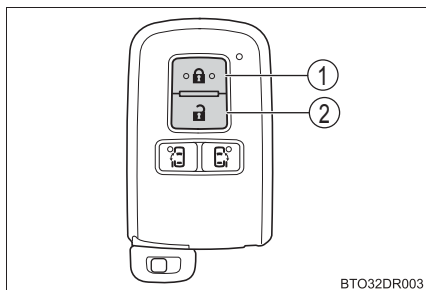
電子キーを携帯して操作します。

- ① ハンドルを使って解錠する
ハンドル裏面のセンサー部に確実にふれてください。
施錠操作後 3 秒間は解錠できません。
- ② ドアハンドル表面のロックセンサー部（ハンドルのくぼみ部）にふれ施錠する



◆ ワイヤレスリモコン

- ① 全ドアを施錠する
押し続けるとドアガラスが閉まります。
※
 - ② 全ドアを解錠する
押し続けるとドアガラスが開きます。
※
- ※ カスタマイズ機能での設定変更が必要です。（→ P. 342）



知識

■ 作動の合図

ドア：ブザーと非常点滅灯の点滅で知らせます。（施錠は 1 回、解錠は 2 回）

ドアガラス：ブザーで知らせます。

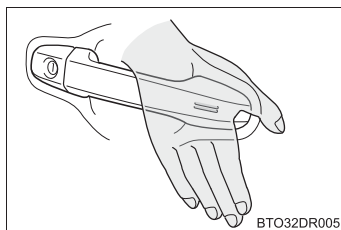
■ 解錠操作のセキュリティ機能

解錠操作後、約 30 秒以内にドアを開けなかったときは盗難防止のため自動的に施錠されます。

■ ドアハンドル表面のロックセンサーで施錠できないときは

ドアハンドル表面のロックセンサーに指でふれても施錠できないときは、手のひらでロックセンサーにふれてください。

手袋を着用しているときは、手袋をはずしてください。



BTO32DR005

■ 半ドア警告ブザー

ドアが完全に閉まっていない状態でドアを施錠しようとする、ブザーが鳴ります。

ドアを完全に閉めてから、もう一度施錠してください。

■ スマートエントリー&スタートシステムやワイヤレスリモコンが正常に作動しないとき

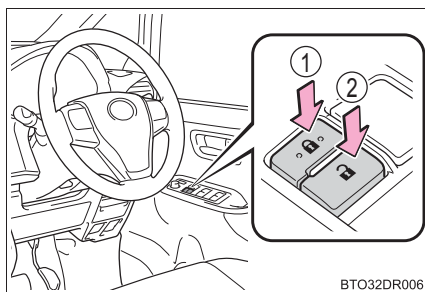
メカニカルキーを使ってドアの施錠・解錠ができます。(→ P. 320)

電子キーの電池が消耗しているときは、電池を交換してください。(→ P. 249)

車内からの解錠・施錠

◆ ドアロックスイッチ

- ① 全ドアを施錠する
- ② 全ドアを解錠する

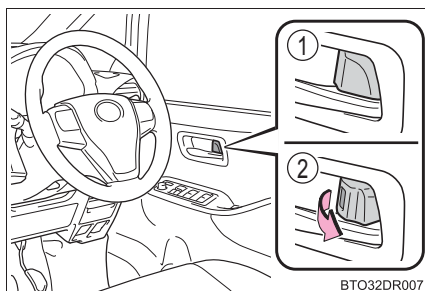


BTO32DR006

◆ ロックレバー

- ① ドアを施錠する
- ② ドアを解錠する

運転席ドアは、ロックレバーが施錠側になっていても、車内のドアレバーを引くと開きます。



BTO32DR007

キーを使わずに外側から運転席ドアを施錠するとき

- 1 ロックレバーを施錠側にする
- 2 ドアハンドルを引いたままドアを閉める

パワースイッチがアクセサリモードまたは ON モードのときや、車内に電子キーが放置されているときは施錠されません。

キーが正しく検知されずに施錠される場合があります。

知識

■メカニカルキーでの施錠・解錠

メカニカルキーを使ってドアの施錠・解錠ができます。(→ P. 320)

■スマートエントリー&スタートシステムやワイヤレスリモコンが正常に働かないおそれのある状況

→ P. 111

警告

■事故を防ぐために

運転中は次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、不意にドアが開き、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- すべてのドアを確実に閉め、施錠する
- 走行中はドア内側のドアレバーを引かない
ドアが開き車外に放り出されるおそれがあります。
特に、運転席はロックレバーが施錠側になっていてもドアが開くため、注意してください。

■ドアを開閉するときの留意事項

傾斜地・ドアと壁などのあいだが狭い場所・強風など、周囲の状況を確認し、予期せぬ動きにも対処できるよう、ドアハンドルを確実に保持してドアを開閉してください。

■ワイヤレスリモコンを使ってドアガラスを操作するとき

ドアガラスに人が挟まれるおそれがないことを確認してから操作してください。またお子さまには、ワイヤレスリモコンによる操作をさせないでください。お子さまや他の人がドアガラスに挟まれたり巻き込まれたりするおそれがあります。

スライドドア

車外からの解錠／施錠

◆ スマートエントリー&スタートシステム

→ P. 90

◆ ワイヤレスリモコン

→ P. 90

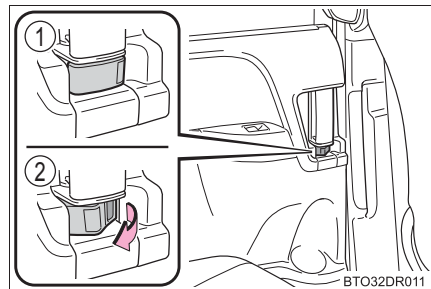
車内からの解錠・施錠

◆ ドアロックスイッチ

→ P. 91

◆ ロックレバー

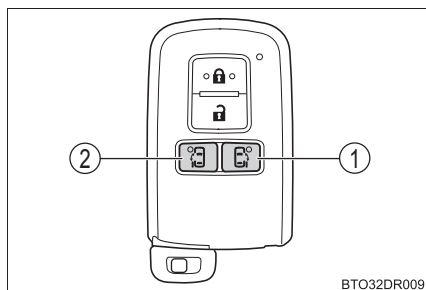
- ① 施錠
- ② 解錠



車外からスライドドアを開閉する

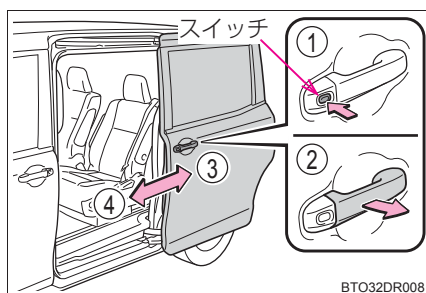
◆ ワイヤレスリモコン

- ① 運転席側パワースライドドアを開閉する★（長押し）
- ② 助手席側パワースライドドアを開閉する（長押し）



◆ スライドドアハンドル

- ① スイッチを押して開閉する
 - ・ ドア施錠時：電子キーを携帯し、スイッチを押すとスライドドアが開きます。
 - 電子キーの検知エリア内（→ P. 109）でスイッチを押さないと、スライドドアは開きません。
 - ・ ドア解錠時：電子キーを携帯していなくても、スイッチを押すとスライドドアが開きます。



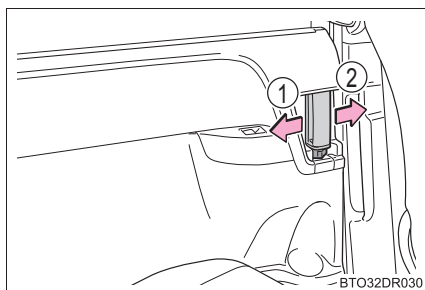
- ② ドアハンドルを引いて開閉する
ロックが解除するまで確実にドアハンドルを引きます。
- ③ 開く
- ④ 閉じる

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

車内からスライドドアを開閉する

◆ インサイドドアハンドル

- ① 開く
- ② 閉じる

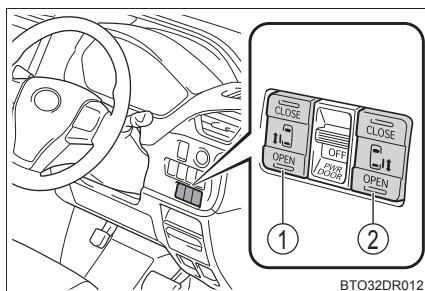


◆ パワースライドドアスイッチ

- ① 助手席側 (スイッチを長押しして開閉します)
- ② 運転席側★ (スイッチを長押しして開閉します)

開閉作動中に再度スイッチを押すと、作動停止します。

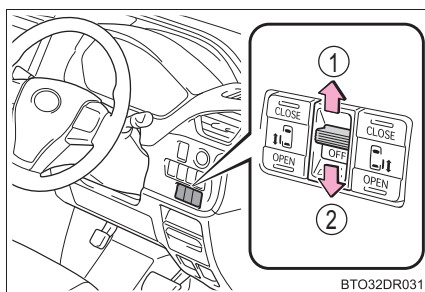
ただし、作動開始から約 1 秒間は停止作動に切りかわりません。



パワースライドドアを使用するときは

パワースライドドアメインスイッチを ON にする

- ① OFF
- ② ON



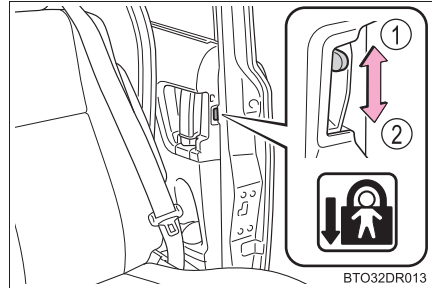
★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

チャイルドプロテクター

施錠側になると、スライドドアが車内から開かなくなります。

- ① 解錠
- ② 施錠

お子さまが車内からスライドドアを開けられないようにできます。



知識

■ 作動の合図

パワースライドドア: ブザーで知らせます。(作動開始時に 1 回、閉作動中は継続)

■ 解錠操作のセキュリティ機能

解錠操作後、約 30 秒以内にドアを開けなかったときは盗難防止のため自動的に施錠されます。

■ チャイルドプロテクター使用時のドアの開け方

ドアを解錠して車外のドアハンドルを引くと開きます。万一、車内から開ける場合は、ドアガラスを下げて手を出し、車外のドアハンドルを引いてください。

■ 中間ストッパー

給油口が開いていると、スライドドアは途中までしか開きません。(中間ストッパー位置で停止します) 中間ストッパー位置で停止したスライドドアを全開にするときは、給油口を閉じ、いったんスライドドアを全閉にしてから、再度スライドドアを開けてください。

■スライドドアイーゼークローザー

スライドドアが半ドア状態になったとき、イーゼークローザーが作動し、スライドドアが自動で完全に閉まります。

- パワースイッチが OFF になっていても、イーゼークローザーは作動します。
- 車内や車外のドアハンドルを引いたままドアを閉めたときは、イーゼークローザーが作動しないことがあります。
- イーゼークローザーが作動中でも、車内のドアハンドルや車外のドアハンドルを引いてドアを開けることができます。(ロックレバーやチャイルドプロテクターが施錠側のときを除く)

■パワースライドドアの作動可能条件

パワースライドドアメインスイッチが ON で、次の作動条件をすべて満たしているときに、自動で開閉できます。

- スライドドアのドアロックが解錠されている (閉作動を除く)
- 給油口が閉じている (助手席側パワースライドドアのみ)
- パワースイッチが ON モードのときは上記に加え、車速が 3km/h 以下かつ次のいずれかの条件を満たしていることが必要です。ただし、ワイヤレスリモコンによる開閉はできません。
 - ・ シフトポジションが P のとき
 - ・ パーキングブレーキがかかっているとき
 - ・ ブレーキペダルを踏んでいるとき

■パワースライドドアの作動について

- パワースライドドアメインスイッチが ON のとき、ハンドルを操作してブザーが鳴る位置まで操作すると自動で作動します。閉作動中は、ブザーが断続的に鳴ります。
 - パワースライドドアメインスイッチが OFF のときは、パワースライドドアは作動しませんが、手動で開閉できます。
 - パワースライドドアの自動開閉中に、人や異物などにより挟み込みを感知すると、ブザーが鳴り、10cm 位反転作動したあとに作動を停止します。停止後にパワースライドドアを操作すると、次のように作動します。
 - 逆方向に動く：
 - ・ アウトサイドドアハンドルを引く、またはスライドドアハンドルのスイッチを押す
 - 開方向に動く：
 - ・ インサイドドアハンドルを開方向に引く、またはパワースライドドアスイッチ (OPEN) を押す
 - 閉方向に動く：
 - ・ インサイドドアハンドルを閉方向に引く、またはパワースライドドアスイッチ (CLOSE) を押す
- 挟み込み防止機構作動後、電子キーのスライドドア開閉スイッチを押しても、パワースライドドアは作動しません。

■ 給油口開警告ブザー

- 給油口が開いているときに、自動で助手席側パワースライドドアを開けようとするると作動を中止します。
- 助手席側パワースライドドア開閉中に給油口を開けるとブザーが鳴り、手動操作に切りかわります。このとき約 8 秒間スライドドアにブレーキをかけ、ドアの速度を抑制します。

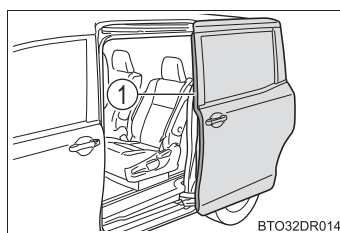
■ 補機バッテリーを再接続したときは

パワースライドドアを適切に作動させるために、下記の初期設定を行ってください。

- スライドドアのドアハンドルを操作して、手動で一度全閉にします。

■ 挟み込み防止機構

パワースライドドアの前端部には、センサー（①）が付いています。ドアを自動で閉めているときに、挟み込みなどによりセンサーが押されると挟み込み防止機構が作動し、ドアは 10cm 位反転作動したあとに停止します。



■ パワースライドドア作動中のワイヤレスロック機能

スライドドアを除くすべてのドアが閉まっている状態で、パワースライドドアが自動閉作動中にワイヤレスリモコンで施錠操作を行うと、スライドドアを除くすべてのドアが施錠され、スライドドアも閉まると同時に施錠されます。

 **警告****■ 走行中の警告**

走行中は次のことをお守りください。

お守りいただかないと思ってもよらずドアが開き、外に投げ出されるなどして、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- シートベルトを必ず着用する
- すべてのドアを施錠する
- すべてのドアを確実に閉める
- 走行中はドア内側のドアハンドルを操作しない
- お子様を乗せるときは、チャイルドプロテクターを使用してドアが開かないようにする

■ お子さまを乗せているときは

次のことをお守りください。

お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- お子さまを車内に残さないでください。
誤って閉じ込められた場合、熱射病などを引き起こすおそれがあります。
- お子さまにはスライドドアの開閉操作をさせないでください。
不意にパワースライドドアが作動したり、閉めるときに手・頭・首などを挟んだりするおそれがあります。(パワースライドドアメインスイッチを OFF にする。もしくは、スライドドアのドアロックを施錠することでパワースライドドアは作動しません)

■ スライドドアの操作にあたって

次のことを必ずお守りください。

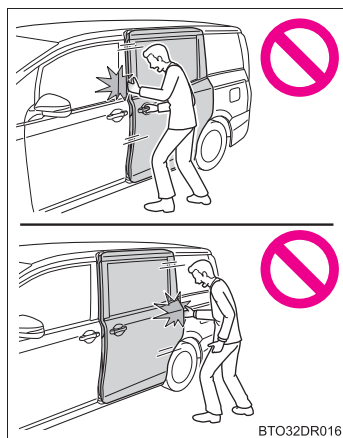
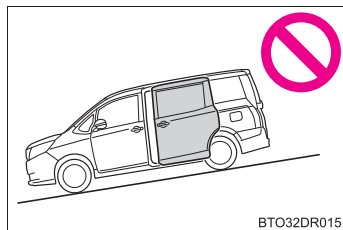
お守りいただかないと、体を挟むなどして生命にかかわる重大な傷害につながるおそれがあります。

- 乗り降りするときは、ドアが全開位置であることを確認してください。
- スライドドアを開閉するときは、十分に周囲の安全を確かめてください。
- ドアガラスを開けた状態でスライドドアを開閉するときは、窓から手・足・顔などを出さないでください。
- 人がいるときは安全を確認し動かすことを知らせる「声かけ」をしてください。
- スライドドアを開けるときは、必ず全開位置まで開き固定してください。(全開にするとスライドドアがストッパーで固定されます)半開状態ではスライドドアが確実に固定されないため、傾斜地などで不意に動き出すおそれがあります。

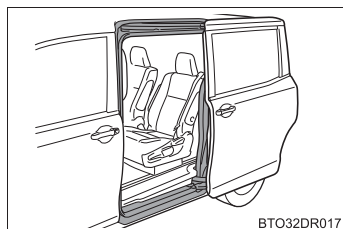
警告

■ スライドドアの操作にあたって

- 車内からスライドドアにもたれかからないでください。スライドドアを開いたとき、車外へ落ちるなど思わぬ事故につながるおそれがあります
- スライドドアが給油口ストッパーの位置で停止した場合、スライドドアは固定されません。坂道などではドアが不意に動き出すおそれがありますので、十分注意してください。
- 傾斜した場所ではスライドドアの開閉スピードが速くなります。ドアが体にあたったり挟んだりしないように注意してください。
- 下り坂で乗り降りするときは、スライドドアを全開にしておいてください。また、途中でドアハンドルやハンドルスイッチを操作しないでください。ドアが突然動き出すおそれがあります。
- スライドドアを閉めるときは、指などを挟まないよう十分注意してください。



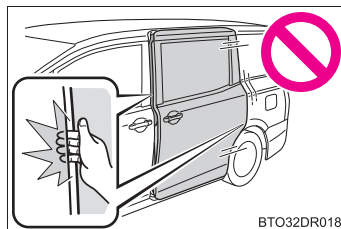
- スライドドアのアーム、レール、ピラー部および配線部には、手足をかけないでください。



警告

■ スライドドアイージークローザーについて

- スライドドアが半ドア状態になったとき、アイージークローザーが作動し自動で完全に閉まります。また、作動し始めるまでに数秒かかります。指などを挟まないように注意してください。骨折など重大な傷害を受けるおそれがあります。(→ P. 97)



- アイージークローザーは、パワースライドドアメインスイッチが OFF であっても作動するため、指などの挟み込みには十分注意してください。
- ロックレバーが施錠側のとき、アイージークローザー作動中にインサイドドアハンドルを引いても作動は停止しません。指などを挟まないように注意してください。骨折など重大な傷害を受けるおそれがあります。

■ パワースライドドアについて

パワースライドドアの操作時は、次のことを必ずお守りください。お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- パワースライドドア作動中に乗り降りしないでください。
- ドアハンドルを使ってパワースライドドアを開閉するときは、操作後すぐにドアハンドルから手を離してください。ドアハンドルを握ったままスライドドアが作動すると、手・指・腕などに無理な力がかかるおそれがあるので十分注意してください。
- 周辺の安全を確かめ、障害物がないか、身のまわりの品が挟み込まれる危険がないか確認してください。
- 人がいるときは、作動させる前に安全を確認し、動かすことを知らせる「声かけ」をしてください。
- 自動開閉中にパワースライドドアメインスイッチを OFF にすると、作動が停止し手動操作に切りかわります。この場合、傾斜した場所では、スライドドアが急に開いたり閉じたりするおそれがあるので、十分注意してください。
- 自動開閉中に作動可能条件(→ P. 97)を満たさなくなったときは、ブザーが鳴り、作動が停止し手動操作に切りかわる場合があります。この場合、坂道などの傾斜した場所ではスライドドアが急に開いたり閉じたりするおそれがあるので、十分注意してください。
- 自動開閉中、または全開以外のときは、ドアが急に反転作動したり、動きだすおそれがあります。必ず全開で静止していることを確認してください。

 **警告****■ パワースライドドアについて**

- 次のような場合、システムが異常と判断して自動作動が停止し、手動操作に切りかわることがあります。この場合、傾斜した場所では、スライドドアが急に開いたり閉じたりするおそれがあるので、十分注意してください。
 - ・ 自動作動中、障害物に干渉したとき
 - ・ ハイブリッドシステム停止時でパワースライドドアが自動作動しているときに、パワースイッチを ON モードにしたたりハイブリッドシステムを始動したりして、補機バッテリー電圧が急に低下したとき
- タイヤ交換や洗車機を使用する際は、パワースライドドアメインスイッチを OFF にしてください。OFF にしないと、いたずらや誤ってスイッチにふれたときにスライドドアが動き、指や手などを挟んでけがをするおそれがあります。
- ドアガラスを開けた状態で自動開閉するときは、絶対に窓から手足や顔などを出さないでください。

■ 挟み込み防止機能

次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- 挟み込み防止機構を故意に作動させようとして、体の一部を挟んだりしないでください。
- 挟み込み防止機能は、スライドドアが完全に閉まる直前に異物を挟むと作動しない場合があります。指などを挟まないように注意してください。
- 挟み込み防止機能は、挟まれるものの形状や挟まれかたによっては作動しない場合があります。指などを挟まないように注意してください。

 **注意****■ パワースライドドア作動中のワイヤレスロック機能**

パワースライドドア作動中のワイヤレスロック機能使用時、施錠操作をしたあとに、ワイヤレスリモコンを車内にもどすと、車内にワイヤレスリモコンが閉じ込められることがあります。

パワースライドドア作動中のワイヤレスロック機能を使用するときは、必ずワイヤレスリモコンを携帯した状態で行ってください。

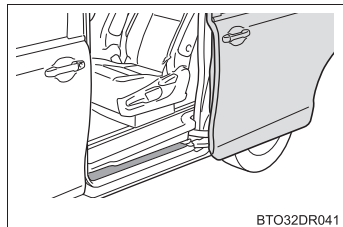
車から離れるときは、すべてのドアが閉まり施錠されたことを確認してください。

⚠ 注意

■ スライドドアについて

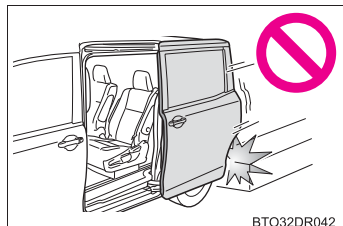
- スライドドアを開閉する前に、運転者はスライドドアが安全に開閉できるように車外および車内のスライドドア付近の状態を必ず確認してください。
- 走行するときやドアを開閉するときは、ジュースなどが入っている紙コップやガラス製のコップなどを収納しないでください。

- スライドドアのリヤステップ下のローラー滑走面に、石などの異物が入り込まないように注意してください。異物が入り込んだままスライドドアを開閉すると、スライドドアの故障の原因になります。



BTO32DR041

- スライドドアを開けるときは縁石や壁などにあたらないように注意してください。スライドドアを損傷するおそれがあります。



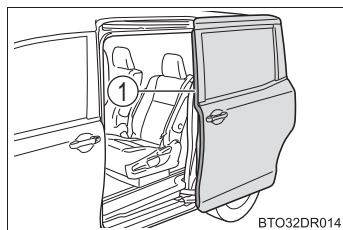
BTO32DR042

■ スライドドアイージークローザーについて

- イージークローザーの作動中は無理な力をかけないでください。
- ドアの開け閉めを短時間にくり返すとイージークローザーが作動しないことがあります。この場合、1度ドアを開け、少し時間をおいてから閉め直すと作動します。

■ パワースライドドアについて

パワースライドドア前端部のセンサー(①)を刃物などの鋭利なもので傷付けないよう注意してください。センサーが切断されると自動で閉めることができなくなります。また、自動で閉めているときにセンサーが切断されると、ドアはただちに停止します。



BTO32DR014

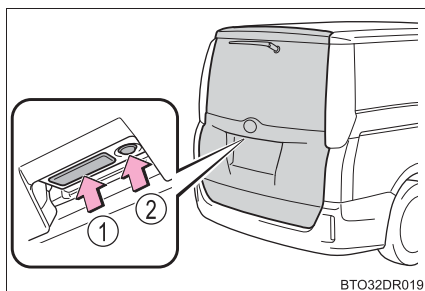
バックドア

バックドアは次の方法で解錠・施錠および開けることができます。

車外からの解錠／施錠

◆ スマートエントリー&スタートシステム

- ① 解錠
- ② 施錠



◆ ワイヤレス機能

→ P. 90

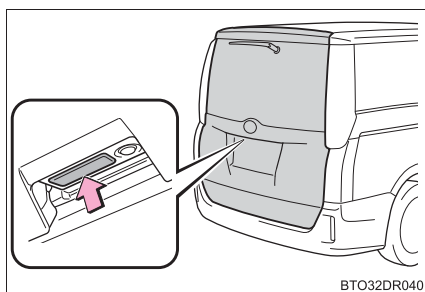
車内からの解錠・施錠

◆ ドアロックスイッチ

→ P. 91

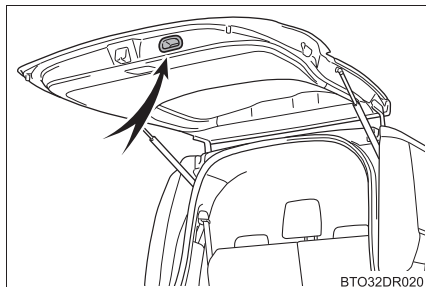
車外からバックドアを開ける

バックドアオープンスイッチを押したまま、バックドアを持ち上げる



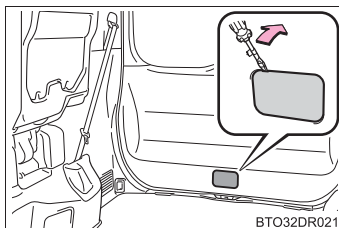
バックドアを閉めるときは

バックドアハンドルを持ってバックドアを引き下げ、必ず外から押して閉めてください。

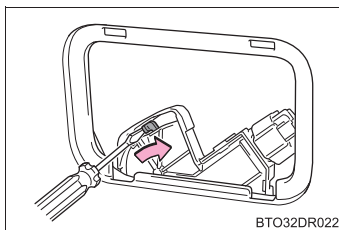
**知識****■バックドアが開かなくなったら**

バックドアを内側から開けることができます。

- 1 カバーをはずす



- 2 レバーを押す



 **警告**

次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■ 走行する前に

- 走行前にバックドアが閉まっていることを確認してください。
完全に閉まっていないと走行中に突然開き、車外のものにあたりたり、荷物が投げ出されたりして思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ラゲージルームでお子さまを遊ばせないでください。
誤って閉じ込められた場合、熱射病などを引き起こすおそれがあります。
- お子さまにはバックドアの開閉操作をさせないでください。
不意にバックドアが開いたり、閉めるときに手・頭・首などを挟んだりするおそれがあります。

■ 走行中の留意事項

- 走行中はバックドアを閉めてください。
開けたまま走行すると、バックドアが車外のものにあたりたり荷物が投げ出されたりして、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ラゲージルームには絶対に人を乗せないでください。
急ブレーキ・急旋回をかけたときや衝突したときなどに、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

警告

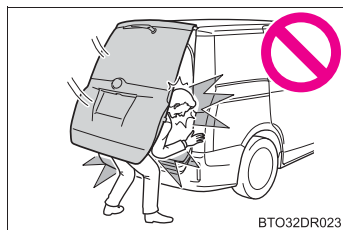
■ バックドアの操作にあたって

次のことを必ずお守りください。

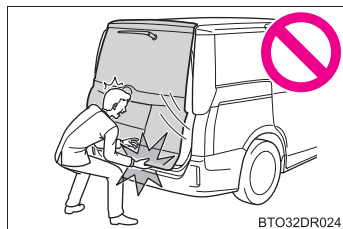
お守りいただかないと、体を挟むなどして重大な傷害につながるおそれがあり危険です。

- バックドアを開ける前に、バックドアに貼り付いた雪や氷などの重量物を取り除いてください。開いたあとに重みでバックドアが突然閉じるおそれがあります。
- バックドアを開閉するときは、十分に周囲の安全を確かめてください。
- 人がいるときは、安全を確認し動かすことを知らせる「声かけ」をしてください。
- 強風時の開閉には十分注意してください。
バックドアが風にあおられ、勢いよく開いたり閉じたりするおそれがあります。

- 半開状態で使用すると、バックドアが突然閉じて重大な傷害を受けるおそれがあります。特に傾斜地では、平坦な場所よりもバックドアの開閉がしにくく、急にバックドアが開いたり閉じたりするおそれがあります。必ずバックドアが全開で静止していることを確認して使用してください。



- バックドアを閉めるときは、指などを挟まないよう十分注意してください。
- バックドアは必ず外から軽く押して閉めてください。バックドアハンドルを持ったままバックドアを閉めると、手や腕を挟むおそれがあります。

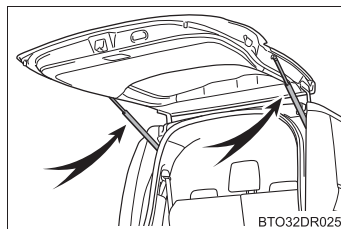


- バックドアダンパーステーを持ってバックドアを閉めたり、ぶらさがったりしないでください。
手を挟んだり、バックドアダンパーステーが破損したりして、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- バックドアにトヨタ純正品以外のアクセサリ用品を付けないでください。
バックドアの重量が重くなり、開けたあとにバックドアが突然閉じて、手・頭・首などを挟むおそれがあります。

 **注意****■ ダンパーステアについて**

バックドアにはバックドアを支えるためのダンパーステアが取り付けられています。ダンパーステアの損傷や作動不良を防ぐため次のことをご守りください。

- ビニール片・ステッカー・粘着材などの異物をステアのロッド部（棒部）に付着させない
- ロッド部を軍手などでふれない
- バックドアにトヨタ純正品以外のアクセサリー用品を付けない
- ステアに手をかけたり、横方向に力をかけたりしない



スマートエントリー&スタートシステム

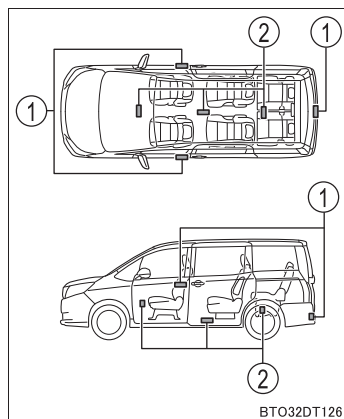
電子キーをポケットなどに携帯すると、次の操作が行えます。(必ず運転者が携帯してください)

- ドアを解錠・施錠する (→ P. 90)
- スライドドアを開閉する (→ P. 93)
- バックドアを解錠・施錠する (→ P. 104)
- ハイブリッドシステムを始動する (→ P. 148)

知識

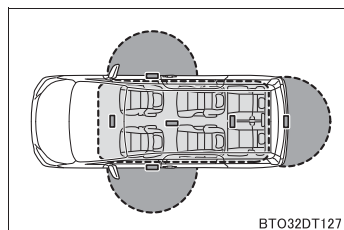
■ アンテナの位置

- ① 車外アンテナ
- ② 車内アンテナ



■ 作動範囲 (電子キーの検知エリア)

- : ドアの施錠・解錠時
ドアハンドルから周囲約 70cm 以内で電子キーを携帯している場合に作動します。(電子キーを検知しているドアハンドルのみ作動します)



- : ハイブリッドシステム始動時またはモード切りかえ時
車内で電子キーを携帯している場合に作動します。



■節電機能

長期駐車時に電子キーの電池と車両の補機バッテリーあがりを防止するため、節電機能が働きます。

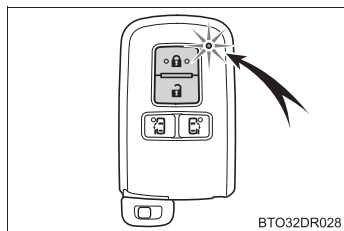
- 次の状況では、スマートエントリー&スタートシステムによる解錠に時間がかかる場合があります。
 - ・ 車の外約 2m 以内に電子キーを 10 分以上放置した
 - ・ 5 日間以上スマートエントリー&スタートシステムを使用しなかった
- 14 日間以上スマートエントリー&スタートシステムを使用しなかった場合、運転席以外での解錠ができなくなります。この場合は、運転席のドアハンドルを握る、もしくは、ワイヤレス機能、メカニカルキーで解錠してください。

■電子キーの節電モードについて

節電モードに設定すると、電子キーによる、電波の受信待機を停止し、電子キーの電池の消耗を抑えることができます。

電子キーの  を押しながら、 を 2 回押し、電子キーのインジケータが 4 回光ることを確認してください。

節電モード中は、スマートエントリー & スタートシステムを使用できません。節電モードを解除するには、電子キーのいずれかのスイッチを押してください。



■警告音と警告表示について

誤操作などによる予期せぬ事故や盗難を防ぐため、警告音が鳴ったり、マルチインフォメーションディスプレイに警告が表示されることがあります。警告が表示されたときは、ディスプレイの表示のもとに適切に対処してください。(→ P. 291)

警告音のみが鳴る場合の状況と対処方法は次のとおりです。

警告音	状況	対処方法
車外から“ピー”と 5 秒間鳴る	いずれかのドアが開いているときにスマートエントリー&スタートシステムもしくは、ワイヤレス機能で施錠しようとした	全ドアを閉めたあと、再度施錠する
車内から“ピー、ピー”と鳴り続ける	運転席ドアが開いている状態でパワースイッチをアクセサリモードにした(アクセサリモードのとき運転席ドアを開いた)	パワースイッチを OFF にしたあと、運転席ドアを閉める

■機能が正常に働かないおそれのある状況

スマートエントリー&スタートシステムは微弱な電波を使用しています。次のような場合は電子キーと車両間の通信をさまたげ、スマートエントリー&スタートシステムやワイヤレスリモコン、イモビライザーシステムが正常に作動しない場合があります。(対処方法：→P. 320)

- 電子キーの電池が消耗しているとき
- 近くにテレビ塔や発電所・ガソリンスタンド・放送局・大型ディスプレイ・空港があるなど、強い電波やノイズの発生する場所にいるとき
- 電子キーが、次のような金属製のものに接していたり、覆われたりしているとき
 - ・アルミ箔などの金属の貼られたカード
 - ・アルミ箔を使用したタバコの箱
 - ・金属製の財布やかばん
 - ・小銭
 - ・カイロ
 - ・CDやDVDなどのメディア
- 近くで他の電波式ワイヤレスリモコンを使用しているとき
- 電子キーを、次のような電波を発信する製品と同時に携帯しているとき
 - ・無線機や携帯電話・コードレス式電話などの無線通信機器
 - ・他の車の電子キーや電波式ワイヤレスリモコン
 - ・パソコンや携帯情報端末(PDAなど)
 - ・デジタルオーディオプレーヤー
 - ・ポータブルゲーム機器
- リヤウインドウガラスに金属を含むフィルムなどが貼ってあるとき
- 充電器など電子機器の近くにキーを置いた場合

■ご注意ください

- 電子キーが作動範囲内(検知エリア内)にあっても、次のようなときは正しく作動しないことがあります。
 - ・施錠・解錠時、電子キーがドアガラスやドアハンドルに近付きすぎている、または地面の近くや高い場所にある
 - ・バックドアの解錠・施錠時に、電子キーが地面の近くや高い場所にある、またはリヤバンパー中央に近付きすぎている
 - ・ハイブリッドシステム始動時やパワースイッチの切りかえ時、電子キーがインストルメントパネルやフロア上、またはグローブボックス内などに置かれている
- インストルメントパネル上面に電子キーを置いたまま車外に出ると、電波の状況によっては車外アンテナに検知され車外から施錠でき、電子キーが車内に閉じ込められるおそれがあります。
- 電子キーが作動範囲内であれば、電子キーを携帯している人以外でも施錠・解錠できます。ただし、電子キーを検知しているドア以外は解錠しません。

- 車外でも電子キーがドアガラスに近付いていると、ハイブリッドシステムを始動できることがあります。
- 電子キーが作動範囲内にあるとき、洗車や大雨などでドアハンドルに大量の水がかかると、ドアが施錠・解錠することがあります。(ドアの開閉操作がなければ、解錠されても約 30 秒後に自動で施錠します)
- ワイヤレスリモコンなどでの施錠時にキーが車両の近くにあると、スマートエントリー&スタートシステムでの解錠ができないことがあります。(ワイヤレスリモコンを使用すると解錠できます)
- 手袋を着用していると施錠・解錠しないことがあります。
- ロック操作は、連続で 2 回まで有効です。3 回目以降はロック操作しません。
- 電子キーを携帯したまま洗車をする、水がドアハンドルにかかったときに施錠・解錠をくり返すことがあります。その場合は次のような処置をしてください。
 - ・キーを車両から 2m 以上離れた場所に置く(盗難に注意し保管してください)
 - ・キーを節電モードに設定してスマートエントリー&スタートシステムの作動を停止する(→ P. 110)
- 洗車機での洗車中にキーが車内にあると、水がドアハンドルにかかったときに、マルチインフォメーションディスプレイに警報が表示され車外のブザーが吹鳴することがあります。全てのドアを施錠すると警報は止まります。
- ロックセンサーの表面に氷や雪、泥が付着すると、センサーが反応しないことがあります。その場合は氷や雪、泥を取り除いて再度操作してください。
- すばやいドアハンドル操作や、車外アンテナの作動範囲内へ入ってすぐのドアハンドル操作では、解錠しないことがあります。センサーにふれ解錠したことを確認してからドアハンドルを引いてください。
- 作動範囲内に他の電子キーがあると、解錠に時間がかかることがあります。

■長期間運転しないとき

- 盗難防止のため、電子キーを車両から 2m 以上離しておいてください。
- あらかじめスマートエントリー&スタートシステムを非作動にすることができます。詳しくはトヨタ販売店にお問い合わせください。

■システムを正しく作動させるために

電子キーを必ず携帯した上で作動させてください。また、車外から操作する場合は電子キーを車両に近付けすぎないようにしてください。

作動時の電子キーの位置や持ち方によっては、電子キーが正しく検知されず、システムが正しく作動しないことがあります。(誤って警報が鳴ったり、キー閉じ込み防止機能が働かないこともあります: → P. 291)

■ スマートエントリー&スタートシステムが正常に作動しないとき

- ドア・バックドアの解錠・施錠：→ P. 320
- ハイブリッドシステムの始動：→ P. 320
- 節電機能が設定されている：→ P. 110

■ カスタマイズ機能

スマートエントリー&スタートシステムを非作動にするなどの変更ができます。
(カスタマイズ一覧：→ P. 342)

■ 販売店でスマートエントリー&スタートシステムを非作動にしたとき

- ドアの解錠・施錠：ワイヤレス機能、またはメカニカルキーを使ってドアの解錠・施錠ができます。(→ P. 320)
- ハイブリッドシステムの始動・パワースイッチのモード切りかえ：→ P. 320
- ハイブリッドシステムの停止：→ P. 149

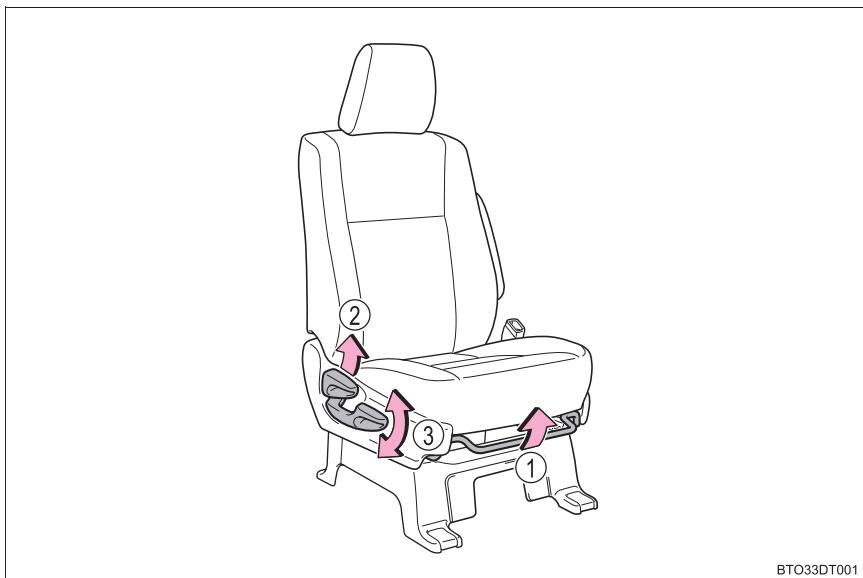
⚠ 警告**■ 電波がおよぼす影響について**

- 植込み型心臓ペースメーカー、植込み型両心室ペーシングパルスジェネレータおよび植込み型除細動器を装着されている方は、室内アンテナ・車外アンテナ(→ P. 109) から約 22cm 以内に近付かないようにしてください。電波により植込み型心臓ペースメーカー、植込み型両心室ペーシングパルスジェネレータおよび植込み型除細動器の作動に影響を与えるおそれがあります。
- 植込み型心臓ペースメーカー、植込み型両心室ペーシングパルスジェネレータおよび植込み型除細動器以外の医療用電気機器をお使いの方は、電波による影響について医療用電気機器製造業者などに事前に確認してください。電波が医療用電気機器の動作に影響を与えるおそれがあります。

スマートエントリー&スタートシステムを非作動にすることもできます。
詳しくはトヨタ販売店にお問い合わせください。

フロントシート

調整のしかた



- ① 前後位置調整
- ② リクライニング調整
- ③ シート全体の上下調整
(運転席のみ)

警告

■シートを調整するとき

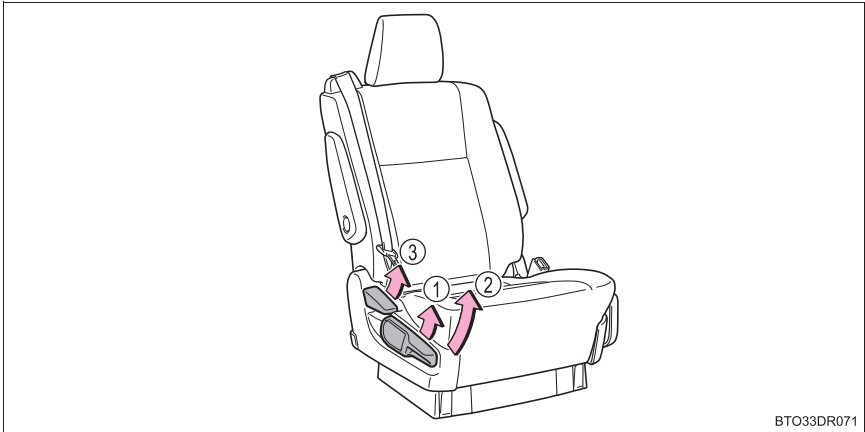
- 同乗者がシートにあたってけがをしないように注意してください。
- シートの下や動いている部分に手を近付けないでください。指や手を挟み、重大な傷害を受けるおそれがあります。

■リクライニング調整について

- 走行中は背もたれを必要以上に倒さないでください。必要以上に倒しすぎると、事故のときに体がシートベルトの下にもぐり、腹部などに強い圧迫を受けたり肩部ベルトが首にかかるなどして、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- シート調整後はシートが確実に固定されていることを確認してください。

セカンドシート

調整のしかた



BTO33DR071

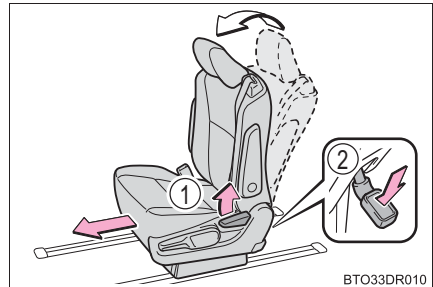
- ① 前後位置調整※
- ② 前後左右位置調整※
- ③ リクライニング調整

※ レバーを1段階上げると前後位置調整、2段階上げると前後左右位置調整ができます。

サードシートへの乗り降り

リクライニングレバー(①)を引く、
または前倒しペダル(②)を踏む

背もたれが前に倒れて、シートを前方
に移動させることができます。



BTO33DR010

 **警告****■ シート調整について**

- 走行中は背もたれを必要以上に倒さないでください。
必要以上に倒しすぎると、事故のときに体がシートベルトの下にもぐり、腹部などに強い圧迫を受けたり肩部ベルトが首にかかるなどして、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- シート調整後はシートを軽くゆさぶり、シートが確実に固定されていることを確認してください。

■ サードシートへの乗り降りについて

- サードシートへ乗り降りしたあとは、必ずセカンドシートを固定させてください。
- セカンドシートに乗員がいるときは、サードシートから操作を行わないでください。セカンドシートの乗員がけがをするおそれがあります。
- シートを調整しているときは、シートの下や動いている部分の近くに手を近づけないでください。指や手を挟み、けがをするおそれがあります。

■ サードシートへの移動について

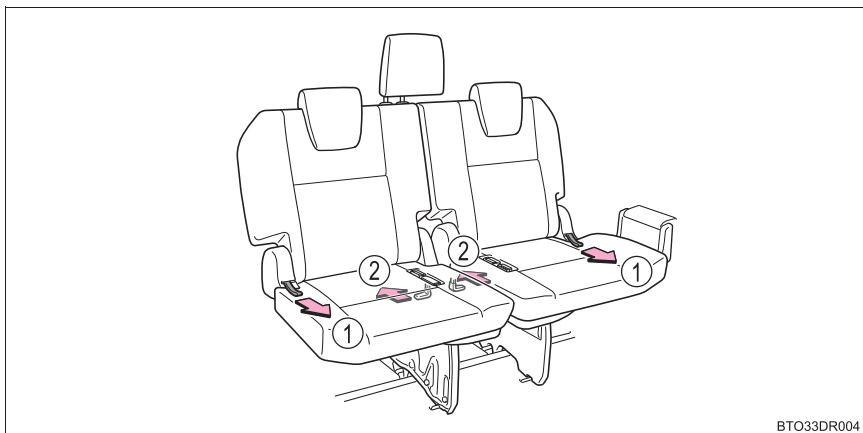
走行中はサードシートへ移動しないでください。

 **注意****■ サードシートへの乗り降りについて**

アームレストを格納してから操作してください。

サードシート

調整のしかた



- ① リクライニングストラップ
- ② スペースアップレバー (→ P. 123)

知識

■ スペースアップレバーについて

スペースアップレバーはシートクッションの裏側にあります。スペースアップレバーによるリクライニング調整は、バックドア側から行ってください。

▲ 警告

■ シート調整について

- 背もたれは必要以上に倒さないでください。事故のときに体がシートベルトの下にもぐり、腹部などに強い圧迫を受けるなど生命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
- シート調整後はシートを軽くゆさぶり、シートが確実に固定されていることを確認してください。

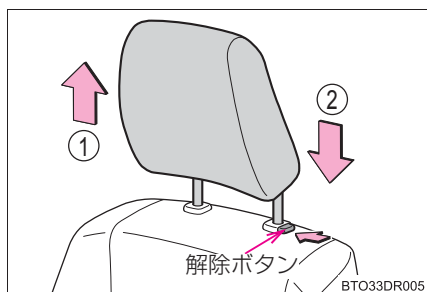
ヘッドレスト

フロントシート／セカンドシート

上下調整

- ① 上げる
- ② 下げる

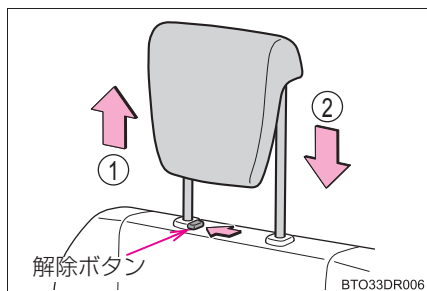
下げるときは、解除ボタンを押しながら操作します。



サードシート外側席

- ① 上げる
- ② 下げる

下げるときは、解除ボタンを押しながら操作します。

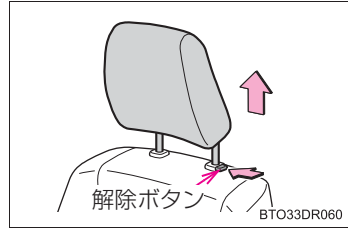


 知識

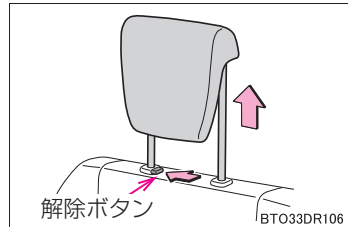
■ヘッドレストを取りはずすとき

解除ボタンを押しながらヘッドレストを引き上げます。

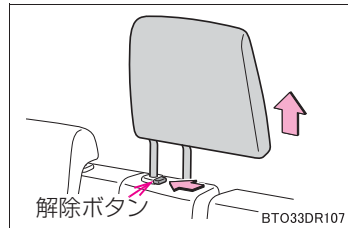
▶ フロントシート／セカンドシート



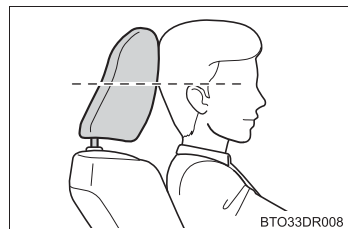
▶ サードシート外側席



▶ サードシート中央席


■ヘッドレストの高さについて

必ずヘッドレストの中心が両耳のいちばん上のあたりになるよう調整してください。

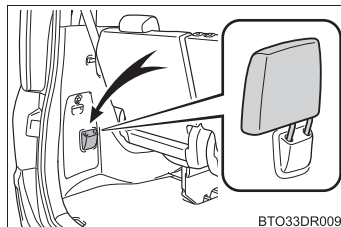


■ サードシート外側席のヘッドレストの使用について

使用するときは、常に格納位置から一段上げた位置にしてください。

■ サードシート中央席のヘッドレストの格納について

ヘッドレストを取りはずしたときは、ラゲージルームの図の位置に格納してください。

**⚠ 警告****■ ヘッドレストについて**

次のことをお守りください。

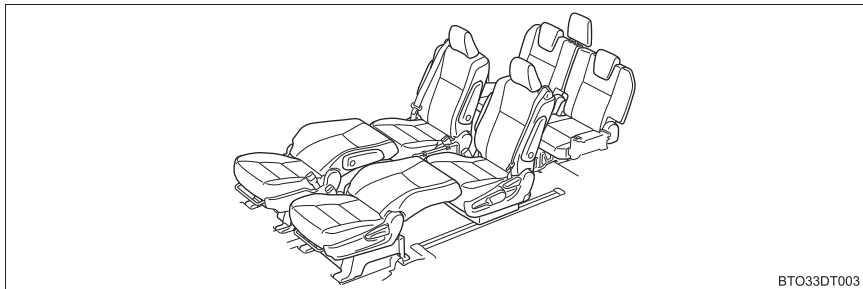
お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- ヘッドレストは、それぞれのシート専用のものを使用する
- ヘッドレストを必ず正しい位置に調整する
- ヘッドレストを調整したあとは、ヘッドレストを押し下げて固定されていることを確認する
- ヘッドレストをはずしたまま走行しない

シートアレンジ

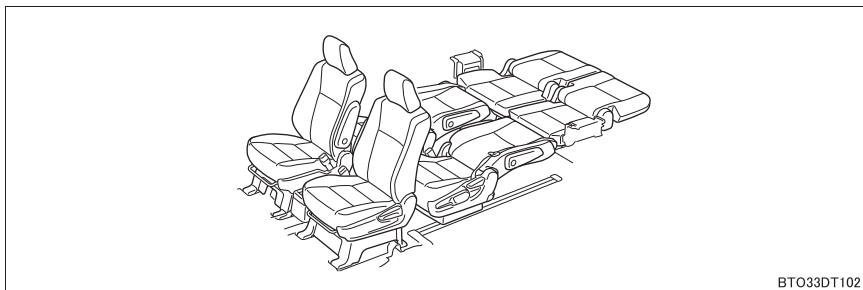
◆ フロントフラットソファモード

フロントシートをフルフラットにする (→ P. 122)



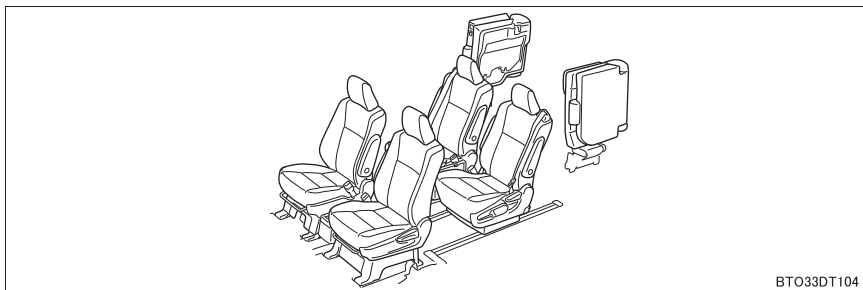
◆ リヤフラットソファモード

セカンドシート、サードシートをフルフラットにする (→ P. 122)



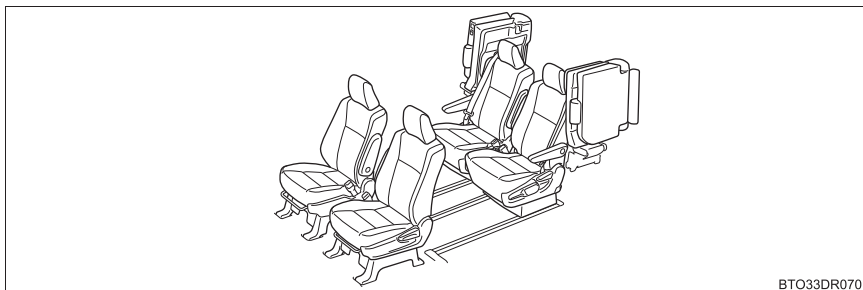
◆ ラゲージモード

サードシートを格納する (→ P. 123)



◆ スーパーリラックスモード

サードシートを格納し、セカンドシートを後方へ移動する (→ P. 124)

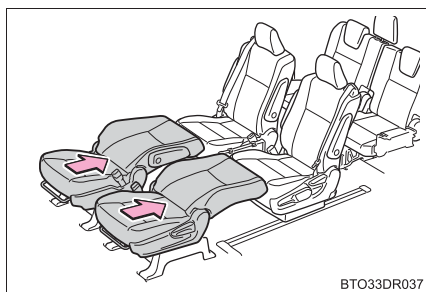


BTO33DR070

フロントフラットソファモードにするには

- 1 車を停止させ、しっかりとパーキングブレーキをかける
- 2 セカンドシートをいちばんうしろまで移動させる (→ P. 115)
- 3 フロントシートのヘッドレストをはずす (→ P. 119)
- 4 フロントシートをいちばん前まで移動させる (→ P. 114)
- 5 フロントシートの背もたれを後方いっぱいまで倒す (→ P. 114)
- 6 セカンドシートとのすき間がなくなるようにシートを移動させる (→ P. 114)

フロントシートの前後位置調整レバーを操作して、セカンドシートとのすき間がなくなるようにシートを移動させます。



BTO33DR037

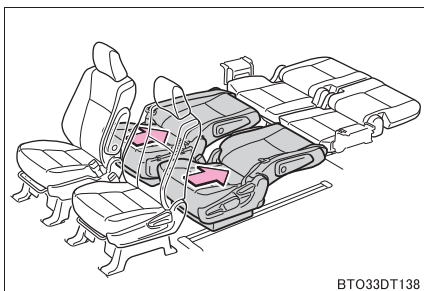
リヤフラットソファモードにするには

- 1 車を停止させ、しっかりとパーキングブレーキをかける
- 2 フロントシートをいちばん前まで移動させる (→ P. 114)
- 3 セカンドシートをいちばん前まで移動させる (→ P. 115)
- 4 セカンドシートのヘッドレストをはずす (→ P. 119)
- 5 セカンドシートの背もたれを後方いっぱいまで倒す (→ P. 115)
- 6 サードシートのヘッドレストをはずす (→ P. 119)

中央席ヘッドレストは、ラゲージルームに格納します。(→ P. 120)

- 7 サードシートの背もたれを後方いっぱいまで倒す (→ P. 117)
- 8 セカンドシートをサードシートとのすき間がなくなるように移動させる (→ P. 115)

セカンドシートの前後位置調整レバーを操作して、サードシートとのすき間がなくなるようにシートを移動させます。



BTO33DT138

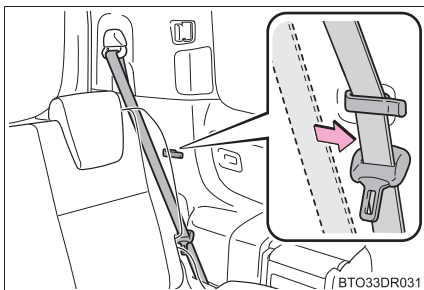
ラゲージモードにするには

- 1 車を停止させ、しっかりとパーキングブレーキをかける
- 2 サードシートの左右席のヘッドレストをいちばん下まで下げ、中央席のヘッドレストをはずす (→ P. 119)

はずした中央席ヘッドレストは、ラゲージルームに格納します。(→ P. 120)

- 3 サードシート左右席シートベルトをシートベルトクリップに挟む

中央席のシートベルトを格納します。

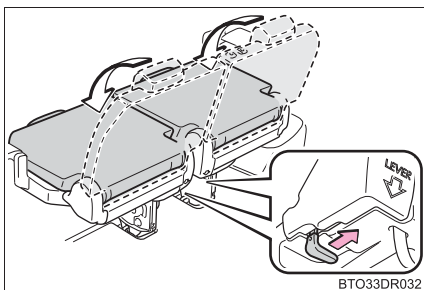


BTO33DR031

- 4 背もたれを前方に倒す

スペースアップレバーを引いて、背もたれを前方に倒します。

・スペースアップレバーで操作すると、背もたれが倒れ、さらにレバーを引くとロックが解除されシートがはねあがります。

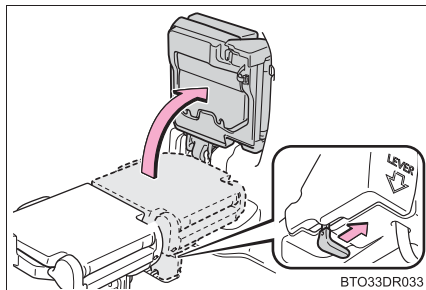


BTO33DR032

5 シートをはねあげる

スペースアップレバーをさらに引いて、シートをはねあげます。

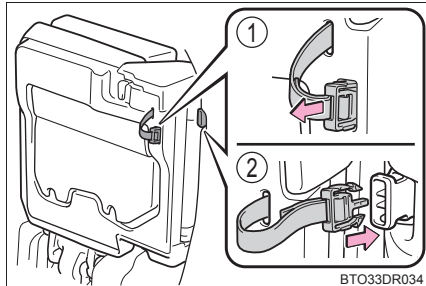
- ・ シートのはねあげと連動して、シート脚部が格納されます。



BTO33DR033

6 シートを固定する

- ① 固定ベルトを取り出す
- ② シートを押し、ロック部に挿し込む



BTO33DR034

7 シートを軽くゆさぶり、確実に固定されていることを確認する**スーパーリラックスマードにするには**

- ① 車を停止させ、しっかりとパーキングブレーキをかける
- ② サードシートを格納する (→ P. 123)
- ③ スライドストッパーを取りはずす (→ P. 125)
- ④ セカンドシート外側のアームレストを倒す (→ P. 215)
折りたたみ式サイドテーブルを使用しているときは格納します。(→ P. 210)
- ⑤ セカンドシートの左右位置を中央に移動し、後方へ移動させる (→ P. 115)

知識**■ ラゲージルームについて**

サードシートを格納し、セカンドシートを前方に動かすことによりラゲージルームを広げることができます。

■ サードシートを格納するときは

サードシートを格納するときは、バックドア側から操作してください。

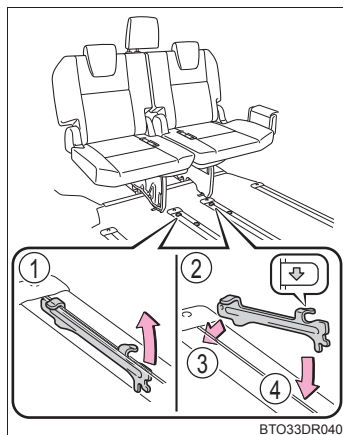
■スライドストッパーについて

●スライドストッパーは紛失しないように大切に保管してください。工具袋に入れておくことをおすすめします。

① 取りはずし

② 取り付け

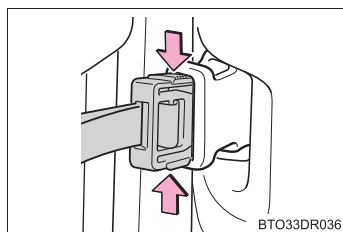
- ・取り付けるときは、③、④の順番に取り付けてください。
- ・矢印が車の前方を向くように取り付けてください。



■シート固定ベルトをはずすときは

シート固定ベルトの上下のツメを押してはずし、シートクッション裏側に格納します。

- ・シートを押して、ベルトをゆるめた状態でツメを押します。



⚠ 警告

■シートアレンジについて

次のことをお守りください。

お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- 必ず平坦な場所でシフトポジションを P にして、パーキングブレーキを確実にかけてください。
- 走行中はシートアレンジ操作をしないでください。
- シートアレンジをしたあとは、シートを軽くゆさぶり確実に固定されていることを確認してください。
- シートの上にシートベルト、バックルが挟みこまれていないか確認してください。

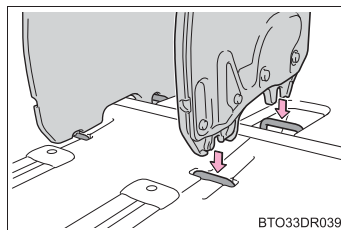
警告

■フラットシートについて

フラットにした状態で人や荷物を乗せて走行しないでください。

■サードシートの格納について

- ラゲージスペースに人を乗せて走行しないでください。
- シートベルトが背もたれや、シートクッションに挟まれていないことを確認してください。
- シート格納時にシート固定ベルトで固定されていない場合、シート脚部が動き、荷物やシートが破損したり、けがをするおそれがあります。シートを格納したときは必ずシートを固定してください。
- シートをおろしたときは、シート脚部が床面ロック部に確実に固定されたことを確認してください。
- 左右のシートを同時に格納しないでください。指や手を挟み、けがをするおそれがあります。シートを格納するときは、片側ずつ操作してください。



注意

■シートアレンジについて

シートレールの上にマットなどを敷かないでください。

■シートの格納について

- シートをおろすときは、床面に物がないことを確認してから行ってください。
- セカンドシートの位置や、サードシートの片側の背もたれが前に倒れている状態だと、サードシートがあたり格納できないことがあります。
- スペースアップレバーを引くとシート全体が自動的にはねあがりますので注意してください。

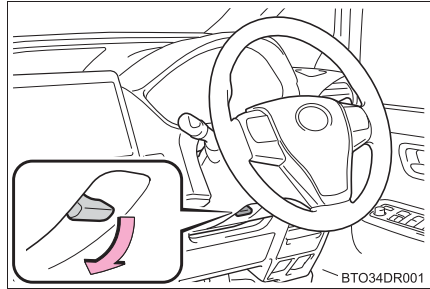
■フラットシートについて

- 背もたれをもどすときは、背もたれを押さえながらリクライニング調整を行ってください。
- フラットにした状態でシートの上を走りまわらないでください。またシートの上を移動するときは、シートの中央を踏んでゆっくりと移動してください。

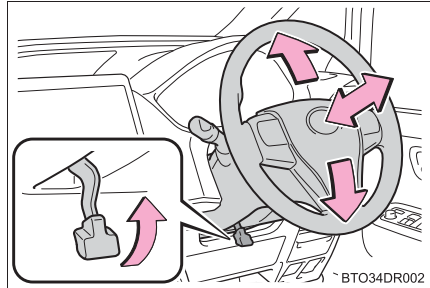
ハンドル

調整のしかた

- 1 ハンドルを持ち、レバーを下げる

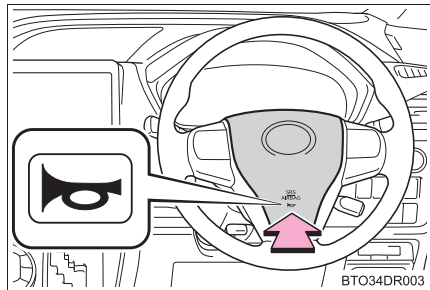


- 2 ハンドルを上下・前後に動かし、適切な位置にする
位置が決定したら、レバーを上げてハンドルを固定してください。



ホーン（警音器）

ハンドルの  周辺部を押すとホーンが鳴ります。



 知識

■ ハンドル位置を調整したあとは

ハンドルが確実に固定されていることを確認してください。
固定が不十分だとホーンが鳴らない場合があります。(→ P. 127)

 警告

■ 走行中の留意事項

走行中はハンドル位置の調整をしないでください。
運転を誤り、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■ ハンドル位置を調整したあとは

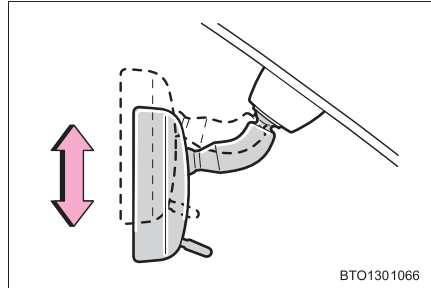
ハンドルが確実に固定されていることを確認してください。
固定が不十分だとハンドルの位置が突然変わり、思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

インナーミラー

後方を十分に確認できるようにミラーの位置を調整することができます。

上下調整のしかた

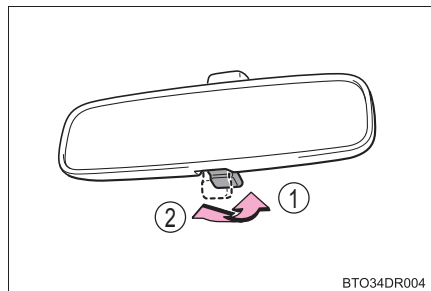
インナーミラー本体を持って、上下方向に調整する



防眩機能

レバーを操作することで、後続車のヘッドランプによる反射光を減少させます。

- ① 通常使用時
- ② 防眩時



⚠ 警告

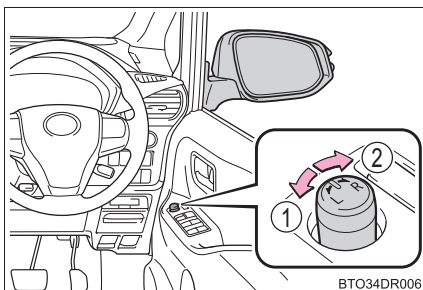
運転中はミラーの調整をしないでください。
運転を誤って、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

ドアミラー

調整のしかた

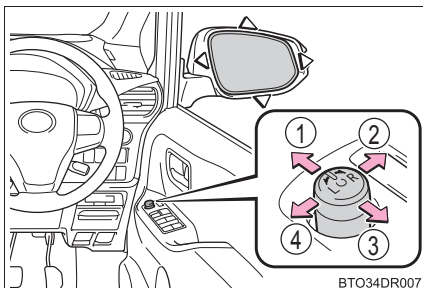
- 1 調整するミラーを選ぶには、スイッチをまわす

- ① 左
- ② 右



- 2 ミラーの鏡面を調整するにはスイッチを操作する

- ① 上
- ② 右
- ③ 下
- ④ 左

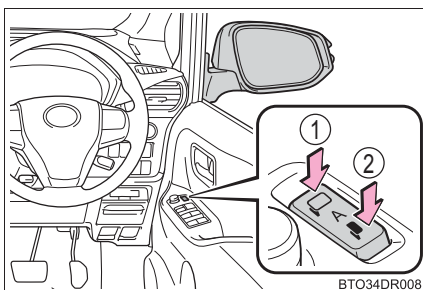


ドアミラーを格納する

■ マニュアル作動での格納・復帰のしかた

ボタンを押す

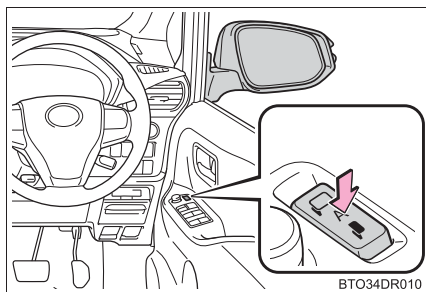
- ① もとの位置にもどす
- ② 格納する



■ オート作動

スマートエントリー&スタートシステムやワイヤレスリモコンによるドアの施錠・解錠に連動して、ドアミラーを自動的に格納・復帰させることができます。

中立の位置 (A) にする



BTO34DR010

📖 知識

■ 作動条件

パワースイッチがアクセサリモードまたは ON モードのとき

■ ミラーが曇ったとき (ミラーヒーター装着車)

リヤウインドウデフォグガーを作動させると、ミラーヒーターが同時に作動し、曇りを取り除くことができます。(→ P. 192)

■ レインクリアリングミラー★

鏡面に付着した水滴を膜状に広げる親水効果を持つコーティングを施しており、雨天時における後方視認性を向上させます。

- 鏡面に汚れなどが付着したときや、地下や屋内駐車場などの日のあたらない場所に長時間駐車したときなどは親水効果が低下しますが、晴天時に 1・2 日間太陽光をあてることで親水効果は徐々に回復します。
- 低下した親水効果を早く回復させたいときは回復作業 (→ P. 231) を行ってください。

■ 寒冷時に「オート作動」で使用するとき

寒冷時に「オート作動」で使用しているとき、ドアミラーが凍結すると、自動で格納・復帰ができないことがあります。この場合、ドアミラーに付着している氷や雪などを取り除いたあと、「マニュアル作動」で作動させるか、手で動かしてください。

■ カスタマイズ機能

オート格納の設定を変更できます。(カスタマイズ一覧：→ P. 342)

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

 **警告****■ 走行中の留意事項**

走行中は次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、運転を誤って重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- ミラーの調整をしない
- ドアミラーを格納したまま走行しない
- 走行前に必ず、運転席側および助手席側のミラーをもとの位置にもどして、正しく調整する

■ ミラーが動いているとき

手をふれないでください。

手を挟んでけがや、ミラーの故障などの原因になるおそれがあります。

■ ミラーヒーターが作動しているとき（ミラーヒーター装着車）

鏡面が熱くなるのでふれないでください。

 **注意****■ レインクリアリングミラー★の取り扱いについて**

親水効果には限りがあります。長持ちさせるためには次のことをお守りください。

- シリコン入りの撥水剤や油膜取り剤、ワックス、その他のカーメンテナンス商品を使用する場合は、鏡面に付着させないように十分注意してください。
- 砂の付いた布・油膜取り剤・研磨剤など、鏡面を傷付けるものでこすらないでください。
- 鏡面が凍結したときは、温水をかけるか、ミラーヒーターを作動させる（ミラーヒーター装着車のみ）などして解氷してください。
- 撥水洗車を行ったときは、鏡面を大量の水で洗い、きれいなやわらかい布などでふき取ってください。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

パワーウィンドウ

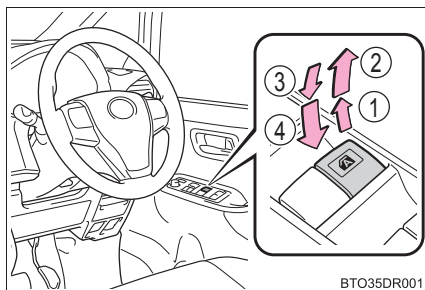
開閉のしかた

スイッチでドアガラスを開閉できます。

スイッチを操作すると、ドアガラスを次のように動かします。

- ① 閉める
- ② 自動全閉※
- ③ 開ける
- ④ 自動全開※

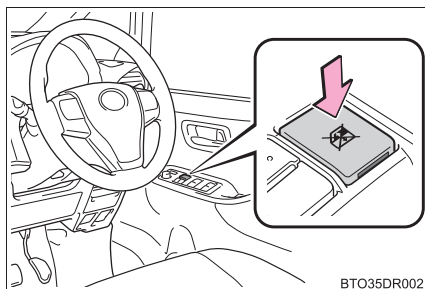
※途中で停止するときは、スイッチを反対側へ操作します。



ウィンドウロックスイッチ

スイッチを押すと運転席以外のドアガラスが作動不可になります。

お子さまが誤ってドアガラスを開閉することを防止できます。



知識

■ 作動条件

パワースイッチが ON モードのとき

■ ハイブリッドシステム停止後の作動

パワースイッチをアクセサリモードまたは OFF にしたあとも、約 45 秒間はドアガラスを開閉できます。ただし、そのあいだに運転席ドアを開閉すると作動しなくなります。

■ 挟み込み防止機能

ドアガラスを閉めているときに、窓枠とドアガラスのあいだに異物が挟まると、作動が停止し、少し開きます。

■ 巻き込み防止機能

ドアガラスを開けているときに、ドアガラスに負荷がかかると、作動が停止します。

■ パワーウィンドウを閉めることができないとき

挟み込み防止機能が異常に作動してしまい、ドアガラスを閉めることができないときは、閉めることができないドアのパワーウィンドウスイッチで、次の操作を行ってください。

- 車を停止し、パワースイッチをONモードの状態です挟み込み防止機能や巻き込み防止機能が作動した後 4 秒以内に、パワーウィンドウスイッチを「自動全閉」の位置で引き続ける。または、「自動全開」の位置で押し続けることでドアガラスを開閉することができます。
- 上記の操作を行ってもドアガラスが閉まらない場合、挟み込み防止機能の初期化を次の手順で実施してください。

- 1 パワースイッチを ON モードにする
- 2 パワーウィンドウスイッチを「自動全閉」の位置で引き続け、ドアガラスを全閉にする
- 3 いったんパワーウィンドウスイッチから手を離して、再度パワーウィンドウスイッチを「自動全閉」の位置で約 6 秒以上引き続ける
- 4 パワーウィンドウスイッチを「自動全開」の位置で押し続け、ドアガラスを全開にしたあと、さらにスイッチを 2 秒以上押し続ける
- 5 再度、パワーウィンドウスイッチを「自動全閉」の位置で引き続け、ドアガラスを閉めたあと、さらにスイッチを 2 秒以上引き続ける

ドアガラス作動途中でスイッチから手を離すと、最初からやり直しとなります。以上の操作を行っても反転して閉じ切らない、または全開にならない場合は、トヨタ販売店で点検を受けてください。

■ ドアキー連動ドアガラス開閉機能

- メカニカルキーでドアガラスを開閉できます。* (→ P. 320)
- ワイヤレスリモコンでドアガラスを開閉できます。* (→ P. 90)

* カスタマイズ機能での設定変更が必要です。(→ P. 342)

■ 窓開警告ブザー

パワースイッチが OFF でドアガラスが開いていると、運転席ドアを開けたときにブザーが鳴り、マルチインフォメーションディスプレイにメッセージが表示されます。

■ カスタマイズ機能

ドアキー連動ドアガラス開閉機構などの設定を変更できます。
(カスタマイズ一覧：→ P. 342)

警告

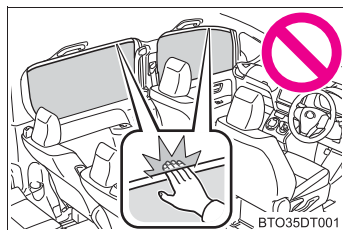
次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■ ドアガラスを開閉するとき

- 運転者は、乗員の操作を含むすべてのドアガラス開閉操作について責任があります。特にお子さまの誤った操作による事故を防ぐため、お子さまにはドアガラスの操作をさせないでください。お子さまや他の人がドアガラスに挟まれたり巻き込まれたりするおそれがあります。
また、お子さまが同乗するときはウインドウロックスイッチを使用することをおすすめします。(→ P. 133)

- ドアガラスを開閉するときは、乗員の手・腕・頭・首などを挟んだり巻き込んだりしないようにしてください。特にお子さまへは手などを出さないよう声かけをしてください。



- ワイヤレスリモコンやメカニカルキーを使ってドアガラスを操作するときは、ドアガラスに人が挟まれるおそれがないことを確認してから操作してください。またお子さまには、ワイヤレスリモコンやメカニカルキーによる操作をさせないでください。お子さまや他の人がドアガラスに挟まれたり巻き込まれたりするおそれがあります。
- 車から離れるときはパワースイッチを OFF にし、キーを携帯してお子さまも一緒に車から離れてください。いたずらなどによる誤った操作により、思わぬ事故につながるおそれがあります。

 **警告****■ 挟み込み防止機能**

- 挟み込み防止機能を故意に作動させるため、乗員の手・腕・頭・首などを挟んだりしないでください。
- 挟み込み防止機能は、ドアガラスが完全に閉まる直前に異物を挟むと作動しない場合があります。指などを挟まないように注意してください。

■ 巻き込み防止機能

- 巻き込み防止機能を故意に作動させるため、乗員の手・腕・服などを巻き込ませたりしないでください。
- 巻き込み防止機能は、ドアガラスが完全に開く直前に異物を巻き込むと作動しない場合があります。手・腕・服などを巻き込まないように注意してください。

運転**4**

- 4-1. 運転にあたって
 - 運転にあたって 138
 - 荷物を積むときの注意 147
- 4-2. 運転のしかた
 - パワー（イグニッション）
スイッチ 148
 - EV ドライブモード 153
 - トランスミッション 156
 - 方向指示レバー 163
 - パーキングブレーキ 164
- 4-3. ランプのつけ方・
ワイパーの使い方
 - ランプスイッチ 165
 - フォグランプスイッチ 167
 - ワイパー&ウォッシャー
（フロント） 168
 - ワイパー&ウォッシャー
（リヤ） 170
- 4-4. 給油のしかた
 - 給油口の開け方 172
- 4-5. 運転支援装置について
 - クルーズコントロール 175
 - 運転を補助する装置 178
- 4-6. 運転のアドバイス
 - ハイブリッド車運転の
アドバイス 183
 - 寒冷時の運転 185

運転にあたって

安全運転を心がけて、次の手順で走行してください。

ハイブリッドシステムを始動する

→ P. 148

発進する

- 1 ブレーキペダルを踏んだまま、シフトポジションを D にする (→ P. 156)
シフトポジション表示灯が D であることをメーターで確認します。(→ P. 74)
- 2 パーキングブレーキを解除する (→ P. 164)
- 3 ブレーキペダルから徐々に足を離し、アクセルペダルをゆっくり踏み発進する

停車する

- 1 シフトポジションは D のまま、ブレーキペダルを踏む
- 2 必要に応じて、パーキングブレーキをかける
長時間停車する場合は、P ポジションスイッチを押してシフトポジションを P にします。(→ P. 157)

駐車する

- 1 シフトポジションは D のまま、ブレーキペダルを踏む
- 2 パーキングブレーキをかける
- 3 P ポジションスイッチを押して、シフトポジションを P にする (→ P. 157)
シフトポジション表示灯が P であることをメーターで確認します。(→ P. 74)
- 4 パワースイッチを押してハイブリッドシステムを停止する
- 5 ブレーキペダルからゆっくり足を離す
- 6 電子キーを携帯していることを確認し、ドアを施錠する
坂道の途中で駐車をする場合、必要に応じて輪止め[※]を使用してください。
[※]輪止めはトヨタ販売店で購入することができます。

上り坂の発進のしかた

- 1 ブレーキペダルを踏んだまま、パーキングブレーキをしっかりとかけ、シフトポジションをDにする
シフトポジション表示灯がDであることをメーターで確認します。(→ P. 74)
- 2 アクセルペダルをゆっくり踏む
- 3 車が動き出す感触を確認したら、パーキングブレーキを解除し発進する

知識

■ 上り坂発進について

ヒルスタートアシストコントロールが作動します。(→ P. 178)

■ 燃費を良くする走り方

ハイブリッド車も急加速を控えるなど、通常のガソリン車と同様の心がけが必要です。P. 183の「ハイブリッド車運転のアドバイス」を参照してください。

■ 雨の日の運転について

- 雨の日は視界が悪くなり、またガラスが曇ったり、路面がすべりやすくなったりするので、慎重に走行してください。
- 雨の降りはじめは路面がよりすべりやすいため、慎重に走行してください。
- 雨の日の高速走行などでは、タイヤと路面のあいだに水膜が発生し、ハンドルやブレーキが効かなくなるおそれがあるので、スピードは控えめにしてください。

■ 駆動力の抑制について (ブレーキオーバーライドシステム)

- アクセルペダルとブレーキペダルが同時に踏まれたとき、駆動力を抑制する場合があります。
- ブレーキオーバーライドシステム作動中は、マルチインフォメーションディスプレイにメッセージが表示されます。(→ P. 286)

■ 駆動力の抑制について（ドライブスタートコントロール）

- 次のような通常と異なる操作が行われた場合、急発進事故の被害を軽減するため、駆動力を抑制する場合があります。
 - ・ アクセルペダルを踏み込んだまま、シフトレバーを操作した（R から D、D から R、N から R、P から D、P から R）とき。この場合、マルチインフォメーションディスプレイにメッセージが表示されます。（→ P. 286）
 - ・ 後退時にアクセルペダルを踏みすぎたとき。
- ドライブスタートコントロールが作動していると、ぬかるみや新雪などからの脱出が困難な場合があります。そのようなときは、TRC の作動を停止（→ P. 179）することにより、ドライブスタートコントロールが停止し、脱出しやすくなります。

■ 運転標識の取り付け

磁石式の初心運転者標識や高齢運転者標識などを樹脂バンパーやアルミ部分に取り付けることはできません。

■ オーバーヒートについて

次のようなきびしい走行状況ではオーバーヒートになるおそれがあります。

- 暑い日に長い上り坂を走行する
- 高速走行直後に急減速や急停止をする

 **警告**

次の警告をお守りください。お守りいただかないと重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■ 発進するとき

車が動き出すことによる事故を防ぐため、READY インジケーターが点灯している状態で停車しているときは、常にブレーキペダルを踏んでください。クリープ現象で車が動き出すのを防ぎます。

■ 運転するとき

- 踏み間違いを避けるため、ブレーキペダルとアクセルペダルの位置を把握しない状態で運転しないでください。
 - ・ アクセルペダルをブレーキペダルと間違えて踏むと、車が急発進して思わぬ事故につながるおそれがあります。
 - ・ 後退するときは体をひねった姿勢となるため、ペダルの操作がしにくくなります。ペダル操作が確実にできるよう注意してください。
 - ・ 車を少し移動させるときも正しい運転姿勢をとり、ブレーキペダルとアクセルペダルが確実に踏めるようにしてください。
 - ・ ブレーキペダルは右足で操作してください。左足でのブレーキ操作は緊急時の反応が遅れるなど、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- ハイブリッド車は電気モーターでの走行時にエンジン音がしないため、周囲の人が車両の接近に気が付かない場合があります。車両接近通報装置を ON にしても、周囲の騒音などが大きい場合は、車両の接近に気が付かないことがありますので、十分注意して運転してください。
特に車両接近通報装置を OFF にしている場合は、十分注意して運転してください。
- 燃えやすいものの上を走行したり、可燃物付近に車を止めたりしないでください。
排気管や排気ガスは高温になり、可燃物が近くにあると火災になるおそれがあり危険です。
- 通常走行時は、走行中にハイブリッドシステムを停止しないでください。走行中にハイブリッドシステムを停止してもハンドルやブレーキの操作は可能ですが、ハンドルの操作力補助がなくなり、ハンドル操作が困難になります。安全を確認した上で、すみやかに道路脇に停車してください。
なお、通常の方法で車両を停止することができないような緊急時は、P. 270 を参照してください。
- 急な下り坂では、エンジンブレーキを使用してスピードを下げてください。フットブレーキを連続して使いすぎると、ブレーキが過熱して正常に機能しなくなります。(→ P. 156)

 **警告**

次の警告をお守りください。お守りいただかないと重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■ 運転するとき

- 走行中はハンドル・シート・ドアミラー・インナーミラーの調整をしないでください。
運転を誤るおそれがあります。
- すべての乗員は頭や手、その他の体の一部を車から出さないようにしてください。

■ すべりやすい路面を運転するとき

- 急ブレーキ・急加速・急ハンドルはタイヤがスリップし、車両の制御ができなくなるおそれがあります。
- 急激なアクセル操作、シフト操作によるエンジンブレーキやエンジン回転数の変化は、車が横すべりするなどのおそれがあります。
- 水たまり走行後はブレーキペダルを踏んでブレーキが正常に働くことを確認してください。ブレーキパッドがぬれるとブレーキの効きが悪くなったり、ぬれていない片方だけが効いたりしてハンドルをとられるおそれがあります。

■ シフトポジションを操作するとき

- 前進側のシフトポジションに入れたまま惰性で後退したり、Rに入れたまま惰性で前進することは絶対にやめてください。
思わぬ事故や故障の原因となるおそれがあります。
- 車両が動いているあいだは、シフトポジションをPにしないでください。
トランスミッションにダメージを与えたり、車両のコントロールができなくなるおそれがあります。
- 車両が前進しているあいだは、シフトポジションをRにしないでください。
トランスミッションにダメージを与えたり、車両のコントロールができなくなるおそれがあります。
- 車両が後退しているあいだは、シフトポジションをDにしないでください。
トランスミッションにダメージを与えたり、車両のコントロールができなくなるおそれがあります。
- 走行中にシフトポジションをNにすると、ハイブリッドシステムの動力伝達が解除され、エンジンブレーキが効かなくなります。
- アクセルペダルを踏み込んだまま操作しないように気を付けてください。
シフトポジションがPまたはN以外にあると、車が急発進して思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
シフトポジションの変更後は、メーター内のシフトポジション表示灯で現在のシフトポジションを必ず確認してください。

 **警告****■ 継続的にブレーキ付近から警告音（キーキー音）が発生したとき**

できるだけ早くトヨタ販売店で点検を受け、ブレーキパッドを交換してください。

必要なときにパッドの交換が行われないと、ディスクローターの損傷につながる場合があります。

パッドやローターなどの部品は、役割を果たすと共に摩耗していきます。摩耗の限度をこえて走行すると故障を引き起こすばかりでなく、事故につながるおそれがあります。

■ 停車するとき

- 不必要にアクセルペダルを踏み込まないでください。
シフトポジションがPまたはN以外にあると、車が急発進して思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- 車が動き出すことによる事故を防ぐため、READY インジケーターが点灯しているときは常にブレーキペダルを踏み、必要に応じてパーキングブレーキをかけてください。
- 坂道で停車するときは、前後に動き出して事故につながることを防ぐため、常にブレーキペダルを踏み、必要に応じてパーキングブレーキをかけてください。
- 停車中に空ぶかしをしないでください。
排気管が過熱し、可燃物が近くにあると火災につながるおそれがあり危険です。

■ 駐車するとき

- 炎天下では、メガネ・ライター・スプレー缶や炭酸飲料の缶などを車内に放置しないでください。
放置したまましていると、次のようなことが起こるおそれがあり危険です。
 - ・ライターやスプレー缶からガスがもれたり、出火する
 - ・プラスチックレンズ・プラスチック素材のメガネが、変形またはひび割れを起こす
 - ・炭酸飲料の缶が破裂して車内を汚したり、電気部品がショートする原因になる
- ライターを車内に放置したままにしないでください。ライターを収納装備などに入れておいたり、車内に落としたままにしておくと、荷物を押し込んだりシートを動かしたときにライターの操作部が誤作動し、火災につながるおそれがあり危険です。

 **警告****■ 駐車するとき**

- ウィンドウガラスなどには吸盤を取り付けしないでください。また、インストルメントパネルやダッシュボードの上に芳香剤などの容器を置かないでください。
吸盤や容器がレンズの働きをして、車両火災につながるおそれがあります。
- シルバー色などの金属蒸着フィルムを曲面ガラスに貼った場合は、ドアやウィンドウを開けたまま放置しないでください。
直射日光が曲面ガラスの内側に反射し、レンズの働きをして火災につながるおそれがあります。
- 車から離れるときは、必ずパーキングブレーキをかけ、シフトポジションをPにしてハイブリッドシステムを停止し、施錠してください。
ハイブリッド車は走行できる状態（READY インジケーターが点灯している状態）になっていても、音や振動がない場合があります。
- READY インジケーターが点灯しているとき、またはハイブリッドシステム停止直後は排気管にふれないでください。
やけどをするおそれがあります。

■ 仮眠するとき

必ずパワースイッチをOFFにしてください。
READY インジケーターが点灯した状態のまま仮眠すると、無意識にシフトレバーを動かしたり、アクセルペダルを踏み込んだりして、事故やハイブリッドシステムの異常過熱による火災が発生するおそれがあります。さらに、風通しの悪い場所に停めると、排気ガスが車内に侵入し、重大な健康障害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

 **警告****■ ブレーキをかけるとき**

- ブレーキがぬれているときは、普段よりも注意して走行してください。ブレーキがぬれていると、制動距離が長くなり、ブレーキのかかりに、左右の違いが出るおそれがあります。また、パーキングブレーキがしっかりとかからないおそれもあります。
- 電子制御ブレーキシステムが機能しないときは、他の車に近付いたりしないでください。また、下り坂や急カーブを避けてください。この場合ブレーキは作動しますが、通常よりも強く踏む必要があります。また制動距離も長くなります。ただちにブレーキの修理を受けてください。
- ブレーキシステムは2つ以上の独立したシステムで構成されており、1つの油圧システムが故障しても、残りは作動します。この場合、ブレーキペダルを通常より強く踏む必要があります、制動距離が長くなります。ただちにブレーキの修理を受けてください。

■ 床下に衝撃をうけたとき

ただちに安全な場所に停車し、ハイブリッドシステムを停止してください。ブレーキ液や燃料の漏れ、マフラーなど車体下部に損傷が無いか確認してください。漏れや損傷がある場合はただちに販売店で点検整備を受けてください。漏れや損傷を放置すると、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

 **注意****■ 運転しているとき**

- 運転中にアクセルペダルとブレーキペダルを同時に踏まないでください。アクセルペダルとブレーキペダルを同時に踏むと、駆動力を抑制する場合があります。
- 坂道で停車するために、アクセルペダルを使ったり、アクセルペダルとブレーキペダルを同時に踏んだりしないでください。

■ 駐車するとき

必ずパーキングブレーキをしっかりとかけて、シフトポジションをPにしてください。Pにしておかないと、車が動き出したり、誤ってアクセルペダルを踏み込んだときに急発進するおそれがあります。

■ 部品の損傷を防ぐために

- パワーステアリングモーターの損傷を防ぐため、ハンドルをいっぱいにもわした状態を長く続けないでください。
- ディスクホイールなどの損傷を防ぐため、段差などを通過するときは、できるだけゆっくり走行してください。

 **注意****■ 走行中にタイヤがパンクしたら**

次のようなときはタイヤのパンクや損傷が考えられます。ハンドルをしっかりと持って徐々にブレーキをかけ、スピードを落としてください。

- ハンドルがとられる
- 異常な音や振動がある
- 車両が異常に傾く

タイヤがパンクした場合の対処法は P. 295, 305 を参照してください。

■ 冠水路走行に関する注意

大雨などで冠水した道路では、次のような重大な損傷を与えるおそれがあるため、走行しないでください。

- エンストする
- 電装品がショートする
- 水を吸い込んでのエンジン破損

万一、冠水した道路を走行し、水中に浸かってしまったときは必ずトヨタ販売店で次の点検をしてください。

- ブレーキの効き具合
- エンジン・ハイブリッド用トランスミッションなどのオイルやフルードの量および質の変化
- 各ベアリング・各ジョイント部などの潤滑不良

冠水によりシフト制御関連部品が損傷すると、シフトポジションが P に切りかえられない、または P から他のシフトポジションに切りかえられなくなる可能性があります。P から他のポジションに切りかえられない場合は、パーキングロックにより、前輪が固定されているため、他車にロープなどでけん引してもらうことはできません。その場合は、前輪を持ち上げるか、4 輪とも持ち上げて運搬してください。

■ P ポジションから切りかわらないとき

補機バッテリーあがりの可能性があります。補機バッテリーを確認してください (→ P. 322)

荷物を積むときの注意

安全で快適なドライブをするために、荷物を積むときは次のことをお守りください。

警告

■ 積んではいけないもの

次のようなものを積むと引火するおそれがあり危険です。

- 燃料が入った容器
- スプレー缶

■ 荷物を積むとき

次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、ブレーキペダル・アクセルペダルを正しく操作できなかったり、荷物が視界をさえぎったり、荷物が乗員に衝突したりして、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

- できるだけ荷物はラゲージルームに積んでください。
- 次の場所には荷物を積まないでください。
 - ・ 運転席足元
 - ・ 助手席やリヤ席（荷物を積み重ねる場合）
 - ・ インストルメントパネル
 - ・ ダッシュボード
- 室内に積んだ荷物はすべてしっかりと安定させてください。
- シート背もたれより高いものをラゲージルームに積まないでください。
- リヤ席のシート背もたれを折りたたんで、寸法が長い荷物を積むときは、できるだけ前席シート背もたれの真うしろには積まないでください。
- ラゲージルームに人を乗せないでください。乗員用には設計されていません。乗員は適切にシートベルトを着用させ、座席に座らせてください。

■ 荷物の重量・荷重のかけ方について

- 荷物を積み過ぎないでください。
- 荷重を不均等につけないようにしてください。

これはタイヤに負担をかけるだけでなく、ハンドル操作性やブレーキ制御の低下により思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

パワー（イグニッション）スイッチ

電子キーを携帯して次の操作を行うことで、ハイブリッドシステムの始動またはパワースイッチのモードを切りかえることができます。

ハイブリッドシステム始動のしかた

- 1 パーキングブレーキがかかっていることを確認する

- 2 ブレーキペダルをしっかりと踏む

マルチインフォメーションディスプレイにメッセージが表示されます。

表示されないと、ハイブリッドシステムは始動しません。

シフトポジションがNと表示されているときは、ハイブリッドシステムを始動できません。必ずPにしてから始動してください（→ P. 156）

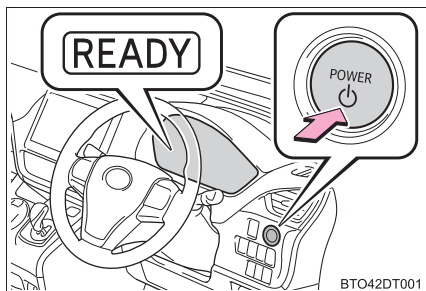


- 3 パワースイッチを押す

READYインジケーターが点灯すれば、ハイブリッドシステムは正常に始動しています。

完全にハイブリッドシステムが始動するまでブレーキペダルを踏み続けてください。

パワースイッチのどのモード（→ P. 149）からでもハイブリッドシステムを始動できます。



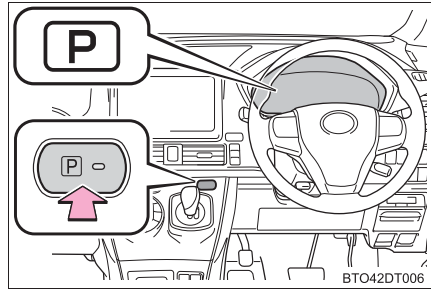
- 4 READYインジケーターが点灯したことを確認する

READYインジケーターが消灯している状態では走行できません。

ハイブリッドシステムの停止のしかた

- 1 車両を完全に停止させる
- 2 パーキングブレーキをかける (→ P. 164)
- 3 P ポジションスイッチを押して、シフトポジションをPにする (→ P. 157)

シフトポジション表示灯がPであることをメーターで確認する。(→ P. 74)



- 4 パワースイッチを押す

ハイブリッドシステムが停止し、メーター表示が消えます。

- 5 ブレーキペダルから足を離れた状態にして、スマートエントリー&スタートシステム表示灯が消灯していることを確認する

パワースイッチのモード切りかえ

ブレーキペダルを踏まずにパワースイッチを押すと、モードを切りかえることができます。(スイッチを押すごとにモードが切りかわります。)

- ① OFF

非常点滅灯が使用できます。

- ② アクセサリーモード

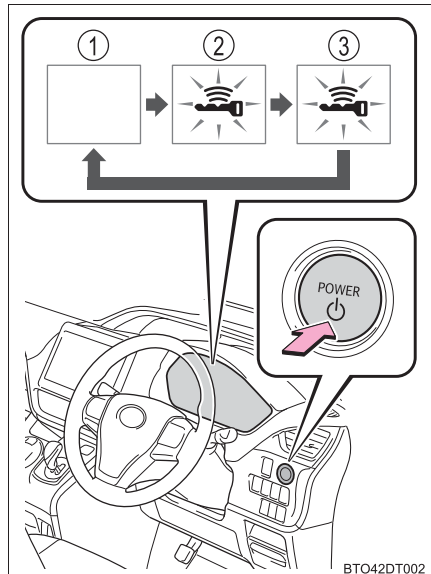
オーディオなどの電装品が使用できます。

スマートエントリー&スタートシステム表示灯が緑色にゆっくりと点滅します。

- ③ ON モード

すべての電装品が使用できます。

スマートエントリー&スタートシステム表示灯が緑色にゆっくりと点滅します。



 知識**■ 自動電源 OFF 機能**

シフトポジションが P にあるとき 20 分以上アクセサリモードか 1 時間以上 ON モード（ハイブリッドシステムが作動していない状態）にしたままにしておくと、パワースイッチが自動で OFF になります。

ただし、自動電源 OFF 機能は、補機バッテリーあがりを完全に防ぐものではありません。ハイブリッドシステムが作動していないときは、パワースイッチをアクセサリモードまたは ON モードにしたまま長時間放置しないでください。

■ 高電圧リレーの音について

ハイブリッドシステム始動時および停止時に、シート下部から“コトン”、“カチツ”などの音が聞こえることがあります。これは高電圧リレーの音で、異常ではありません。

■ 電子キーの電池の消耗について

→ P. 88

■ 外気温が低いときは

ハイブリッドシステム始動時にREADYインジケータの点滅時間が長くなる場合があります。READY インジケータが点灯すれば走行可能になりますので点灯するまでそのままお待ちください。

■ スマートエントリー&スタートシステムが正常に働かないおそれのある状況

→ P. 111

■ ご留意いただきたいこと

→ P. 111

■ ハイブリッドシステムが始動しないとき

● イモビライザーシステムが解除されていない可能性があります。（→ P. 67）
トヨタ販売店へご連絡ください。

● シフトポジション表示灯の N が点灯しているときは、ハイブリッドシステムを始動できません。必ず P にしてから始動してください。（→ P. 157）
マルチインフォメーションディスプレイに「始動時は P レンジに入れてください」が表示されます。

■ 万一、READY インジケータが点灯しないときは

正しい手順で始動操作を行っても READY インジケータが点灯しない場合は、ただちにトヨタ販売店へご連絡ください。

■ハイブリッドシステムに異常があるときは

→ P. 280

■マルチインフォメーションディスプレイに「スマートエントリー&スタートシステム故障 取扱書を確認」が表示されたときは

システムに異常があるおそれがあります。ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。

■電子キーの電池が切れたときは

→ P. 249

■パワースイッチの操作について

- パワースイッチを操作する際は、短く確実に押してください。確実に押せてない場合は、モードの切りかえやハイブリッドシステムの始動ができない場合があります。また、確実に操作すれば押し続ける必要はありません。
- パワースイッチ OFF 後、すぐに再始動した場合は、ハイブリッドシステムが始動しない場合があります。パワースイッチ OFF 後の再始動は、数秒待ってから操作してください。

■自動 P ポジション切りかえ機能について

- シフトポジションP以外の状態で、車両を完全に停止させパワースイッチを押すと、自動的にシフトポジションが P に切りかわり、パワースイッチが OFF になります。
- P ポジション以外からパワースイッチを OFF するときは、ブレーキペダルをしっかりと踏み、シフトポジションが P に切りかわったことを確認してから、ゆっくりブレーキペダルを離してください。
- シフト制御システムが故障すると、パワースイッチを OFF にできなくなることがあります。その場合は、パーキングブレーキをかけると、スイッチを OFF にすることができます。
システムが故障した場合は、すみやかにトヨタ販売店で点検を受けてください。

■販売店でスマートエントリー&スタートシステムを非作動にしたときは

→ P. 320

 **警告****■ ハイブリッドシステムを始動するとき**

必ず運転席に座って行ってください。このとき決してアクセルペダルは踏まないでください。

思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■ 緊急時のハイブリッドシステム停止方法

走行中にハイブリッドシステムを緊急停止したい場合には、パワースイッチを2秒以上押し続けるか、素早く3回以上連続で押してください。(→ P. 270) ただし、緊急時以外は走行中にパワースイッチにふれないでください。走行中にハイブリッドシステムを停止してもハンドルやブレーキの操作は可能ですが、ハンドルの操作力補助がなくなり、ハンドル操作が困難になります。安全を確認した上で、すみやかに道路脇に停車してください。

 **注意****■ 補機バッテリーあがりを防止するために**

● ハイブリッドシステム停止中は、パワースイッチをアクセサリモードまたは ON モードにしたまま長時間放置しないでください。

● ハイブリッドシステム停止中に、スマートエントリー&スタートシステム表示灯が消灯していないときは、パワースイッチが OFF になっていません。パワースイッチを OFF にしてから車両を離れてください。

■ ハイブリッドシステムを始動するとき

もしハイブリッドシステムが始動しにくかったりする場合は、ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。

■ パワースイッチの操作について

パワースイッチ操作時に引っかかりなどの違和感があるときは、故障のおそれがあります。すみやかにトヨタ販売店にご連絡ください。

EV ドライブモード

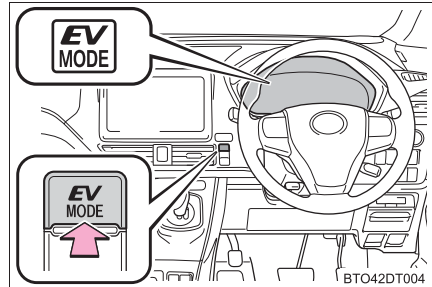
EV ドライブモードは、駆動用電池を使い電気モーターを駆動して走行するモードです。早朝、深夜の住宅街や屋内の駐車場などで、騒音や排気ガスを気にすることなく走行することができます。

通常は車両接近通報装置が ON になっているため、静かに走行したい場合は OFF にしてください。(→ P. 58)

EV ドライブモードの ON / OFF を切りかえる

EV ドライブモードになると、EV ドライブモード表示灯が点灯します。

もう一度スイッチを押すと通常走行(ガソリンエンジンと電気モーターによる走行)にもどります。



 知識**■ EV ドライブモードの切りかえについて**

次のときは EV ドライブモードに切りかわらない場合があります。EV ドライブモードに切りかわらないときはブザーが鳴り、マルチインフォメーションディスプレイにメッセージが表示されます。

- ハイブリッドシステムが高温のとき
炎天下に駐車したあとや登降坂、高速走行後など
- ハイブリッドシステムが低温のとき
約 0℃を下まわるような低温下に長時間駐車したあとなど
- ガソリンエンジンが暖機運転中のとき
- 駆動用電池の充電量が低いとき
エネルギーモニターに表示される駆動用電池の残量が少ない状態 (→ P. 82)
- 車速が 55km/h 以上のとき
- アクセルペダルを大きく踏み込んだときや坂道など
- フロントデフロスターを使用しているとき

■ ガソリンエンジンが冷えているときの EV ドライブモードの切りかえについて

ガソリンエンジンが冷えているときにハイブリッドシステムを始動した場合、しばらくすると暖機運転のためガソリンエンジンが自動的に始動し、EV ドライブモードに切りかえることができなくなります。

ハイブリッドシステム始動操作後、READY インジケーターが点灯したら、ガソリンエンジンが始動する前に EV ドライブモードスイッチを押してください。

■ EV ドライブモードの自動解除について

EV ドライブモードで走行中、次のときは自動的に通常走行（ガソリンエンジンと電気モーターによる走行）になることがあります。EV ドライブモードが解除されるときは、ブザーが鳴り、EV ドライブモード表示灯が点滅したあと、消灯します。

- 駆動用電池の充電量が低下したとき
エネルギーモニターに表示される駆動用電池の残量が少ない状態（→ P. 82）
- 車速が 55km/h をこえたとき
ガソリンエンジンの冷却水温が低いときは、30km/h で自動解除されることがあります。
- アクセルペダルを大きく踏み込んだときや坂道など

■ EV ドライブモードの走行可能距離

EV ドライブモードの走行可能距離は数百mから約2km程度です。車速約55km/h 以下での走行が可能です。但し、車両の状況によっては EV ドライブモードが使用できない場合があります。（走行距離は、駆動用電池の充電量や走行状態によって異なります）

■ 燃費について

ヴォクシーは、通常走行（ガソリンエンジンと電気モーターによる走行）において、最も燃費がよくなるように制御されています。EV ドライブモードを多用すると、燃費が悪くなる場合があります。

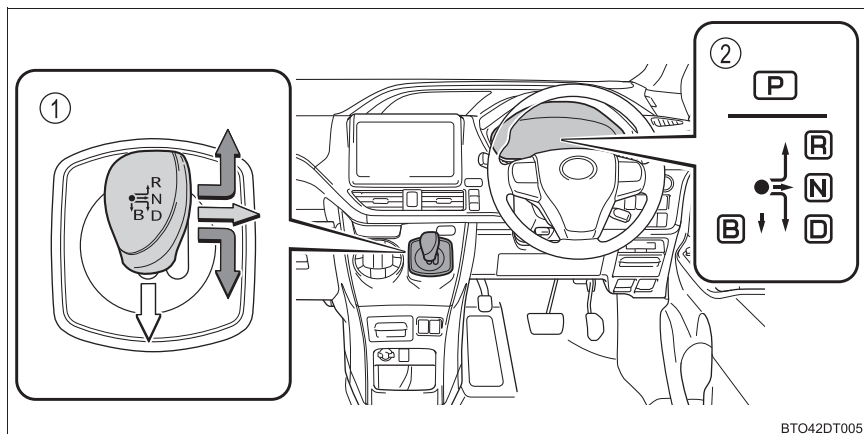
警告

■ 走行中の警告

EV ドライブモードではエンジン音がしないため、周囲の人が車両の発進や接近に気が付かない場合があります。特に車両接近通報装置を OFF にしている場合は、十分注意して運転してください。

トランスミッション

シフトレバーの動かし方



BTO42DT005

① シフトレバー

シフトレバーは、ゆっくり確実に操作してください。

シフトレバーを操作したあとは、シフトレバーから手を離してください。シフトレバーが「 ● 」の位置に自然にもどります。



D または R ポジションへ切りかえるときは、ゲートにそってそのまま操作します。



N ポジションへ切りかえるときは、右にスライドさせ、しばらく保持すると、N に切りかわります。



B ポジションへ切りかえるときは、ゲートにそって下側に操作します。

B ポジションへの切りかえはシフトポジションが D のときのみ、切りかえが可能です。

P から N・D・R へ、または D から R、および R から D へ切りかえるときは、ブレーキペダルを踏み、車を完全に止めてから行ってください。

② シフトポジション表示灯

シフトポジションの選択時には、メーター内のシフトポジション表示灯が切りかわったことを必ず確認してください。

D・B ポジション以外のときは、シフトポジション表示灯の B 方向への矢印と B ポジション表示が消灯します。

シフトポジションの使用目的

シフトポジション	目的
P	駐車またはハイブリッドシステムの始動
R	後退
N	動力が伝わらない状態
D	通常走行※
B	坂道や急な下り坂など、強いエンジンブレーキが必要なとき

※ 燃費向上や騒音の低減のために、通常は D ポジションを使用してください。

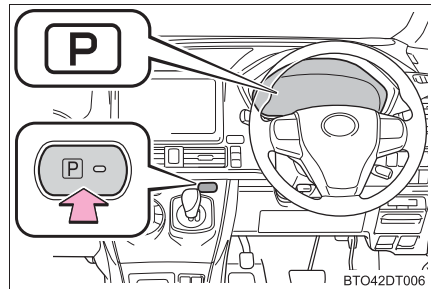
P ポジションスイッチ

P ポジションスイッチを使用して、P ポジションへ切りかえることができます。

車を完全に停止させ、ブレーキペダルを踏みながら、P ポジションスイッチを押す

シフトポジションをPにすると、スイッチの作動表示灯が点灯します。

シフトポジション表示灯の P が点灯していることを確認してください。

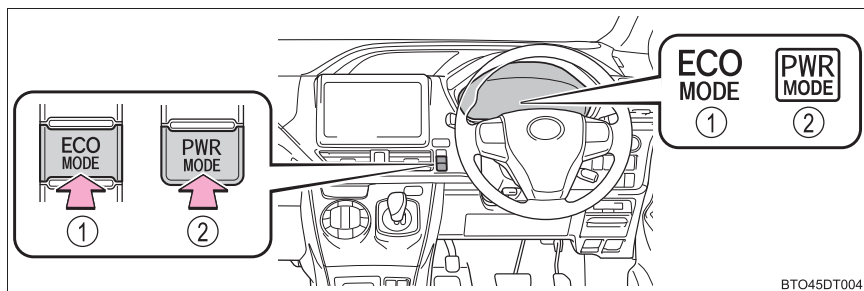


■ P から他のシフトポジションに切りかえるときは

- ・ ブレーキペダルをしっかりと踏みながら、シフトレバーを操作します。ブレーキペダルを踏まずにシフトレバーを操作すると、ブザーが鳴り、シフトポジションの切りかえができません。
- ・ P から直接、シフトポジションを B に切りかえることはできません。

走行モードの選択

走行・使用条件に合わせて次のモードを選択できます。



① エコドライブモード

通常にくらべてアクセルペダルの踏み込みに対するトルクの発生がゆるやかになり、またエアコン（暖房／冷房）の作動を抑え、燃費を向上させる走行に適しています。

スイッチを押すと、メーター内の ECO MODE 表示灯が点灯します。

通常走行モードにもどすときは再度スイッチを押します。

② パワーモード

山岳路などで、アクセルレスポンスのよい、きびきびとした走りを楽しみたいときに適しています。

スイッチを押すと、メーター内の PWR MODE 表示灯が点灯します。

通常走行モードにもどすときは再度スイッチを押します。

 知識

■ シフトポジションについて

- パワースイッチが OFF のときはシフトポジションの切りかえはできません。
- パワースイッチが ON モードで、READY インジケーターが消灯しているときは、N にのみ切りかえが可能です。シフトレバーを操作して D または R の位置で保持したときも N に切りかわります。
- READY インジケーターが点灯中は、P ポジションから、D・N・R を選択できません。
- READY インジケーターが点滅中は、シフトレバーを操作しても、P ポジション以外には切りかわりません。
- D ポジション以外から直接、B ポジションに切りかえることはできません。

また、下記に示す操作をするとブザーが鳴り、シフトポジションの切りかえが無効になるときや、自動的に N ポジションに切りかわる場合があります。その場合は適切なシフトポジションに切りかえてください。

- シフトポジションの切りかえを無効にするとき
 - ・ シフトポジション P からブレーキペダルを踏まずにシフトレバーを操作したとき
 - ・ シフトポジション P または N から、B ポジションを選択したとき
 - 自動的にシフトポジションが N に切りかわるとき
 - ・ 走行中に、P ポジションスイッチを押したとき※¹
 - ・ 車両が前進しているときに、シフトレバーを操作して R ポジションを選択しようとしたとき※²
 - ・ 車両が後退しているときに、シフトレバーを操作して D ポジションを選択しようとしたとき※³
 - ・ シフトレバーを操作して、シフトポジションを R から B へ切りかえようとしたとき
- ※¹ 極低速走行時は、P ポジションに切りかわることがあります。(→ P. 161)
- ※² 低速走行時は、R ポジションに切りかわることがあります。
- ※³ 低速走行時は、D ポジションに切りかわることがあります。

■ リバース警告ブザー

シフトポジションを R に入れるとブザーが鳴り、R にあることを運転者に知らせます。

■ 駆動力の抑制について（ドライブスタートコントロール）

次のような通常と異なる操作が行われた場合、駆動力を抑制する場合があります。

- アクセルペダルを踏み込んだまま、シフトレバーを操作した（R から D、D から R、N から R、P から D、P から R）とき。この場合、マルチインフォメーションディスプレイにメッセージが表示されます。（→ P. 286）
- 後退時にアクセルペダルを踏みすぎたとき。

■ エンジンブレーキについて

シフトポジションが B のとき、アクセルペダルから足を離すと、エンジンブレーキがかかります。

- 高速走行時は、通常の車にくらべてエンジンブレーキによる減速感が小さくなります。
- B ポジションでも加速することができます。

通常走行時に B ポジションにて走行し続けると、燃費の悪化につながります。通常走行時は、D ポジションで走行してください。

■ クルーズコントロール★を使用して走行しているとき

エンジンブレーキを目的に走行モードをパワーモードにしても、クルーズコントロールが解除されないため、エンジンブレーキは効きません。（→ P. 158）

■ エコドライブモードのエアコン作動について

エコドライブモードは暖房／冷房の作動や風量を抑制して、燃費向上を図っています。

空調の効きをより良くしたい時は、風量の調整、又はエコドライブモードの解除をしてください。

■ パワーモードの自動解除

パワーモードを選択して走行後、ハイブリッドシステムを停止すると、自動的に通常走行モードに切りかわります。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

 **警告****■ すべりやすい路面を走行するとき**

急なアクセル操作や、シフト操作を行わないでください。エンジブレーキ力の急激な変化が横すべりやスピンの原因になりますので注意してください。

■ シフトレバーについて

システムを正常に作動させるため、次のことをお守りください。
お守りいただかないと、シフトレバーが定位置にもどらなくなり、走行中に思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

- シフトレバーにものをぶら下げないでください。
- シフトレバーのノブを取りはずしたり、純正品以外のノブを取り付けたりしないでください。

■ P ポジションスイッチについて

車が動いているときは、P ポジションスイッチにふれないでください。
停車直前など、極低速走行中に P ポジションスイッチを押すと、シフトポジションが P に切りかわることがあるため、車が急停止して思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

 **注意****■ 駆動用電池の充電について**

シフトポジションが N では、ガソリンエンジンが回転していても駆動用電池は充電されないため、N で長時間放置すると駆動用電池の残量が低下し、走行不能になるおそれがあります。

■ シフト制御システムの異常が考えられるとき

次のような状態になったときは、シフト制御システムの異常が考えられます。安全で平坦な場所に停車し、パーキングブレーキをかけて、トヨタ販売店にご連絡ください。

- マルチインフォメーションディスプレイにシフト制御システムの異常警告メッセージが表示されたとき (→ P. 281)
- シフトポジション表示灯が点灯しないとき

■ P ポジションから切りかわらないとき

補機バッテリーあがりの可能性があります。補機バッテリーを確認してください。(→ P. 322)

■ シフトレバーと P ポジションスイッチ操作について

シフトレバーと P ポジションスイッチの連続操作をくり返し行わないでください。システム保護のため一時的に P ポジションから切りかえることができなくなります。この場合は、約 20 秒待ってから操作してください。

方向指示レバー

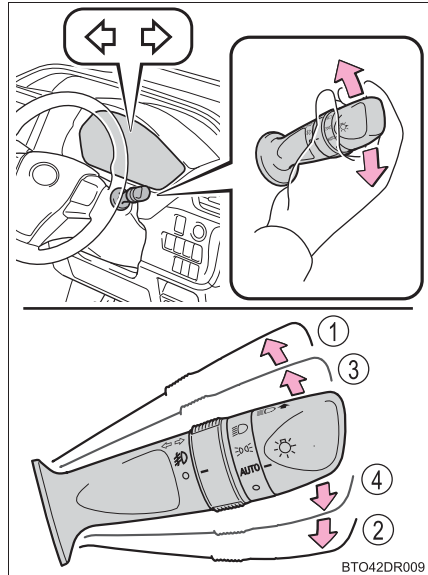
操作のしかた

- ① 左折
- ② 右折
- ③ 左側へ車線変更
(レバーを途中で保持)

レバーを離すまで左側方向指示灯が点滅します。

- ④ 右側へ車線変更
(レバーを途中で保持)

レバーを離すまで右側方向指示灯が点滅します。



知識

■ 作動条件

パワースイッチが ON モードのとき

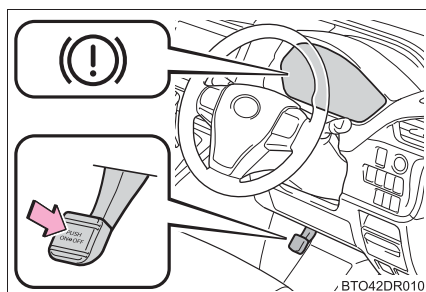
■ 表示灯の点滅が異常に速くなったとき

方向指示灯の電球が切れていないか確認してください。

パーキングブレーキ

操作のしかた

パーキングブレーキをかけるには、右足でブレーキペダルを踏みながら、左足でパーキングブレーキペダルをいっぱいまで踏み込む（再度踏み込むと解除される）



知識

- 冬季のパーキングブレーキの使用について
→ P. 186
- パーキングブレーキ未解除走行時警告ブザー
→ P. 276

注意




■ 走行前の注意

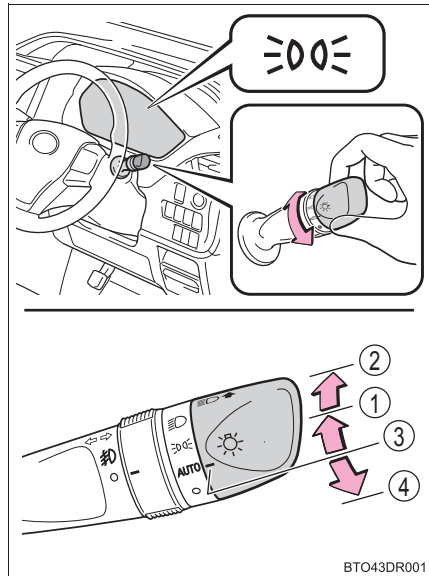
パーキングブレーキを完全に解除してください。
パーキングブレーキをかけたまま走行すると、ブレーキ部品が過熱し、ブレーキの効が悪くなったり、早く摩耗したりするおそれがあります。

ランプスイッチ

自動または手でヘッドランプなどを点灯できます。

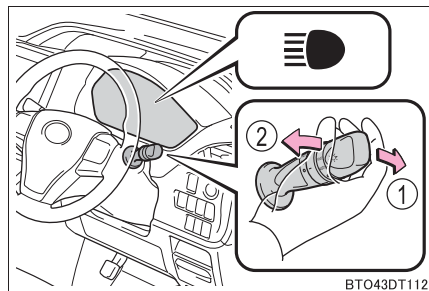
操作のしかた

- ①  車幅灯・尾灯・番号灯・インストルメントパネルランプを点灯
- ②  上記ランプとヘッドランプを点灯
- ③ **AUTO** ヘッドランプ・車幅灯などを自動点灯・消灯
(パワースイッチがONモードのとき)
- ④  消灯



ハイビームにする

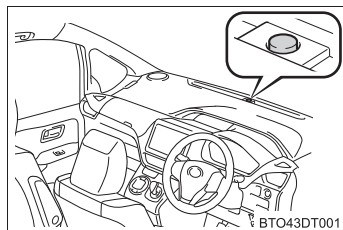
- ① ランプ点灯時ハイビームに切りかえ
レバーをもとの位置へもどすとロービームにもどります。
- ② レバーを引いているあいだ、ハイビームを点灯
ランプが消灯していても、ハイビームが点灯します。レバーを離すと、ロービームにもどる、または消灯します。



 知識



■ ライトセンサー

センサーの上にものを置いたり、センサーをふさぐようなものをフロントウインドウガラスに貼らないでください。周囲からの光がさえぎられると、自動点灯・消灯機能が正常に働かなくなります。



■ ランプ消し忘れ防止機能

パワースイッチをアクセサリモードまたは OFF にしてフロントドアまたはスライドドアを開けるとヘッドランプと尾灯が消灯します。

再びランプを点灯する場合は、パワースイッチを ON モードにするか、一度ランプスイッチを OFF にもどし、再度  または  の位置にします。

■ ランプ消し忘れ警告ブザー

ヘッドランプ・尾灯が点灯している状態で運転席ドアを開けると、ランプ類の消し忘れを警告するブザーが鳴ります。

■ オートレベリングシステム

通行人や対向車がまぶしくないように、乗車人数・荷物の量などによる車の姿勢の変化に合わせて、ヘッドランプの光軸を自動で調整します。

■ 販売店で設定可能な機能

ライトセンサーの感度の設定などを変更できます。
(カスタマイズ一覧：→ P. 342)

 注意

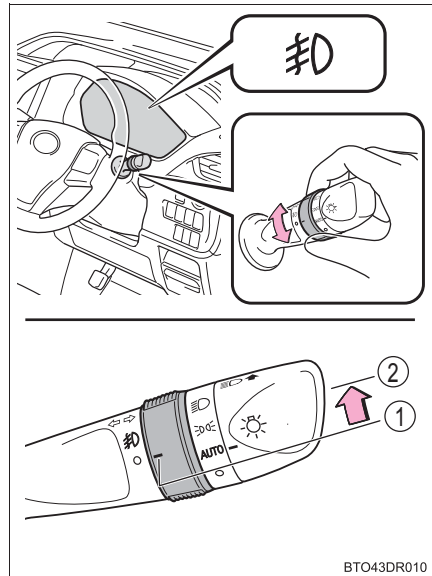
■ 補機バッテリーあがりを防止するために

ハイブリッドシステムを停止した状態でランプ類を長時間点灯しないでください。

フォグランプスイッチ★

雨や霧などの悪天候下での視界を確保します。

- ① ● 消灯する
- ② ㊦ 点灯する



BTO43DR010

知識

■点灯条件

ヘッドランプまたは車幅灯が点灯しているときに使用できます。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

ワイパー & ウォッシャー（フロント）

操作のしかた

“INT” を選択しているとき、間欠作動の時間を調整することができます。間欠作動の時間は、車速に応じてかわります。

次のようにレバーを操作して、ワイパーの作動を選択します。ワイパーの間欠時間も調整できます。

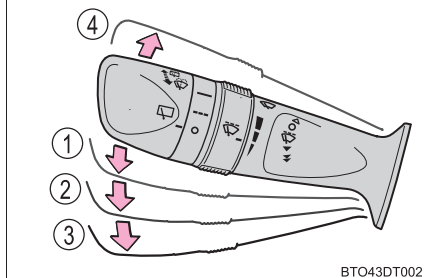
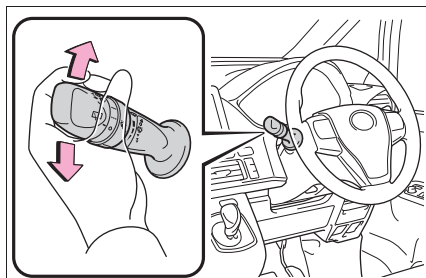
① 間欠作動（INT）

車速が高くなると、作動頻度が増えます。

② 低速作動（LO）

③ 高速作動（HI）

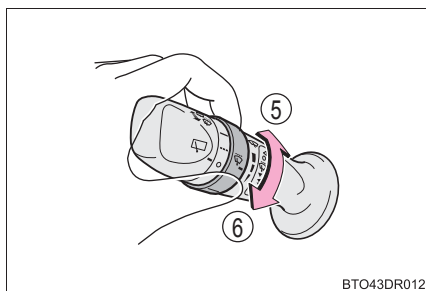
④ 一時作動（MIST）



BTO43DT002

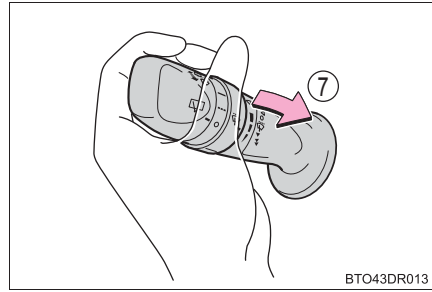
⑤ 間欠ワイパーの作動頻度（増）

⑥ 間欠ワイパーの作動頻度（減）



BTO43DR012

- ⑦ ウォッシャー液を出す
ワイパーが連動して作動します。



知識

■ 作動条件

パワースイッチが ON モードのとき

■ 車速による作動への影響

車速によってワイパー作動への影響があります。

- 間欠時間
- ウォッシャー連動時のワイパー作動（液だれ防止作動の有無）

■ ウォッシャー液が出ないとき

ウォッシャー液量が不足していないのにウォッシャー液が出ないときは、ノズルのつまりを点検してください。

警告

■ ウォッシャー使用時の警告

寒冷時はフロントウインドウガラスが温まるまでウォッシャー液を使用しないでください。ウォッシャー液がフロントウインドウガラスに凍り付き、視界不良を起こして思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

注意

■ フロントウインドウガラスが乾いているとき

ワイパーを使わないでください。
ガラスを傷付けるおそれがあります。

■ ウォッシャー液が出ないとき

ウォッシャースイッチを操作し続けしないでください。
ポンプが故障するおそれがあります。

■ ノズルがつまったとき

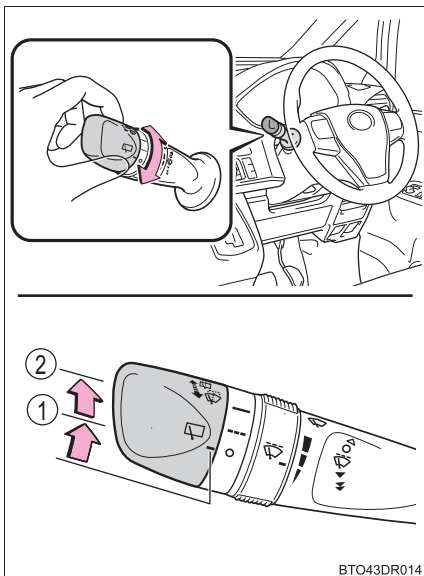
ノズルがつまったときはトヨタ販売店へご連絡ください。
ピンなどで取り除かないでください。ノズルが損傷するおそれがあります。

ワイパー&ウォッシャー（リヤ）

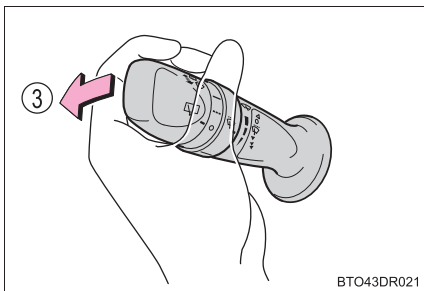
操作のしかた

次のようにレバーを操作して、ワイパーの作動を選択します。

- ① 間欠作動
- ② 通常作動



- ③ ウォッシャー液を出す
ワイパーが連動して作動します。



知識

■ 作動条件

パワースイッチが ON モードのとき

■ ウォッシャー液が出ないとき

ウォッシャー液量が不足していないのにウォッシャー液が出ないときは、ノズルのつまりを点検してください。

■ リバース連動機能

フロントワイパーが作動中、シフトポジションをRにするとリヤワイパーが1回作動します。

注意

■ リヤウインドウガラスが乾いているとき

ワイパーを使わないでください。
ガラスを傷付けるおそれがあります。

■ ウォッシャー液が出ないとき

ウォッシャースイッチを操作し続けしないでください。
ポンプが故障するおそれがあります。

■ ノズルがつまったとき

ノズルがつまったときはトヨタ販売店へご連絡ください。
ピンなどで取り除かないでください。
ノズルが損傷するおそれがあります。

給油口の開け方

給油する前に

- ドアとドアガラスを閉めて、パワースイッチを OFF にしてください。
- 燃料の種類を確認してください。

知識

■ 燃料の種類

- 無鉛レギュラーガソリン
- バイオ混合ガソリン（レギュラー）

■ バイオ混合ガソリンについて

エタノールの混合率 10%以下、または ETBE の混合率 22%以下のガソリン(酸素含有率 3.7%以下)を使用することができます。

■ 給油扉開警告ブザー

- 給油扉が開いているときに、自動で助手席側パワースライドドアを開けようとする作動を中止します。
- 助手席側パワースライドドアの自動開閉中に給油扉を開けると、ブザーが鳴り、作動を停止し、手動作動に切りかえます。

警告

■ 給油するときは

次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと火災を引き起こすなど、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- 給油前にボデーなどの金属部分にふれて体の静電気を除去してください。除去したあとは給油が完了するまで、車内にもどったり、他の人やものにふれないでください。また、給油口に静電気を除去していない人を近付けないでください。

静電気を帯電した人が給油口に近付くと、放電による火花で燃料に引火するおそれがあります。

- キャップはつまみ部分を持ち、ゆっくりと開けてください。また、キャップをゆるめたときに、“シュー”という音がある場合は、その音が止まるまでキャップを保持してください。

すぐに開けると、気温が高いときなどに、給油口から燃料が噴き出るおそれがあります。

警告

- 気化した燃料を吸わないようにしてください。
燃料の成分には、有害物質を含んでいるものもあります。
- 喫煙しないでください。
- ふきこぼれを防ぐため次の点に注意してください。
 - ・ 給油口にノズルを確実に挿入する
 - ・ 継ぎ足し給油をしない
- 正常に給油できない場合は、スタンドの係員を呼んで指示に従ってください。

注意

■ 給油するとき

指定のガソリンを使用してください。

指定以外のガソリンや他の燃料（粗悪ガソリン・軽油・灯油・高濃度バイオ混合ガソリン[※]）を使用したり、燃料をこぼしたりしないでください。

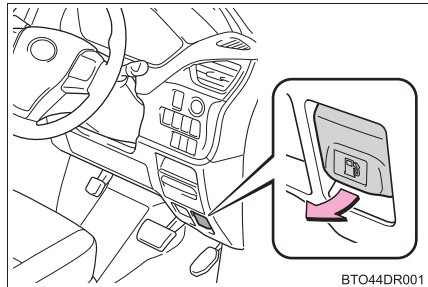
次のような状態になるおそれがあります。

- ガソリンエンジンの始動性が悪くなる
- エンジンからの異音や振動など（ノッキング）が発生する
- エンジンの出力が低下する
- 排気制御システムが正常に機能しない
- 燃料系部品が損傷する
- 塗装が損傷する

※ エタノール混合率 10%をこえるもの、または ETBE 混合率 22%をこえるもの

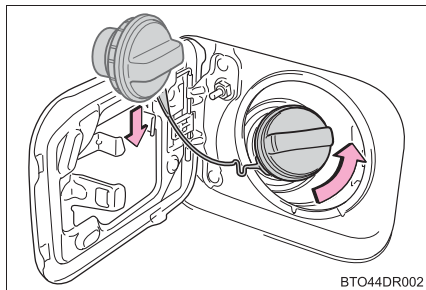
給油口の開け方

- 1 オープナーを引いて、給油扉を開ける



BTO44DR001

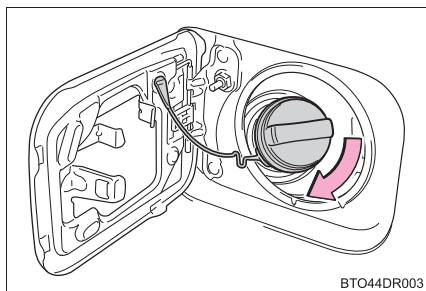
- 2 キャップをゆっくりまわして開け、ホルダーにはめ込む



給油口を閉める

キャップを“カチツ”と音がするまでまわして閉める

手を離すと、キャップが逆方向に少しもどります。



⚠ 警告

■ キャップが正常に閉まらないとき

必ずトヨタ販売店へご連絡ください。

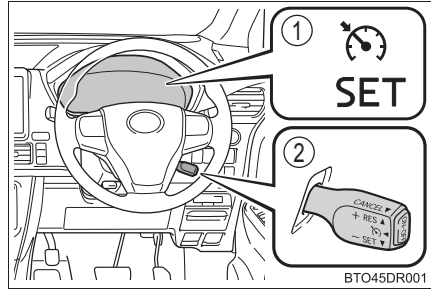
正常に閉まらないキャップをそのまま使用したり、純正品以外のキャップを使用すると、火災などを引き起こし、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

クルーズコントロール★

機能概要

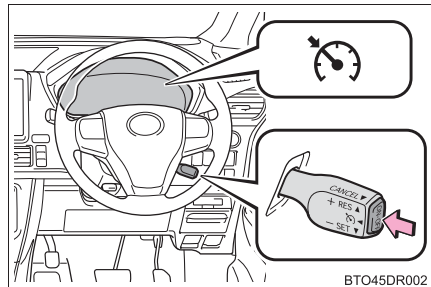
アクセルペダルを踏まなくても一定の速度で走行できます。

- ① 表示灯
- ② クルーズコントロールスイッチ

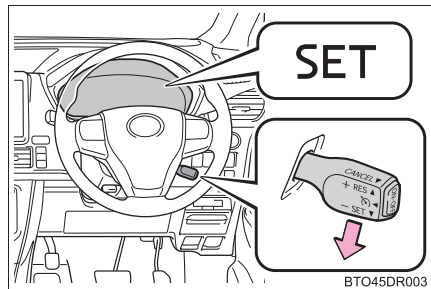


速度を設定する

- 1 ON/OFF スイッチを押して、システムを ON にする
メーター内のクルーズコントロール表示灯が点灯します。
OFF には、再度スイッチを押します。



- 2 希望の速度まで加速／減速し、レバーを下げて設定する
メーター内のセット表示灯が点灯します。
レバーを離れたときの速度で定速走行できます。



★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

設定速度をかえる

設定速度をかえるには、希望の速度になるまでレバーを操作します。

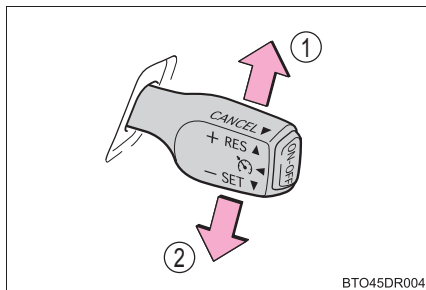
- ① 速度を上げる
- ② 速度を落とす

微調整：

レバーを上または下に軽く操作して手を離す

調整：

希望の車速になるまでレバーを保持する



BTO45DR004

設定速度は、次のとおりに増減されます。

微調整：

レバー操作するごとに約 1.6km/h

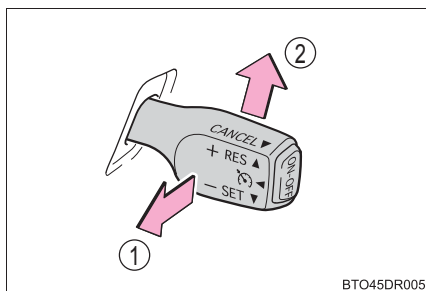
調整：

レバーを保持するあいだ

定速走行を解除する・復帰させる

- ① 解除するには、レバーを手前に引く
ブレーキペダルを踏んだときも解除されます。
- ② 定速走行にもどすには、レバーを上げる

レバーを上げると、もとの定速走行にもどります。ただし、実際の速度が約 40km/h 以下になると設定速度が消去されるため、復帰しません。



BTO45DR005

知識

■ 設定条件について

- シフトポジションが D のとき設定できます。
- 車速は約 40 ～約 100km/h の範囲で設定できます。

■ 車速設定後の加速について

- 通常走行と同様にアクセルで加速できます。加速後、設定車速にもどります。
- クルーズコントロールを解除しなくても、希望の速度まで加速して、レバーを下げるにより設定車速を変更することができます。

■ 定速走行の自動解除

次のとき、自動的に定速走行が解除されます。

- 設定速度より実際の速度が約 16km/h 以上低下した
- 実際の速度が約 40km/h 以下になった
- VSC が作動した
- TRC が一定時間作動した
- TRC を OFF にした

■ 定速走行中、マルチインフォメーションディスプレイに「クルーズコントロール故障 販売店で点検してください」が表示されたとき

ON-OFF スイッチでシステムを一度 OFF にし、再度設定してください。

設定できないとき、またはすぐに解除されるときは、システム異常のおそれがあります。トヨタ販売店で点検を受けてください。



警告

■ 誤操作を防ぐために

クルーズコントロールを使用しないときは、ON-OFF スイッチでシステムを OFF にしてください。

■ クルーズコントロールを使用してはいけない状況

次の状況では、クルーズコントロールを使用しないでください。車のコントロールを失い、思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- 一般道（高速道路や自動車専用道以外）
- 交通量の多い道
- 急カーブのある道
- 曲がりくねった道
- 雨天時や、凍結路・積雪路などのすべりやすい路面
- 急な下り坂
急な下り坂では設定車速以上になることがあります。

運転を補助する装置

走行の安全性や運転性能を高めるため、走行状況に応じて次の装置が自動で作動します。ただし、これらのシステムは補助的なものなので、過信せずに運転には十分に注意してください。

◆ ECB（電子制御ブレーキシステム）

電子制御により、ブレーキ操作に応じたブレーキ力を発生させます。

◆ ABS（アンチロックブレーキシステム）

急ブレーキ時やすべりやすい路面でのブレーキ時にタイヤのロック防止に貢献し、スリップを抑制します。

◆ ブレーキアシスト

急ブレーキ時などに、より大きなブレーキ力を発生させます。

◆ VSC（ビークルスタビリティコントロール）

急なハンドル操作やすべりやすい路面で旋回するときに横すべりを抑え、車両の姿勢維持に寄与します。

◆ S-VSC（Steering-assisted Vehicle Stability Control）

ABS・TRC・VSC・EPSを協調して制御します。すべりやすい路面などの走行で急なハンドル操作をした際に、ハンドル操作力を制御することで車両の方向安定性確保に貢献します。

◆ TRC（トラクションコントロール）

すべりやすい路面での発進時や加速時にタイヤの空転を抑え、駆動力の確保に貢献します。

◆ ヒルスタートアシストコントロール

上り坂やすべりやすい丘面で発進するときに、ブレーキペダルから足を離しても一時的に制動力を保持し、発進操作を補助します。

◆ EPS（エレクトリックパワーステアリング）

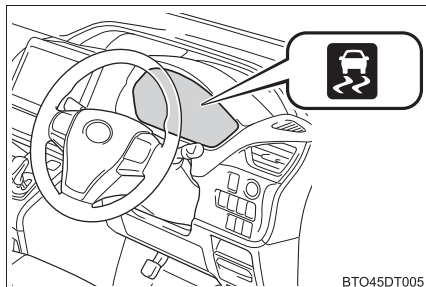
電気式モーターを利用して、ハンドル操作を補助します。

◆ 緊急ブレーキシグナル

急ブレーキ時に非常点滅灯を自動的に点滅させることにより、後続車に注意をうながし、追突される可能性を低減させます。

TRC・VSC・ABS が作動しているとき


TRC・VSC・ABS が作動しているときは、スリップ表示灯が点滅します。



BTO45DT005

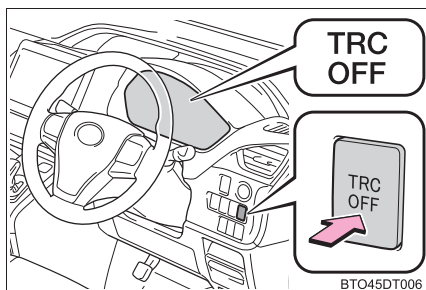
TRC を停止するには

ぬかるみや新雪などから脱出するときに、TRC が作動していると、アクセルペダルを踏み込んでもハイブリッドシステムの出力が上がらず、脱出が困難な場合があります。このようなときに TRC を停止することにより、脱出しやすくなる場合があります。

TRC を停止するには  を押す

TRC OFF 表示灯が点灯します。

もう一度  を押すと、システム作動可能状態にもどります。



BTO45DT006

知識

■ TRC OFF スイッチを押さなくても TRC OFF 表示灯が点灯したとき

TRC が作動できない状態になっています。トヨタ販売店にご相談ください。

■ ABS・ブレーキアシスト・VSC・TRC・ヒルスタートアシストコントロールの作動音と振動

上記のシステムが作動すると、次のような現象が発生することがありますが、異常ではありません。

- 車体やハンドルに振動を感じる
- 車両停止後もモーター音が聞こえる
- ABS の作動時に、ブレーキペダルが小刻みに動く
- ABS の作動終了後、ブレーキペダルが少し奥に入る

■ ECB の作動音

次のような場合に ECB の作動音が聞こえる場合がありますが、異常ではありません。

- ブレーキペダルを操作したときに、エンジンルームから聞こえる作動音（“カチ”、“シュー”、“ジー” という音）
- 運転席ドアを開けたときに車両前方から聞こえるブレーキシステムのモーター音（“ジー” という音）
- ハイブリッドシステム停止後1～2分経過時に、エンジンルームから聞こえる作動音（“カチ”、“シュー”、“ジー” という音）

■ EPS モーターの作動音

ハンドル操作を行ったとき、モーターの音（“ウィーン” という音）が聞こえることがあります。異常ではありません。

■ TRC の自動復帰について

TRC を作動停止にしたあと、次のときは作動可能状態にもどります。

- パワースイッチを OFF にしたとき
- 車速が高くなったとき

■ EPS の効果が下がるとき

停車中か極低速走行中に長時間ハンドルをまわし続けると、EPS システムのオーバーヒートを避けるため、EPS の効果が下がりハンドル操作が重く感じられるようになります。

その場合は、ハンドル操作を控えるか、停車し、ハイブリッドシステムを停止してください。しばらくするともとの状態にもどります。

■ ヒルスタートアシストコントロールの作動条件

次のときシステムが作動します。

- シフトポジションが P または N 以外（前進または後退での上り坂発進時）
- 車両停止状態
- アクセルを踏んでいない
- パーキングブレーキがかかっていない

■ ヒルスタートアシストコントロールの自動解除

次のいずれかのときシステムが解除されます。

- シフトポジションを P または N にした
- アクセルを踏んだ
- パーキングブレーキをかけた
- ブレーキペダルから足を離して約 2 秒経過した

■ 緊急ブレーキシグナルの作動条件

次のときシステムが作動します。

- 非常点滅灯が点滅していないこと
- 車速 55km/h 以上
- ブレーキペダルが踏み込まれ、車両の減速度から急ブレーキだと判断された

■ 緊急ブレーキシグナルの自動解除

次のいずれかのときシステムが解除されます。

- 非常点滅灯を点滅させた
- ブレーキペダルを離れた
- 車両の減速度から急ブレーキではないと判断された

警告

■ ABS の効果を発揮できないとき

- タイヤのグリップ性能の限界をこえたとき(雪に覆われた路面を過剰に摩耗したタイヤで走行するときなど)
- 雨でぬれた路面やすべりやすい路面での高速走行時に、ハイドロプレーニング現象が発生したとき

■ ABS が作動することで、制動距離が通常よりも長くなる可能性があるとき

ABS は制動距離を短くする装置ではありません。特に次の状況では、常に速度を控えめにして前車と安全な車間距離をとってください。

- 泥・砂利の道路や積雪路を走行しているとき
- タイヤチェーンを装着しているとき
- 道路のつなぎ目など、段差をこえたとき
- 凹凸のある路面や石だたみなどの悪路を走行しているとき

 **警告****■ TRC の効果を発揮できないとき**

すべりやすい路面では、TRC が作動していても、車両の方向安定性や駆動力が得られないことがあります。車両の方向安定性や駆動力を失うような状況では、特に慎重に運転してください。

■ ヒルスタートアシストコントロールの効果を発揮できないとき

- ヒルスタートアシストコントロールを過信しないでください。急勾配の坂や、凍った路面ではヒルスタートアシストコントロールが効かないことがあります。
- ヒルスタートアシストコントロールはパーキングブレーキのように車を長時間駐車するための機能ではありませんので、同機能を坂道での駐車のために使用しないでください。思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

■ スリップ表示灯が点滅しているときは

VSC が作動中であることを知らせています。常に安全運転を心がけてください。無謀な運転は思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。表示灯が点滅したら特に慎重に運転してください。

■ TRC を OFF にするとき

TRC は駆動力や車両の方向安定性を確保しようとするシステムです。そのため、必要なとき以外は TRC を作動停止状態にしないでください。TRC を作動停止状態にしたときは、路面状況に応じた速度で、特に慎重な運転を心がけてください。

■ タイヤを交換するとき

4 輪とも指定されたサイズで、同じメーカー・銘柄・トレッドパターン（溝模様）のタイヤを使用し、指定された空気圧にしてください。（→ P. 340）
異なったタイヤを装着すると、ABS・TRC・VSC が正常に作動しません。
タイヤ、またはホイールを交換するときは、トヨタ販売店に相談してください。

■ タイヤとサスペンションの取り扱い

問題があるタイヤを使用したり、サスペンションを改造したりすると、運転を補助するシステムに悪影響をおよぼし、システムの故障につながるおそれがあります。

ハイブリッド車運転のアドバイス

環境に配慮した経済的な運転のためには、次のことを心がけてください。

◆ エコドライブモードの利用

エコドライブモードを使用すると、通常にくらべてアクセルペダルの踏み込みに対するトルクの発生がゆるやかになります。また、エアコン(暖房/冷房)の作動を抑え、燃費向上につながります。(→ P. 158)

◆ ハイブリッドシステムインジケータの利用

メーター内のハイブリッドシステムインジケータの針をエコエリアの範囲に保つことで、環境に配慮した走行が可能です。(→ P. 76)

◆ 減速時のブレーキ操作

減速時は、早めに、ゆるやかなブレーキ操作を行きましょう。減速時に発生する電気エネルギーをより多く回収することができます。

◆ 渋滞

加速・減速のくり返しや、長い信号待ちは燃費を悪化させます。お出かけ前に交通情報を確認するなどして、なるべく渋滞を回避するようにしましょう。また渋滞の際は、ブレーキペダルをゆるめて微前進し、アクセルペダルをあまり踏まないようにしましょう。余分なガソリン消費を抑えることができます。

◆ 高速道路での運転

速度を抑え、一定速度で走行しましょう。また、料金所手前では早めにアクセルペダルをもどし、ゆるやかなブレーキ操作を行きましょう。減速時に発生する電気エネルギーをより多く回収することができます。

◆ エアコンの ON / OFF

必要時以外は OFF にしましょう。余分なガソリン消費を抑えることができます。

夏季：

外気温が高いときは、内気循環モードに設定しましょう。エアコンへの負荷が減り燃費向上につながります。

冬季：

ガソリンエンジン・車室内が暖まるまで、ガソリンエンジンが自動停止しないので、燃料を消費します。また、過剰な暖房を避けると、燃費向上につながります。

◆ タイヤ空気圧の点検

タイヤ空気圧はこまめに点検しましょう。タイヤ空気圧が適切でないと、燃費の悪化につながります。

また、冬用タイヤは転がり抵抗が大きいため、乾燥した路面では燃費の悪化につながります。季節、道路状況に応じて適切なタイミングでタイヤを交換しましょう。

◆ 荷物

重い荷物が積まれていると、燃費が悪化します。不要な荷物は、積んだままにせずに降ろしましょう。また、大型ルーフキャリアの装着も重い荷物と同様に燃費の悪化につながります。

◆ 走行前の暖機運転

ガソリンエンジンが冷えているときは、ガソリンエンジンの始動／停止を自動的に行いますので、暖機運転は必要ありません。

なお、短距離走行のくり返しは、暖機運転のためのガソリンエンジン始動がひんぱんに行われることになりまますので、燃費の悪化につながります。

寒冷時の運転

寒冷時に備えて、準備や点検など正しく処置していただいた上で適切に運転してください。

冬を迎える準備

- 次のものはそれぞれ外気温に適したものをお使いください。
 - ・ エンジンオイル
 - ・ 冷却水
 - ・ ウォッシャー液
- 補機バッテリーの点検を受けてください。
- 冬用タイヤ（4 輪）やタイヤチェーン（前部タイヤ用）を使用してください。

タイヤは 4 輪とも指定サイズで同一銘柄のものを、タイヤチェーンはタイヤサイズに合ったものを使用してください。

（タイヤについて：→ P. 242）

運転する前に

状況に応じて次のことを行ってください。

- ドアやワイパーが凍結したときは無理に開けたり動かしたりせず、ぬるま湯をかけるなどして氷を溶かし、すぐに水分を十分にふき取ってください。
- フロントウインドウガラス前の外気取り入れ口に雪が積もっているときは、エアコンのファンを正常に作動させるために、雪を取り除いてください。
- 外装ランプ、車両の屋根、タイヤの周辺やブレーキ装置に雪や氷が付いているときは、取り除いてください。
- 乗車する前に靴底に付いた雪をよく落としてください。

運転するとき

ゆっくりスタートし、車間距離を十分にとって控えめな速度で走行してください。

駐車するとき

パーキングブレーキをかけると、ブレーキ装置が凍結して解除できなくなるおそれがあります。パーキングブレーキはかけずに、シフトポジションをPにして駐車し、輪止め[※]をしてください。

[※] 輪止めは、トヨタ販売店で購入することができます。

知識

■ タイヤチェーンについて

取り付け・取りはずし・取り扱い方法については次の指示に従ってください。

- 安全に作業できる場所で行う
- 前2輪に取り付ける
- タイヤチェーンに付属の取扱説明書に従う
- 取り付け後約0.5～1.0km走行したら締め直しを行う

■ 寒冷地用ワイパーブレードについて

- 降雪期に使用する寒冷地用ワイパーブレードは、雪が付着するのを防ぐために金属部分をゴムで覆ってあります。トヨタ販売店で各車指定のブレードをお求めください。
- 高速走行時は、通常のワイパーブレードよりガラスがふき取りにくくなる場合があります。その場合には速度を落としてください。

 **警告****■ 冬用タイヤ装着時の警告**

次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、車両のコントロールが不能となり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡事故につながるおそれがあります。

- 指定サイズのタイヤを使用する
- 空気圧を指定値に調整する
- 装着する冬用タイヤの最高許容速度や制限速度をこえる速度で走行しない
- 冬用タイヤを装着する際は、必ず4輪とも装着する

■ タイヤチェーン装着時の警告

次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、安全に車を運転することができずに、思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- 装着したチェーンに定められた制限速度、もしくは30km/hのどちらか低いほうをこえる速度で走行しない
- 路面の凹凸や穴を避ける
- 急加速、急ハンドル、急ブレーキやシフト操作による急激なエンジンブレーキの使用は避ける
- カーブの入り口手前で十分減速して、車のコントロールを失うのを防ぐ

■ 駐車時の警告

パーキングブレーキをかけずに駐車するときは、必ず輪止めをしてください。輪止めをしないと、車が動き思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

 **注意****■ タイヤチェーンの使用について**

トヨタ純正タイヤチェーンのご使用をおすすめします。

トヨタ純正品以外のタイヤチェーンの中には、使用すると車体にあたり、走行のさまたげとなるおそれがあるものもあります。

詳しくはトヨタ販売店にご相談ください。

■ フロントウィンドウガラスに付いた氷を除去するとき

たたいて割らないでください。

ウィンドウガラスの内側（車内側）が割れるおそれがあります。

室内装備・機能

5

5-1. エアコンの使い方

フロントエアコン	190
リヤエアコン (リヤエアコン装着車)	197
リヤクーラー (リヤクーラー装着車)	200
快適温熱シートヒーター	203

5-2. 室内灯のつけ方

室内灯一覧	205
・インテリアランプ	206
・パーソナルランプ	206
・インテリアランプ (中央/うしろ)	206

5-3. 収納装備

収納装備一覧	208
・グローブボックス	209
・カップホルダー/ ボトルホルダー	209
・小物入れ	212
・助手席シートバック ティッシュポケット	213

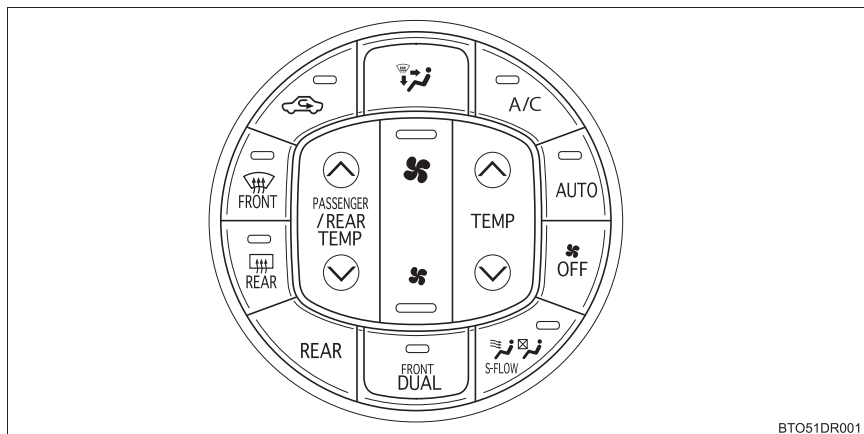
5-4. その他の室内装備の使い方

その他の室内装備	214
・サンバイザー	214
・バニティミラー	214
・アクセサリーソケット	214
・アームレスト	215
・買い物フック	216
・アシストグリップ	217
・後席用サンシェード	218
・時計	218
・ステアリングスイッチ	219
・ワイヤレス充電器 (おくだけ充電)	220
ラゲージルーム内装備	226

フロントエアコン

設定温度に合わせて吹き出し口と風量を自動で調整します。

フロントエアコン操作スイッチについて





BTO51DR001

■ 温度を調整する

設定温度を上げるときは  の△を、下げるときは▽を押す

■ 風量を切りかえる

風量を増やすには： を押す

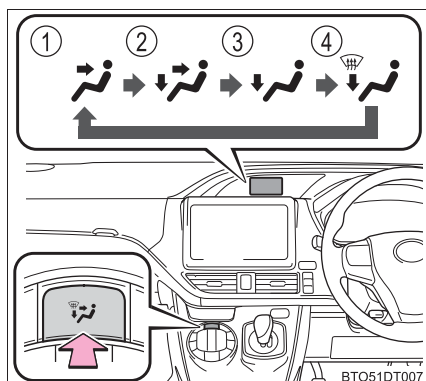
風量を減らすには： を押す

■ 吹き出し口を切りかえる

 を押す

押すたびに吹き出し口が切りかわります。

- ① 上半身に送風
- ② 上半身と足元に送風
- ③ 足元に送風
- ④ 足元に送風・ガラスの曇りを取る





BTO51DT007

■ その他の機能

- 内気循環／外気導入を切りかえる (→ P. 191)
- フロントウインドウガラスの曇りを取る (→ P. 192)
- リヤウインドウガラスの曇りやミラーの霜を取る (→ P. 192)

オート設定で使用する

- 1 エアコン操作スイッチの  を押す
- 2 温度を設定する
- 3 ファンを止めたいときは、 を押す

■ オート設定時の作動表示灯について

風量や吹き出し口を切りかえると、AUTO スwitchの作動表示灯が消灯しますが、操作した機能以外のオート設定は継続します。

■ 運転席と助手席の設定温度を別々に設定する (左右独立モード)

次のいずれかの操作をすると、左右独立モードが ON になります。


- エアコン操作パネルの  を押す

左右独立モードになりスイッチの作動表示灯が点灯します。

- 助手席の設定温度を変更する

その他の機能

■ 内気循環／外気導入を切りかえるには

内気循環に切りかえるには、 を押す

スイッチの作動表示灯が点灯します。

外気導入に切りかえるには、もう 1 回スイッチを押す

スイッチの作動表示灯が消灯します。


■ フロントウィンドウガラスの曇りを取るには



を押す

除湿機能が作動し、風量が増えます。内気循環にしている場合は、外気導入にしてください。(自動的に外気導入に切りかわることがあります。)

風量を強くし、設定温度を上げると、より早く曇りを取ることができます。曇

りが取れたら再度  を押すと前のモードにもどります。

■ 運転席集中 (S-FLOW モード)



を押す

リヤエアコン、リヤクーラーの送風を止め、乗員が運転席のみの場合に設定温度、外気温や室内温度を測定、検知し、その環境内で最適な省エネ空調します。

■ リヤウインドウデフォグガー & ミラーヒーター★

リヤウインドウガラスの曇りを取るときや、ドアミラーから雨滴や霜を取るときに使用ください。



を押す

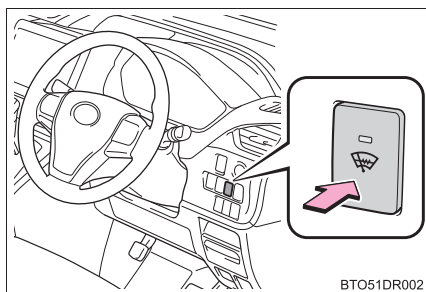
リヤウインドウデフォグガーは、しばらくすると自動的に OFF になります。

■ フロントワイパーデアイサー★

フロントウインドウガラスとワイパーブレードの凍結を防ぐために使用ください。

フロントワイパーデアイサーが ON のとき、スイッチの作動表示灯が点灯します。

フロントワイパーデアイサーは、しばらくすると自動的に OFF になります。



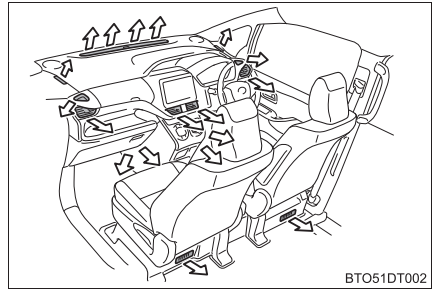
BTO51DR002

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

吹き出し口について

■ 吹き出し口の位置

吹き出し口の切りかえ設定により、風が出る位置や風量が変わります。

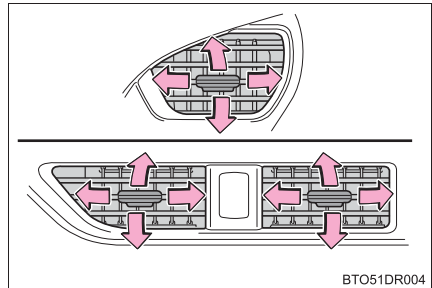


BTO51DT002

■ 風向き調整と吹き出し口の開閉

風向き調整


風向きを外側いっぱいまで調整すると、吹き出し口を閉じることができます。(インパネ左右の吹き出し口のみ)





BTO51DR004

知識

■ オート設定の作動について

風量は温度設定と外気の状態により自動で調整されるため、 を押した直後、温風や冷風の準備ができるまでしばらく送風が停止する場合があります。

■ ガラスの曇りについて

- 車室内の湿度が高いときはガラスが曇りやすくなります。その場合は、 を ON にすると、吹き出し口から除湿された風が出るため、効果的に曇りを取ることができます。
-  を ON から OFF にすると、ガラスが曇りやすくなります。
- 内気循環を使うとガラスが曇る場合があります。

■フロントウインドウガラスの曇り検知機能について

オート設定時、湿度センサー（→ P. 196）でフロントウインドウガラスの曇りを検知し、エアコンを自動的に制御して曇りを防ぎます。

■外気導入・内気循環について

- トンネルや渋滞などで、汚れた外気を車内に入れたくないときや、外気温度が高いときに冷房効果を高めたい場合は、内気循環にすると効果的です。
- 設定温度や室内温度などにより、自動的に切りかわる場合があります。

■エコドライブモードのエアコン作動について

- エコドライブモードは燃費性能を優先させるため、空調システムが次のように制御されます。
 - ・エンジン回転数やコンプレッサーの作動を制御し、暖房 / 冷房の能力を抑制します。
 - ・オート設定での使用時、ファンの風量を抑制します。
- 空調の効きをより良くしたいときは、次の操作を行ってください。
 - ・風量を調整する。
 - ・エコドライブモードを解除する。




■外気温度が0℃近くまで下がったとき



を押しても除湿機能が働かない場合があります。

■「ナノイー」※¹ について★

エアコンには「ナノイー」発生装置が搭載されています。この装置は運転席外側の吹き出し口を通じて、水に包まれた肌や髪にやさしい弱酸性の「ナノイー」を放出し、室内をさわやかな空気環境に導きます※²。

- ファンが作動すると、自動的に「ナノイー」が作動します。
- 「ナノイー」の作動中、次の条件で効果を発揮します。次の条件以外では、効果が十分に得られない場合があります。
 - ・吹き出し口が 、 または  のとき
 - ・運転席側の吹き出し口が開いているとき
- 「ナノイー」作動時は、微量のオゾンが発生し、かすかに臭うことがありますが、森林など、自然界に存在する程度の量なので、人体に影響はありません。

- 作動中、かすかに作動音が聞こえることがありますが、故障ではありません。

※¹ 「nanoe」、「ナノイー」および「nanoe」マークは、パナソニック株式会社の商標です。

※² 温湿度環境、風量・風向きによっては「ナノイー」の効果が十分に得られない場合があります。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

■換気とエアコンの臭いについて

- 車室外の空気を車室内に取り入れたいときは、外気導入にしてください。
- エアコン使用中に、車室内外のさまざまな臭いがエアコン装置内に取り込まれて混ざり合うことにより、吹き出し口からの風に臭いがすることがあります。
- エアコン始動時に発生する臭いを抑えるために、オート設定での使用時にはエアコン始動直後、しばらく送風が停止する場合があります。

■エアコンフィルターについて

→ P. 246

■ステアリングスイッチによるフロントエアコンの設定について

→ P. 77


■設定可能な機能

AUTO スイッチを押したとき、外気導入と内気循環を自動で切りかえるか設定できます。

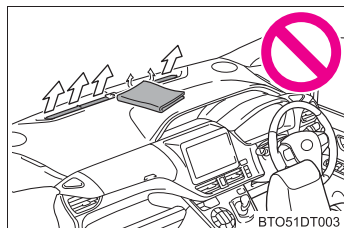
(カスタマイズ一覧→ P. 342)

▲警告

■フロントウインドウガラスの曇りを防止するために

- 外気の湿度が非常に高いときにエアコンを低い設定温度で作動させているときは、を押さないでください。外気とガラスの温度差でガラスの外側が曇り、視界をさまたげる場合があります。

- フロントウインドウガラスの曇り取りを妨げないために、吹き出し口をさえぎるようなものを置かないでください。送風がさえぎられ、曇りが取れにくくなる場合があります。



警告

■ リヤウインドウデフォグガー&ミラーヒーター★ / フロントワイパーデアイサー★ 作動中の警告

- ドアミラーの表面が非常に熱くなります。やけどをするおそれがあるのでふれないでください。
- フロントウインドウガラス下部およびフロントピラー横の表面が熱くなっており、やけどをするおそれがあるのでふれないでください。

■ 「ナノイー」について★

このシステムは高電圧の部品を含むため、分解・修理はしないでください。修理が必要な場合は、トヨタ販売店にお問い合わせください。

注意

■ 「ナノイー」の損傷を防ぐために★

運転席側の吹き出し口の近くでスプレーを使用したり、吹き出し口にものをめ込んだり貼ったりしないでください。システムが正常に働かなくなるおそれがあります。

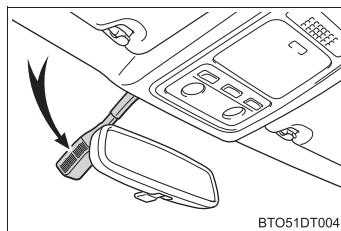
■ 補機バッテリーあがりを防ぐために

ハイブリッドシステム停止中は、エアコンを必要以上に使用しないでください。

■ 湿度センサーについて

フロントウインドウガラスの曇り検知（→ P. 194）のためにフロントウインドウガラスの温度やその付近の湿度などを監視するセンサーが装着されています。センサーの故障を防ぐため、次のことをお守りください。

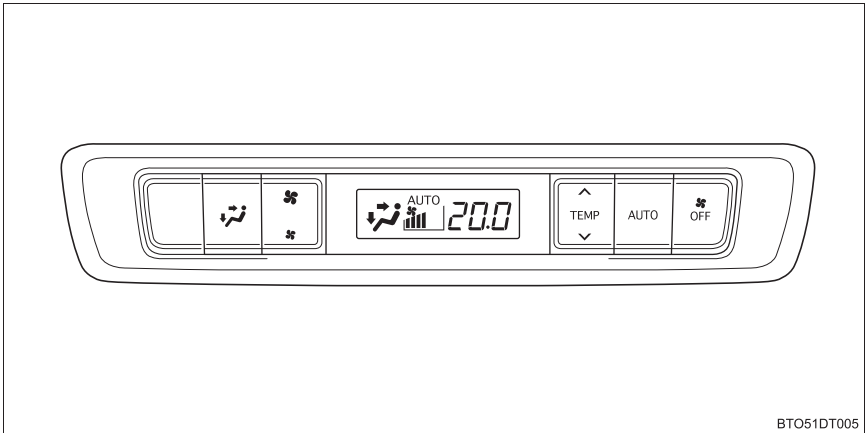
- 湿度センサーを分解しない
- ガラスクリーナーなどを吹きかけたり、強い衝撃を与えたりしない
- 湿度センサーにシールなどを貼らない



★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

リヤエアコン（リヤエアコン装着車）

リヤエアコン操作スイッチについて





BTO51DT005

■ 温度を調整する

設定温度を上げるときは  の△を、下げるときは▽を押す

■ 風量を切りかえる

風量を増やすには： を押す

風量を減らすには： を押す

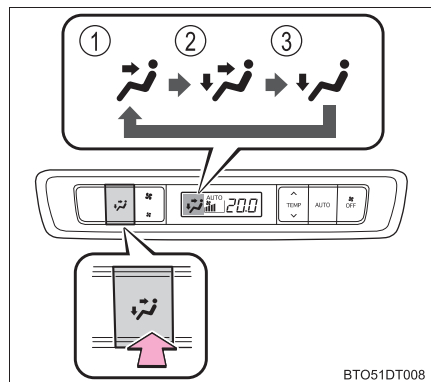
■ 吹き出し口を切りかえる

 を押す

押すたびに吹き出し口が切りかわります。



マルチインフォメーションディスプレイも同様に表示します。

- ① 上半身に送風
- ② 上半身と足元に送風
- ③ 足元に送風



BTO51DT008

オート設定で使用する

- 1 エアコン操作スイッチの  を押す
- 2 温度を設定する
- 3 ファンを止めたいときは、 を押す

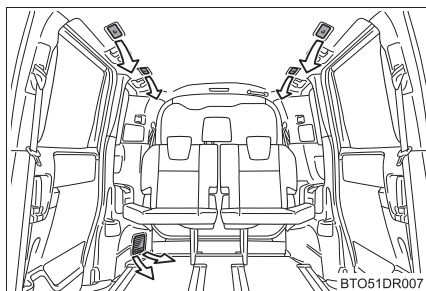
■ オート設定時の作動表示灯について

風量や吹き出し口を切りかえると、AUTO 表示が消灯しますが、操作した機能以外のオート設定は継続します。

吹き出し口について

■ 吹き出し口の位置

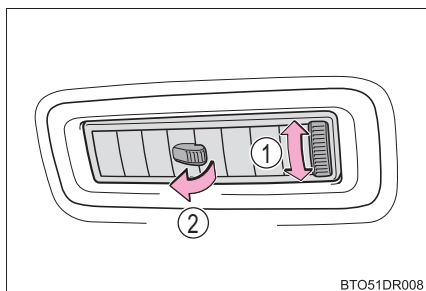
吹き出し口の切りかえ設定により、風が出る位置が変化します。



■ 風向きの調整と吹き出し口の開閉


- ① 風向きの調整
- ② 風向きの調整と吹き出し口の開閉

風向きを車両後方側に調整すると、吹き出し口を閉じることができます。



 知識

■ フロントメインスイッチについて

フロントエアコン操作部の  を押すことにより、フロント席からリアエアコンの操作をすることができます。

■ リアエアコンの作動条件について

フロントエアコンが停止しているときは、冷房、除湿機能は作動せず、送風のみとなります。

■ 換気とリアエアコンの臭いについて

- 車室外の空気を車室内に取り入れたいときは、外気導入にしてください。
- リアエアコン使用中に、車室内外のさまざまな臭いがエアコン装置内に取り込まれて混ざり合うことにより、吹き出し口からの風に臭いがすることがあります。
- エアコン始動時に発生する臭いを抑えるために、オート設定での使用時にはエアコン始動直後、しばらく送風が停止する場合があります。

■ ステアリングスイッチによるリアエアコンの設定について

→ P. 77

 注意

■ 補機バッテリーあがりを防ぐために

ハイブリッドシステム停止中はリアエアコンを使用しないでください。

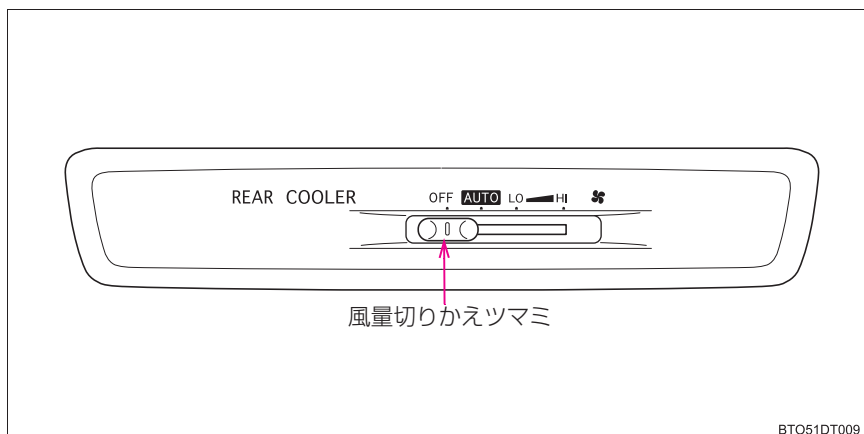
■ 吹き出し口について

暖房で使用するときは、次のことに注意してください。

- 吹き出し口が熱くなりますので、注意して調整してください。

リヤクーラー（リヤクーラー装着車）

リヤクーラー操作スイッチについて



■ 風量をかえる

▶ 手動設定

- 1 フロントエアコン操作部の  を押す

スイッチを押すたびにリヤクーラーの ON・OFF が切りかわります。

- 2 風量切りかえつまみを右（増）か左（減）へ動かす

フロントエアコン操作部の  を押す、または風量切りかえつまみを OFF にすることでリヤクーラーの作動を停止できます。

風量は 3 段階に調整できます。

▶ 自動設定

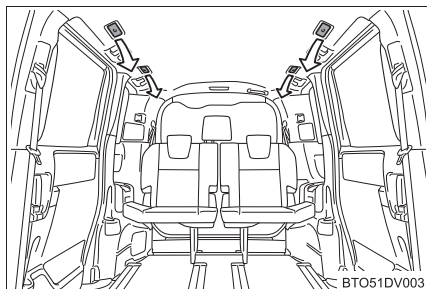
- 1 フロントエアコン操作部の  を押す

スイッチを押すたびにリヤクーラーの ON・OFF が切りかわります。

- 2 風量切りかえつまみを AUTO へ動かす

吹き出し口について

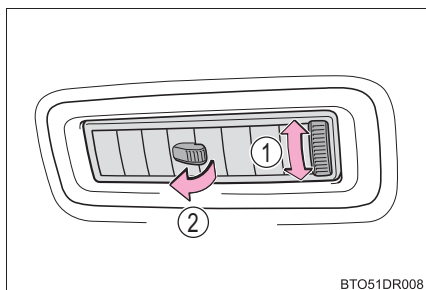
■ 吹き出し口の位置



■ 風向き調整と吹き出し口の開閉

- ① 風向き調整
- ② 風向き調整と吹き出し口の開閉

風向きを車両後方側に調整すると、吹き出し口を閉じることができます。



知識

■ リヤクーラー AUTO でのご使用について

AUTO でのリヤクーラーの風量は、フロントエアコンの温度設定によってかわります。

■ リヤクーラーの作動条件について

フロントエアコンが停止しているときは、冷房機能は作動せず、送風のみになります。

■ 換気とリヤクーラーの臭いについて

- 車室外の空気を車室内に取り入れたいときは、外気導入にしてください。
- リヤクーラー使用中に、車室内外のさまざまな臭いがリヤクーラー装置内に取り込まれて混ざり合うことにより、吹き出し口からの風に臭いがすることがあります。
- リヤクーラー始動時に発生する臭いを抑えるために、オート設定での使用時にはエアコン始動直後、しばらく送風が停止する場合があります。

 **注意****■ 補機バッテリーあがりを防ぐために**

ハイブリッドシステム停止中はリヤクーラーを使用しないでください。

快適温熱シートヒーター★

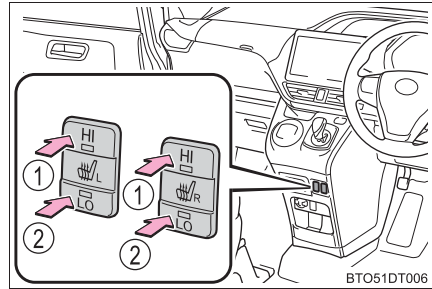
運転席／助手席を暖めることができます。

① HI（強）

インジケーターが点灯します

② LO（弱）

インジケーターが点灯します



知識

■ 作動条件

パワースイッチが ON モードのとき

■ 使用しないときは

スイッチを中立の位置にしてください。インジケーターが消灯します。

警告

■ やけどについて

- 低温やけどを負うおそれがあるため、次の方は特にご注意ください。
 - ・ 乳幼児・お子さま・お年寄り・病人・体の不自由な方
 - ・ 皮膚の弱い方
 - ・ 疲労の激しい方
 - ・ 深酒や眠気をさそう薬（睡眠薬・風邪薬など）を服用された方
- シートに毛布・クッションなどを使用しないでください。
シートヒーターの使用により保温性が高まり、異常加熱の原因になります。
- シートヒーターを必要以上に使用しないでください。
低温やけどを負ったり、シートヒーターの異常加熱の原因になるおそれがあります。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

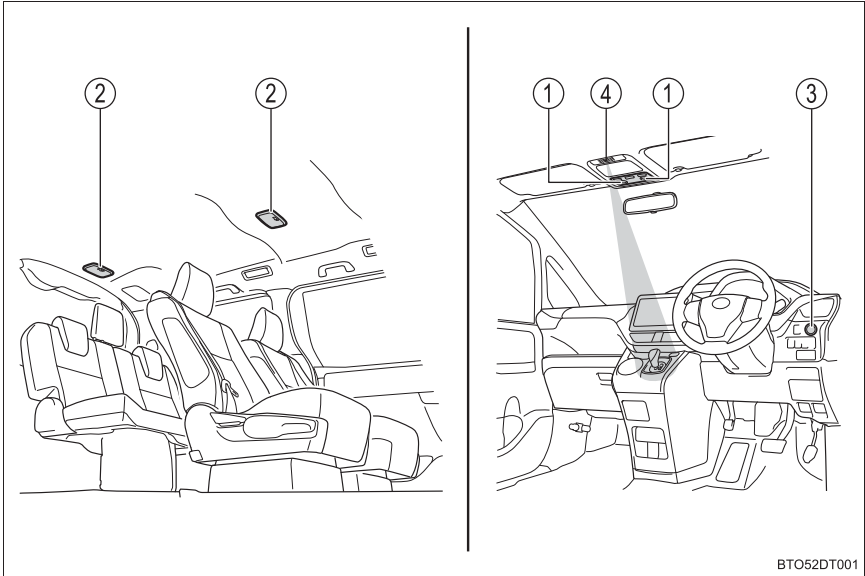
 **注意****■ シートヒーターの故障を防ぐために**

凹凸のある重量物をシートの上に置いたり、針金や針などの鋭利なものを突き刺したりしないでください。

■ 補機バッテリーあがりを防ぐために

ハイブリッドシステムが停止しているときは、シートヒーターを使用しないでください。

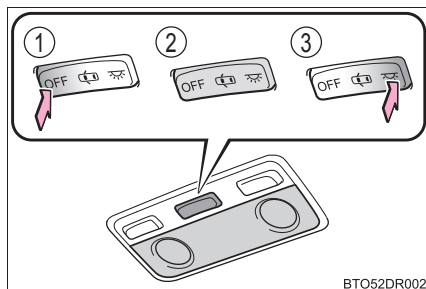
室内灯一覧



- ① パーソナルランプ／インテリアランプ (→ P. 206)
- ② インテリアランプ (中央／うしろ) (→ P. 206)
- ③ パワースイッチ照明
- ④ LED ダウンライト

インテリアランプ

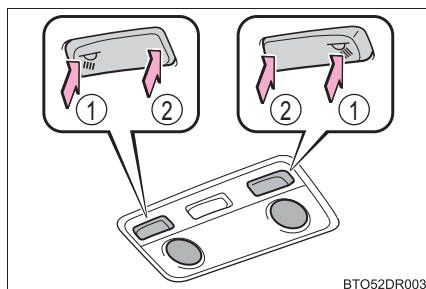
- ① ランプを消灯する
- ② ドアポジション（ドア連動）
- ③ ランプを点灯する



BTO52DR002

パーソナルランプ

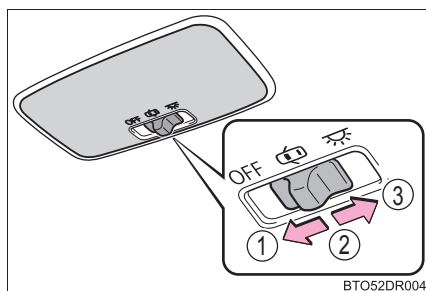
- ① ランプを点灯する
- ② ランプを消灯する



BTO52DR003

インテリアランプ（中央／うしろ）

- ① ランプを消灯する
- ② ドアポジション（ドア連動）
- ③ ランプを点灯する



BTO52DR004

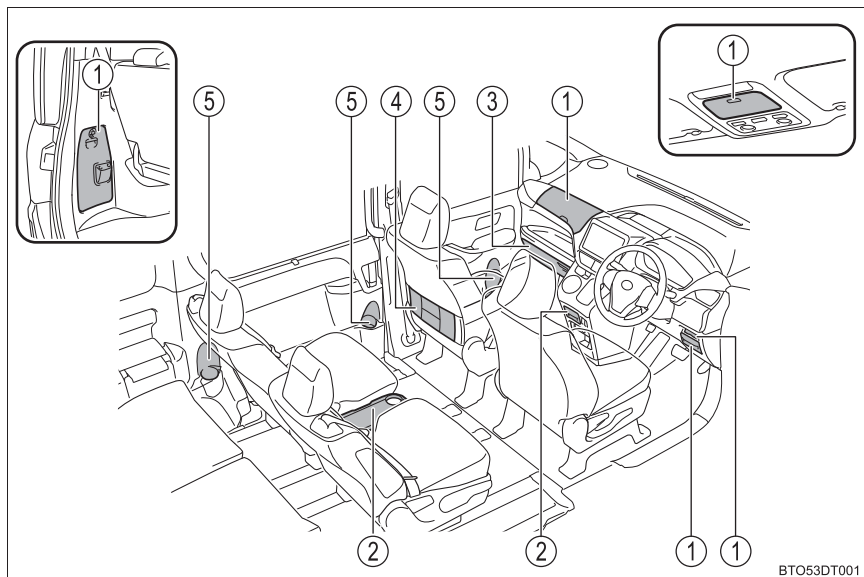
 知識

- ランプスイッチがドアポジションのとき、電子キーの検知・ドアの施錠／解錠・ドアの開閉・パワースイッチのモードにより各部の照明が自動的に点灯・消灯します。(イルミネーテッドエントリーシステム)
- パワースイッチが OFF のとき室内灯が点灯したままの場合、約 20 分後に自動消灯します。
- 室内灯の消灯までの時間などの設定を変更できます。
(カスタマイズ一覧：→ P. 342)

 注意**■ 補機バッテリーあがりを防止するために**

ハイブリッドシステムが停止した状態で、長時間ランプを点灯しないでください。

収納装備一覧



BTO53DT001

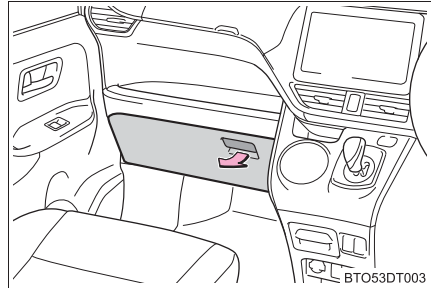
- | | | | |
|------------|------------|--------------------------|------------|
| ① 小物入れ | (→ P. 212) | ④ 助手席シートバックティッシュ
ポケット | (→ P. 213) |
| ② カップホルダー | (→ P. 209) | ⑤ ボトルホルダー | (→ P. 210) |
| ③ グローブボックス | (→ P. 209) | | |

警告

- メガネ・ライターやスプレー缶を収納装備内に放置したままにしないでください。
放置したまましていると、次のようなことが起こるおそれがあり危険です。
 - ・ 室温が高くなったときの熱や、他の収納物との接触などにより、メガネが変形やひび割れを起こす
 - ・ 室温が高くなったときにライターやスプレー缶が爆発したり、他の収納物との接触でライターが着火したりスプレー缶のガスがもれるなどして火災につながる
- 収納装備を使わないときは、フタを必ず閉じてください。
急ブレーキや急旋回時などに、開いたフタに体があたったり、収納していたものが飛び出したりして、思わぬ事故につながるおそれがあります。

グローブボックス

レバーを引いて開ける



カップホルダー／ボトルホルダー

■ カップホルダー

▶ フロントシート

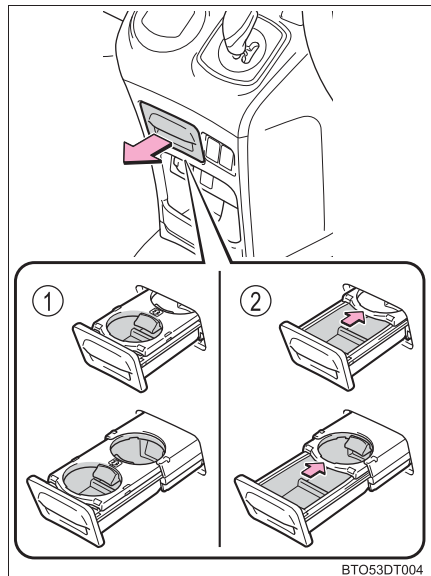
カップホルダーを引き出す

小物入れおよびカップホルダーは 2 段階に引くことができます。

- ① カップホルダー
- ② 小物入れ

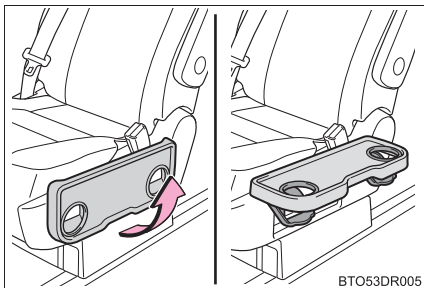
カップホルダーを格納します

1L の紙パックは倒れるおそれがあるため置かないでください。500mL の紙パックは置くことができます。



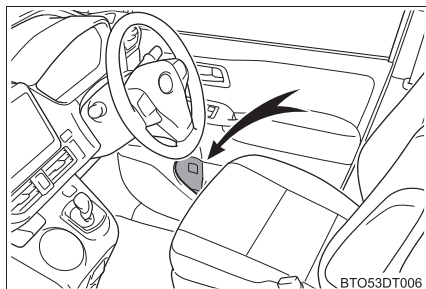
▶ セカンドシート

折りたたみ式サイドテーブルを引き起こす

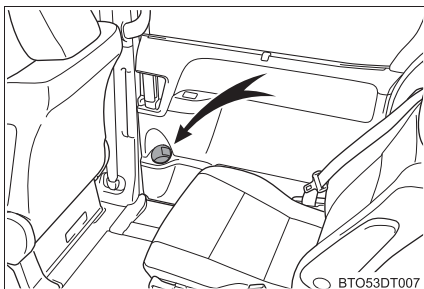


■ ボトルホルダー

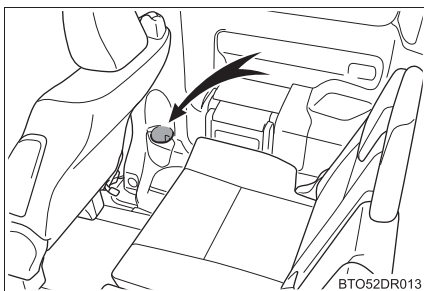
▶ フロントシート



▶ セカンドシート



▶ サードシート



 知識

■ セカンドシートカップホルダーを使用するときは

セカンドシートの左右位置が外側にあるときに使用できます。

 警告

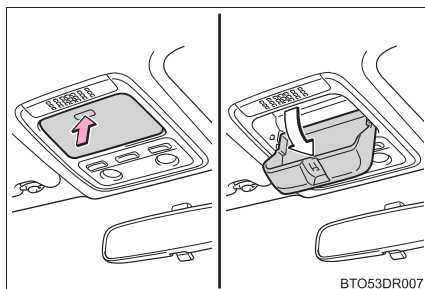
- カップホルダーにはカップや缶以外のものを置かないでください。急ブレーキや事故により落ちてけがをするおそれがあります。
- やけどを防ぐために、カップホルダーに温かい飲み物を置くときはフタを閉めておいてください。
- 折りたたみ式サイドテーブルを使用しているときは、3kg以上のものを置かないでください。サイドテーブルが急に格納されたり破損してけがをするおそれがあります。

 注意

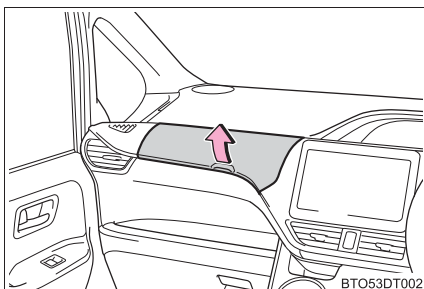
ボトルホルダーには、ジュースなどが入っている紙コップ・ガラス製のコップなどを収納しないでください。ジュースなどがこぼれたり、ガラス製品が割れたりするおそれがあります。

小物入れ

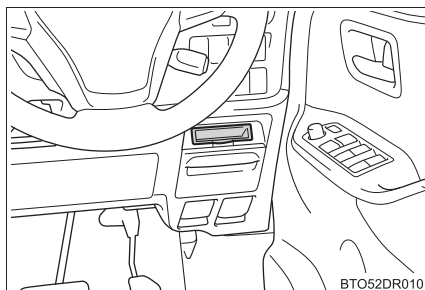
- ▶ オーバーヘッドコンソール
押して開ける



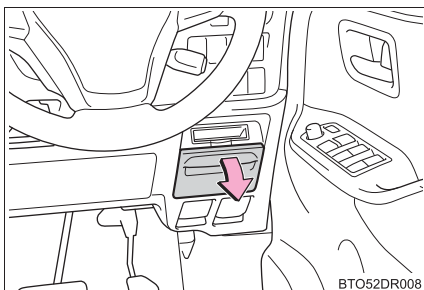
- ▶ 助手席アッパーボックス
フタを開ける



- ▶ カードホルダー

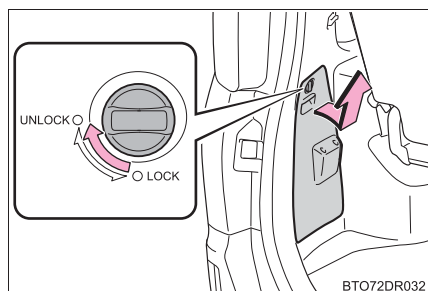


- ▶ 運転席ロアボックス
引いて開ける



- ▶ ラゲージルーム小物入れ（スペアタイヤ装着車）

UNLOCK の位置で開ける

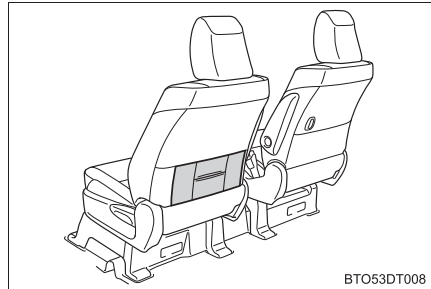


警告

- 走行中は小物入れを開けたままにしないでください。
急ブレーキ時などに、開いた小物入れに体があたったり、収納していたものが飛び出したりして、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- オーバーヘッドコンソールに 200g 以上のものを入れないでください。
200g 以上のものを入れると、オーバーヘッドコンソールが開き収納されているものが飛び出したりして、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

助手席シートバックティッシュポケット★

ファスナーを開ける

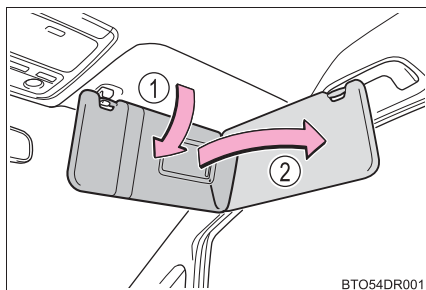


★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

その他の室内装備

サンバイザー

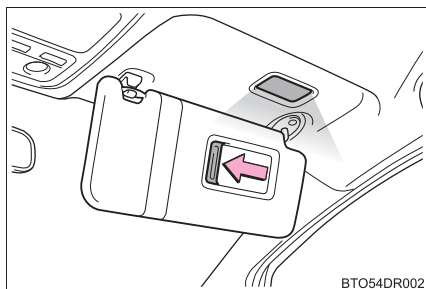
- ① 前方をさえぎるには、バイザーを下ろす
- ② 側方をさえぎるには、バイザーを下ろした状態でフックからはずし、横へまわす



バニティミラー

カバーをスライドして開ける

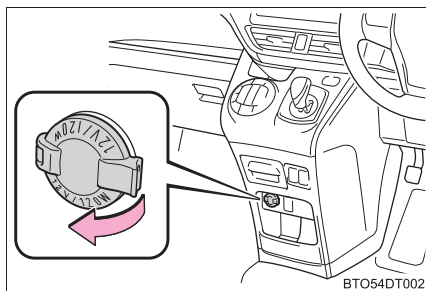
カバーを開けるとランプが点灯します。



アクセサリースOCKET

DC12V/10A (消費電力 120W) 未満の電気製品を使うときの電源としてお使いください。

フタを開けて使用する



 知識

■ 作動条件

パワースイッチがアクセサリモード、または ON モードのとき

 注意

- 異物が入ったり、飲料水などがかかたりしないように、使用しないときは、フタを閉めておいてください。
- 補機バッテリーあがりを防止するために、ハイブリッドシステムが停止した状態で、アクセサリソケットを長時間使用しないでください。

アームレスト

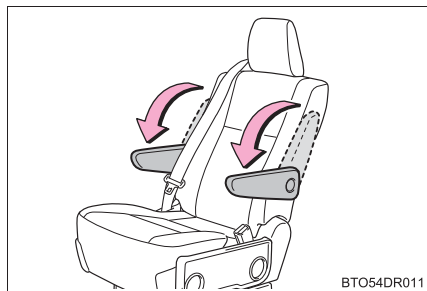
▶ フロントシート

手前に倒して使用します。



▶ セカンドシート

手前に倒して使用します。

 知識

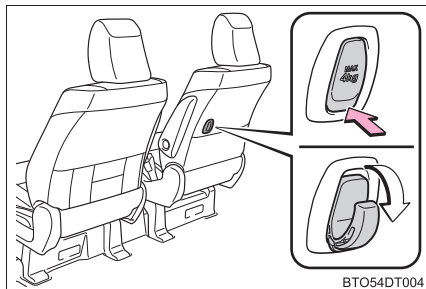
■ アームレストの角度

アームレストの角度を一段下げることができます。詳しくはトヨタ販売店にお問い合わせください。

 注意

アームレストの損傷を防ぐために、過度な負荷をかけないでください。

買い物フック



⚠ 警告

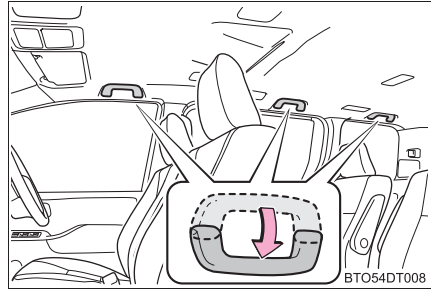
使用しないときは、けがをしないように、必ずもとの位置にもどしておいてください。

⚠ 注意

買い物フックの破損を防ぐために、4kg 以上のものをフックに吊り下げないでください。
フックが折れたり、走行中にはずれたりするおそれがあります。

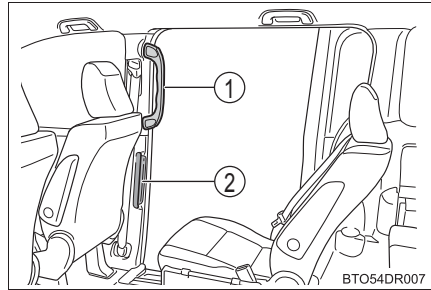
アシストグリップ★

天井に取り付けられているアシストグリップ（回転式）は、走行中にシートに座っている状態で体を支えるときにお使いください。



乗降時などでは、ピラーに取り付けられているアシストグリップ（固定式）をお使いください。

- ① アシストグリップ（大人用）
- ② アシストグリップ（子供用）



⚠ 警告

アシストグリップ（回転式）は、乗降時やシートから立ち上がる時などに使用しないでください。

⚠ 注意

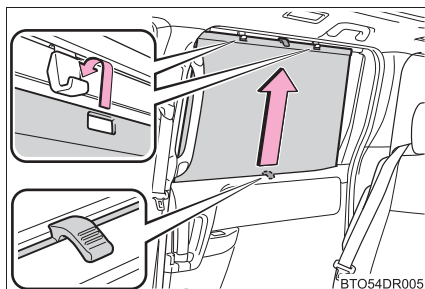
破損を防ぐために、アシストグリップに重いものをかけたり、過度の負荷をかけるしないでください。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

後席用サンシェード

ツマミをしっかりと持って引き出し、フックにかける。

もどすときはフックからはずし、ゆっくり収納します。



⚠ 注意

■ 正常に機能させるために

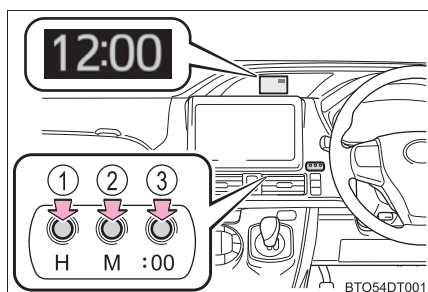
次のことをお守りください。

- 開閉のさまたげになる部分にものを置かない
- 後席用サンシェードにものを貼らない
- 収納するときに傾けた状態で収納しない

時計

- ① “時” を調整する
- ② “分” を調整する
- ③ “分” を00にする※

※ (例) 1:00 ~ 1:29 → 1:00
1:30 ~ 1:59 → 2:00



📖 知識

■ 時刻が表示される時

パワースイッチが ON モードのとき

■ 補機バッテリー端子の脱着をしたときは

補機バッテリー端子の脱着を行うと、時計のデータはリセットされます。

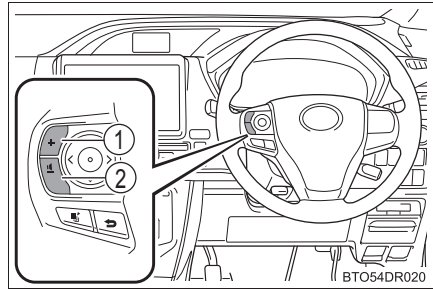
■ ステアリングスイッチによる時刻調整

→ P. 77

ステアリングスイッチ

ハンドル左側にあるスイッチで、オーディオを操作することができます。装着されているオーディオ・ナビゲーションシステムによっては、操作が異なる場合があります。詳しくは付属の各説明書をご覧ください。

- ① 音量を大きくする
- ② 音量を小さくする



警告

事故を防ぐために、運転中にオーディオスイッチを操作するときは、十分注意してください。

ワイヤレス充電器（おだけ充電）★

ワイヤレスパワーコンソーシアム (WPC) によるワイヤレス充電規格 Qi に適合した携帯電話やスマートフォンなどの携帯機器を充電エリアに置くだけで、携帯機器を充電することができます。

充電エリアより大きい携帯機器には本機能を使用できません。また、携帯機器によっては、正常に作動しない場合があります。

ご使用になる携帯機器に付属の取扱説明書もお読みください。

■ 「Qi」 マークについて

「Qi」 および Qi マークは、ワイヤレスパワーコンソーシアム (WPC) の登録商標です。



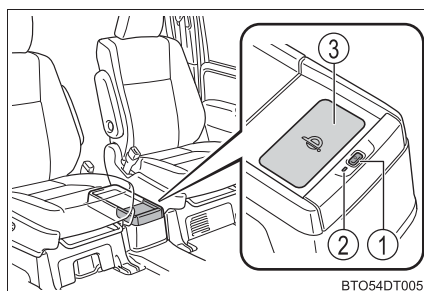
■ 「おだけ充電」 マークについて

「おだけ充電」 および 「おだけ充電」 マークは、株式会社 NTT ドコモの登録商標です。



■ 各部の名称

- ① 電源スイッチ
- ② 作動表示灯
- ③ 充電エリア



★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

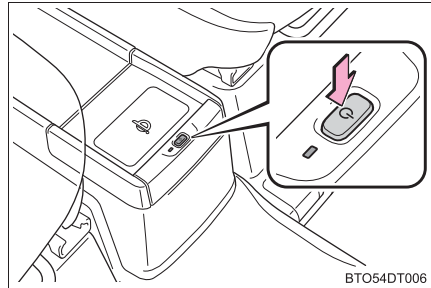
■ 充電する

1 電源スイッチを押す

押すごとに ON と OFF に切りかわります。

ON にすると作動表示灯が緑色に点灯します。

ワイヤレス充電器の電源の状態 (ON / OFF) はパワースイッチを OFF にしても記憶されます。



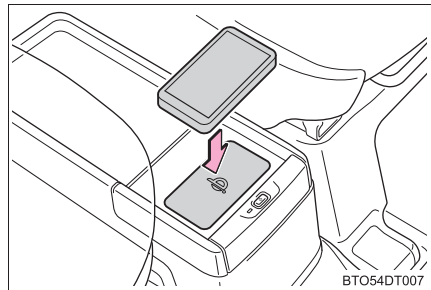
2 充電エリアに携帯機器を置く

携帯機器の充電面が下になるように置いてください。

充電中は作動表示灯が橙色に点灯します。

充電が行われないときは、できるだけ充電エリアの中央付近に携帯機器を置き直してください。

充電が完了すると作動表示灯が緑色に点灯します。



● 再充電機能

- ・ 充電が完了し、充電停止状態が一定時間経過すると充電を再開します。
- ・ 携帯機器が移動すると、いったん充電が停止しますが、ただちに充電を再開します。

■ 作動表示灯の点灯状況

作動表示灯	状況
消灯	ワイヤレス充電器の電源が OFF のとき
緑 (点灯)	待機中 (充電可能状態)
	充電完了時 [※]
橙 (点灯)	充電エリアに携帯機器を置いたとき (携帯機器を検出中)
	充電中

※ 携帯機器によっては、充電完了後も表示灯が橙色に点灯し続ける場合があります。

● 作動表示灯が点滅したときは

エラーが発生すると作動表示灯が橙色に点滅します。次の表に基づき、対処をしてください。

作動表示灯	想定される原因	対処方法
1 秒間に 1 回の点滅をくり返す (橙色)	ワイヤレス充電器の故障	トヨタ販売店へお問い合わせください。
3 回連続の点滅をくり返す (橙色)	異物検知 携帯機器と充電エリアの間に異物がある	携帯機器と充電エリアの間にある異物を取り除いてください。
	携帯機器のずれ 置かれた場所から携帯機器がずれている	携帯機器を充電エリアの中央付近に置き直してください。
4 回連続の点滅をくり返す (橙色)	ワイヤレス充電器内の温度上昇	いったん充電を停止し、しばらく待ってから充電を開始してください。

□ 知識

■ 作動条件

パワースイッチがアクセサリモードまたは ON モードのとき

■ 使用できる携帯機器について

- ワイヤレス充電規格 Qi 準拠機器を使用できます。ただし、すべての Qi 準拠機器と互換性を保証しているものではありません。
- 携帯電話やスマートフォンをはじめとする携帯機器を対象とした 5W 以下の低電力給電を対象としています。

■ スマートエントリー&スタートシステムの使用について

スマートエントリー&スタートシステムが作動中は、一時的に充電が停止することがありますが、異常ではありません。

■ 携帯機器にカバーやアクセサリを付けるときは

携帯機器に、「Qi」非対応のカバーやアクセサリを付けた状態で充電しないでください。カバーやアクセサリの種類によっては充電できない場合があります。充電エリアに携帯機器を置いても充電が行われないときは、カバーやアクセサリをはずしてください。

■ 充電中に、AM ラジオにノイズが入るときは

ワイヤレス充電器の電源を OFF にして、ノイズが低減するか確認してください。ノイズが低減する場合は、充電中にワイヤレス充電器の電源スイッチを約 2 秒間押し続けることで、充電の周波数を切りかえてノイズを低減することができます。

また、その際、作動表示灯が橙色に 2 回点滅します。

■ 充電中の留意事項

充電中は、ワイヤレス充電器と携帯機器が温かくなりますが、異常ではありません。

充電中に携帯機器が温かくなったときは、携帯機器側の保護機能により、充電が停止することがあります。この場合、携帯機器の温度が十分に下がってから、再度、充電を行ってください。

■ 作動中の音について

電源スイッチを押して電源を ON にしたときや、携帯機器を検出中は“ジー”と作動音がしますが、異常ではありません。

 **警告****■ 運転中に携帯機器の操作をしないでください**

携帯機器を充電する場合、安全のため、運転者は運転中に携帯機器本体の操作をしないでください。

■ 電波がおよぼす影響について

植込み型心臓ペースメーカー、植込み型両心室ペーシングパルスジェネレータおよび植込み型除細動器などの医療用電気機器を装着されている方は、ワイヤレス充電器のご使用にあたっては医師とよくご相談ください。ワイヤレス充電器の動作が医療用電気機器に影響を与えるおそれがあります。

■ 故障や火災を防ぐために

次のことをお守りください。

お守りいただかないと装置の故障や損傷、車両火災、発熱によるやけど、または感電につながるおそれがあります。

- 充電エリアと携帯機器の間に金属物をはさまない
- 小物入れがわりにものを置かない
- 強い力や衝撃をかけない
- 分解や改造、取りはずしをしない
- 指定された携帯機器以外は充電しない
- 磁気を帯びたものを近付けない
- 充電エリアに、ほこりがかぶった状態で充電しない
- ワイヤレス充電器に異物を入れたり、飲料水などをかけない
- 布などをかぶせて充電しない
- 充電エリアにアルミなどのシールや金属製のものを貼り付けない

 **注意****■機能が正常に働かないおそれのある状況**

次のような場合は正常に充電しない場合があります。

- 携帯機器が満充電
- 充電エリアと携帯機器の間に異物がある
- 充電により、携帯機器の温度が高温になっている
- 携帯機器の充電面を上にして置いた
- 携帯機器の置き場所が充電エリアからずれている
- 近くにテレビ塔や発電所・ガソリンスタンド・放送局・大型ディスプレイ・空港があるなど、強い電波やノイズの発生する場所にいるとき
- 携帯機器が、次のような金属製のものに接していたり、覆われたりしているとき
 - ・ アルミ箔などの金属の貼られたカード
 - ・ アルミ箔を使用したタバコの箱
 - ・ 金属製の財布やかばん
 - ・ 小銭
 - ・ カイロ
 - ・ CD や DVD などのメディア
- 近くで電波式ワイヤレスリモコンを使用しているとき

また、上記以外で、充電が正常に行われず、または、作動表示灯が点滅したままのときは、ワイヤレス充電器の異常が考えられます。トヨタ販売店へお問い合わせください。

■磁気カードや磁気記録メディア、精密機器などを近付けないでください。

充電エリアにクレジットカード・ETC カードなどの磁気カードや磁気記録メディアなどを近付けると、磁気の影響によりデータが消えることがあります。また、腕時計などの精密機器を近付けると、こわれたりすることがありますので、近付けないでください。

■補機バッテリーあがりを防止するために

ハイブリッドシステムを停止した状態で、ワイヤレス充電器を長時間使用しないでください。

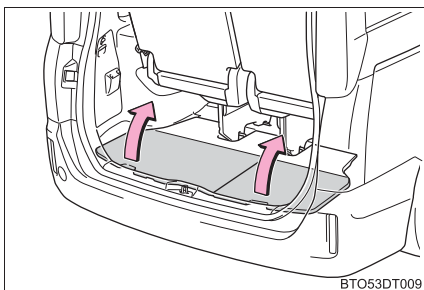
■携帯機器は車室内に放置しないでください

炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。

ラゲージルーム内装備

デッキボード

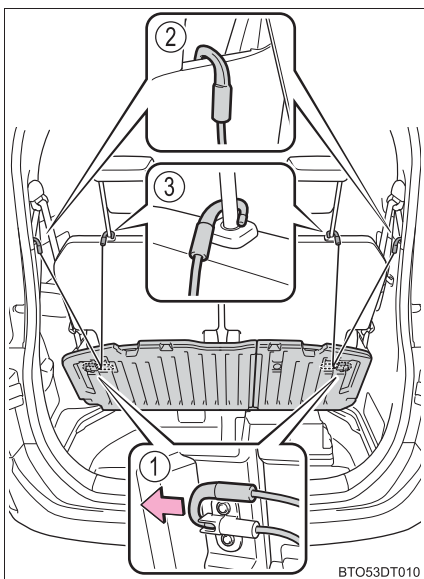
1 デッキボードを上げる



2 フックをかける

- ① フックを取りはずす
- ② デッキサイドにかける
- ③ ヘッドレストを上げて、ステーにかける

フックを②または③の位置にかけて固定してください。

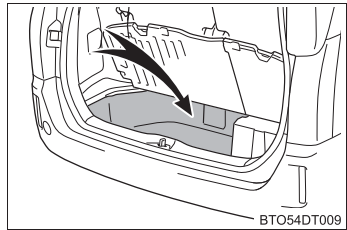


 知識

■ ラゲージボックスについて

ラゲージボックスに停止表示板を収納することができます。

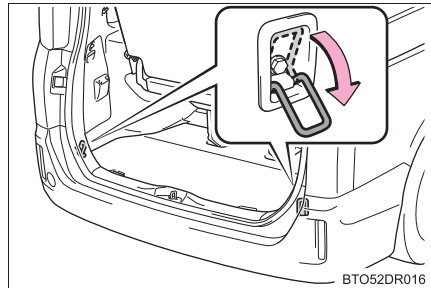
- 停止表示板のケースの大きさ、形によっては、収納できないことがあります。

 注意

破損を防ぐために、デッキボードの上にもったり、無理な力をかけたりしないでください。

デッキフック

デッキフックを使って荷物を固定することができます。

 警告

デッキフックは、必ずもとの位置にもどしておいてください。

お手入れのしかた

6

6-1. お手入れのしかた

外装の手入れ.....	230
内装の手入れ.....	233

6-2. 簡単な点検・部品交換

ボンネット	236
ガレージジャッキ	239
ウォッシャー液の補充	240
タイヤについて	242
エアコンフィルターの交換 ...	246
キーの電池交換	249
ヒューズの点検・交換	251
電球（バルブ）の交換	254

外装の手入れ

お手入れは、次の項目を実施してください。

- 水を十分かけながら車体・足まわり・下まわりの順番に上から下へ汚れを洗い落とす
- 車体はスポンジやセーム皮のようなやわらかいもので洗う
- 汚れがひどいときはカーシャンプーを使用し、水で十分洗い流す
- 水をふき取る
- 水のはじきが悪くなったときは、ワックスがけを行う

ボデーの表面の汚れを落としても水が玉状にならないときは、車体の温度が冷えているときにワックスをかける（およそ体温以下を目安としてください）

なお、ボデーコート・ホイールコート・ガラスコートなど、トヨタケミカル商品を施工された場合は、お手入れ方法が異なります。

詳しくはトヨタ販売店にお問い合わせください。

知識

■ 自動洗車機を使うとき

- ドアミラーを格納した状態にして、車両前側から洗車してください。また、走行前は必ずドアミラーを復帰状態にもどしてください。
- ブラシで車体に傷が付き、塗装を損なうことがあります。

■ 高圧洗浄機を使うとき

- 室内に水が入るおそれがあるため、ノズルの先端をドアガラスやドア枠付近に近付けすぎないでください。
- 洗車の前に給油口が確実に閉まっていることを確認してください。

■ 洗車などで車に水をかけたとき

電子キーを携帯して洗車などで水をドアハンドルにかけた場合、施錠・解錠動作をくり返すことがあります。その場合は次のような処置をして、洗車などをしてください。

- 電子キーを車両から 2m 以上離れた場所に保管する（電子キーの盗難に注意してください）
- 電子キーを節電モードに設定し、スマートエントリー & スタートシステムの作動を停止する（→ P. 110）

■ アルミホイール

- 中性洗剤を使用し、早めに汚れを落とししてください。研磨剤の入った洗剤や硬いブラシは塗装を傷めますので使用しないでください。
- 夏場の長距離走行後などでホイールが熱いときは、洗剤は使用しないでください。
- 洗剤を使用したあとは早めに十分洗い流してください。

■ バンパーおよびサイドモールディング

研磨剤入りの洗剤でこすらないようにしてください。

■ ドアガラスの撥水コーティング★について

- 撥水効果を長持ちさせるため、次のことに注意してください。
 - ・ フロントドアガラス表面の泥などの汚れを落とす
 - ・ 汚れは早めにやわらかい湿った布などで清掃する
 - ・ コンパウンド（磨き粉）が入ったガラスクリーナーやワックスを使用しない
 - ・ 金属製の道具で霜取りをしない
- 水滴のはじきが悪くなったときは補修することができます。
詳しくはトヨタ販売店にお問い合わせください。

■ レンクリアリングミラー★の親水効果回復作業について

鏡面の親水効果は、太陽光をあてることにより徐々に回復します（→ P. 131）が、早く回復させたいときは次の作業を行ってください。

- 1 鏡面に水をかけ、泥汚れなどを洗い流す
- 2 水を含ませたきれいなやわらかい布などで汚れを落とす
- 3 ガラスクリーナーか中性洗剤で洗浄後、十分な水で洗剤を洗い流す
- 4 きれいなやわらかい布などで鏡面に付いた水をふき取る
- 5 屋外に車両を駐車し、鏡面に太陽光を 5 時間程度あてる
（汚れの量や種類により、回復時間は異なります）

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

 **警告****■ 洗車をするとき**

エンジンルーム内に水をかけないでください。
電気部品などに水がかかると、車両火災につながるおそれがあり危険です。

■ 排気管について

排気管は排気ガスにより高温になります。洗車などでふれる場合は、十分に排気管が冷めてからにしてください。やけどをするおそれがあります。

 **注意****■ 塗装の劣化や車体・部品（ホイールなど）の腐食を防ぐために**

- 次のような場合は、ただちに洗車してください。
 - ・ 海岸地帯を走行したあと
 - ・ 凍結防止剤を散布した道路を走行したあと
 - ・ コールタール・花粉・樹液・鳥のふん・虫の死がいなどが付着したとき
 - ・ ばい煙・油煙・粉じん・鉄粉・化学物質などの降下が多い場所を走行したあと
 - ・ ほこり・泥などで激しく汚れたとき
 - ・ 塗装にベンジンやガソリンなどの有機溶剤が付着したとき
- 塗装に傷が付いた場合は、早めに補修してください。
- ホイール保管時は、腐食を防ぐために汚れを落とし、湿気の少ない場所へ保管してください。

■ ランプの清掃

- 注意して洗ってください。有機溶剤や硬いブラシは使用しないでください。ランプを損傷させるおそれがあります。
- ランプにワックスがけを行わないでください。レンズを損傷するおそれがあります。
- 高圧洗車機を使うときは、ノズルの先端を車体から 50cm 以上離れた状態で使用してください。ノズル先端を車体に近付けて使用すると、ランプ内または室内に水が入るおそれがあります。

内装の手入れ

お手入れは、次の要領で実施してください。

室内の手入れ

掃除機などでほこりを取り除き、水またはぬるま湯を含ませた布でふき取る

本革部分の手入れ

- 掃除機などでほこりや砂を取り除く
- うすめた洗剤をやわらかい布に含ませ、汚れをふき取る
ウール用の中性洗剤を約5%の水溶液までうすめたものを使用してください。
- 真水をひたした布を固くしぼり、表面に残った洗剤をふき取る
- 乾いたやわらかい布で表面の水分をふき取り、風通しのよい日陰で乾燥させる

合成皮革部分の手入れ

- 掃除機をかけて、大まかな汚れを取る
- スポンジややわらかい布を使用して合成皮革部分に刺激の少ない洗剤を付ける
- 数分間洗剤につけておいてから汚れを落とし、固くしぼったきれいな布で洗剤をふき取る

知識

■ 本革部分のお手入れの目安

品質を長く保つため、年に2回程度の定期的なお手入れをおすすめします。

■ カーペットの洗淨

カーペットは常に乾いた状態を保つことをおすすめします。洗淨には、市販の泡タイプクリーナーがご利用になれます。

スポンジまたはブラシを使用して泡をカーペットに広げ、円を描くように塗り込んでください。直接水をかけたりせず、ふき取ってから乾燥させてください。

■ シートベルト

刺激の少ない洗剤とぬるま湯で、布やスポンジを使って洗ってください。シートベルトのすり切れ・ほつれ・傷などを定期的に点検してください。

■スーパー UV カットガラス★について

- ドアガラスが汚れているときは、早めに水またはぬるま湯を含ませた布で軽くふいて清掃してください。
- ドアガラスの汚れがひどいときは、ドアガラスの開閉をくり返さないでください。

警告

■車両への水の浸入

- 床・ラゲージルーム内・駆動用電池冷却用吸入口など車内に水をかけたり液体をこぼしたりしないでください。(→ P. 62)
駆動用電池や電気部品などに水がかかると、故障や車両火災につながるおそれがあります。
- SRS エアバッグの構成部品や電気配線をぬらさないでください。(→ P. 32)
電気の不具合により、SRSエアバッグが作動したり、正常に機能しなくなり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■内装の手入れをするときは（特にインストルメントパネル）

艶出しワックスや艶出しクリーナーを使用しないでください。インストルメントパネルがフロントウインドウガラスへ映り込み、運転者の視界をさまたげ思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■シート周辺の注意

車内を清掃するときや、シートの下に落としたものを拾うときなど、シートの下に手を入れるときは十分注意してください。シートレール、シートの土台部分などにあたり、けがをするおそれがあります。

 **注意****■ 清掃するとき使用する溶剤について**

- 変色・しみ・塗装はがれの原因になるため、次の溶剤は使用しないでください。
 - ・ シート以外の部分：ベンジン・ガソリンなどの有機溶剤や酸性またはアルカリ性の溶剤・染色剤・漂白剤
 - ・ シート部分：シンナー・ベンジン・アルコール、その他のアルカリ性や酸性の溶剤
- 艶出しワックスや艶出しクリーナーを使用しないでください。インストルメントパネルやその他内装の塗装のはがれ・溶解・変形の原因になるおそれがあります。

■ 革の傷みを避けるために

皮革の表面の劣化や損傷を避けるために、次のことをお守りください。

- 革に付着したほこりや砂はすぐに取り除く
- 直射日光に長時間さらさないようにする
特に夏場は日陰で車を保管する
- ビニール製・プラスチック製・ワックス含有のものは、車内が高温になると革に張り付くおそれがあるため、革張りの上に置かない

■ 床に水がかかると

水で洗わないでください。

オーディオやフロアカーペット下にある電気部品に水がかかると、車の故障の原因となったり、ボデーが錆びるおそれがあります。

■ リヤウインドウガラスの内側を掃除するときは

- 熱線を損傷するおそれがあるため、ガラスクリーナーなどを使わず、熱線にそって水またはぬるま湯を含ませた布で軽くふいてください。
- 熱線を引っかいたり、損傷させないように気を付けてください。

■ スーパー UV カットガラス★を清掃するときは

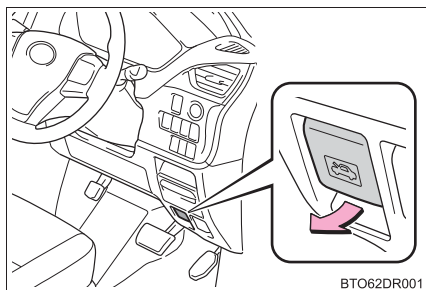
ドアガラスを清掃するときは、コンパウンドまたは研磨剤入り用品（ガラスクリーナー・洗剤・ワックスなど）を使用しないでください。コーティングを損傷させるおそれがあります。

ボンネット

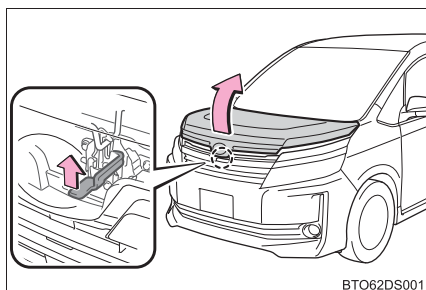
室内からロックを解除して、ボンネットを開けます。

■ 開け方

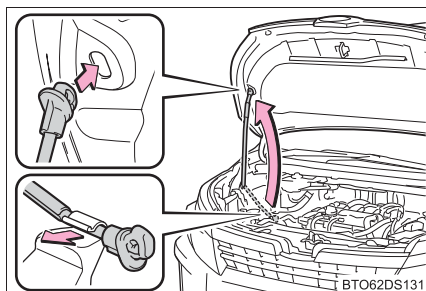
- 1 ボンネット解除レバーを引く
ボンネットが少し浮き上がります。



- 2 レバーを引き上げて、ボンネットを開ける



- 3 ボンネットステーをステー穴に挿し込む



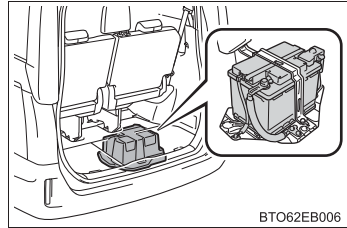
■ 閉め方

- 1 ボンネットステーをはずす
- 2 ボンネットを約 20 ~ 25cm の位置から静かに落として閉める
- 3 ロックされていることを確認する

知識

■ 補機バッテリーについて

この車両の補機バッテリーはラゲージルームのカバー内にあり、エンジンルームには搭載されていません。(補機バッテリーはバッテリー液の補充が必要ないタイプのため、バッテリー液量等の点検は不要です)



BTO62EB006

警告

■ 走行前の確認

ボンネットがしっかりロックされていることを確認してください。ロックせずに走行すると、走行中にボンネットが突然開いて、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■ 修理・車検・整備点検をする場合は

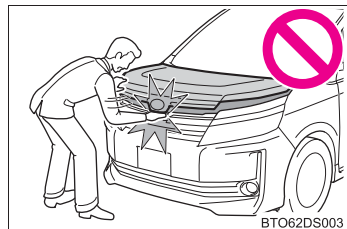
整備モードに切りかえる必要がありますので、必ずトヨタ販売店にご相談ください。高電圧システムを使用しているため、取り扱いを誤ると、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■ エンジンルーム点検後の確認

エンジンルーム内に工具や布を置き忘れていないことを確認してください。点検や清掃に使用した工具や布などをエンジンルーム内に置き忘れてしまうと、故障の原因になったり、また、エンジンルーム内は高温になるため車両火災につながるおそれがあり危険です。

■ ボンネットを閉めるとき

手などを挟まないように注意してください。重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。



BTO62DS003

■ 補機バッテリーの取り扱いについて

→ P. 326

 **警告****■ 補機バッテリーを交換するときは**

→ P. 326

 **注意****■ ボンネットへの損傷を防ぐために**

ボンネットを閉めるときは、体重をかけるなどして強く押さないでください。
ボンネットがへこむおそれがあります。

■ ボンネットを閉めるときは

ボンネットステーをステー穴から取りはずし、クリップに正しくもどしてください。

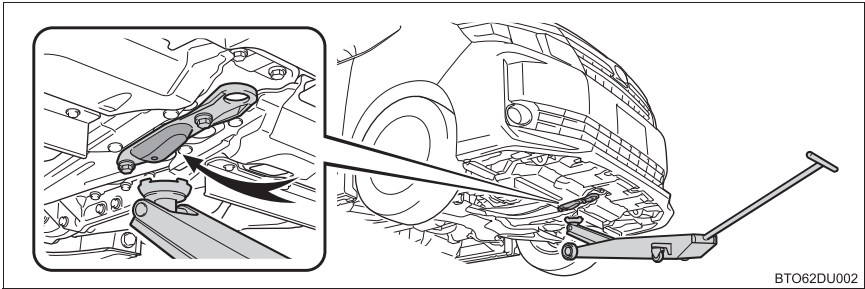
ステーを正しくもどさない状態でボンネットを閉めると、ボンネットやステーが損傷するおそれがあります。

ガレージジャッキ

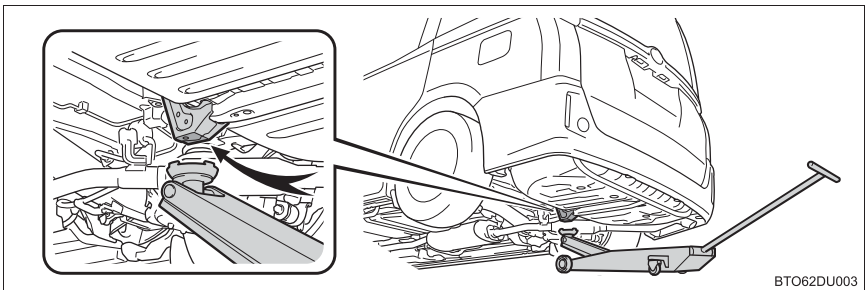
ガレージジャッキを使用して車両を持ち上げるときは、正しい位置にガレージジャッキをセットしてください。

正しい位置にセットしないと、車両が損傷したり、けがをするおそれがあります。

◆ フロント側



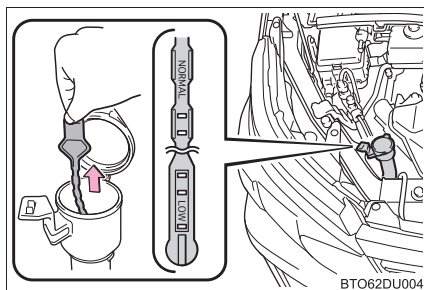
◆ リヤ側



ウォッシャー液の補充

補充のしかた

液面が LOW の位置に近付いたらウォッシャー液を補充してください。



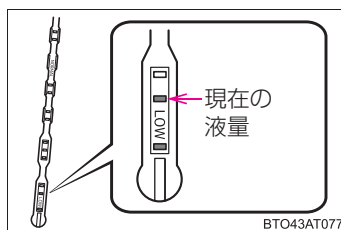
BTO62DU004

知識

■ ゲージの使い方

ウォッシャー液の膜が張っているゲージの穴部の位置を確認して、ウォッシャー液の残量を判断します。

残量がゲージの先端から 2 つめの穴部より下回った (LOW の位置まで低下した) ら、ウォッシャー液を補給してください。



BTO43AT077

警告

■ ウォッシャー液を補充するとき

ハイブリッドシステムが熱いときやハイブリッドシステム作動中は、ウォッシャー液を補充しないでください。

ウォッシャー液にはアルコール成分が含まれているため、ハイブリッドシステムなどにかかると出火するおそれがあり危険です。

 **注意****■ ウォッシャー液について**

ウォッシャー液のかわりに、せっけん水やエンジン不凍液などを入れないでください。塗装にしみが付くおそれがあります。

■ ウォッシャー液のうすめ方

必要に応じて水でうすめてください。水とウォッシャー液の割合は、ウォッシャー液の容器に表示してある凍結温度を参考にしてください。

タイヤについて

タイヤの点検は、法律で義務付けられています。日常点検として必ずタイヤを点検してください。

タイヤの摩耗を均等にし寿命をのばすために、タイヤローテーション(タイヤ位置交換)を5,000kmごとに行ってください。

タイヤの点検項目

タイヤは次の項目を点検してください。

点検方法は別冊「メンテナンスノート」を参照してください。

- タイヤ空気圧

空気圧の点検は、タイヤが冷えているときに行ってください。

- タイヤの亀裂・損傷の有無

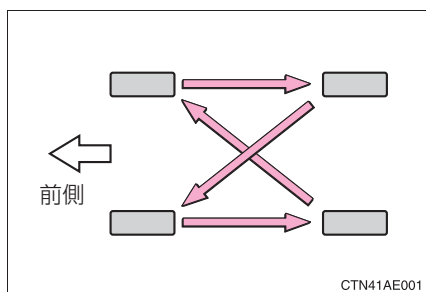
- タイヤの溝の深さ

- タイヤの異常摩耗(極端にタイヤの片側のみが摩耗していたり、摩耗程度が他のタイヤと著しく異なるなど)の有無

タイヤローテーションのしかた

図で示すようにタイヤのローテーションを行う

タイヤの摩耗状態を均一にし、寿命をのばすために、トヨタ定期点検ごとのタイヤローテーションをおすすめします。



 知識

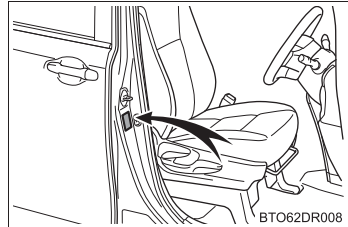
■ タイヤ空気圧の数値

タイヤサイズ	空気圧※ kPa (kg/cm ²)	
	前輪	後輪
195/65R15 91S	240 (2.4)	

応急用タイヤ★：420kPa (4.2kg/cm²) ※

タイヤの指定空気圧は、運転席側のタイヤ空気圧ラベルで確認することができます。

※ タイヤが冷えているときの空気圧


■ タイヤ関連の部品を交換するとき

タイヤ・ディスクホイール・ホイール取り付けナットを交換するときは、トヨタ販売店にご相談ください。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

 **警告****■点検・交換時の警告**

必ず次のことをお守りください。

お守りいただかないと、駆動系部品の損傷や不安定な操縦特性により、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- 工場出荷時に設定されているサイズ以外のタイヤは使用しない
次のようなおそれがあります。
 - ・ハンドルをきった際に、タイヤと車体が干渉する
 - ・最低地上高が確保できない
 - ・操縦安定性の悪化による横転事故
 - ・ABS / VSC が正しく作動しない
- タイヤはすべて同一メーカー・同一銘柄・同一トレッドパターンで、摩耗差のないタイヤを使用する
- メーカー指定サイズ以外のタイヤやホイールを使用しない
- ラジアルタイヤ・バイアスベルテッドタイヤ・バイアスプライタイヤを混在使用しない
- サマータイヤ・オールシーズンタイヤ・冬用タイヤを混在使用しない

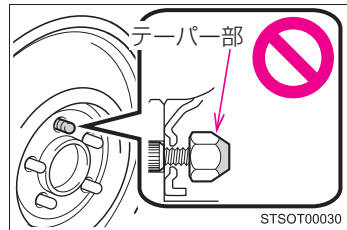
■異常があるタイヤの使用禁止

異常があるタイヤをそのまま装着していると、走行時にハンドルをとられたり、異常な振動を感じる場合があります。また、次のような事態になり、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

- 破裂などの修理できない損傷を与える
- 車両が横すべりする
- 車両の本来の性能（燃費・車両の安定性・制動距離など）が発揮されない

警告**■ タイヤ交換時の注意**

- 必ずナットのテーパ部を内側にして取り付けてください。テーパ部を外側にして取り付けると、ホイールが破損しはずれてしまい、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。



- ねじ部にオイルやグリースをぬらないでください。ナットを締めるときに必要以上に締め付けられ、ボルトが破損したり、ディスクホイールが損傷するおそれがあります。また、ナットがゆるみホイールが落下して、重大な事故につながるおそれがあります。オイルやグリースがねじ部に付いている場合はふき取ってください。

注意**■ 走行中に空気もれが起こったら**

走行を続けしないでください。
タイヤまたはホイールが損傷することがあります。

■ 悪路走行に対する注意

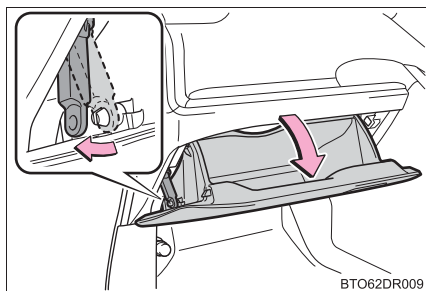
段差や凹凸のある路上を走行するときは注意してください。
タイヤの空気が抜けて、タイヤのクッション作用が低下します。また、タイヤ・ホイール・車体などの部品も損傷するおそれがあります。

エアコンフィルターの交換

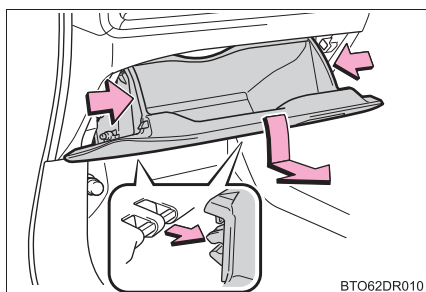
エアコンを快適にお使いいただくために、エアコンフィルターを定期的に交換してください。

交換のしかた

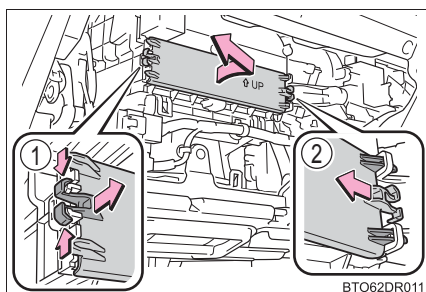
- 1 パワースイッチを OFF にする
- 2 グローブボックスを開きダンパーステーのピンをはずす



- 3 グローブボックス側面を内側に押し、上部のツメを片側ずつはずし、下部のツメをはずして取りはずす



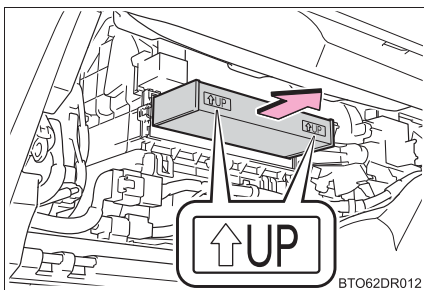
- 4 フィルターカバーを取りはずす
 - ① フィルターカバーの固定を解除する
 - ② フィルターカバーを矢印の方向にずらし、ツメからフィルターカバーを抜く



▶ 寒冷地仕様車を除く

- 5 フィルターを取りはずし、新しいフィルターと交換する

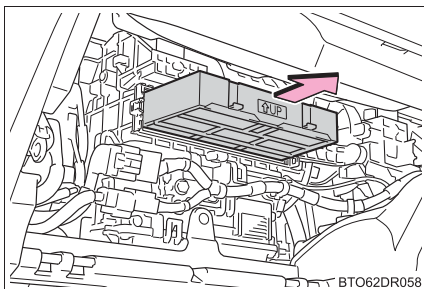
「↑ UP」マークの矢印が上を向くように取り付けます。



- 6 取り付けるときは、取りはずしたときと逆の手順で取り付ける

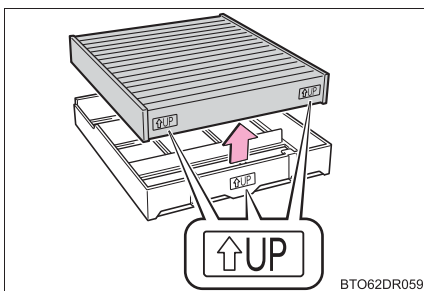
▶ 寒冷地仕様車

- 5 フィルターケースを取りはずす



- 6 フィルターを取りはずし、新しいフィルターと交換する

「↑ UP」マークの矢印が上を向くように取り付けます。



- 7 取り付けるときは、取りはずしたときと逆の手順で取り付ける

知識

■ エアコンフィルターの交換について

エアコンフィルターは次の時期を目安に交換してください。

20,000km[10,000km※]ごと

※大都市や寒冷地など、交通量や粉じんの多い地区

■ エアコンの風量が減少したときは

フィルターの目詰まりが考えられますので、フィルターを交換してください。

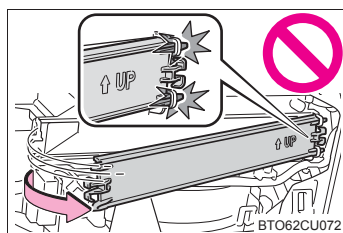
⚠ 注意**■ エアコンを使用するときの注意**

- フィルターを装着せずにエアコンを使用すると、故障の原因になることがあります。必ずフィルターを装着してください。
- フィルターは交換するタイプです。水洗いやエアブローによる清掃はしないでください。

■ フィルターカバーの破損を防ぐために

フィルターカバーの固定を解除するとき、フィルターカバーを矢印の方向に動かす際は、ツメに無理な力が加わらないよう注意してください。

ツメが破損するおそれがあります。



キーの電池交換

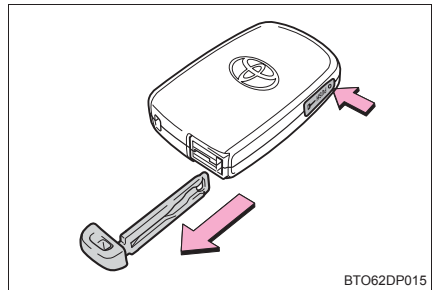
電池が消耗しているときは、新しい電池に交換してください。

用意するもの

- マイナスドライバー
- 小さいマイナスドライバー
- リチウム電池 CR2032

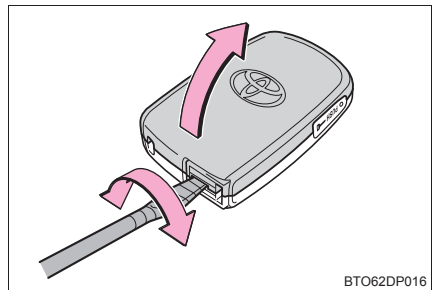
電池交換のしかた

- 1 メカニカルキーを抜く



- 2 カバーをはずす

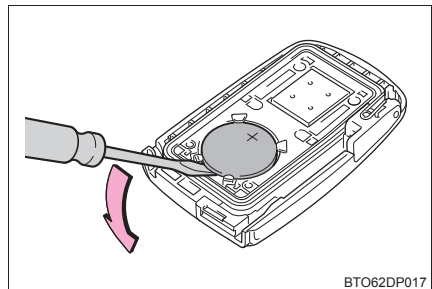
傷が付くのを防ぐため、マイナスドライバーの先端に布などを巻いて保護してください。



- 3 消耗した電池を取り出す

カバーをはずしたときに、上側のカバーに電子キーのモジュールが貼り付き、電池面が隠れている場合があります。この場合、電子キーのモジュールをひっくり返し、図のように電池が見える状態で作業してください。

新しい電池は、+極を上にして取り付けます。



- 4 取り付けるときは、取りはずしたときと逆の手順で取り付ける

 知識

■ リチウム電池 CR2032 の入手

電池はトヨタ販売店・時計店およびカメラ店などで購入できます。

■ 電子キーの電池が消耗していると

次のような状態になります。

- スマートエントリー&スタートシステム・ワイヤレス機能が作動しない
- 作動距離が短くなる

 警告

■ 取りはずした電池と部品について

お子さまにさわらせないでください。

部品が小さいため、誤って飲み込むと、のどなどにつまらせ重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

 注意

■ 交換後、正常に機能させるために

次のことを必ずお守りください。

- ぬれた手で電池を交換しない
錆の原因になります。
- 電池以外の部品に、ふれたり動かしたりしない
- 電極を曲げない

ヒューズの点検・交換

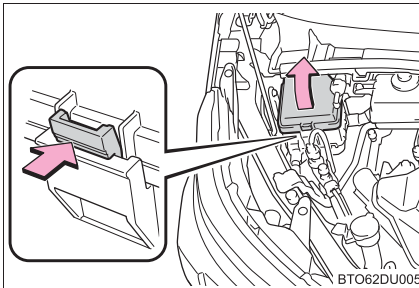
ランプがつかないときや電気系統の装置が働かないときは、ヒューズ切れが考えられます。ヒューズの点検を行ってください。

1 パワースイッチを OFF にする

2 ヒューズボックスを開ける

▶ エンジンルーム (1)

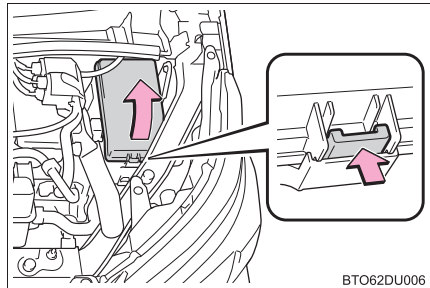
ツメを押しながら、カバーを持ち上げる



BTO62DU005

▶ エンジンルーム (2)

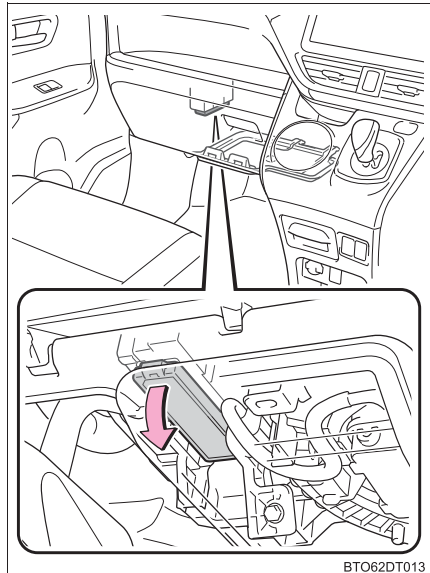
ツメを押しながら、カバーを持ち上げる



BTO62DU006

▶ 助手席足元

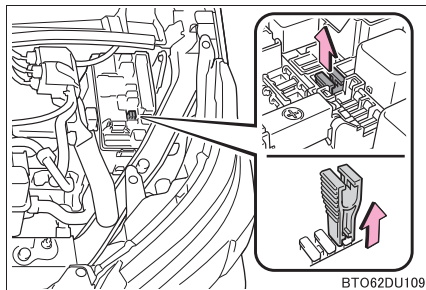
ヒューズボックスのカバーを取りはずす



BTO62DT013

3 ヒューズを引き抜く

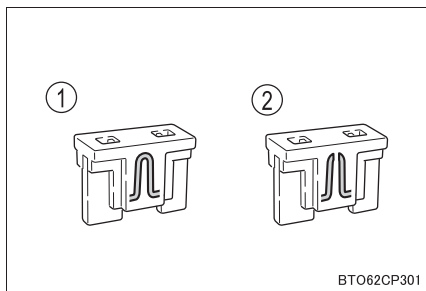
ヒューズはずしでヒューズを引き抜くことができます。

**4** ヒューズが切れていないか点検する

① 正常

② ヒューズ切れ

ヒューズボックスの表示に従い、規定容量のヒューズに交換します。



 知識

■ ヒューズを交換したあとは

- 交換してもランプ類が点灯しないときは、電球を交換してください。
(→ P. 254)
- 交換しても再度ヒューズが切れる場合は、トヨタ販売店で点検を受けてください。

■ 補機バッテリーからの回路に過剰な負荷がかかると

配線が損傷を受ける前にヒューズが切れるように設計されています。

■ 電球（バルブ）を交換するとき

この車両に指定されているトヨタ純正品のご使用をおすすめします。一部の電球は過電流を防止する専用回路に接続されているため、この車両指定のトヨタ純正品以外は使用できない場合があります。

 警告

■ 車の故障や、車両火災を防ぐために

次のことをお守りください。

お守りいただかないと、車の故障や火災、けがをするおそれがあります。

- 規定容量以外のヒューズ、またはヒューズ以外のものを使用しないでください。
- 必ずトヨタ純正ヒューズか同等品を使用してください。
- ヒューズやヒューズボックスを改造しないでください。

■ パワーコントロールユニット近くのヒューズボックスについて

高電圧部位・高電圧の配線が近くにあるため、絶対に点検・交換を行わないでください。取り扱いを誤ると感電し、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

 注意

■ ヒューズを交換する前に

ヒューズが切れた原因が電気の過剰負荷だと判明したときは、トヨタ販売店で点検を受けてください。

電球（バルブ）の交換

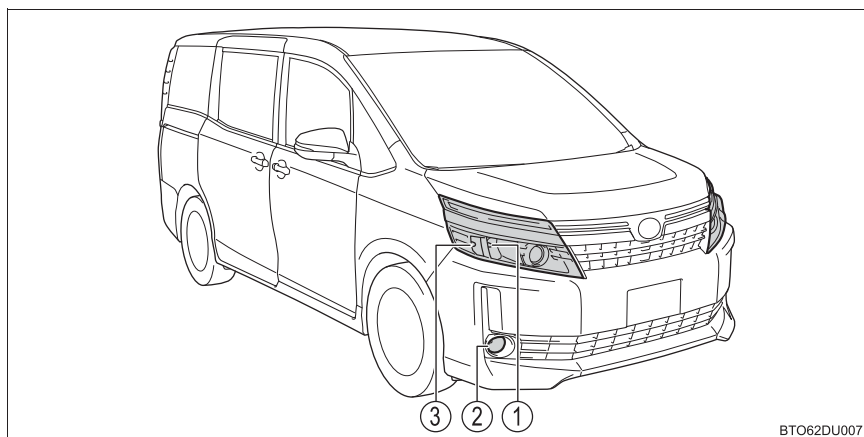
次に記載する電球は、ご自身で交換できます。電球交換の難易度は電球によって異なります。部品が破損するおそれがあるので、トヨタ販売店で交換することをおすすめします。

電球の用意

切れた電球の W（ワット） 数を確認してください。（→ P. 341）

バルブ位置

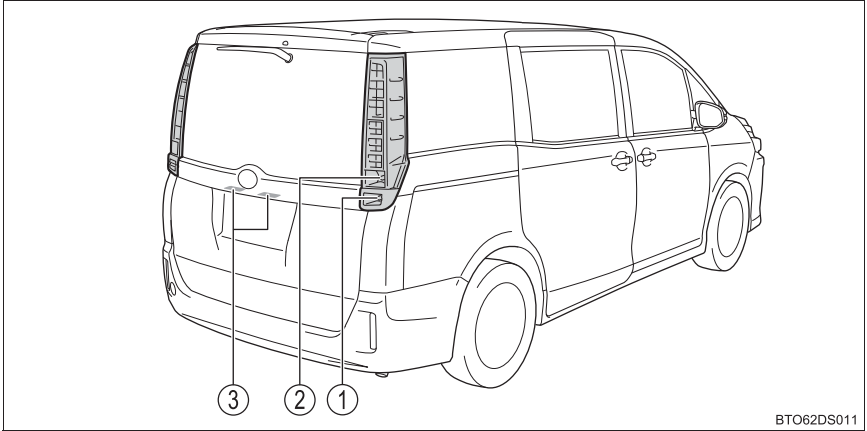
■ フロント



- ① ヘッドランプハイビーム
- ② フロントフォグランプ★
- ③ フロント方向指示灯／非常点滅灯

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

■ リヤ

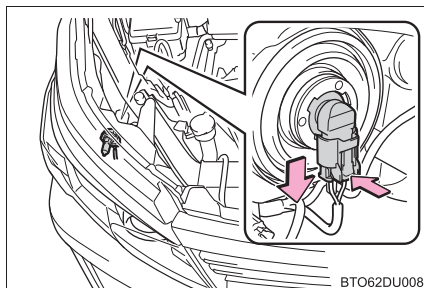


- ① 後退灯
- ② リヤ方向指示灯／非常点滅灯
- ③ 番号灯

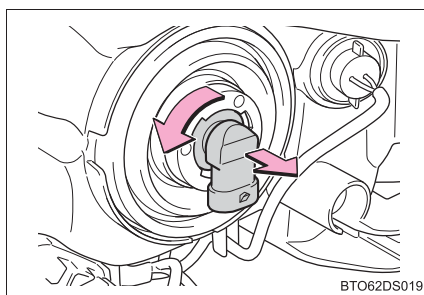
電球交換のしかた

■ ヘッドランプハイビーム

- 1 ツメを押し、コネクターを取りはずす

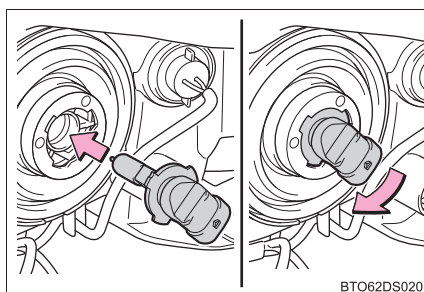


- 2 電球を取りはずす



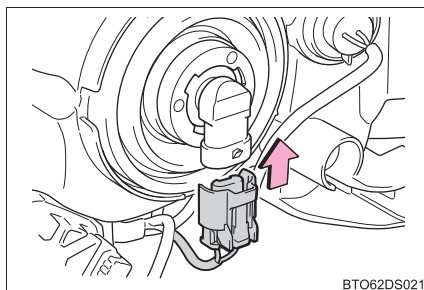
- 3 電球をまわして固定する

取り付け部と電球のツメ（3ヶ所）をあわせて挿し込みます。



- 4 コネクターを取り付ける

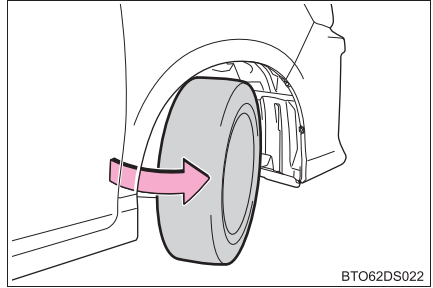
ソケットを取り付けたあとは、いったんヘッドランプハイビームを点灯させ、バルブの取り付け部からランプの光がもれていないことを目視確認してください。



■ フロントフォグランプ★

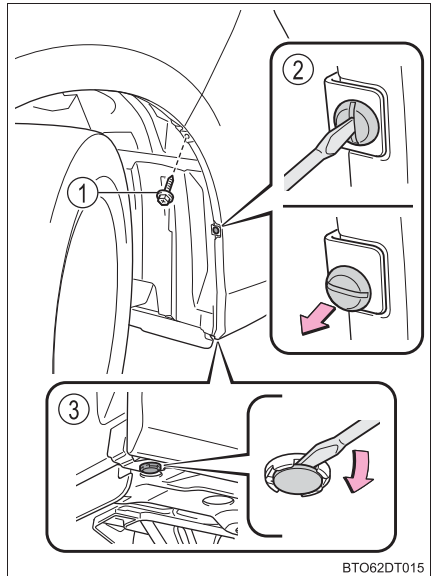
- 1 交換するランプの反対側へハンドルをまわし、タイヤの向きをかえる

手が十分入る程度にハンドルをまわしてください。

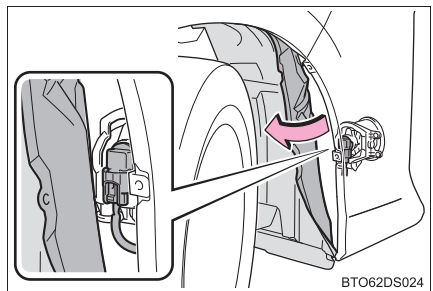


- 2 スクリューとクリップを取りはずす

- ① スクリューをはずす
- ② マイナスドライバーで90度まわし、クリップを浮かし引き抜きます
- ③ マイナスドライバーで中央部を引き出し、クリップを引き抜きます

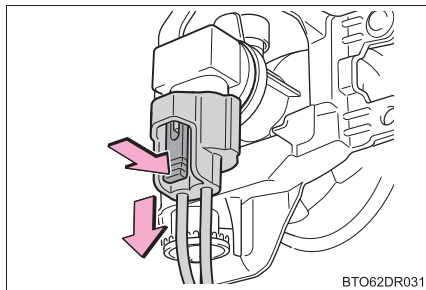


- 3 コネクターが見える位置までフェンダーライナーをめくる

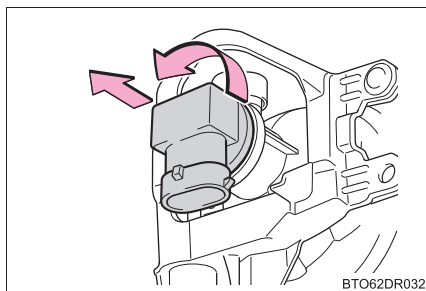


★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

- 4 ツメを押し、コネクターを取りはずす

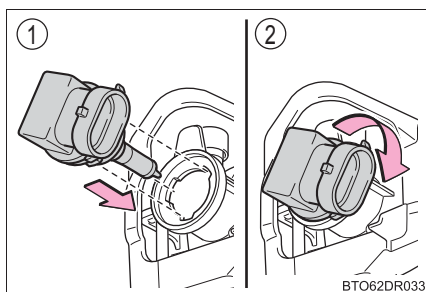


- 5 電球をまわして取りはずす



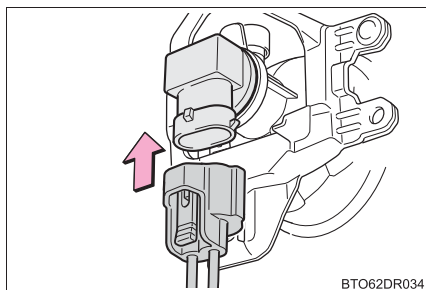
- 6 新しい電球を取り付ける

- ① 取り付け部と電球のツメ（3ヶ所）が合うように、電球を図のように約45° 傾けながら挿し込みます。
- ② 電球を右にまわして固定します。



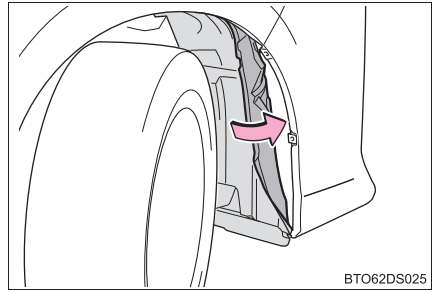
- 7 コネクターを取り付ける

コネクターを取り付けたあとは、いったんフロントフォグランプを点灯させ、バルブの取り付け部からランプの光がもれていないことを目視確認してください。



8 フェンダーライナーを取り付ける

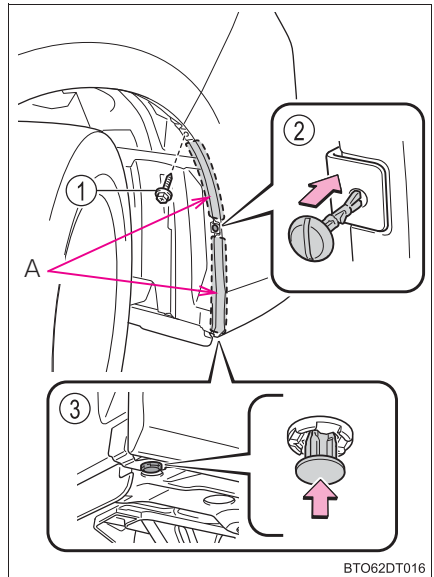
フェンダーライナーをバンパーの内側に取り付けます。



9 スクリューとクリップを取り付ける

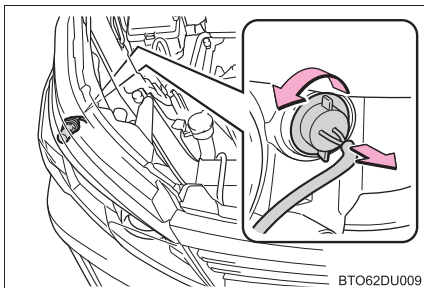
フェンダーライナー (A 部) がバンパーの内側になっていることを確認してから取り付けてください。

- ① スクリューを取り付ける
- ② クリップの溝を縦にして挿し込みます
- ③ 挿し込んでから中央部を押します

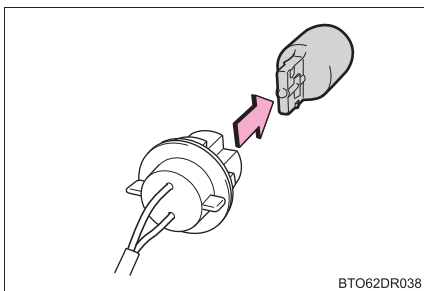


■ フロント方向指示灯／非常点滅灯

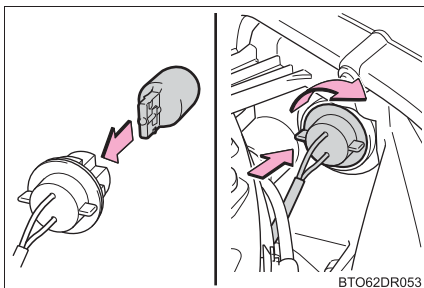
- 1 ボンネットを開けて、ソケットをまわして取りはずす



- 2 電球を取りはずす

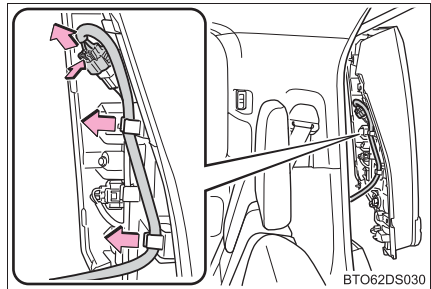
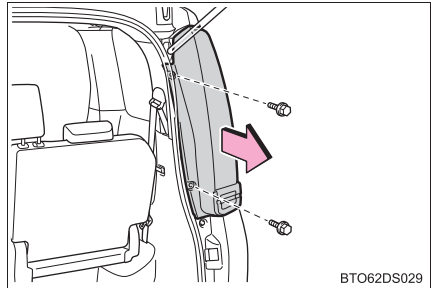


- 3 電球を取り付け、ソケットをまわして取り付ける

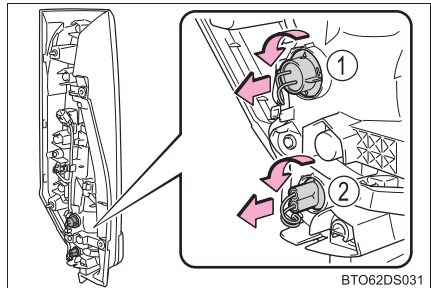


■ リヤ方向指示灯／非常点滅灯、後退灯

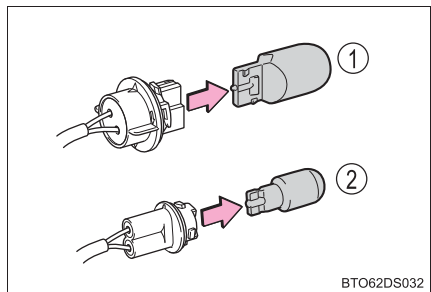
- 1 バックドアを開け、ボルト（2本）をはずし、ランプ本体をはずす
ランプ本体につながっているコネクターおよび配線をはずしてください。



- 2 ソケットをまわして取りはずす
- ① リヤ方向指示灯／非常点滅灯
 - ② 後退灯

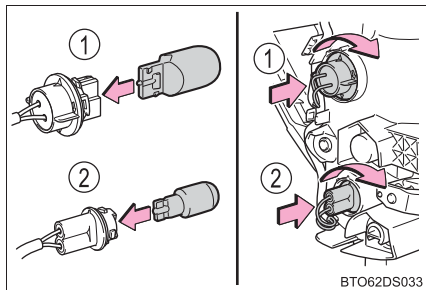


- 3 電球を取りはずす
- ① リヤ方向指示灯／非常点滅灯
 - ② 後退灯

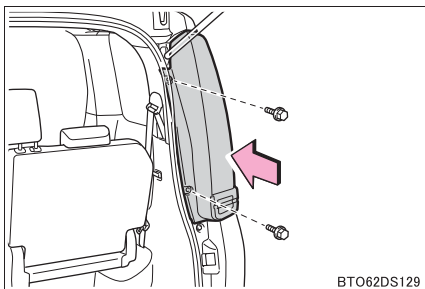
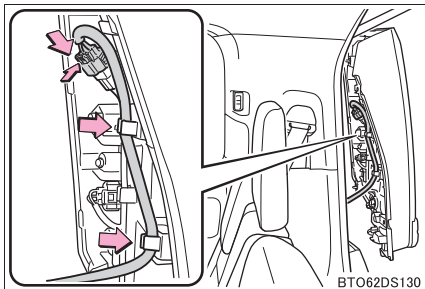


- 4 電球を取り付け、ソケットをまわして取り付ける

- ① リヤ方向指示灯／非常点滅灯
- ② 後退灯



- 5 ランプ本体につながっているコネクターおよび配線を取り付け、ボルト 2 本でランプ本体を取り付ける



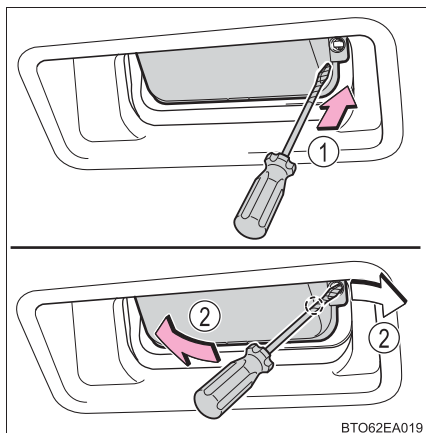
■ 番号灯

1 カバーを取りはずす

① 小さいドライバーなどをレンズ横の穴に挿し込みます

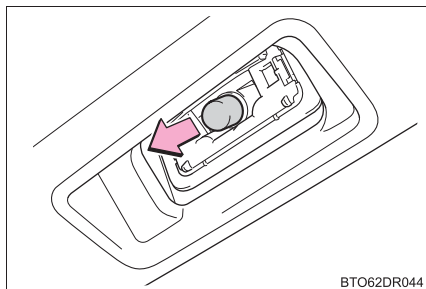
② 図のように取りはずします

傷が付くのを防ぐために、マイナスドライバーなどの先端に、布などを巻いて保護してください。



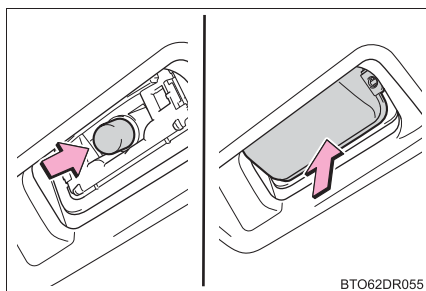
BTO62EA019

2 電球を取りはずす



BTO62DR044

3 電球を取り付け、カバーを取り付ける



BTO62DR055

■ 次の電球を交換するには

次のランプが切れたときは、トヨタ販売店で交換してください。

- ヘッドランプロービーム
- サイド方向指示灯／非常点滅灯
- 車幅灯
- 尾灯
- 制動灯
- ハイマウントストップランプ

 知識

■ LED ランプについて

ヘッドランプロービーム・サイド方向指示灯／非常点滅灯・車幅灯・尾灯・制動灯・ハイマウントストップランプは、数個の LED で構成されています。もし LED がひとつでも点灯しないときは、トヨタ販売店で交換してください。

■ レンズ内の水滴と曇り

レンズ内の一時的な曇りは、機能上問題ありません。ただし、次のようなときは、トヨタ販売店にご相談ください。

- レンズ内側に大粒の水滴が付いている
- ランプ内に水がたまっている

■ 電球（バルブ）を交換するとき

→ P. 253

 警告

■ 電球を交換するとき

- ランプは消灯してください。消灯直後は高温になっているため、交換しないでください。やけどをすることがあります。
- 電球のガラス部を素手でふれないでください。
やむを得ずガラス部を持つ場合は、電球に油脂や水分を付着させないために、乾いた清潔な布などを介して持ってください。
また、電球を傷付けたり、落下させたりすると球切れや破裂することがあります。
- 電球や電球を固定するための部品はしっかり取り付けてください。取り付けが不十分な場合、発熱や発火、またはヘッドランプ内部への浸水による故障や、レンズ内に曇りが発生することがあります。

■ お車の故障や火災を防ぐために

電球が正しい位置にしっかりと取り付けられていることを確認してください。

万一の場合には

7

7-1. まず初めに

故障したときは.....	266
非常点滅灯 (ハザードランプ)	267
発炎筒	268
車両を緊急停止するには	270

7-2. 緊急時の対処法

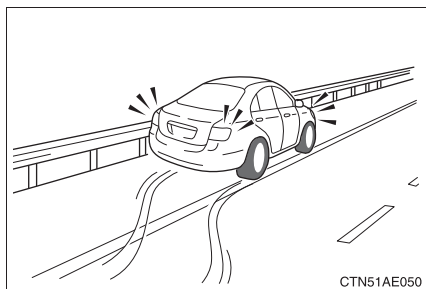
けん引について	271
警告灯がついたときは	276
警告メッセージが表示 されたときは	280
パンクしたときは (応急用タイヤ装着車)	295
パンクしたときは (タイヤパンク応急 修理キット装着車)	305
ハイブリッドシステムが 始動できないときは	318
電子キーが正常に働かない ときは.....	320
補機バッテリーが あがったときは	322
オーバーヒートしたときは ...	328
スタックしたときは	332

故障したときは

故障のときはすみやかに次の指示に従ってください。

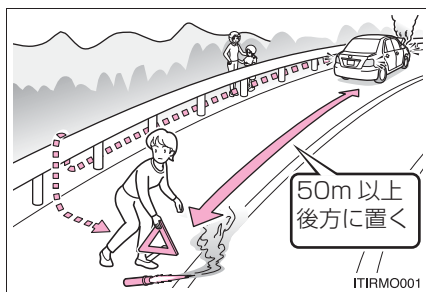
非常点滅灯（→ P. 267）を点滅させながら、車を路肩に寄せ停車する。

非常点滅灯は、故障などでやむを得ず路上駐車する場合、他車に知らせるため使用します。



高速道路や自動車専用道路では、次のことに従う

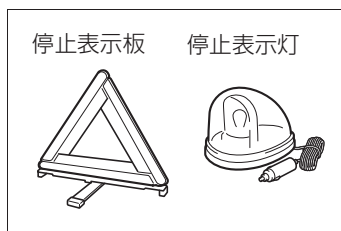
- 同乗者を避難させる
- 車両の50m以上後方に発炎筒（→ P. 268）と停止表示板を置くか、停止表示灯を使用する
 - ・ 見通しが悪い場合はさらに後方に置いてください。
 - ・ 発炎筒は、燃料もれの際やトンネル内では使用しないでください。
- その後、ガードレールの外側などに避難する



知識

■ 停止表示板・停止表示灯について

- 高速道路や自動車専用道路でやむを得ず駐停車する場合は、停止表示板または停止表示灯の表示が、法律で義務付けられています。
- 停止表示板・停止表示灯のご購入については、トヨタ販売店にお問い合わせください。

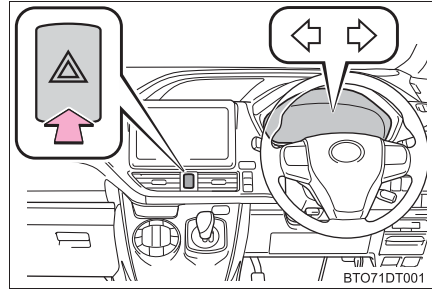


非常点滅灯（ハザードランプ）

事故などでやむを得ず路上駐車する場合、他車に知らせるために使用してください。

スイッチを押す

すべての方向指示灯が点滅します。
もう一度押すと消灯します。



知識

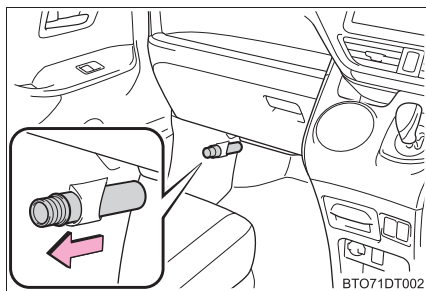
■ 非常点滅灯について

ハイブリッドシステム停止中に非常点滅灯を長時間使用すると、補機バッテリーがあがるおそれがあります。

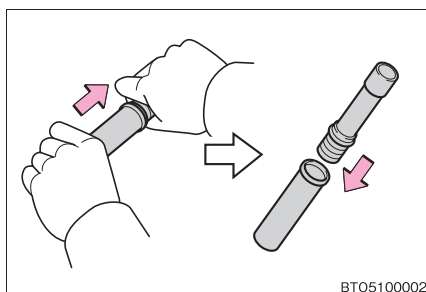
発炎筒

高速道路や踏切などでの故障・事故時に非常信号用として使用します。
 (トンネル内や可燃物の近くでは使用しないでください)
 発炎時間は約5分です。非常点滅灯と併用してください。

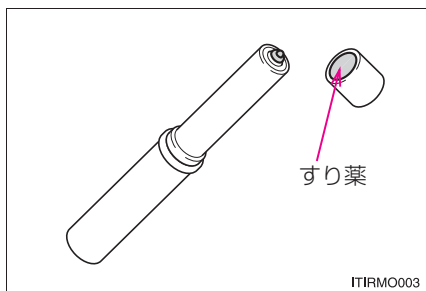
- 1 助手席足元の発炎筒を取り出す



- 2 本体をまわしながら抜き、本体を逆さにして挿し込む



- 3 先端のフタを取り、すり薬で発炎筒の先端をこすり、着火させる
 必ず車外で使用してください。
 着火させる際は、筒先を顔や体に向け
 ないでください。



 知識

■ 発炎筒の有効期限

本体に表示してある有効期限が切れる前に、トヨタ販売店でお求めください。有効期限が切れると、着火しなかったり、炎が小さくなる場合があります。

 警告

■ 発炎筒を使用してはいけない場所

次の場所では、発炎筒を使用しないでください。
煙で視界が悪くなったり、引火するおそれがあるため危険です。

- トンネル内
- ガソリンなど可燃物の近く

■ 発炎筒の取り扱いについて

次のことを必ずお守りください。
お守りいただかないと、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

- 使用中は、発炎筒を顔や体に向けたり、近付けたりしない
- 発炎筒は、お子さまにさせない

車両を緊急停止するには

万一、車が止まらなくなったときの非常時のみ、次の手順で車両を停止させてください。

- 1 ブレーキペダルを両足でしっかりと踏み続ける
ブレーキペダルをくり返し踏まないでください。通常より強い力が必要となり、制動距離も長くなります。
- 2 シフトポジションを N にする
 - ▶ シフトポジションが N になった場合
- 3 減速後、車を安全な道路脇に停める
- 4 ハイブリッドシステムを停止する
 - ▶ シフトポジションが N にならない場合
- 3 ブレーキペダルを両足で踏み続け、可能な限り減速させる
- 4 パワースイッチを 2 秒以上押し続けるか、素早く 3 回以上連続で押してハイブリッドシステムを停止する



- 5 車を安全な道路脇に停める

警告

■ 走行中にやむを得ずハイブリッドシステムを停止するとき

ハンドル操作が重くなるため、車のコントロールがしにくくなり危険です。ハイブリッドシステムを停止する前に、十分に減速するようにしてください。

けん引について

けん引は、できるだけトヨタ販売店または専門業者にご依頼ください。その場合は、レッカー車または、車両運搬車を使用することをおすすめします。

やむを得ず他車にロープでけん引してもらう場合は、車両積載車までの移動など、できるだけ短距離にとどめてください。

他車によるけん引が不可能な状況

次の場合は、パーキングロックにより前輪が固定されている可能性があるため、他車にロープでけん引してもらうことはできません。トヨタ販売店または専門業者にご依頼ください。

- シフト制御システムに異常があるとき (→ P. 281)
- イモビライザーシステムに異常があるとき (→ P. 67)
- スマートエントリー&スタートシステムに異常があるとき (→ P. 291)
- 補機バッテリーがあがったとき (→ P. 322)

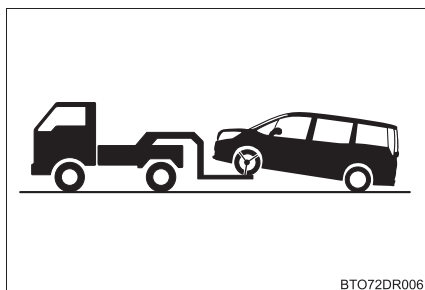
けん引の前に販売店への連絡が必要な状況

次の場合は、駆動系の故障が考えられるため、トヨタ販売店へご連絡ください。

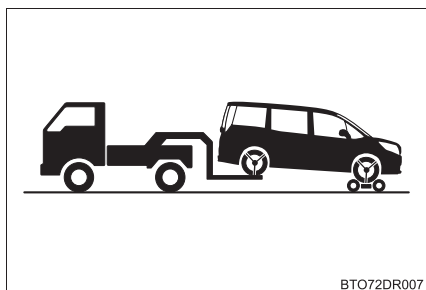
- ハイブリッドシステムの異常警告表示が表示され、車が動かない
- 異常な音がする

レッカー車でけん引するとき

▶ 前向きにけん引するときは
パーキングブレーキを解除する

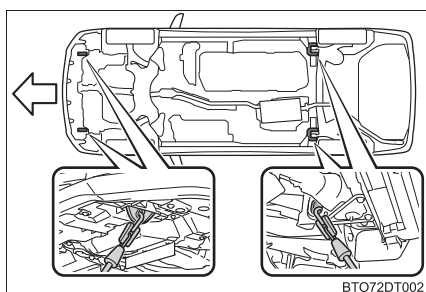


▶ うしろ向きにけん引するときは
台車を使用して前輪を持ち上げる

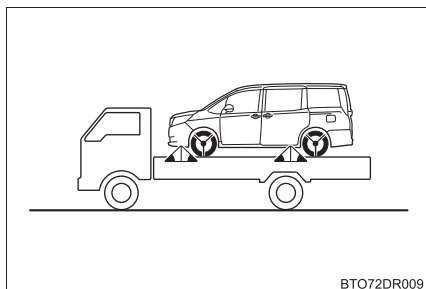


車両運搬車を使用するとき

車両運搬車で輸送されているときは、
図の場所にフックを取り付ける



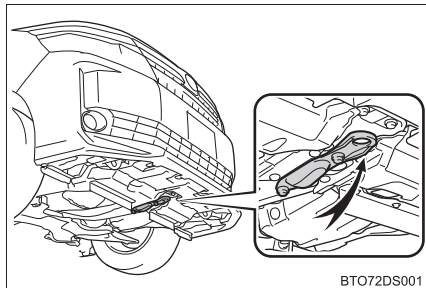
鎖やケーブルなどを使用して車両
を固縛する場合は図に黒く示す角
度が45°になるように固縛する



けん引されるとき

- 1 車体に傷が付かないようにロープをけん引フックにかける

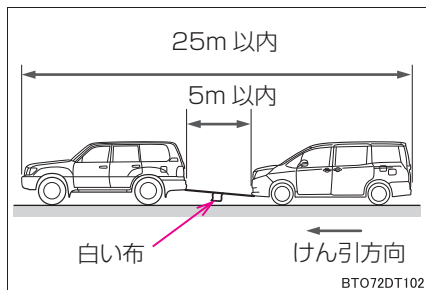
車体に傷が付かないように注意してください。また、前進方向でけん引してください。



- 2 ロープの中央に白い布を付ける

布の大きさ：

0.3 m 平方 (30 cm × 30 cm) 以上



- 3 運転者はけん引される車両に乗り、ハイブリッドシステムを始動する
ハイブリッドシステムが始動しないときは、パワースイッチを ON モードにしてください。

- 4 けん引される車両のシフトポジションを N にしてから、パーキングブレーキを解除する

けん引中は、ロープがたるまないよう、減速時なども前の車の速度に合わせてください。

 知識

■ けん引フックの使用目的

けん引フックはけん引されるときに使うものであり、他車をけん引するためのものではありません。

■ けん引されるときに

ハイブリッドシステムが停止しているとブレーキの効きが悪くなったり、ハンドル操作が通常より重くなったりします。

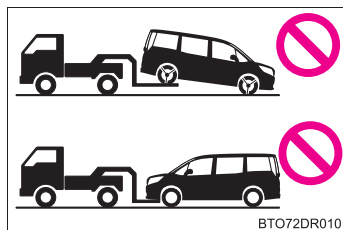
警告

次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

けん引されるとき

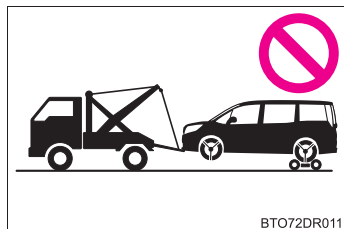
必ず前輪を持ち上げるか、4輪とも持ち上げた状態で運搬してください。前輪が地面に着いた状態でけん引すると、駆動系部品が破損したり、モーターが回転することにより発電され、故障や破損の状態によっては火災が発生するおそれがあります。

**けん引中の運転について**

- ロープによるけん引を行うときは、けん引フックやロープに過剰な負荷をかける急発進などを避けてください。
けん引フックやロープが破損し、その破片が周囲の人などにあたり、重大な傷害を与えるおそれがあります。
- パワースイッチを OFF にしないでください。
パーキングロックにより、前輪が固定され思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

⚠ 注意**■ レッカー車でけん引するとき**

車両の損傷を防ぐために図のようなレッカー車ではけん引しないでください。

**■ 車両運搬車に車を固縛するとき**

ケーブル等を過度に締め付けすぎないでください。車両の損傷につながるおそれがあります。

■ 駆動系部品の損傷を防ぐために

● ロープでけん引されるときは次のことを必ずお守りください。

- ・ ワイヤロープは使用しない
- ・ 速度は 30 km/h 以下、距離は車両積載車までの移動などできるだけ短距離にとどめる
- ・ 前進方向でけん引する
- ・ サスペンション部などにロープをかけない






● この車両で他車やボート（トレーラー）などをけん引しないでください。







■ 長い下り坂でけん引するときは





レッカー車で前輪を持ち上げるか、4 輪とも持ち上げた状態でけん引してください。レッカー車でけん引しないと、ブレーキが過熱し効きが悪くなるおそれがあります。

警告灯がついたときは

警告灯が点灯または点滅したままの場合は、落ち着いて次のように対処してください。なお、点灯・点滅しても、その後消灯すれば異常ではありません。ただし、同じ現象が再度発生した場合は、トヨタ販売店で点検を受けてください。

警告灯	警告灯名・警告内容・対処方法
 (赤色)	ブレーキ警告灯 (警告ブザー※¹) ・ ブレーキ液の不足 ・ ブレーキシステムの異常 パーキングブレーキが解除されていないときも点灯します。 解除後、消灯すれば正常です。 → ただちに安全な場所に停車し、トヨタ販売店へ連絡してください。走行を続けると危険です。
	充電警告灯 充電システムの異常 → ただちに安全な場所に停車し、トヨタ販売店へ連絡してください。
	油圧警告灯 (警告ブザー) エンジンオイルの圧力異常 → ただちに安全な場所に停車し、トヨタ販売店へ連絡してください。
	高水温警告灯 (警告ブザー) エンジン冷却水温の異常 → ただちに安全な場所に停車し、トヨタ販売店へ連絡してください。
	エンジン警告灯 ・ ハイブリッドシステムの異常 ・ エンジン電子制御システムの異常 ・ 電子制御スロットルの異常 → ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。

警告灯	警告灯名・警告内容・対処方法
	SRS エアバッグ／プリテンショナー警告灯 ・ SRS エアバッグシステムの異常 ・ プリテンショナー付きシートベルトシステムの異常 → ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。
	ABS & ブレーキアシスト警告灯 ・ ABS の異常 ・ ブレーキアシストの異常 → ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。
 (赤色 / 黄色)	パワーステアリング警告灯 (警告ブザー) EPS (エレクトリックパワーステアリング) の異常 → ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。
 (黄色)	電子制御ブレーキ警告灯 ・ 電子制御ブレーキシステムの異常 ・ 回生ブレーキの異常 → ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。
	スリップ表示灯 ・ VSC システムの異常 ・ TRC システムの異常 ・ ヒルスタートアシストコントロールシステムの異常 TRC・VSC・ABS の作動時には、点滅しません。(→ P. 179) → ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。
	ヘッドランプオートレベリング警告灯 自動光軸調整システムの異常 → ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。

警告灯	警告灯名・警告内容・対処方法
	半ドア警告灯 (警告ブザー※2) いずれかのドアが確実に閉まっていない → 全ドアを閉める
	燃料残量警告灯 燃料の残量が約 7.2L 以下になった → 燃料を補給する
	シートベルト非着用警告灯 (警告ブザー※3) 運転席・助手席シートベルトの非着用 → シートベルトを着用する
	マスターウォーニング システムの異常時にブザーと共に点灯・点滅し、マルチインフォメーションディスプレイ上に警告メッセージを表示します。 → P. 280

- ※1 ブレーキ警告ブザー：
 パーキングブレーキをかけたまま (→ P. 286)、またはブレーキ液が不足しているときに車速が 5km/h 以上になると警告ブザーが鳴ります。
- ※2 半ドア走行時警告ブザー：
 → P. 285
- ※3 運転席・助手席シートベルト非着用警告ブザー：
 運転席・助手席シートベルト非着用のまま車速が約 20km/h 以上になると警告ブザーが 1 回鳴ります。その後も運転席・助手席シートベルトを非着用のまま 30 秒を経過すると、30 秒間断続的に鳴り、さらにブザーの音が変わり 90 秒間鳴ります。

 知識

■ シートベルト非着用警告灯の乗員検知センサーの作動について

- 助手席に乗員がいなくても、シートに荷物などを置くと、センサーが重量を検知して警告灯が点滅することがあります。
- 助手席に座布団などを敷くと、センサーが乗員を検知せず警告灯が作動しないことがあります。

■ パワーステアリング警告灯／警告ブザーについて

補機バッテリーの充電が不十分な場合、または一時的に電圧が下がった場合に警告灯が点灯し、警告ブザーが鳴ることがあります。

■ 警告ブザーについて

状況によっては、外部の騒音やオーディオの音などにより、ブザー音が聞こえない場合があります。

 警告

■ パワーステアリング警告灯が点灯したとき

黄色に点灯したときは操作力補助が制限され、赤色に点灯したときは操作力補助がなくなるため、ハンドル操作が非常に重くなることがあります。ハンドル操作が通常より重いときは、ハンドルをしっかりと持ち、通常より強く操作してください。

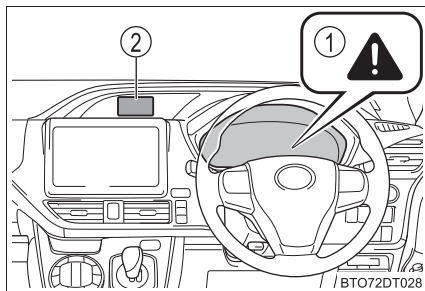
警告メッセージが表示されたときは

マルチインフォメーションディスプレイに警告メッセージが表示された場合は、落ち着いて次のように対処してください。

① マスターウォーニング





マルチインフォメーションディスプレイに警告メッセージが表示されているとき、点灯・点滅します。





② マルチインフォメーションディスプレイ













処置後に再度メッセージが表示されたときは、トヨタ販売店へご連絡ください。

警告メッセージ・警告ブザー一覧





警告メッセージ	警告内容・対処方法
<p>ブレーキ システムチェック</p>   <p>(黄色)</p>	<p>ブレーキ液の不足 ブレーキシステムの異常 警告ブザーが鳴ります。</p> <p>→ ただちに安全な場所に停車し、トヨタ販売店へ連絡してください。走行を続けると危険です。</p>
<p>エンジン油圧不足 安全な場所に停車して 取扱書を 確認してください</p>  	<p>エンジンオイル圧力の異常 エンジンオイルの圧力が異常に低いと表示されます。 車速が 5km/h をこえたときには警告ブザーが鳴ります。</p> <p>→ ただちに安全な場所に停車し、トヨタ販売店へ連絡してください。</p>





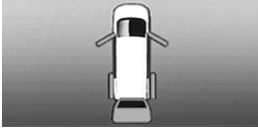



警告メッセージ	警告内容・対処方法
<p>ハイブリッドシステム故障 この車を けん引しないでください</p> 	<p>ハイブリッドシステムの異常</p> <ul style="list-style-type: none"> 警告ブザーが鳴ります。 <p>→ ただちに安全な場所に停車し、トヨタ販売店へ連絡してください。</p>
<p>ハイブリッドシステム故障 ○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○</p> <p>エンジン系故障 ○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○</p> <p>バッテリー系故障 ○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○</p> <p>アクセル系故障 ○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○</p> 	<p>ハイブリッドシステムの異常</p> <p>異常状態により、対処方法が○○○○部に表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 警告ブザーが鳴ります <p>→ ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。</p>
<p>シフト系故障 安全な場所に停車して 取扱書を確認</p> 	<p>シフト制御システムの故障</p> <p>シフトポジションを切りかえられない可能性があります。安全な場所に停車してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 警告ブザーが鳴ります <p>→ ただちにトヨタ販売店へ連絡してください。</p>
<p>シフト系故障 シフト切りかえできません 取扱書を確認</p> 	<p>シフト制御システムの故障</p> <p>シフトポジションをPからP以外に切りかえられない可能性があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 警告ブザーが鳴ります <p>→ ただちにトヨタ販売店へ連絡してください。</p>









警告メッセージ	警告内容・対処方法
<p data-bbox="165 183 408 272">シフト系故障 駐車時は パーキングブレーキをかけ 取扱書を確認</p> 	<p data-bbox="437 154 725 177">シフト制御システムの故障</p> <p data-bbox="460 185 993 435">パーキングロック機構が働かない可能性があります。駐車時は平坦な場所を選び、パーキングブレーキを確実にかけてください。 ハイブリッドシステムを始動できない可能性があります。 パワースイッチを OFF にできなくなることがあります。その場合はパーキングブレーキをかける と OFF にすることができます。</p> <ul data-bbox="437 443 698 466" style="list-style-type: none"> ・ 警告ブザーが鳴ります <p data-bbox="437 485 975 507">→ ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください</p>
<p data-bbox="165 558 408 647">シフト系通信故障 駐車時は パーキングブレーキをかけ 取扱書を確認</p> 	<p data-bbox="437 529 773 552">シフト制御システムの通信故障</p> <p data-bbox="460 560 993 746">自動 P ポジション切りかえ機能 (→ P. 151) が働かない可能性があります。パワースイッチを OFF にする前に確実に P ポジションスイッチを押し、シフトポジション表示灯または P ポジションスイッチの表示灯で、シフトポジションが P であることを必ず確認してください。 ハイブリッドシステムを始動できない可能性があります。</p> <p data-bbox="460 754 993 874">駐車時は平坦な場所を選び、パーキングブレーキを確実にかけてください。</p> <ul data-bbox="437 882 698 904" style="list-style-type: none"> ・ 警告ブザーが鳴ります <p data-bbox="437 924 975 946">→ ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください</p>
<p data-bbox="165 997 408 1086">P スイッチ故障 駐車時は パーキングブレーキをかけ 取扱書を確認</p> 	<p data-bbox="437 968 799 991">P ポジションスイッチシステムの故障</p> <p data-bbox="460 999 993 1118">P ポジションスイッチを押ししてもシフトポジションが P に切りかわらない可能性があります。駐車時は平坦な場所を選び、パーキングブレーキを確実にかけてください。</p> <ul data-bbox="437 1126 698 1149" style="list-style-type: none"> ・ 警告ブザーが鳴ります <p data-bbox="437 1168 975 1190">→ ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください</p>
<p data-bbox="165 1244 408 1286">シフト系故障 取扱書を確認</p> 	<p data-bbox="437 1216 725 1238">シフト制御システムの異常</p> <p data-bbox="460 1246 993 1310">放置するとシステムが正しく動かす思わぬ危険や故障を招くおそれがあります。</p> <ul data-bbox="437 1318 698 1340" style="list-style-type: none"> ・ 警告ブザーが鳴ります <p data-bbox="437 1359 975 1382">→ ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください</p>


警告メッセージ	警告内容・対処方法
<p data-bbox="157 161 415 288">ヘッドランプ システム故障 販売店で 点検してください</p> <div data-bbox="157 308 249 368"></div>	<p data-bbox="437 193 871 252">ヘッドランプレベリングシステムの異常 LED ヘッドランプの異常</p> <p data-bbox="460 268 712 293">警告ブザーが鳴ります。</p> <p data-bbox="437 312 983 338">→ ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。</p>
<p data-bbox="157 408 415 496">EPS故障 販売店で 点検してください</p> <p data-bbox="157 515 415 643">故障のため ハンドルが重くなります 販売店で 点検してください</p> <p data-bbox="157 662 415 790">電源異常のため ハンドルが重くなります 販売店で 点検してください</p> <div data-bbox="157 809 249 869"></div> <div data-bbox="255 809 347 869"></div>	<p data-bbox="437 584 822 609">パワーステアリングシステムの異常</p> <p data-bbox="460 625 712 651">警告ブザーが鳴ります。</p> <p data-bbox="437 670 983 695">→ ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。</p>
<p data-bbox="157 903 415 1023">ブレーキオーバーライド システム故障 販売店で 点検してください</p> <div data-bbox="361 938 404 999"></div> <div data-bbox="157 1042 249 1102"></div>	<p data-bbox="437 951 871 976">ブレーキオーバーライドシステムの異常</p> <p data-bbox="460 992 712 1018">警告ブザーが鳴ります。</p> <p data-bbox="437 1037 983 1062">→ ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。</p>
<p data-bbox="157 1134 415 1262">クルーズ コントロール故障 販売店で 点検してください</p> <div data-bbox="157 1281 249 1342"></div>	<p data-bbox="437 1126 866 1152">クルーズコントロールシステム★の異常</p> <p data-bbox="460 1168 701 1193">警告ブザーが鳴ります</p> <p data-bbox="437 1212 992 1366">→ ON-OFF スイッチでシステムを一度 OFF にし、再度設定してください。設定できないとき、またはすぐに解除されるときは、システム異常のおそれがあります。トヨタ販売店で点検を受けてください。</p>

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。





警告メッセージ	警告内容・対処方法
<p data-bbox="157 161 415 280">ドライブスタート コントロール故障 販売店で 点検してください</p> 	<p data-bbox="441 209 846 264">ドライブスタートコントロールの異常 警告ブザーが鳴ります。</p> <p data-bbox="441 280 986 309">→ ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。</p>
<p data-bbox="157 408 415 496">ハイブリッドバッテリー 冷却性能低下 販売店で 点検してください</p>	<p data-bbox="441 416 751 445">駆動用電池の冷却性能が低下</p> <p data-bbox="441 461 986 489">→ ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。</p>
<p data-bbox="157 560 415 647">ハイブリッド システムが停止 Pレンジに 入れてください</p>  <p data-bbox="174 737 228 759">(点滅)</p>	<p data-bbox="441 536 930 564">ハイブリッドシステム停止中の警告 (停車中)</p> <p data-bbox="441 564 994 692">シフトポジションがP・N以外でハイブリッドシステムが停止したとき、または、パワースイッチがONモードで、ハイブリッドシステムが停止中にシフトポジションをP・N以外にしたとき</p> <ul data-bbox="441 692 698 721" style="list-style-type: none"> ・ 警告ブザーが鳴ります <p data-bbox="441 737 785 766">→ シフトポジションをPにする</p>
<p data-bbox="157 807 415 847">ハイブリッドシステムが停止 安全な場所に停車してください</p>  <p data-bbox="174 940 228 962">(点滅)</p>	<p data-bbox="441 786 930 815">ハイブリッドシステム停止中の警告 (走行中)</p> <p data-bbox="441 815 994 943">走行中にハイブリッドシステムが突然停止したとき、または、パワースイッチがONモードで、エンジン停止中に、シフトポジションがP・N以外で車両が動いたとき。</p> <ul data-bbox="441 943 698 971" style="list-style-type: none"> ・ 警告ブザーが鳴ります <p data-bbox="441 1003 804 1032">→ 路肩など安全な場所に停車する</p>
<p data-bbox="157 1078 415 1142">Nレンジです アクセルを緩めて 希望レンジに切りかえてください</p>  <p data-bbox="174 1248 228 1270">(点滅)</p>	<p data-bbox="441 1078 994 1142">シフトポジションがNのときにアクセルペダルを踏んだ</p> <p data-bbox="441 1142 712 1171">警告ブザーが鳴ります。</p> <p data-bbox="441 1187 994 1251">→ アクセルペダルから足を離し、シフトポジションをDまたはRにする</p>







警告メッセージ	警告内容・対処方法
<p>ハイブリッドシステム停止 ハンドルが重くなります</p>  	<p>走行中にハイブリッドシステムが停止した 警告ブザーが鳴ります。</p> <p>→ 通常より力を入れてハンドルを操作する</p>
<p>ハイブリッド充電量低下のため システム停止 Pレンジにして再始動</p>  <p>(点滅)</p>	<p>長時間シフトポジションがNになっているため駆動 用電池の残量が低下 警告ブザーが鳴ります。</p> <p>→ 車両を動かす場合は、ハイブリッドシステムを再 始動する</p>
<p>ハイブリッド充電量低下 Nレンジ以外にすると 充電されず</p>  <p>(点滅)</p>	<p>駆動用電池の残量が低下 警告ブザーが鳴ります。</p> <p>→ シフトポジションが N の状態では充電できない ため、長時間停車するときはシフトポジションを P にする</p>
 	<p>ドアが確実に閉まっていない 開いているドアが表示されます。</p> <p>全ドアが確実に閉まっていない状態のまま、車速 が5km/hをこえると  が点滅し、警告ブザー が鳴ります。</p> <p>→ 開いているドアを閉める</p>
<p>窓が開いています</p>  <p>(点滅)</p>	<p>窓が確実に閉まっていない状態でパワースイッチ を OFF にして運転席ドアを開けた 警告ブザーが鳴ります。</p> <p>→ 窓を閉める</p>



警告メッセージ	警告内容・対処方法
<p data-bbox="157 161 415 233">アクセルを 戻してください</p>   <p data-bbox="172 309 228 328">(点滅)</p>	<p data-bbox="437 161 994 252">アクセルペダルを踏みながらシフトレバーを動か し、ドライブスタートコントロール (→ P. 140) が作動した</p> <ul data-bbox="437 260 712 284" style="list-style-type: none"> ・ 警告ブザーが鳴ります。 <p data-bbox="437 300 835 323">→ 一度アクセルペダルから足を離す</p>
<p data-bbox="157 368 415 440">パーキングブレーキを 解除してください</p>   <p data-bbox="273 520 329 539">(赤色)</p>	<p data-bbox="437 400 994 456">パーキングブレーキが解除されず、車速が 5km/h をこえたとき警告ブザーが鳴ります</p> <p data-bbox="437 472 804 496">→ パーキングブレーキを解除する</p>
<p data-bbox="157 571 415 679">アクセルとブレーキが 両方踏まれています</p>   <p data-bbox="172 759 228 778">(点滅)</p>	<p data-bbox="437 592 994 683">アクセルペダルとブレーキペダルが同時に踏まれ、 ブレーキオーバーライドシステム (→ P. 139) が 作動した</p> <p data-bbox="437 699 994 754">→ アクセルペダル、またはブレーキペダルから足を 離す</p>
<p data-bbox="157 815 415 887">停車時は ブレーキを踏んでください</p>  <p data-bbox="172 967 228 986">(点滅)</p>	<p data-bbox="437 807 994 863">上り坂などでの停車時にアクセルペダルを踏んで 車両を保持している</p> <ul data-bbox="437 871 994 962" style="list-style-type: none"> ・ 警告ブザーが鳴ります。 ・ そのままの状態を続けるとハイブリッドシステム が過熱するおそれがあります。 <p data-bbox="437 978 994 1034">→ アクセルペダルから足を離し、ブレーキペダルを 踏む</p>
<p data-bbox="157 1059 415 1131">給油してください</p> 	<p data-bbox="437 1075 796 1099">燃料の残量が 7.2L 以下になった</p> <ul data-bbox="437 1107 712 1131" style="list-style-type: none"> ・ 警告ブザーが鳴ります。 <p data-bbox="437 1155 633 1179">→ 燃料を補給する</p>
<p data-bbox="157 1246 415 1318">電装品作動制限中</p>	<p data-bbox="437 1222 994 1278">電力消費が大きいため、エアコンなどの作動を一時 制限した</p> <p data-bbox="437 1294 994 1385">→ 不要な電装品をオフにし、電力消費を控えてくだ さい。電源状態が復帰するまでしばらくお待ちく ださい。</p>

警告メッセージ	警告内容・対処方法
<p data-bbox="157 161 415 229">EV モードに現在切りかえできません</p> <p data-bbox="157 245 415 330">暖機中のためEV モードに現在切りかえできません</p> <p data-bbox="157 346 415 464">ハイブリッド充電不足のためEV モードに現在切りかえできません</p> <p data-bbox="157 480 415 598">EV 速度域超過のためEV モードに現在切りかえできません</p> <p data-bbox="157 614 415 732">アクセル踏みすぎのためEV モードに現在切りかえできません</p>	<p data-bbox="437 331 930 359">EV ドライブモードに切りかえできない状況※</p> <p data-bbox="460 363 992 454">EV ドライブモードを使用できない理由（暖機中／電池充電不足／EV 速度域超過／アクセル踏み過ぎ）の表示がでる場合があります。</p> <ul data-bbox="460 459 721 486" style="list-style-type: none"> ・ 警告ブザーが鳴ります <p data-bbox="437 497 992 557">→ EV ドライブモードが使用できる状況になってから使用する</p>
<p data-bbox="157 762 415 831">EV モードが解除されました</p> <p data-bbox="157 847 415 965">ハイブリッド充電不足のためEV モードが解除されました</p> <p data-bbox="157 981 415 1099">EV 速度域超過のためEV モードが解除されました</p> <p data-bbox="157 1115 415 1233">アクセル踏みすぎのためEV モードが解除されました</p> <div data-bbox="157 1249 247 1329">  <p data-bbox="172 1305 228 1329">(点滅)</p> </div>	<p data-bbox="437 944 857 971">EV ドライブモードが自動解除された※</p> <p data-bbox="460 976 992 1067">EV ドライブモードを使用できない理由（電池充電不足／EV 速度域超過／アクセル踏み過ぎ）の表示がでる場合があります。</p> <ul data-bbox="460 1072 721 1099" style="list-style-type: none"> ・ 警告ブザーが鳴ります <p data-bbox="437 1110 659 1137">→ しばらく走行する</p>

※ EV ドライブモードの作動条件については、P. 154 を参照してください。

警告メッセージ	警告内容・対処方法
<p data-bbox="157 165 415 225">ハイブリッドシステム高温 出力制限中です</p> 	<p data-bbox="437 150 751 177">ハイブリッドシステムの過熱</p> <p data-bbox="460 181 994 272">負荷の高い走行状況（例えば、長い上り坂を走行）のときにメッセージが表示される場合があります。</p> <ul data-bbox="460 277 723 304" style="list-style-type: none"> ・ 警告ブザーが鳴ります <p data-bbox="437 320 885 347">→ 車両を停車して点検する（→ P. 329）</p>
<p data-bbox="157 384 415 480">補機バッテリー（始動用） 充電不足 取扱書を 確認してください</p> 	<p data-bbox="437 368 729 395">補機バッテリーが充電不足</p> <p data-bbox="437 411 801 438">→ 数秒後※に表示が消えたときは</p> <p data-bbox="460 443 994 534">約 15 分以上、ハイブリッドシステムが作動した状態を保持し、補機バッテリーを充電してください。</p> <p data-bbox="437 550 712 577">→ 表示が消えないときは</p> <p data-bbox="460 582 994 673">「補機バッテリーがあがったときは」(→ P. 322) の手順でハイブリッドシステムを始動してください。</p> <p data-bbox="437 689 712 716">※約 6 秒間表示されます。</p>
<p data-bbox="157 748 415 844">補機バッテリー充電不足 駐車時 パーキングブレーキをし 取扱書を確認</p> 	<p data-bbox="437 732 706 759">補機バッテリー充電不足</p> <p data-bbox="460 764 994 823">パーキングロック機構が働かない可能性があります。</p> <p data-bbox="460 828 994 887">ハイブリッドシステムを始動できない可能性があります。</p> <p data-bbox="460 892 994 983">パワースイッチを OFF にできなくなることがあります。その場合はパーキングブレーキをかけると OFF にすることができます。</p> <p data-bbox="460 987 994 1078">補機バッテリー充電後も、シフトポジションを P から P 以外に切りかえるまでメッセージが表示され続ける場合があります。</p> <ul data-bbox="460 1083 701 1110" style="list-style-type: none"> ・ 警告ブザーが鳴ります <p data-bbox="437 1126 994 1185">→ 駐車時は平坦な場所を選び、パーキングブレーキを確実にかけてください</p> <p data-bbox="437 1201 994 1228">→ 補機バッテリーを充電、または交換してください</p>
<p data-bbox="157 1272 415 1331">補機バッテリー充電不足 シフト切りかえできません 取扱書を確認</p>  <p data-bbox="169 1426 230 1453">(点滅)</p>	<p data-bbox="437 1287 994 1347">補機バッテリーの電圧が低下した状態で、シフトポジションを切りかえようとした</p> <p data-bbox="460 1351 712 1378">警告ブザーが鳴ります。</p> <p data-bbox="437 1394 902 1422">→ 補機バッテリーを充電、または交換する</p>

警告メッセージ	警告内容・対処方法
<p>シフト切りかえ一時不可 しばらくしてから 再度操作してください</p>  <p>(点滅)</p>	<p>シフトレバーとPポジションスイッチの操作を短時間くり返した 警告ブザーが鳴ります。</p> <p>→しばらく時間を置いてから、シフトポジションを切りかえる</p>
<p>B レンジにできません 切りかえる場合は D にしてからシフト操作</p>  <p>(点滅)</p>	<p>シフトポジションが P、または N のときに B に切りかえようとした 警告ブザーが鳴ります。</p> <p>→シフトポジションをDにしてからBに切りかえる</p>
<p>N レンジに切りかえました B にする場合は D にしてからシフト操作</p>  <p>(点滅)</p>	<p>シフトポジションが R のときに B へ切りかえようとした シフトポジションが N に切りかわります。 ・警告ブザーが鳴ります</p> <p>→シフトポジションをDにしてからBにする</p>
<p>駆動レンジにできません ハイブリッドシステムを 始動後に操作</p>  <p>(点滅)</p>	<p>パワースイッチが ON モードのとき (READY インジケーター消灯中) に、シフトポジションを R、D または B に切りかえようとした 警告ブザーが鳴ります。</p> <p>→ハイブリッドシステムを始動後、シフトポジションを R、D または B に切りかえる</p>
<p>シフト切りかえ不可 切りかえる場合は ブレーキを踏みシフト操作</p>  <p>(点滅)</p>	<p>ブレーキペダルを踏まずに、シフトポジションを P から切りかえようとした 警告ブザーが鳴ります。</p> <p>→シフトポジションをPから切りかえるときは、ブレーキペダルを踏んで切りかえる</p>
<p>N レンジに切りかえました D にする場合は 停車しシフト操作</p>  <p>(点滅)</p>	<p>車両が後退しているときに、シフトポジションを D へ切りかえようとした シフトポジションが N に切りかわります。 ・警告ブザーが鳴ります</p> <p>→車両を停車させてから、シフトポジションを切りかえる</p>

警告メッセージ	警告内容・対処方法
<p>Nレンジに切りかえました Rにする場合は 停車しシフト操作</p>  <p>(点滅)</p>	<p>車両が前進しているときに、シフトポジションを R へ切りかえようとした シフトポジションが N に切りかわります。 ・ 警告ブザーが鳴ります</p> <p>→ 車両を停車させてから、シフトポジションを切りかえる</p>
<p>Nレンジに切りかえました Pにする場合は 停車し P スイッチ操作</p>  <p>(点滅)</p>	<p>車両が動いているときに、P ポジションスイッチを操作し、シフトポジションを P へ切りかえようとした シフトポジションが N に切りかわります。 ・ 警告ブザーが鳴ります</p> <p>→ 車両を完全に停車させてから、P ポジションスイッチを操作する</p>

知識

■ 警告メッセージについて

文中の警告メッセージの表示は、使用状況や車両の仕様により実際の表示と異なる場合があります。

■ 警告ブザーについて

→ P. 279




注意




■ 「電装品作動制限中」がひんばんに表示されるときは

充電系の異常や補機バッテリーが劣化している可能性があります。トヨタ販売店で点検を受けてください。


ただちに処置してください。

それぞれの対処方法に従って処置し、警告メッセージが消灯するのを確認してください。

車内 警告 ブザー	車外 警告 ブザー	警告メッセージ	警告内容・対処方法
1回	なし	<p>キーが見つかりません キーの所在を 確認してください</p>  <p>(点滅)</p>	<p>電子キーを携帯していないか、電子キーが正常に作動しない状態でハイブリッドシステムを始動しようとした</p> <p>→ 電子キーを携帯してハイブリッドシステムを始動する</p>
1回	3回	<p>キーが見つかりません キーの所在を 確認してください</p>  <p>(点滅)</p>	<p>パワースイッチが OFF 以外の状態で運転席以外のドアが開閉され同乗者が電子キーを持ち出した</p> <p>→ 電子キーを車内にもどす</p> <p>シフトポジションがPの状態のパワースイッチを OFF にせずにキーを持ち出したまま運転席ドアが開閉された</p> <p>→ パワースイッチを OFF にする、または電子キーを車内にもどす</p>
1回	連続音	<p>キーが見つかりません キーの所在を 確認してください</p> <p>電源を OFFしてください (交互に表示)</p>  <p>(点滅)</p>	<p>シフトポジションがPの状態のパワースイッチを OFF にせずに、電子キーを外に持ち出してドアを施錠しようとした</p> <p>→ パワースイッチを OFF にしたあと、再度施錠する</p>

車内 警告 ブザー	車外 警告 ブザー	警告メッセージ	警告内容・対処方法
9回	なし	<p>キーが見つかりません キーの所在を 確認してください</p>  <p>(点滅)</p>	<p>正規の電子キーが車室内に無い状態で走行をはじめた</p> <p>→ 車室内に電子キーがあるか確認する</p>
1回	なし	<p>スマートエントリー& スタートシステム故障 取扱書を確認</p>  <p>(点滅)</p>	<p>スマートエントリー&スタートシステムの異常</p> <p>→ ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください</p>
連続音	なし	<p>駐車時はPレンジに 入れてください</p>  <p>(点滅)</p>	<p>シフトポジションがP以外の状態で、パワースイッチをOFFにせずに運転席ドアが開いた</p> <p>→ シフトポジションをPにする</p>
連続音	連続音	<p>駐車時はPレンジに 入れてください</p> <p>キーが見つかりません キーの所在を 確認してください</p> <p>(交互に表示)</p>  <p>(点滅)</p>	<p>シフトポジションがP以外の状態でパワースイッチをOFFにせずにキーを持ち出したまま運転席ドアが開閉された</p> <p>→ シフトポジションをPにする</p> <p>→ 電子キーを車内に入れる</p>
なし	連続音	<p>車室内に キーがあります</p>  <p>(点滅)</p>	<p>車内に電子キーを置いたまま、スマートエントリー&スタートシステムでドアを施錠しようとした</p> <p>→ 車内から電子キーを取り出したあと、再度施錠する</p>

車内 警告 ブザー	車外 警告 ブザー	警告メッセージ	警告内容・対処方法
1回	連続音	<p>車室内に キーがあります</p>  <p>(点滅)</p>	<p>車内に電子キーを置いたまま、フロントドアを開き、ロックレバーを施錠側にしてドアハンドルを引いたままドアを閉めて施錠しようとした</p> <p>→ 車内から電子キーを取り出したあと、再度施錠する</p>
1回	なし	<p>ブレーキを踏みながら キーで パワースイッチに 触れてください</p>  <p>(点滅)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・メカニカルキーで解錠してパワースイッチを押した際、車室内でキーを検出できなかった ・パワースイッチを押したとき車室内でキーを検出できないことが2回連続で続いた <p>→ ブレーキを踏みながら電子キーでパワースイッチにふれる</p>
なし	なし	<p>バッテリー保護のため 自動で電源を OFFしました</p>	<p>自動電源 OFF 機能が作動した</p> <p>→ 次回ハイブリッドシステム始動時に約 5 分間ハイブリッドシステムが作動した状態を保持し補機バッテリーを充電する</p>
1回	なし	<p>キーの電池残量が 少なくなっています 電池を 交換してください</p> 	<p>電子キーの電池残量が少ない</p> <p>→ 新しい電池と交換する (→ P. 249)</p>
1回	なし	<p>始動時は Pレンジに 入れてください</p>  <p>(点滅)</p>	<p>シフトポジションが N の状態でハイブリッドシステムを始動しようとしている</p> <p>→ シフトポジションを P にしてからハイブリッドシステムを始動させる</p>

車内 警告 ブザー	車外 警告 ブザー	警告メッセージ	警告内容・対処方法
1回	なし	<p>始動時は ブレーキを踏みながら パワースイッチを 押してください</p>  <p>(点滅)</p>	<p>電子キーが正常に働かないときのハイブリッドシステムの始動の方法 (→ P. 320) でパワースイッチに電子キーをふれた</p> <p>→ ブザーが鳴ってからブレーキペダルを踏んでパワースイッチを押す</p>
なし	なし	<p>始動時は ブレーキを踏みながら パワースイッチを 押してください</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ パワースイッチが OFF の状態でドアロックを解錠し、運転席のドアを開閉した ・ ハイブリッドシステムを始動せずにパワースイッチをアクセサリモードにした <p>→ ブレーキペダルを踏んでパワースイッチを押す</p>
断続音	なし	<p>パワースイッチを 押し続けると ハイブリッドシステム 非常停止</p>  <p>(点滅)</p>	<p>走行中にパワースイッチを押した</p> <p>→ ハイブリッドシステムを緊急停止させるとき以外は、すみやかにパワースイッチから手を離す</p>
連続音	なし	<p>再始動時は Nレンジにして パワースイッチを 押してください</p>  <p>(点滅)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 走行中にハイブリッドシステムを緊急停止させ、パワースイッチをアクセサリモードにしたとき ・ 上記の状態から、パワースイッチを押して ON モードにしたが、ハイブリッドシステムが再始動していない状態で、車両が動いているとき <p>→ ハイブリッドシステムを再始動させる場合は、シフトポジションをNにし、パワースイッチを押す</p>

知識

■ 警告メッセージについて

→ P. 290

■ 警告ブザーについて

→ P. 279

パンクしたときは（応急用タイヤ装着車）

この車両には、応急用タイヤが搭載されています。
パンクしたタイヤを、備え付けの応急用タイヤと交換してください。
（タイヤについての詳しい説明は P. 242 を参照してください）

警告

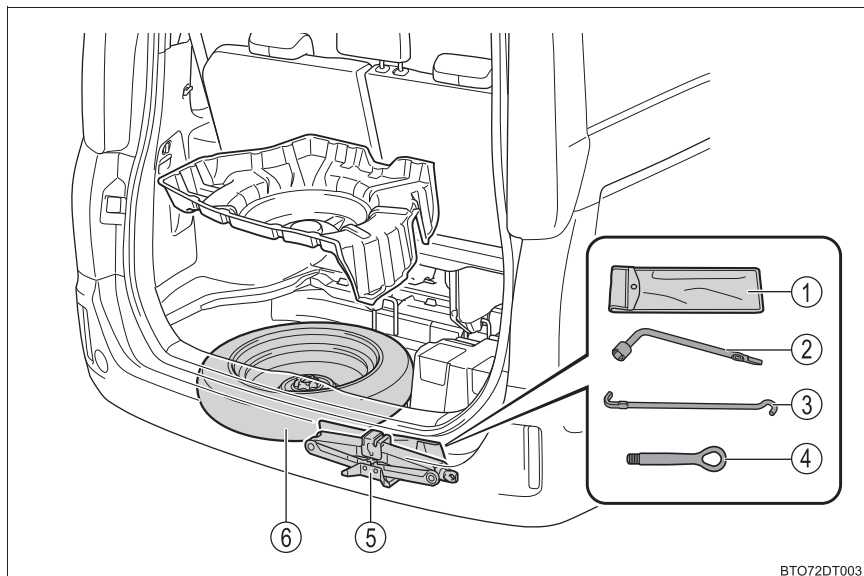
■ タイヤがパンクしたときは

パンクしたまま走行しないでください。
短い距離でも、タイヤとホイールが修理できないほど損傷したり、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

ジャッキで車体を持ち上げる前に

- 地面が固く平らな場所に移動する
- パーキングブレーキをかける
- P ポジションスイッチを押して、シフトポジションを P にする
- ハイブリッドシステムを停止する
- 非常点滅灯を点滅させる

工具とジャッキの位置



① 工具袋

② ホイールナットレンチ

③ ジャッキハンドル

④ けん引フック

⑤ ジャッキ

⑥ 応急用タイヤ

 **警告****■ ジャッキの使用について**

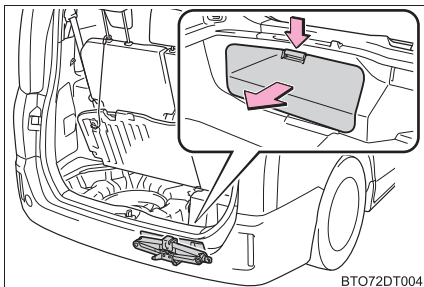
次のことをお守りください。

ジャッキの取り扱いを誤ると、車が落下して重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

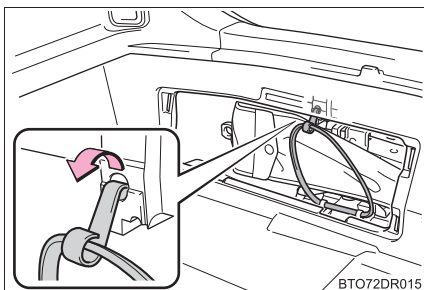
- ジャッキはタイヤ交換・タイヤチェーン取り付け・取りはずし以外の目的で使用しない
- 備え付けのジャッキは、お客様の車にしか使うことができないため、他の車に使ったり他の車のジャッキをお客様の車に使用したりしない
- ジャッキはジャッキセット位置に正しくかける
- ジャッキで支えられている車の下に体を入れない
- 車がジャッキで支えられている状態で、ハイブリッドシステムを始動したり車を走らせない
- 車内に人を乗せたまま車を持ち上げない
- 車を持ち上げるときは、ジャッキの上または下にものを置かない
- 車を持ち上げるときは、タイヤ交換できる高さ以上に上げない
- 車の下にもぐり込んで作業する場合は、ジャッキスタンドを使用する
- 車を下げるときは、周囲に人がいないことを確認し、人がいるときは声をかけてから下げる

ジャッキの取り出し方

1 カバーをはずす



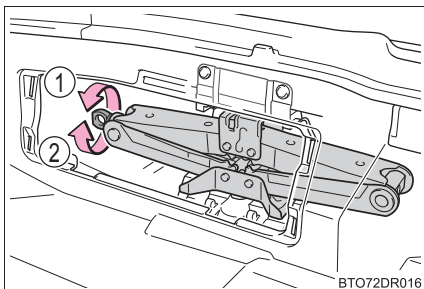
2 固定バンドをはずし、工具袋を取り出す



3 ジャッキをゆるめて取りはずす

① 締まる

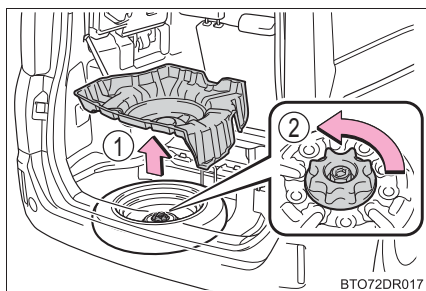
② ゆるむ



応急用タイヤの取り出し方

- 1 助手席側のサードシートを格納する (→ P. 123)
- 2 デッキボードを取りはずす
- 3 応急用タイヤを取りはずす
 - ① タイヤカバーを取りはずす
 - ② 留め具を取りはずす

スペアタイヤの留め具が固くてまわらないときは、車載のレンチを使用してください。(タイヤを固定するときは、留め具を手で取り付けてください。レンチなどの工具は使用しないでください)



BTO72DR017

警告

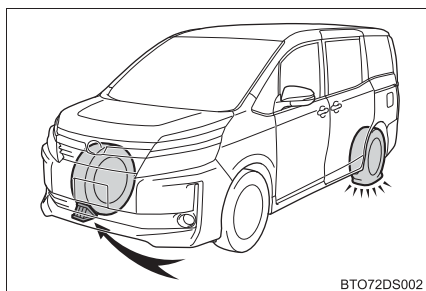
■ 応急用タイヤを収納するとき

ボデーと応急用タイヤとのあいだに、指などを挟まないように注意してください。

パンクしたタイヤの交換

- 1 輪止め※をする

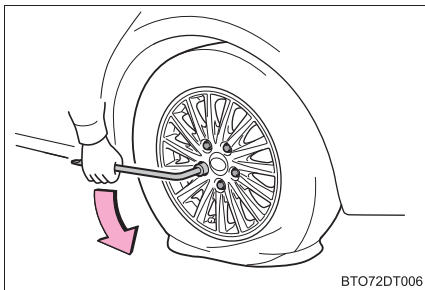
※ 輪止めは、トヨタ販売店で購入することができます。



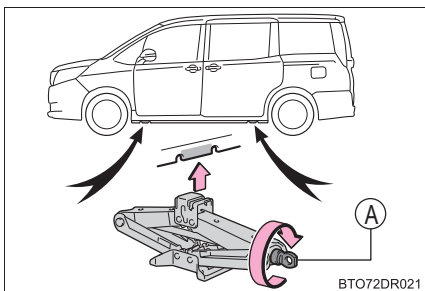
BTO72DS002

パンクしたタイヤ		輪止めの位置
前輪	左側	右側後輪うしろ
	右側	左側後輪うしろ
後輪	左側	右側前輪前
	右側	左側前輪前

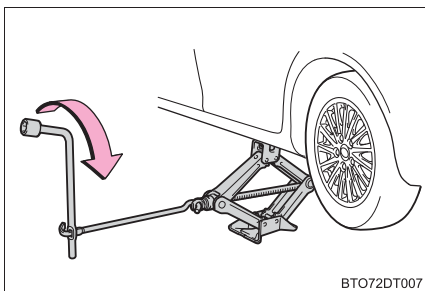
- 2 ナットを少し（約 1 回転）ゆるめる



- 3 ジャッキの A 部を手でまわして、ジャッキ溝をジャッキセット位置にしっかりかける

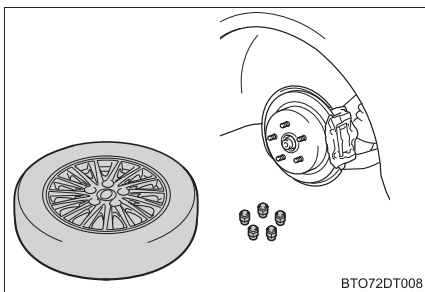


- 4 タイヤが地面から少し離れるまで、車体を上げる



- 5 ナットすべてを取りはずし、タイヤを取りはずす

タイヤを直接地面に置くときは、ホイールの表面に傷が付かないよう表面を上に出します。



警告

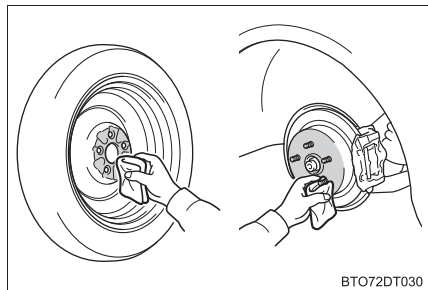
■ タイヤ交換について

- 次のことを必ずお守りください。
お守りいただかないと、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
 - ・ 走行直後、ディスクホイールやブレーキまわりなどにはふれないでください。
走行直後のディスクホイールやブレーキまわりは高温になっているためタイヤ交換などで手や足などがふれると、やけどをするおそれがあります。
 - ・ タイヤ交換などをする際は、パワースライドドアメインスイッチ（→ P. 95）をOFF にしてください。OFF にしないと、誤ってパワースライドドアスイッチを操作したときにスライドドアが動き、指や手などを挟んでけがをするおそれがあります。
- 次のことをお守りいただかないとナットがゆるみ、ホイールがはずれ落ち、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
 - ・ ホイールの交換後は、すぐに $103\text{N}\cdot\text{m}$ ($1050\text{kgf}\cdot\text{cm}$) の力でナットを締める
 - ・ タイヤの取り付けには、使用しているホイール専用のナットを使用する
 - ・ ボルトやナットのねじ部や、ホイールのボルト穴につぶれや亀裂などの異常がある場合は、トヨタ販売店で点検を受ける
 - ・ ナットを取り付けるときは、必ずテーパー部を内側にして取り付ける（→ P. 245）

タイヤの取り付け

- 1 ホイール接触面の汚れをふき取る。

ホイール接触面が汚れていると、走行中にナットがゆるみ、タイヤがはずれるおそれがあります。

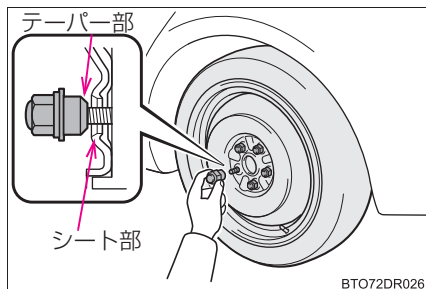


BTO72DT030

- 2 応急用タイヤを取り付け、タイヤがたつかない程度まで手でナットを仮締めする

アルミホイールから応急用タイヤにかえるとき：

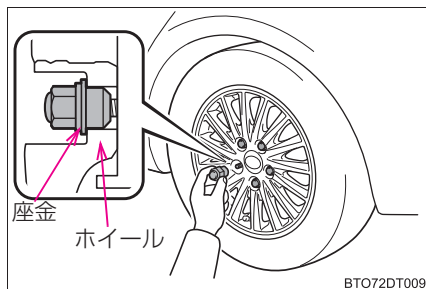
ナットのテーパ部がホイールのシート部に軽くあたるまでまわす



BTO72DR026

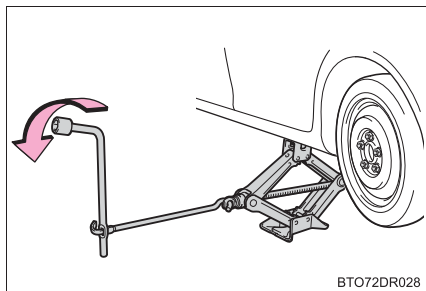
アルミホイールからアルミホイールにかえるとき：

ナットの座金がホイールにあたるまでまわす



BTO72DT009

- 3 車体を下げる

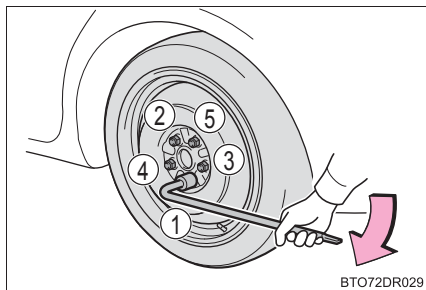


BTO72DR028

- 4 図の番号順でナットを 2、3 度しっかり締め付ける

締め付けトルク：

103N・m (1050kgf・cm)



BTO72DR029

5 すべての工具・ジャッキ・パンクしたタイヤを収納する

パンクしたタイヤは、応急用タイヤ格納位置に格納できません。ラゲージルームに収納してください。

知識

■ 応急用タイヤについて

- タイヤの側面に TEMPORARY USE ONLY と書かれています。応急用にのみ使用してください。
- 空気圧を必ず点検してください。(→ P. 340)

■ 雪道・凍結路で前輪がパンクしたとき

- 1 後輪を応急用タイヤに交換する
- 2 パンクした前輪をはずした後輪に交換する
- 3 タイヤチェーンを前輪に装着する

■ 応急用タイヤ装着中は段差に注意

応急用タイヤ装着中は、標準タイヤ装着時にくらべ車高が低くなっています。段差を乗り越えるときはご注意ください。

警告

■ 応急用タイヤを使用するとき

- 必ず指定サイズを使用してください (→ P. 340)
- お客様の車専用になっているため、他の車には使用しないでください。
- 同時に2つ以上の応急用タイヤを使用しないでください。
- できるだけ早く通常のタイヤと交換してください。
- 急加速、急ハンドル、急ブレーキやシフト操作による急激なエンジンブレーキの使用は避けてください。

■ 応急用タイヤを装着しているとき

正確な車両速度が検出できない場合があり、次のシステムが正常に作動しなくなるおそれがあります。

- ・ ABS
- ・ ブレーキアシスト
- ・ VSC
- ・ EPS
- ・ TRC
- ・ S-VSC
- ・ クルーズコントロール★

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

 **警告****■ 応急用タイヤ使用時の速度制限**

応急用タイヤを装着しているときは、100km/h 以上の速度で走行しないでください。

応急用タイヤは、高速走行に適していないため、思わぬ事故につながるおそれがあります。

 **注意****■ タイヤチェーンの装着について**

応急用タイヤには、タイヤチェーンを装着しないでください。

タイヤチェーンが車体にあたり、車を損傷したり走行に悪影響をおよぼしたりするおそれがあります。

パンクしたときは（タイヤパンク応急修理キット装着車）

タイヤパンク応急修理キット装着車には、スペアタイヤが搭載されていません。

タイヤがパンクしたときは、タイヤパンク応急修理キットで応急修理することができます。釘やネジなどが刺さった程度の軽度なパンクを応急修理できます。（パンク補修液 1 本につき、応急修理できるタイヤは 1 本です）

タイヤパンク応急修理キットで応急修理したタイヤの修理・交換については、トヨタ販売店にご相談ください。

警告

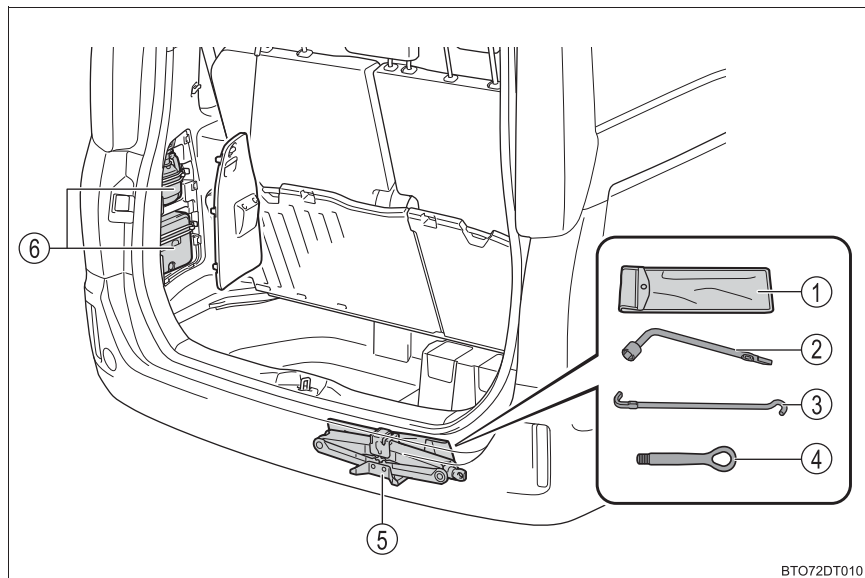
■ タイヤがパンクしたときは

タイヤがパンクした状態で走行を続けしないでください。
短い距離でも、タイヤとホイールが修理できないほど損傷したり、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

応急修理する前に

- 地面が固く平らな場所に移動する
- パーキングブレーキをかける
- P ポジションスイッチを押して、シフトポジションを P にする
- ハイブリッドシステムを停止する
- 非常点滅灯を点滅させる

タイヤパンク応急修理キット・工具の搭載位置



① 工具袋

② ホイールナットレンチ

③ ジャッキハンドル

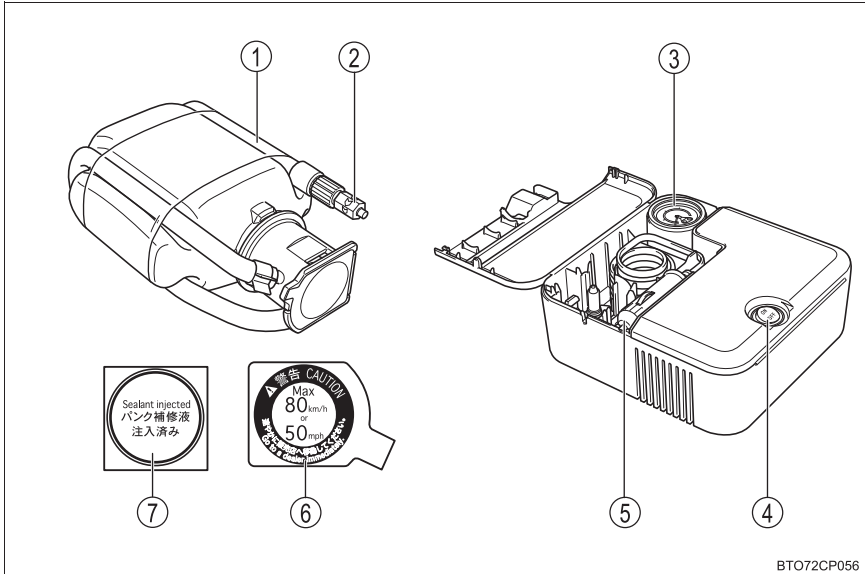
※ジャッキの使い方 (→ P. 300)

④ けん引フック

⑤ ジャッキ

⑥ タイヤパンク応急修理キット

タイヤパンク応急修理キットの内容／各部の名称

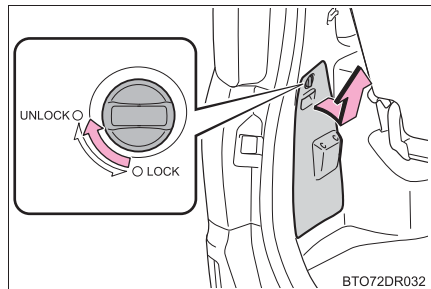


BTO72CP056

- | | |
|-------------|----------------|
| ① ホース | ⑤ 電源プラグ |
| ② 空気逃がしキャップ | ⑥ 速度制限ラベル |
| ③ 空気圧計 | ⑦ パンク補修液注入済ラベル |
| ④ スイッチ | |

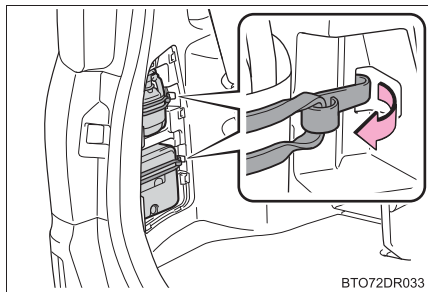
応急修理キットの取り出し方

- 1 ノブを“UNLOCK”の位置にしてカバーを取りはずす



BTO72DR032

- 2 固定バンドをはずし、応急修理キットを取り出す



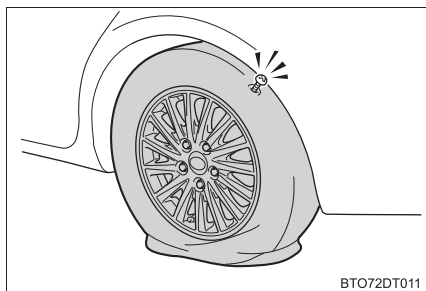
BTO72DR033

応急修理する前に

タイヤの損傷程度を確認してください。

釘やネジなどが刺さっている場合のみ、タイヤを応急修理してください。

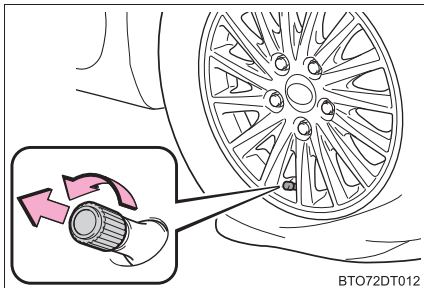
- ・ タイヤに刺さっている釘やネジなどは抜かないでください。抜いてしまうと穴が大きくなりすぎ、応急修理ができなくなることがあります。
- ・ パンク補修液がもれないようにするため、パンク箇所が分かっている場合は、パンク箇所が上になるように車両を移動してください。



BTO72DT011

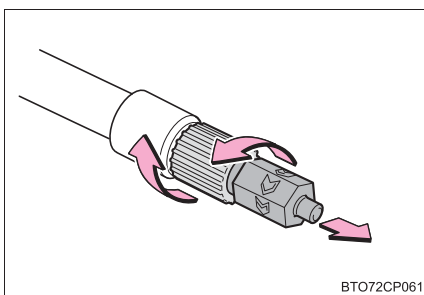
応急修理するとき

- 1 応急修理キットを取り出す
- 2 パンクしたタイヤのバルブから、バルブキャップを取りはずす



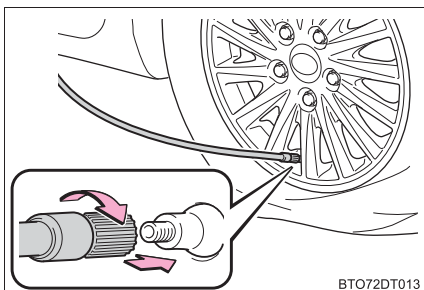
- 3 ボトルの保護フィルムをはがし
ホースをのばす
ボトルのホースから空気逃がし
キャップを取りはずす

ボトルに同封されているパンク補修液
注入済みラベルは指定の位置へ貼り付
けます。(9へ) 空気逃がしキャップは
再度使用するため、なくさないように
保管してください。

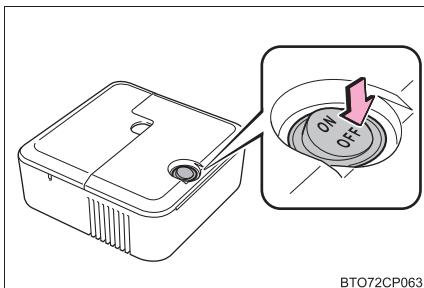


- 4 ボトルのホースをパンクしたタ
イヤのバルブに接続する

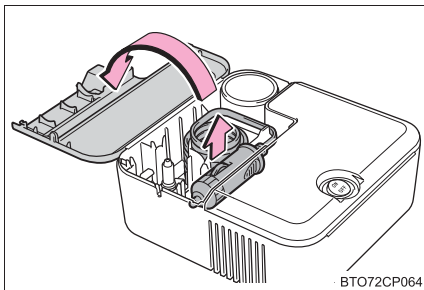
ホース先端を時計まわりにまわして、
しっかりと最後までねじ込みます。



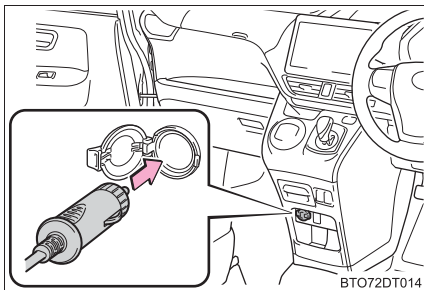
- 5 コンプレッサーのスイッチが
“OFF”であることを確認する



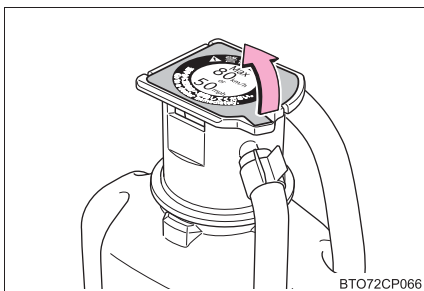
- 6 コンプレッサーの電源プラグをはずす



- 7 コンプレッサーの電源プラグをアクセサリソケットに挿し込む (→ P. 214)

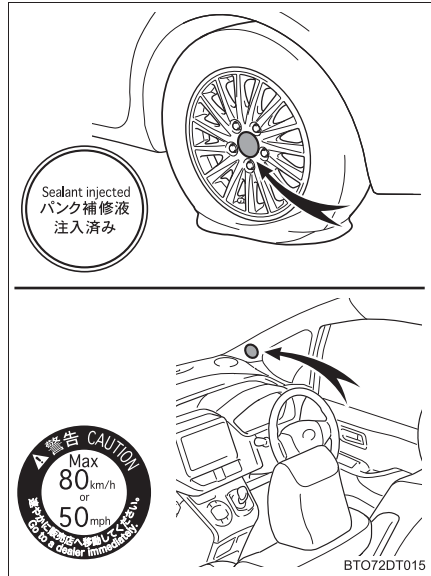


- 8 速度制限ラベルをはがす



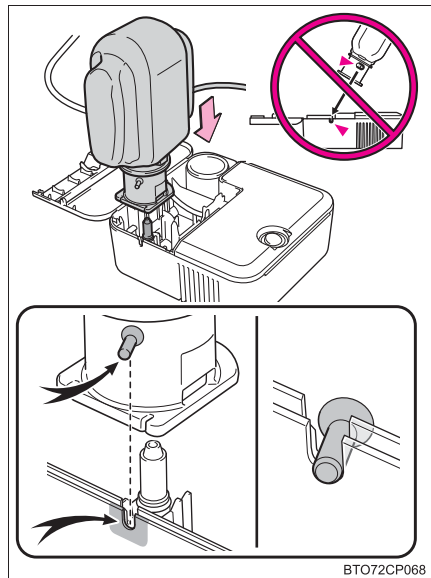
9 付属のラベル 2 枚を図のようにそれぞれ貼り付ける

ホイールの汚れや水分を十分にふき取ってからラベルを貼り付けてください。ラベルを貼り付けることができない場合は、トヨタ販売店にてタイヤを修理・交換するときにパンク補修液注入済みであることを必ずお伝えください。

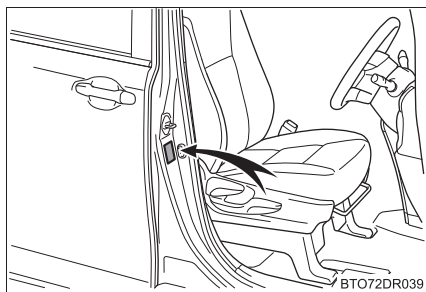


10 ボトルをコンプレッサーに接続する

右の図のように、ボトルをまっすぐコンプレッサーに挿入・接続し、ボトルの突起がケースの溝にしっかり合っているか確認してください。

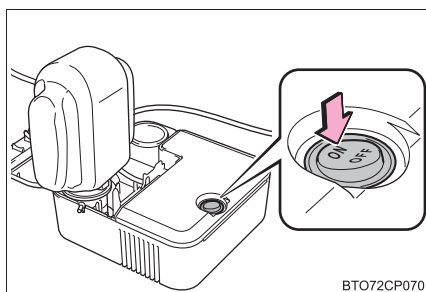


- 11 タイヤの指定空気圧を確認する
運転席側の空気圧ラベルを確認することができます。(→ P. 243)



- 12 ハイブリッドシステムを始動する

- 13 コンプレッサーのスイッチを ON にし、パンク補修液と空気を充填する



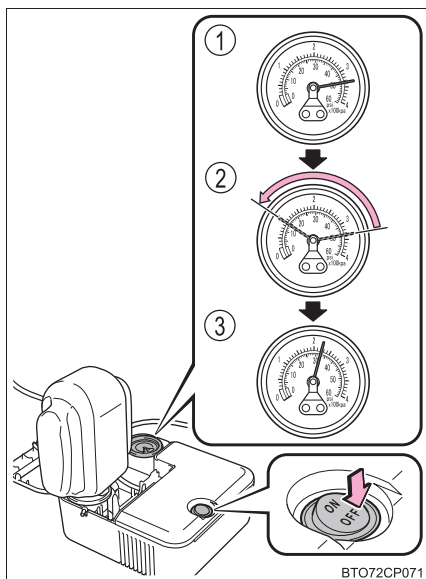
- 14 空気圧が指定空気圧になるまで充填する

- ① スイッチ “ON” 直後は、パンク補修液を注入するため、一時的に空気圧計が上昇する
- ② 1 分程度（低温の場合は 5 分程度）で実際の空気圧表示になる
- ③ 指定空気圧になるまで充填する

空気圧は、コンプレッサーのスイッチを “OFF” にして確認してください。空気の入れすぎに注意して、指定空気圧になるまで充填・確認をくり返してください。

35 分以上充填しても指定空気圧にならない場合は、応急修理できません。トヨタ販売店にご連絡ください。

空気を入れすぎたときは、指定空気圧になるまで空気を抜いてください。(→ P. 315)



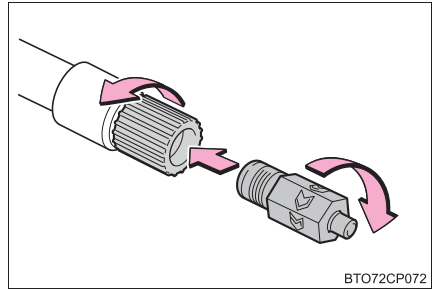
- 15 コンプレッサーのスイッチが“OFF”であることを確認した上で、アクセサリースOCKETから電源プラグを抜き、バルブからボトルのホースを取りはずす

ホースを取りはずすときにパンク補修液がもれる可能性があります。

- 16 バルブキャップを応急修理したタイヤのバルブに取り付ける

- 17 ボトルのホース先端に空気逃がしキャップを取り付ける

空気逃がしキャップを取り付けないとパンク補修液がもれ、お車が汚れる可能性があります。

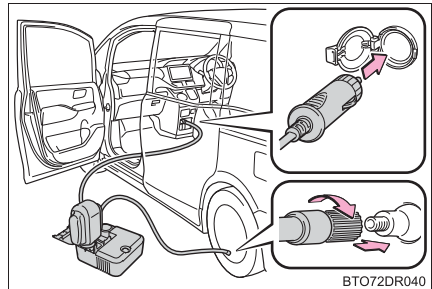


BTO72CP072

- 18 いったん、ボトルとコンプレッサーを接続したままラゲージルーム内に収納する

- 19 タイヤ内のパンク補修液を均等に広げるために、ただちに約 5km、安全に走行する（速度 80km/h 以下）

- 20 走行後、ボトルのホースから空気逃がしキャップを取りはずし、再度応急修理キットを接続する



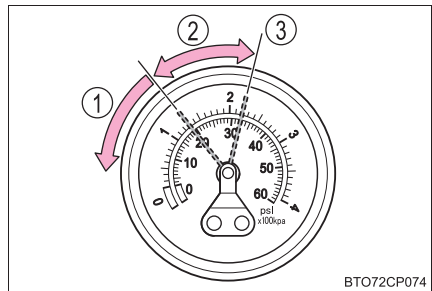
BTO72DR040

- 21 コンプレッサーのスイッチを約5秒間“ON”にし、“OFF”にして空気圧を確認する

- ① 空気圧が 130kPa 未満の場合：応急修理できません。トヨタ販売店にご連絡ください。

- ② 空気圧が 130kPa 以上、指定空気圧未満の場合：22へ

- ③ 空気圧が指定空気圧（→ P. 340）の場合：23へ

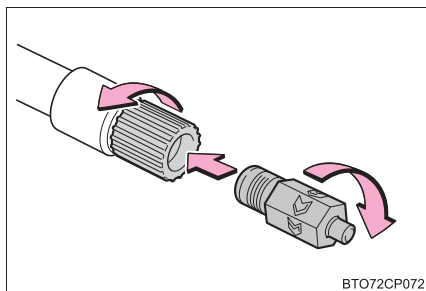


BTO72CP074

22 コンプレッサーのスイッチを“ON”にして指定空気圧まで空気を充填し、再度、約 5km 走行後にあらためて 20 から実施する

23 ボトルのホース先端に空気逃がしキャップを取り付ける

空気逃がしキャップを取り付けないとパンク補修液が漏れ、お車が汚れる可能性があります。



BT072CP072

24 ボトルとコンプレッサーを接続したままラゲージルーム内に収納する

25 急ブレーキ、急加速、急ハンドルを避け、慎重に 80km/h 以下で運転してトヨタ販売店へ行きます。

タイヤの修理・交換についてはトヨタ販売店にご相談ください。

知識

■ 応急修理キットで修理できないパンク

次の場合は、応急修理キットでは応急修理できません。トヨタ販売店にご連絡ください。

- タイヤ空気圧が不十分な状態で走行してタイヤが損傷しているとき
- タイヤ側面など、接地面以外に穴や損傷があるとき
- タイヤがホイールから明らかにはずれているとき
- タイヤに 4mm 以上の切り傷や刺し傷があるとき
- ホイールが破損しているとき
- 2 本以上のタイヤがパンクしているとき
- 1 本のタイヤに 2ヶ所以上の切り傷や刺し傷があるとき

■ 応急修理後のタイヤのバルブについて

応急修理キットを使用したときは、タイヤのバルブを新品に交換してください。

■ 応急修理キットの点検について

パンク補修液の有効期限の確認は定期的に行ってください。

有効期限はボトルに表示されています。

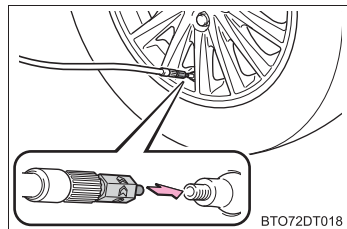
有効期限が切れたパンク修理液は使用しないでください。応急修理キットによる修理が正常にできない場合があります。

■ 応急修理キットについて

- 応急修理キットは自動車タイヤの空気充填用です。
- パンク補修液には有効期限があります。有効期限は容器に表示されています。有効期限が切れる前に交換してください。交換については、トヨタ販売店にご相談ください。
- パンク補修液ボトル1本でタイヤ1本を1回応急修理できます。使用したパンク補修液の交換は、トヨタ販売店にご相談ください。コンプレッサーは、くり返し使用できます。
- 外気温度が-30℃～60℃のときに使用できます。
- 応急修理キット搭載車両の装着タイヤ専用です。指定タイヤサイズ以外のタイヤや、他の用途には使用しないでください。
- パンク補修液が衣服に付着すると、シミになる場合があります。
- パンク補修液がホイールやボデーに付着した場合、放置すると取れなくなるおそれがあります。ぬれた布などですみやかにふき取ってください。
- コンプレッサー作動中は、大きな音がしますが故障ではありません。
- タイヤ空気圧の点検や調整には使用しないでください。

■ 空気を入れすぎてしまったとき

- 1 タイヤからホースを取りはずす
- 2 ホース先端に空気逃がしキャップをかぶせ、キャップの突起部をタイヤのバルブに押しあてて空気を抜く



- 3 ホースから空気逃がしキャップを取りはずし、ホースを再接続する
- 4 コンプレッサーのスイッチを“ON”にして数秒間経過後、スイッチを“OFF”にして空気圧計を確認する
指定空気圧より低いときは、再度、コンプレッサーのスイッチを“ON”にし、指定空気圧になるまで空気を充填してください。

 **警告****■ 応急修理キットについて**

- 応急修理キットは指定の位置に収納してください。
急ブレーキ時などに応急修理キットが飛び出したりして破損したり、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- 応急修理キットはお客様の車専用です。他の車には使わないでください。他の車に使うと思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- 指定タイヤサイズ以外のタイヤや他の用途には使用しないでください。パンク修理が完全に行われず、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

■ パンク補修液について

- 誤って飲み込むと健康に害があります。その場合はできるだけたくさん水を飲み、ただちに医師の診察を受けてください。
- もし目に入ったり、皮膚に付着したりした場合には、水でよく洗い流してください。それでも異常を感じたときは、医師の診察を受けてください。

■ パンクしたタイヤを応急修理するとき

- 車両を安全で平坦な場所に停止させてください。
- 走行直後、ホイールやブレーキまわりなどにはふれないでください
走行直後のホイールやブレーキまわりは高温になっている可能性があるため手や足などがふれると、やけどをするおそれがあります。
- タイヤを車両に取り付けた状態で、バルブとホースをしっかりと接続してください。
- 接続が不十分な場合、空気がもれたり、パンク補修液が飛散したりするおそれがあります。
- 充填中にホースがはずれると、圧力でホースが急に動くおそれがあり危険です。
- 充填後、ホースを取りはずすときや空気を抜くときにパンク補修液が飛散する場合があります。
- 作業手順に従って応急修理を行ってください。
手順どおりに行わないとパンク補修液が噴出する場合があります。
- 破裂の危険があるので、応急修理キットの作動中は補修中のタイヤから離れてください。タイヤに亀裂や変形が発生している場合、ただちに応急修理キットのスイッチを“OFF”にし、修理を中止してください。
- 応急修理キットは、長時間作動させると過熱する可能性があります。40分以上連続で作動させないでください。

 **警告**

- 応急修理キットの作動中は、部分的に熱くなります。使用中、または使用後の取り扱いには注意してください。
- 速度制限ラベルは指定位置以外に貼らないでください。ハンドルのパッド部分などの SRS エアバッグ展開部に貼ると、SRS エアバッグが正常に作動しなくなるおそれがあります。

■ 補修液を均等に広げるための運転について

- 低速で慎重に運転してください。特にカーブや旋回時には注意してください。
- 車がまっすぐ走行しなかったり、ハンドルをとられたりする場合は、停車し、次のことを確認してください。
 - ・ タイヤを確認してください。タイヤがホイールからはずれている可能性があります。
 - ・ 空気圧を確認してください。130kPa 未満の場合は、タイヤが大きなダメージを受けている可能性があります。

 **注意****■ 応急修理をするとき**

- タイヤに刺さった釘やネジを取り除かずに応急修理を行ってください。取り除いてしまうと、応急修理キットでは応急修理ができなくなる場合があります。
- 応急修理キットに防水機能はありません。降雨時などは、水がかからないようにして使用してください。
- 砂地などの砂ぼこりの多い場所に直接置いて使用しないでください。砂ぼこりなどを吸い込むと、故障の原因になります。

■ 応急修理キットについて

- 応急修理キットは DC12V 専用です。他の電源での使用はできません。
- 応急修理キットにガソリンがかかると、劣化するおそれがあります。ガソリンがかからないようにしてください。
- 応急修理キットは砂埃や水を避けて収納してください。
- 応急修理キットは指定の位置に収納し、お子さまが誤って手をふれないようご注意ください。
- 分解・改造などは絶対にしないでください。また、圧力計などに衝撃を与えないでください。故障の原因になります。

ハイブリッドシステムが始動できないときは

ハイブリッドシステムが始動できない原因は状況によって異なります。次のことをご確認いただき、適切に対処してください。

正しいハイブリッドシステムの始動方法（→ P. 148）に従っても始動できない

次の原因が考えられます。

- 電子キーが正常に働いていない可能性があります。＊（→ P. 320）
- 燃料が入っていない可能性があります。
給油してください。
- イモビライザーシステムに異常がある可能性があります。＊（→ P. 67）
- シフト制御システムに異常がある可能性があります。＊
- 電子キーの電池切れやヒューズ切れなど、電気系統異常の可能性があります。異常の種類によっては、ハイブリッドシステムを一時的な処置でかけることができます。（→ P. 319）

＊ P ポジションから切りかえることができない可能性があります。

室内灯・ヘッドランプが暗い／ホーンの音が小さい、または鳴らない場合

次の原因が考えられます。

- 補機バッテリーあがりの可能性があります。（→ P. 322）
- 補機バッテリーのターミナルがゆるんでいる可能性があります。

室内灯・ヘッドランプが点灯しない／ホーンが鳴らない場合

次の原因が考えられます。

- 補機バッテリーのターミナルがはずれている可能性があります。
- 補機バッテリーあがりの可能性があります。（→ P. 322）

対処の方法がわからないとき、あるいは対処をしてもハイブリッドシステムが始動できないときは、トヨタ販売店にご連絡ください。

緊急始動機能

通常のハイブリッドシステム始動操作でハイブリッドシステムが始動しないときは、次の手順でハイブリッドシステムが始動する場合があります。

緊急時以外は、この方法で始動させないでください。

- 1 パーキングブレーキがかかっていることを確認する
- 2 パワー スイッチをアクセサリモードにする
- 3 ブレーキペダルをしっかりと踏んでパワースイッチを約 15 秒以上押し続ける

上記の方法でハイブリッドシステムが始動しても、システムの故障が考えられます。ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。

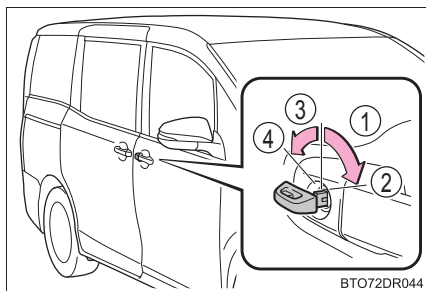
電子キーが正常に働かないときは

電子キーと車両間の通信がさまたげられたり（→P. 111）、電子キーの電池が切れたときは、スマートエントリー&スタートシステムとワイヤレスリモコンが使用できなくなります。このような場合、次の手順でドアを開けたり、ハイブリッドシステムを始動したりすることができます。

ドアの解錠・施錠

メカニカルキー（→P. 87）を使って次の操作ができます。

- ① 全ドア施錠
- ② ドアガラスが閉まる（まわし続ける）※
- ③ 全ドア解錠
- ④ ドアガラスが開く（まわし続ける）※



BTO72DR044

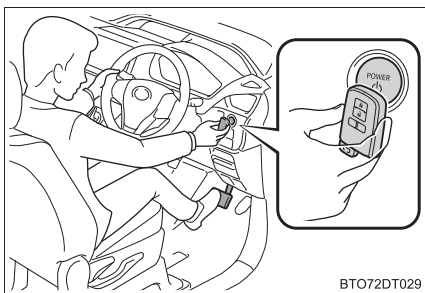
※カスタマイズ機能での設定変更が必要です。（→P. 342）

ハイブリッドシステム始動の方法

- 1 ブレーキペダルを踏む
- 2 電子キーのトヨタエンブレム面で、パワースイッチにふれる

電子キーを認識するとブザーが鳴り、ONモードへ切りかわります。

カスタマイズ機能でスマートエントリー&スタートシステムを非作動にしたときは、アクセサリモードへ切りかわります。



BTO72DT029

- 3 ブレーキペダルをしっかりと踏み込んで、マルチインフォメーションディスプレイにメッセージ（→P. 148）が表示されていることを確認する。
- 4 パワースイッチを押す

処置をしても作動しないときは、トヨタ販売店にご連絡ください。

 知識

■ ハイブリッドシステムの停止方法

通常のハイブリッドシステムの停止方法と同様に、パーキングブレーキをかけ、シフトポジションをPにしてパワースイッチを押します。

■ 電池交換について

ここで説明しているハイブリッドシステムの始動方法は一時的な処置です。電池が切れたときは、ただちに電池の交換をおすすめします。(→ P. 249)

■ モードの切りかえ

ハイブリッドシステム始動の手順 **3** で、ブレーキペダルから足を離してパワースイッチを押すと、ハイブリッドシステムが始動せず、スイッチを押すごとにモードが切りかわります。(→ P. 149)

■ 電子キーが正常に働かない場合

- 車両カスタマイズ機能でスマートエントリー&スタートシステムの設定を確認し、非作動になっている場合には、作動可能に設定変更してください。(→ P. 342)
- 電子キーが節電モードに設定されていないことを確認してください。設定されている場合は解除してください。(→ P. 110)

 警告

■ メカニカルキーを使ってドアガラスを操作するとき

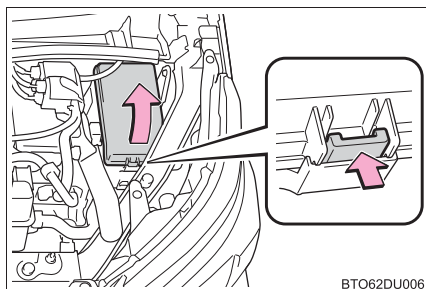
ドアガラスに人が挟まれるおそれがないことを確認してから操作してください。またお子さまには、メカニカルキーによる操作をさせないでください。お子さまや他の人がドアガラスに挟まれたり巻き込まれたりするおそれがあります。

補機バッテリーがあがったときは

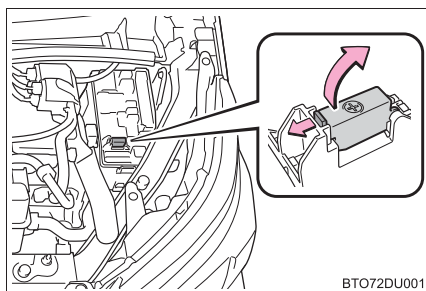
補機バッテリーがあがった場合、次の手順でハイブリッドシステムを始動することができます。

ブースターケーブルと 12V のバッテリー付き救援車があれば、次の手順に従って、ハイブリッドシステムを始動させることができます。

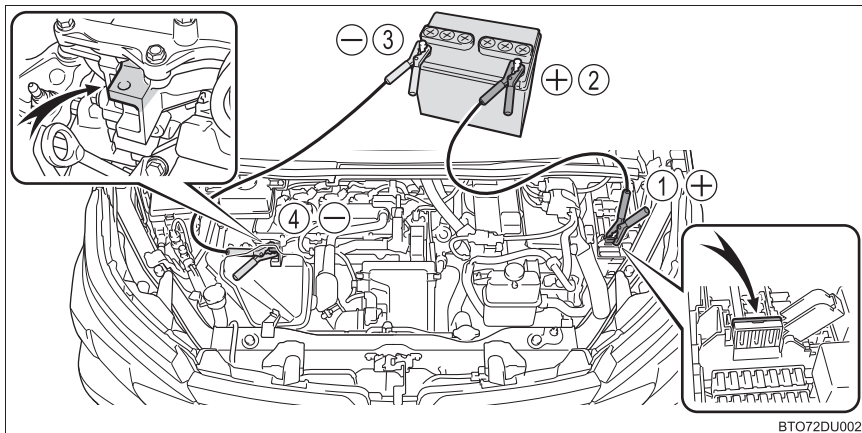
- 1 ボンネットを開けて、ヒューズボックスのカバーをはずす
ツメを押しながら、カバーを持ち上げてはずします。



- 2 ヒューズボックス内の救援用端子カバーを開ける
ツメを軽く引きながら、カバーを開けます



3 ブースターケーブルを次の順につなぐ



- ① 赤色のブースターケーブルを自車の救援用端子につなぐ
 - ② 赤色のブースターケーブルのもう一方の端を救援車のバッテリーの+端子につなぐ
 - ③ 黒色のブースターケーブルを救援車のバッテリーの-端子につなぐ
 - ④ 黒色のブースターケーブルのもう一方の端を、未塗装の金属部（図に示すような固定された部分）につなぐ
- 4 救援車のエンジンをかけ、回転を少し高めにして、約 5 分間自車の補機バッテリーを充電する
 - 5 パワースイッチが OFF の状態でいずれかのドアを開閉する
 - 6 救援車のエンジン回転を維持したまま、パワースイッチをいったん ON モードにしてからハイブリッドシステムを始動する
 - 7 READY インジケーターが点灯することを確認する
点灯しない場合はトヨタ販売店にご連絡ください。
 - 8 ハイブリッドシステムが始動したら、ブースターケーブルをつないだときと逆の順ではずす
- ハイブリッドシステムが始動しても、早めにトヨタ販売店で点検を受けてください。

 知識**■ 補機バッテリーあがり時の始動について**

この車両は、押しがけによる始動はできません。

■ 補機バッテリーあがりを防ぐために

- ハイブリッドシステムが停止しているときは、ランプやオーディオの電源を切ってください。
- 渋滞などで長時間止まっているときは、不必要な電装品の電源を切ってください。

■ 補機バッテリーについて

→ P. 237

■ 補機バッテリーの充電について

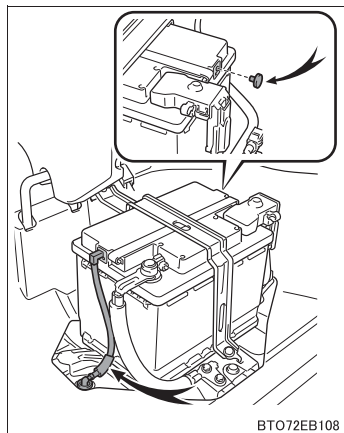
補機バッテリーの電力は、車両を使用していないあいだも、一部の電装品による消費や自然放電のために、少しずつ消費されています。そのため、車両を長期間放置すると、補機バッテリーがあがってハイブリッドシステムを始動できなくなるおそれがあります。(補機バッテリーはハイブリッドシステムの作動中に自動で充電されます)

■ 補機バッテリーあがり時や取りはずし時など

- 補機バッテリー脱着直後はスマートエントリー&スタートシステムによるドアの解錠ができない場合があります。解錠できなかった場合はワイヤレスリモコン、またはメカニカルキーで解錠・施錠を実施してください。
- 補機バッテリー脱着後、最初の始動操作ではハイブリッドシステムが始動できないことがあります。異常ではありません。再度始動操作を行ってください。
- 車両は常に電源の状態を記憶しています。補機バッテリー脱着時、車両は補機バッテリーをはずす前の状態に復帰します。補機バッテリーを脱着する際は、パワースイッチを OFF にしてから行ってください。
補機バッテリーがあがる前の状態が不明の場合、補機バッテリー接続時は特に注意してください。
- 補機バッテリーを再接続したときは、ハイブリッドシステムを始動させ、ブレーキペダルを踏み、シフトポジションがすべてのポジションに切りかえられることをシフトポジション表示灯で確認してください。

■補機バッテリーを交換するときは

- 一括排気タイプの補機バッテリー（欧州規格）を使用してください。また、交換前と同じ大きさ（LN2 サイズ）、同等以上の 20 時間容量（51Ah）の補機バッテリーを使用してください。
 - ・大きさが異なると、補機バッテリーが正しく固定されません。
 - ・20 時間容量が小さいと、車両を使用していない期間が短い期間であっても補機バッテリーがあがって、ハイブリッドシステムの始動ができなくなるおそれがあります。
- 交換後は、補機バッテリーの排気穴に次のものを確実に取り付けてください。
 - ・排気ホースは、交換前の補機バッテリーに取り付けられているものを使用し、車両穴部と確実に接続されていることを確認してください。
 - ・排気穴栓は、交換した補機バッテリーに付属のもの、または交換前の補機バッテリーに取り付けられているものを使用してください。（交換する補機バッテリーによっては、排気穴がふさがれたものもあります。）



詳細が不明な場合や、補機バッテリーについては、トヨタ販売店にご相談ください。

⚠ 警告

■補機バッテリーの引火または爆発を防ぐために

補機バッテリーから発生する可燃性ガスに引火して爆発するおそれがあり危険ですので、火や火花が発生しないよう、次のことをお守りください。

- ブースターケーブルは正しい端子以外に接続しない
- +端子に接続したブースターケーブルの先を付近のブラケットや未塗装の金属部に接触させない
- ブースターケーブルは+側と-側の端子を絶対に接触させない
- 補機バッテリー付近では、喫煙したりマッチやライターなどで火を起こさない

 **警告****■ 補機バッテリーの取り扱いについて**

補機バッテリー内には有毒で腐食性のある酸性の電解液が入っており、また関連部品には鉛または鉛の混合物を含んでいるので、取り扱いに関し、次のことを必ずお守りください。

- 補機バッテリーを取り扱うときは保護メガネを着用し、液（酸）が皮膚・衣服・車体に付着しないようにする
- 必要以上、顔や頭などを補機バッテリーに近付けない
- 誤ってバッテリー液が体に付着したり目に入ったりした場合、ただちに大量の水で洗い、すぐに医師の診察を受ける
また、医師の診察を受けるまで、水を含ませたスポンジや布を患部にあてておく
- 誤ってバッテリー液を飲み込んだ場合、多量の水を飲んで、すぐに医師の診察を受ける
- 補機バッテリーの支柱・ターミナル・その他の関連部品の取り扱い後は手を洗う
- お子さまを補機バッテリーに近付けない

■ 補機バッテリーあがりの処置をしたあと

早めにトヨタ販売店で補機バッテリーの点検を受けてください。

補機バッテリーが劣化している場合、そのまま使い続けると補機バッテリーから異臭ガスが発生し、乗員に健康障害をおよぼすおそれがあり危険です。

■ 補機バッテリーを交換するときは

交換後は、交換した補機バッテリーの排気穴に排気ホースと排気穴栓を確実に取り付けてください。正しく取り付けられていないと、ガス（水素）が車内に侵入したり、引火して爆発するおそれがあり危険です。

 **注意****■ 補機バッテリーを交換するときは**

補機バッテリー固定用ステーと液栓やインジケーターが 11mm 以上離れているものを使用してください。

液栓やインジケーターがステーと近いと、バッテリー液が漏れだすおそれがあります。

 **注意****■ ブースターケーブルの取扱いについて**

ブースターケーブルを接続したり、取りはずすときは、冷却ファンやベルトに巻き込まれないように十分注意してください。

■ 救援用端子について

この車の救援用端子は、他の車から応急的に補機バッテリーを充電するためのものです。この救援用端子を使用して、他の車のバッテリーあがりを救援しないでください。

オーバーヒートしたときは

次のような場合は、オーバーヒートの可能性があります。

- 高水温警告灯（→ P. 276）が点滅または点灯したり、ハイブリッドシステムの出力が低下する（スピードが出ないなど）
- マルチインフォメーションディスプレイに「ハイブリッドシステム 高温 出力制限中です」（→ P. 288）が表示される
- エンジンルームから蒸気が出る

対処方法

■ 高水温警告灯が点滅または点灯したとき

- 1 安全な場所に停車し、エアコンを OFF にしてから、ハイブリッドシステムを停止する
- 2 蒸気が出ている場合：
蒸気が出なくなったことを確認してから、注意してボンネットを開ける

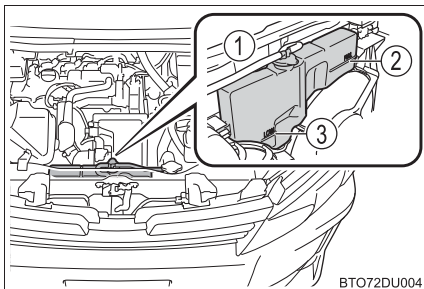
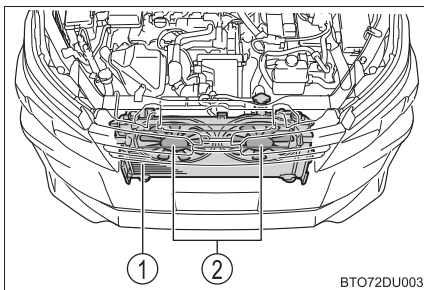
蒸気が出ていない場合：
注意してボンネットを開ける
- 3 ハイブリッドシステムが十分に冷えてから、ラジエーターコア部（放熱部）やホースなどからの冷却水もれを点検する

- ① ラジエーター
- ② ファン

多量の冷却水もれがある場合は、ただちにトヨタ販売店に連絡してください。

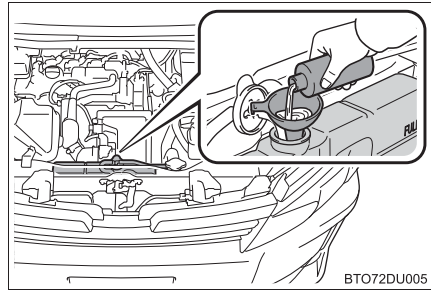
- 4 冷却水の量がリザーバータンクの“FULL”（上限）と“LOW”（下限）の間にあるかを点検する

- ① リザーバータンク
- ② “FULL”（上限）
- ③ “LOW”（下限）



- 5 冷却水が不足している場合は、冷却水を補給する

冷却水がない場合は、応急処置として水を補給してください。



- 6 ハイブリッドシステムを始動し、エアコンを作動させてラジエーター冷却用のファンが作動しているか、およびラジエーターコアやホースなどから冷却水もれがないことを再度確認する

ハイブリッドシステムが冷えた状態での始動直後は、エアコンを ON にすることでファンが作動します。ファンの音や風で確認してください。わかりにくいときは、エアコンの ON・OFF をくり返してください。

(ただし、氷点下となる寒冷時はファンが作動しないことがあります)

- 7 ファンが作動していない場合：
すぐにハイブリッドシステムを停止し、トヨタ販売店に連絡する
- ファンが作動している場合：
最寄りのトヨタ販売店で点検を受ける

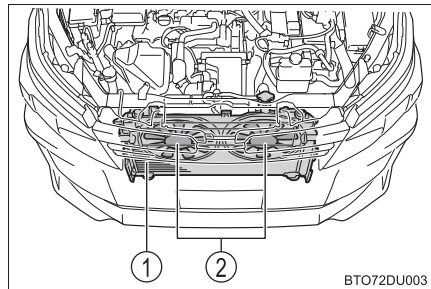
■ マルチインフォメーションディスプレイに「ハイブリッドシステム高温 出力制限中です」が表示されたとき

- 1 安全な場所に停車する
- 2 ハイブリッドシステムを停止し、注意してボンネットを開ける

- 3 ハイブリッドシステムが十分に冷えてから、ラジエーターコア部（放熱部）やホースなどからの冷却水もれを点検する

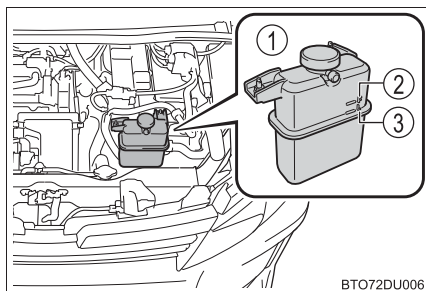
- ① ラジエーター
- ② ファン

多量の冷却水もれがある場合は、ただちにトヨタ販売店に連絡してください。



- 4 冷却水の量がリザーバータンクの“F”（上限）と“L”（下限）の間にあるかを点検する

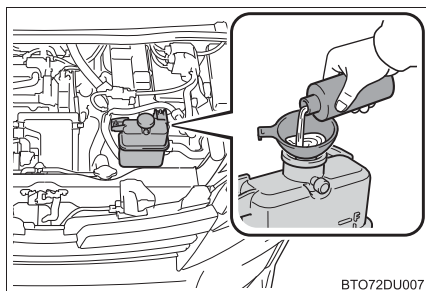
- ① リザーバータンク
- ② “F”（上限）
- ③ “L”（下限）



BTO72DU006

- 5 冷却水が不足している場合は、冷却水を補給する

冷却水がない場合は、応急処置として水を補給してください。



BTO72DU007

- 6 ハイブリッドシステムを始動し、マルチインフォメーションディスプレイを確認する

表示が消えない場合：

ハイブリッドシステムを停止してトヨタ販売店に連絡する

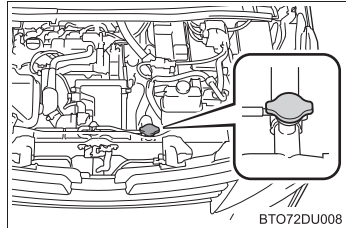
表示が消えている場合：

最寄りのトヨタ販売店で点検を受ける

警告

■ エンジンルーム点検中の事故やけがを防ぐために

- エンジンルームから蒸気が出ている場合は、蒸気が出なくなるまでボンネットを開けないでください。ボンネットやエンジンルーム内が高温になっているため、やけどなどの重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
- ハイブリッドシステムの停止後は、READY インジケーターが消灯していることを確認してください。ハイブリッドシステムが作動していると、ガソリンエンジンが自動的に動き出したり、ガソリンエンジンが停止していても、冷却ファンが急にまわり出すことがあります。ベルトやファンなどの回転部分にふれたり、近付いたりすると、手や着衣（特にネクタイ・スカーフ・マフラーなど）が巻き込まれたりして、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
- ハイブリッドシステムおよびラジエーターが熱い場合は、ラジエーターキャップおよび冷却水リザーバータンクのキャップを開けないでください。
高温の蒸気や冷却水が圧力によって噴き出し、やけどなどの重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。



注意

■ 冷却水を入れるときの注意

ハイブリッドシステムが十分に冷えてからゆっくり入れてください。
ハイブリッドシステムが熱いときに急に冷たい冷却水を入れると、ハイブリッドシステムが損傷するおそれがあります。

■ 冷却システムの故障を防ぐために

次のことをお守りください

- 異物（砂やほこりなど）を冷却水に混入させない
- 冷却水添加剤を使用しない

スタックしたときは

ぬかるみや砂地・雪道などでタイヤが空転したり埋まり込んで動けなくなったときは次の方法で脱出してください。

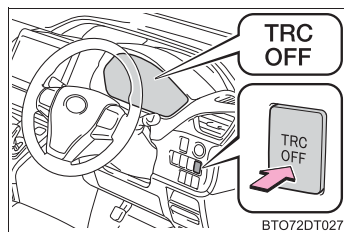
- 1 パーキングブレーキをかけ、シフトポジションをPにして、ハイブリッドシステムを停止する
- 2 前輪周辺の土や雪などを取り除く
- 3 前輪の下に木や石などをあてがう
- 4 ハイブリッドシステムを再始動する
- 5 シフトポジションをDまたはRに入れ、パーキングブレーキを解除して注意しながらアクセルペダルを踏む

知識

■脱出しにくいとき



を押してTRCをOFFにしてください



■シフトポジションを切りかえるときは

ブレーキペダルを踏み、車が完全に停止している状態で行ってください。リジェクト機能が働き、シフトポジションの切りかえを無効にする場合や、自動的にNポジションに切りかわる場合があります。

 **警告****■ 脱出するとき**

前進と後退をくり返してスタックから脱出する場合、他の車・ものまたは人との衝突を避けるため周囲に何も無いことを確認してください。

スタックから脱出するとき、車が前方または後方に飛び出すおそれがありますので、特に注意してください。

■ シフトレバーを操作するとき

アクセルペダルを踏み込んだまま操作しないように気を付けてください。車が急発進し、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

 **注意****■ ハイブリッドトランスミッションやその他の部品への損傷を避けるために**

- 前輪が空転するのを避け、必要以上にアクセルペダルを踏まないでください。
- 上記の方法で脱出できなかった場合、けん引による救援が必要です。

車両情報**8****8-1. 仕様一覧**

メンテナンスデータ
(指定燃料・オイル量
など)336

8-2. カスタマイズ機能

ユーザーカスタマイズ
機能一覧.....342

8-3. 初期設定

初期設定が必要な項目346

メンテナンスデータ（指定燃料・オイル量など）

使用するオイルや液類の品質により、自動車の寿命は著しく左右されます。

トヨタ車には、最も適したトヨタ純正オイル・液類（以下、「指定銘柄」といいます）のご使用をおすすめします。

指定銘柄以外を使用される場合は、指定銘柄に相当する品質のものをご使用ください。

燃料

指定燃料	容量 [L]（参考値）
・ 無鉛レギュラーガソリン ・ バイオ混合ガソリン（レギュラー）※	55

※ エタノールの混合率 10%以下または、ETBE の混合率 22%以下のガソリン（酸素含有率 3.7%以下）を使用することができます。

エンジンオイル

指定銘柄	容量 [L] (参考値※ ¹)	
	オイルのみ交換	オイルとオイルフィルター交換
トヨタ キャッスル モーターオイル SN 0W-20 ※ ² —API SN/RC, ILSAC GF-5, SAE 0W-20 トヨタ キャッスル モーターオイル SN 5W-20 —API SN/RC, ILSAC GF-5, SAE 5W-20 トヨタ キャッスル モーターオイル SN 5W-30 —API SN/RC, ILSAC GF-5, SAE 5W-30 トヨタ キャッスル モーターオイル SN 10W-30 —API SN/RC, ILSAC GF-5, SAE 10W-30	3.9	4.2

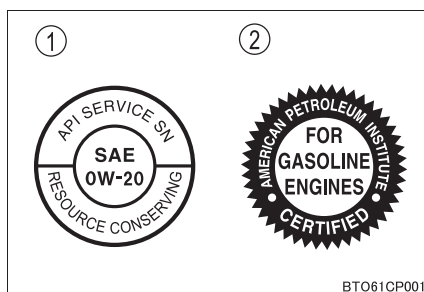
※¹ エンジンオイルの容量は交換する際の目安です。オイル量の確認は、エンジンの暖機後にハイブリッドシステムを停止し、5分以上経過してからレベルゲージで行ってください。

※² 0W-20 は上記表の指定銘柄の中では、最も省燃費性に優れるオイルです。

■ 指定エンジンオイル

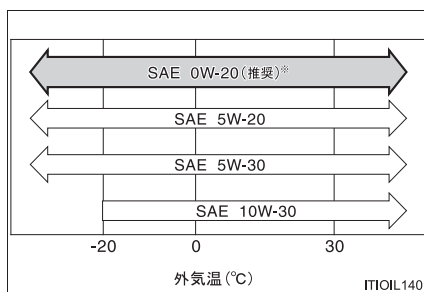
API 規格 SN/RC、SM/EC か、ILSAC 規格合格油をおすすめします。
 なお、ILSAC 規格合格油の缶には ILSAC CERTIFICATION（イル
 サックサーティフィケーション）マークが付いています。

- ① API マーク
- ② ILSAC CERTIFICATION マーク



■ エンジンオイル推奨粘度

下記図に基づき、外気温に適した粘度のものをご使用ください。



※ 0W-20 は、新車時に充填されており、上記図に示す中では、最も省燃費性に優れるオイルです。

オイル粘度について（例として 0W-20 で説明します）：

- ・ 0W-20 の 0W は、低温時のエンジン始動特性を示しています。W の前の数値が小さいほど冬場や寒冷時のエンジン始動が容易になります。
- ・ 0W-20 の 20 は、高温時の粘度特性を示しています。
 粘度の高い（数値が大きい）オイルは、高速または重負荷走行に適しています。

ラジエーター

指定銘柄	容量 [L] (参考値)		
トヨタ純正スーパーロングライフクーラント 凍結保証温度 濃度 30% - 12°C 濃度 50% - 35°C	ガソリンエンジン	リヤエアコン 装着車	7.5
		リヤエアコン 非装着車	5.7
	インバーター		2.9

トランスミッション

指定銘柄	容量 [L] (参考値 [※])
トヨタ純正オートフルード WS	3.6

※ 交換が必要な際はトヨタ販売店にご相談ください。

ブレーキ

■ ブレーキフルード

指定銘柄
トヨタ純正ブレーキフルード 2500H-A

■ ブレーキペダル

項目	基準値 [mm]
遊び	1 ~ 6
踏み込んだときの床板とのすき間 [※]	107 以上

※ ハイブリッドシステムが作動している状態で、490N (50kgf) の踏力をかけたときの床板とのすき間の最小値

■ パーキングブレーキ

項目	基準値 (回数)
踏みしろ 操作力 300N (30.6kgf) のときのノッチ [※] 数	5 ~ 7

※ ノッチとは、パーキングブレーキをかけるときの節度(“カチッ”)という音のことです

ウォッシャータンク

容量 [L] (参考値)
2.5

タイヤ・ホイール

タイヤサイズ		ホイール サイズ	タイヤが冷えている ときの空気圧 kPa (kg/cm ²)	
			前輪	後輪
標準タイヤ	195/65R15 91S	15 × 6J	240 (2.4)	
応急用タイヤ★	T135/80D16 101M	16 × 4T	420 (4.2)	

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

電球 (バルブ) ※¹

電球		W (ワット) 数
車外	ヘッドランプ ハイビーム (バルブタイプ: HB3)	60
	フォグラмп★ (バルブタイプ: H16)	19
	フロント方向指示灯/非常点滅灯 (アンバーバルブ) ※ ²	21
	リヤ方向指示灯/非常点滅灯 (アンバーバルブ) ※ ²	21
	後退灯	16
	番号灯	5
車内	インテリアランプ/パーソナルランプ	5
	インテリアランプ (中央/うしろ)	8
	バニティランプ	8

※¹ 表に記載の無いランプはLEDを採用しています。

※² アンバーバルブはオレンジ色の電球です。

車両仕様

名称	型式	エンジン	電動機型式	駆動方式
ヴォクシー	ZWR80G	2ZR-FXE (1.8L ガソリン)	5JM	FF (前輪駆動)

★: グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

ユーザーカスタマイズ機能一覧

お車に装備されている各種の機能は、ご希望に合わせてトヨタ販売店で作動内容を変更することができます。また、ステアリングスイッチの操作により、設定を変更することができる機能もあります。

設定変更のしかた

- ステアリングスイッチで設定するには
→ P. 77

車両カスタマイズ設定一覧

機能によっては、他の機能と連動して設定が変わるものもあります。詳しくはトヨタ販売店へお問い合わせください。

- ① ステアリングスイッチで設定変更可能
- ② トヨタ販売店で設定変更可能

■ マルチインフォメーションディスプレイ (→ P. 77)

機能の内容※ ¹		初期設定	変更後	①	②
言語		日本語	English	○	—
単位		km/L	L/100km	○	—
EV 表示		あり	なし	○	—
割込表示	一席集中割込 み表示※ ²	あり	なし	○	—
	着信割込み表 示※ ²	あり	なし	○	—
時計表示		アナログ調①	アナログ調②	○	—
			アナログ調③	○	—
時計表示切替 (12H / 24H)		12H	24H	○	—
カラー		青	緑	○	—
			黄	○	—
			赤	○	—
照度調整		10	1 ~ 10	○	—

※¹ 機能についての説明は P. 77 を参照してください

※² 項目の一部を表示/非表示できます

■ スマートエントリー&スタートシステム (→ P. 109)

機能の内容	初期設定	変更後	①	②
スマートエントリー&スタート システムの作動	あり	なし	—	○
ワイヤレス機能	あり	なし	—	○
作動の合図 (ブザー 音量調整)	レベル 5	レベル 0 ~ 7	—	○
作動の合図 (非常点滅灯)	あり	なし	—	○
解錠後、ドアを開けなかったとき の自動施錠までの時間	30 秒	60 秒	—	○
		120 秒	—	○
半ドア警告ブザー	あり	なし	—	○
連続ロック操作の有効回数	2 回	無制限	—	○

■ ドアミラー (→ P. 130)

機能の内容	初期設定	変更後	①	②
オート電動格納作動	ドアの施錠・ 解錠と連動	OFF	—	○
		パワースイッ チと連動		

■ パワーウィンドウ (→ P. 133)

機能の内容	初期設定	変更後	①	②
キー連動開閉機能	なし	あり	—	○
ワイヤレスリモコン連動開閉機能	なし	あり	—	○
パワーウィンドウ開警告表示	あり	なし	—	○
ワイヤレスリモコン連動作動合 図 (ブザー)	あり	なし	—	○

■ エアコン (→ P. 190)

機能の内容	初期設定	変更後	①	②
AUTO スイッチがON のとき、連 動して外気導入と内気循環を自 動的に切りかえる	する	しない	—	○

■ ランプ自動点灯・消灯システム (→ P. 165)

機能の内容	初期設定	変更後	①	②
ライトセンサーの感度	標準	レベル -2 ~ +2	—	○
暗さを検知してからランプを点 灯するまでの時間	標準	長め	—	○

■ パワースライドドア (→ P. 93)

機能の内容	初期設定	変更後	①	②
パワースライドドアスイッチの操作	0.3 秒	0.5 秒	—	○
		0.8 秒		
		OFF		

■ イルミネーション (→ P. 205)

機能の内容	初期設定	変更後	①	②
消灯までの時間	15 秒	OFF	—	○
		7.5 秒		
		30 秒		
解錠後の作動	あり	なし	—	○
パワースイッチ OFF 後の作動	あり	なし	—	○
接近時の照明の点灯	あり	なし	—	○
室内照明の点灯制御	あり	なし	—	○

■ 車両接近通報装置 (→ P. 58)

機能の内容	初期設定	変更後	①	②
音量調整	レベル 1	レベル 2	—	○
		レベル 3		

□ 知識

■ 車両カスタマイズについて

解錠後、ドアを開けなかったときの自動施錠が作動したときの合図は、「作動の合図 (非常点滅灯)」・「作動の合図音量 (ブザー音量調整)」の設定に依存します。

初期設定が必要な項目

次の項目は補機バッテリーを再接続したり、メンテナンスを行ったあとなどに、システムを正しく働かせるために初期設定が必要です

項目	機能の内容	参照
パワースライドドア★ (→ P. 95)	・ 補機バッテリーの充電・交換後の再接続時 ・ ヒューズ交換時	P. 98

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

さくいん

こんなときは (症状別さくいん).....	348
車から音が鳴ったときは (音さくいん).....	352
アルファベット順さくいん.....	353
五十音順さくいん.....	354

こんなときは（症状別さくいん）

お困りの際は、トヨタ販売店にご連絡いただく前にまず次のことを確認してください。

施錠／解錠／ドアの開閉ができない



キーをなくした

- キーまたはメカニカルキーをなくした場合、トヨタ販売店でトヨタ純正の新しいメカニカルキーを作ることができます。（→ P. 87）
- 電子キーをなくすと盗難の危険性が極めて高くなるため、ただちにトヨタ販売店にご相談ください。（→ P. 89）



解錠・施錠できない

- キーの電池が消耗、または電池が切れていませんか？（→ P. 249）
- パワースイッチが ON モードになっていませんか？
施錠するときはパワースイッチを OFF にしてください（→ P. 149）
- 電子キーを車内に置き忘れていませんか？
施錠するときは、電子キーを携帯していることを確認してください。
- 電波状況により、機能が正常に働いていない可能性があります。（→ P. 92, 111）



スライドドアが開かない

- チャイルドプロテクターがかかっていますか？
チャイルドプロテクターがかかっていると車内からは開きません。いったん車外から開けて、チャイルドプロテクターを解除してください（→ P. 96）



スライドドアが全開にならない

- 中間ストッパーがかかっていますか？
給油口が開いていると、スライドドアは途中までしか開きません（中間ストッパー位置で停止します）。給油口を閉じ、いったんスライドドアを全閉にしてから、再度スライドドア開けてください。（→ P. 96）

故障かな？と思ったら



ハイブリッドシステムが始動できない

- ブレーキペダルをしっかりと踏みながらパワースイッチを押していますか？（→ P. 148）
- シフトポジションは P になっていますか？（→ P. 150）
- キーが車内の検知される場所にありますか？（→ P. 109）
- キーの電池が消耗、または電池が切れていませんか？
このときは、一時的な方法でハイブリッドシステムをかけることができます。（→ P. 320）
- 補機バッテリーがあがっていませんか？（→ P. 322）



パワーウィンドウスイッチを操作してもドアガラスが開閉しない

- ウィンドウロックスイッチが押されていませんか？
ウィンドウロックスイッチが押されていると、運転席以外のパワーウィンドウは操作できなくなります。（→ P. 133）



パワースイッチが自動的に OFF になった

- 一定時間アクセサリモードまたはONモード(ハイブリッドシステムが作動していない状態)にしておくと、自動電源 OFF 機能が作動します。(→ P. 150)



警告音が鳴りだした

- 警告音が鳴りだしたときは、「車から音が鳴ったときは（音さくいん）」(→ P. 352) をご確認ください。



警告灯や警告メッセージが表示されたとき

- 警告灯や警告メッセージが表示されたときは、P. 276、280 をご確認ください。

トラブルが発生した



タイヤがパンクした

- 応急用タイヤ装着車
車を安全な場所に停め、パンクしたタイヤを応急用タイヤに交換してください。(→ P. 295)
- タイヤパンク応急修理キット装着車
車を安全な場所に停め、タイヤパンク応急修理キットでパンクしたタイヤを応急修理してください。(→ P. 305)



立ち往生した

- むかるみ・砂地・雪道などで動けなくなったときの脱出方法を試してください。（→ P. 332）

車から音が鳴ったときは（音さくいん）

次の状況のとき、車の状況や誤操作などをお知らせするために各種の警告音が鳴ります。

車に乗るとき／降りるとき

状況	原因	詳細
ドアを開閉したとき	電子キーを車内に置き忘れている	P. 291
	シフトポジションがP以外になっている	P. 292
	車幅灯・ヘッドランプが点灯している	P. 166
ハイブリッドシステムを停止したとき	電子キーの電池残量が少なくなっている	P. 293
施錠しようとしたとき (施錠できないとき)	いずれかのドアが確実に閉まっていない	P. 110
	電子キーを車内に置き忘れている	P. 293

走行しているとき

状況	原因	詳細
走り出したとき	いずれかのドアが確実に閉まっていない	P. 285
	パーキングブレーキが解除されていない	P. 286
	運転席・助手席のシートベルトを着用していない※ ¹	P. 278
シフトポジションの切りかえをしたとき	無効なシフト操作した※ ²	P. 157
ブレーキペダルを踏んだとき（きしみやひっかき音）	ブレーキパッドが摩耗しているおそれがある	P. 143

※¹ 助手席に荷物を置いている場合にもブザーが鳴ることがあります。

※² シフトポジションの切りかえが無効になるときや、自動的にNポジションに切りかわる場合があります。その場合は適切なシフトポジションに切りかえてください。

アルファベット順さくいん

A/C

(エアコン) 190, 197, 200

ABS

(アンチロックブレーキシステム) 178

ACC

(アクセサリー) 149

DISP

(ディスプレイ) 77

ECB

(エレクトロニカリーコントロールドブレーキシステム) 178

ECO

(エコノミー/エコロジー) 158

EDR

(イベントデータレコーダー) 8

EPS

(エレクトリックパワーステアリング) 178

EV

(エレクトリックビークル) 153

FF

(フロントエンジンフロントドライブ) 341

ILSAC CERTIFICATION

(イルサックサーティフィケーション) 338

ISOFIX

(アイソフィックス/イソフィックス) 41, 49

SRS

(サブリメンタルレストレイントシステム) 32

S-VSC

(ステアリングアシステッドビークルスタビリティコントロール) ... 178

TRC

(トラクションコントロール) 178

VSC

(ビークルスタビリティコントロール) 178

五十音順さくいん

あ

アースポイント（補機バッテリー あがりの処置）.....	322
アームレスト	215
アウターミラー（ドアミラー）... 操作	130
アクセサリースOCKET	214
アクセサリーモード	149
アシストグリップ	217
アンチロックブレーキシステム （ABS）	178
アンテナ（スマートエントリー& スタートシステム）	109

い

イージークローザー スライドドア	97
EV ドライブモード	153
イグニッションスイッチ （パワースイッチ）	148
位置交換 （タイヤローテーション）	242
イベントデータレコーダー （EDR）	8
イモビライザーシステム	67
イルミネーテッドエントリー システム	207
インジケーター ハイブリッドシステム インジケーター	76
表示灯	72
READY	148
インテリアランプ（室内灯）	205
操作	206
ワット数	341
インナーミラー	129

う

ウインカー（方向指示灯）.....	163
電球（バルブ）の交換	260, 261, 263
方向指示レバー	163
ワット数	341
ウインドウ	133
ウォッシャー	168, 170
パワーウインドウ	133
リヤウインドウ デフォッガー	192
ウインドウロックスイッチ	133
ウォーニングランプ （警告灯）	71, 276
ウォッシャー	168, 170
液の補充	240
スイッチ	168, 170
タンク容量	340
冬の前の準備・点検	185
動けなくなったときは （スタック）	332
運転	138
運転を補助する装置	178
寒冷時の運転	185
正しい運転姿勢	24
手順	138

え

エアコン フィルターの交換	246
フロントエアコン	190
リヤエアコン	197
リヤクーラー	200
エアバッグ	32
SRS エアバッグ警告灯	277
作動条件	37
配置	32

エネルギーモニター	82
エレクトリックパワー	
ステアリング (EPS)	178
機能	178
パワーステアリング警告灯	
.....	71, 277
パワーステアリング警告ブザー	
.....	277
エレクトロニカリーコントロールド	
ブレーキ (ECB)	178
エンジン	
イモビライザーシステム	67
エンジン警告灯	71, 276
エンジンスイッチ	148
オーバーヒート	328
ハイブリッドシステムの	
始動方法	148
パワースイッチ	
(イグニッションスイッチ/ エンジンスイッチ)	148
ボンネット	236
エンジンオイル	337
冬の前の準備・点検	185
メンテナンスデータ	337
油圧警告灯	71, 276
油圧警告ブザー	280
エンジンスイッチ	
(パワースイッチ)	148
エンジンフード (ボンネット) ...	236
開け方	236
エンジンルーム	
エンジンルームから	
蒸気が出ている	328

お

オイル (エンジンオイル)	337
応急用タイヤ	295
空気圧	340
交換方法	295
オートエアコン	190
オートレベリングシステム	
(ヘッドランプ)	166
オーバーヒート	328
オープナー	
給油口	172
ボンネット	236
おくだけ充電 (ワイヤレス充電器)	
.....	220
お子さまを乗せるとき	40
ウインドウロックスイッチ ...	133
お子さまの安全のために	40
子供専用シート	41
シートベルトの着用	29
チャイルドシートの取り付け ...	49
チャイルドプロテクター	96
オドメーター	74
機能	74
表示切りかえボタン	75

か

カーテンシールドエアバッグ	32
カーペット	233
洗浄	233
フロアマットの取り付け方	22
外気温度表示	80
回生ブレーキ	58
外装の電球 (バルブ)	254
交換要領	254
ワット数	341
快適温熱シートヒーター	203
ガス欠になったとき	63

カスタマイズ機能.....	342
型式.....	341
カップホルダー.....	209
ガラスの曇り止め （リヤウインドウデフォッガー）	192
ガレージジャッキ.....	239
冠水路走行.....	146
寒冷時の運転.....	185

き

キー.....	86
キーナンバープレート.....	86
キーの構成.....	86
キーレスエントリー.....	90, 109
キーをなくした.....	87, 89
正常に働かない.....	320
解錠・施錠ができない.....	320
電子キー.....	86
電池が切れた.....	249, 320
ハイブリッドシステムが 始動できない.....	318
メカニカルキー.....	87
ワイヤレスリモコン.....	90
キーレスエントリー スマートエントリー& スタートシステム.....	109
ワイヤレスドアロック.....	90
給油.....	172
給油のしかた.....	172
緊急時シートベルト固定機構.....	29
緊急始動機能 （ハイブリッドシステム）.....	319

緊急時の対処

オーバーヒートした.....	328
キーの電池が切れた.....	249, 320
警告灯がついた.....	276
けん引.....	271
故障したときは.....	266
車両を緊急停止する.....	270
スタックした.....	332
電子キーが正常に働かない.....	320
ハイブリッドシステムが 始動できない.....	318
発炎筒.....	268
パンクした.....	295, 305
補機バッテリーがあがった.....	322
緊急停止システム.....	62
緊急ブレーキシグナル.....	178

く

空気圧（タイヤ）.....	340
メンテナンスデータ.....	340
区間距離計 （トリップメーター）.....	74
機能.....	74
表示切りかえボタン.....	75
駆動用電池.....	61
警告メッセージ.....	285
充電について.....	59
搭載位置.....	61
冷却用吸入口.....	62
曇り取り フロントウインドウガラス.....	192
ミラーヒーター.....	192
リヤウインドウ デフォッガー.....	192
クラクション（ホーン）.....	127
クリアランスランプ（車幅灯）.....	165
スイッチ.....	165
電球（バルブ）の交換.....	263

クリップ	
フロアマット	22
クルーズコントロール	175
グローブボックス	209
クーラー	
リヤクーラー	200

け

警告器（ホーン）	127
計器類（メーター）	74
警告灯	71
表示灯	72
照度調整	75
マルチインフォメーション	
ディスプレイ	77
メーター	74
警告灯	71
ABS & ブレーキアシスト	277
SRS エアバッグ	277
エンジン	276
エンジンオイル圧力	276
オートレベリング	277
高水温	276
充電	276
シートベルト非着用	278
スリップ表示灯	277
電子制御ブレーキ	277
燃料残量	278
パワーステアリング	277
半ドア	278
プリテンショナー	277
ブレーキ	276

警告ブザー

高水温	276
シートベルト非着用	278
スマートエントリー&	
スタートシステム	291
パーキングブレーキ	
未解除走行時	286
パワーステアリング	277
半ドア	91, 110
半ドア走行時	285
ブレーキ	280
窓開	135
油圧	280
ランプ消し忘れ	166
リバース	159
警告メッセージ	280
化粧ミラー（パニティミラー）	214
けん引	271
けん引のしかた	271
フック	273

こ

交換

エアコンフィルター	246
キーの電池	249
タイヤ	295
電球（バルブ）	254
ヒューズ	251
工具（ツール）	296, 306
航続可能距離	78
後退灯（バックアップランプ）	
電球（バルブ）の交換	261
ワット数	341
高電圧部位	61
コーションラベル	61

子供専用シート.....	41
選択方法.....	41
取り付け方.....	49
小物入れ.....	212
コンビニフック	
(買い物フック).....	216
コンライト	
(自動点灯・消灯装置).....	165

さ

サービスプラグ.....	64
サイドエアバッグ.....	32
サイド方向指示灯.....	163
電球 (バルブ)	
の交換.....	263
方向指示レバー.....	163
サイドミラー (ドアミラー).....	130
操作.....	130
サンシェード	
スライドドア.....	218
サンバイザー.....	214
サードシート.....	117

し

シート.....	114, 115, 117
子供専用シート.....	41
サードシート.....	117
シートアレンジ.....	121
シートヒーター.....	203
セカンドシート.....	115
正しい運転姿勢.....	24
調整.....	114, 115, 117
手入れ.....	233
フロントシート.....	114
ヘッドレスト.....	118
シートヒーター.....	203

シートベルト.....	26
お子さまの着用.....	29
緊急時シートベルト固定機構.....	29
シートベルト非着用警告灯	
.....	71, 278
正しく着用するには.....	26
着け方・はずし方.....	26, 27
手入れ.....	233
妊娠中の方の着用.....	30
シートベルトプリテンショナー.....	29
機能.....	29
プリテンショナー警告灯	
.....	71, 277
シートポケット.....	213
事故が発生したとき	
(ハイブリッドシステムの注意).....	65
室内灯 (インテリアランプ).....	205
操作.....	206
ワット数.....	341
始動のしかた.....	149
シフトポジション.....	157
シフトレバー.....	156
シフトレンジの切りかえ.....	156
操作.....	156
リバース警告ブザー.....	159
締め付けトルク (ホイール).....	302
ジャッキ	
ガレージジャッキ.....	239
車載ジャッキ.....	296, 306
ジャッキハンドル.....	296, 306
車幅灯.....	165
スイッチ.....	165
電球 (バルブ) の交換.....	263
車両型式.....	341
車両仕様 (スペック).....	336
車両データの記録.....	7
車両を緊急停止するには.....	270

ジュニアシート.....	42
瞬間燃費.....	78
助手席アッパーボックス.....	212
仕様(車両仕様).....	336

す

スイッチ

EVドライブモード.....	153
イグニッション.....	148
ウインドロック.....	133
ウォッシャー.....	168, 170
エンジンスイッチ.....	148
クルーズコントロール.....	175
シートヒーター.....	203
車両接近通報一時停止.....	58
TRC OFF.....	179
ドアミラー.....	130
ドアロック.....	90
パワーウインドウ.....	133
パワースイッチ.....	148
パワーライドドア.....	95
非常点滅灯 (ハザードランプ).....	267
フォグランプ.....	167
フロントワイパー デアイサー.....	192
ランプ.....	165
リヤウインドウ デフォグガー.....	192
ワイパー.....	168, 170
スタック.....	332
ステアリングホイール (ハンドル).....	127
位置調整.....	127
ステアリングスイッチ.....	78, 219
ストップランプ(制動灯) 電球(バルブ)の交換.....	263

スノータイヤ(冬用タイヤ).....	185
スピードメーター.....	74
スペアタイヤ(応急用タイヤ) 空気圧.....	340
交換方法.....	295
スペック(車両仕様).....	336
スマートエントリー& スタートシステム.....	109
アンテナの位置.....	109
カスタマイズ設定.....	343
警告ブザー.....	110
警告メッセージ.....	291
作動範囲.....	109
正常に働かないとき.....	320
節電機能.....	110
電波がおよぼす影響について	113
ドアの解錠・施錠.....	90
ハイブリッドシステムの始動	148
スマールランプ(車幅灯).....	165
スイッチ.....	165
電球(バルブ)の交換.....	263
スライドドア.....	93
スライドドア イージークローザー.....	97
スマートエントリー& スタートシステム.....	93
ドアガラス.....	133
半ドア警告灯.....	278
半ドア走行時警告ブザー.....	285
パワーライドドア.....	95
ロックレバー.....	93
ワイヤレスリモコン.....	94

せ

清掃	230, 233
アルミホイール	231
外装	230
シートベルト	233
内装	233
ワイヤレス充電器	234
制動灯	
電球（バルブ）の交換	263
積算距離計（オドメーター）	74
機能	74
表示切りかえボタン	75
セカンドシート	115
セキュリティインジケーター	67
センサー	
ライトセンサー	166
洗車	230
前照灯（ヘッドランプ）	165
スイッチ	165
電球（バルブ）の交換	256, 263
ライトセンサー	166
ランプ消し忘れ警告ブザー	166
ランプ消し忘れ防止機能	166
ワット数	341

そ

走行モード	
（ドライブモード）	158
速度計（スピードメーター）	74

た

ターンシグナルランプ	
（方向指示灯）	163
電球（バルブ）	
の交換	260, 261, 263
方向指示レバー	163
ワット数	341
タイヤ	242
応急用タイヤ	295
空気圧	340
交換	295
締め付けトルク	302
点検	242
パンクしたときは	295, 305
ホイールサイズ	340
ローテーション	
（位置交換）	242
タイヤが空まわりする	
（スタックした）	332
タイヤチェーン	185

ち

チェーン（タイヤチェーン）	185
チャイルドシート	41
ISOFIX バーでの取り付け	51
シートベルトでの固定	50
選択方法	41
チャイルドプロテクター	96
駐車ブレーキ	
（パーキングブレーキ）	164
操作	164
ブレーキ警告灯	276
未解除走行時警告ブザー	286
メンテナンスデータ	339

つ

ツール（工具）	296, 306
---------------	----------

て

停止表示板収納.....	227
手入れ.....	230, 233
アルミホイール.....	231
外装.....	230
シートベルト.....	233
内装.....	233
デッキフック.....	227
デッキボード.....	226
テールランプ（尾灯）.....	165
スイッチ.....	165
電球（バルブ）の交換.....	263
デフォッガー （リヤウインドウデフォッガー）	192
電気モーター.....	61
電球（バルブ） 交換要領（外装バルブ）.....	254
ワット数.....	341
点検基準値 （メンテナンスデータ）.....	336
電子キー.....	86
作動範囲.....	109
正常に働かないとき.....	320
節電機能.....	110
電池が切れた.....	249, 320
電池交換.....	249
電池交換（キー）.....	249

と

ドア.....	90, 93, 104
スマートエントリー& スタートシステム.....	109
チャイルドプロテクター.....	96
ドアガラス.....	133
ドアロックスイッチ.....	91
半ドア警告灯.....	278
半ドア走行時警告ブザー.....	285
ロックレバー.....	91
ワイヤレスリモコン.....	90
ドアミラー.....	130
操作.....	130
盗難防止装置 イモビライザーシステム.....	67
時計.....	218
トップテザーアンカー.....	49
ドライブインフォメーション.....	78
ドライブスタート コントロールシステム.....	140
トラクションコントロール （TRC）.....	178
トランスミッション.....	156
操作.....	156
メンテナンスデータ.....	339
トリップメーター.....	74
機能.....	74
表示切りかえボタン.....	75

な

内装 収納装備.....	208
手入れ.....	233
「ナノイー」.....	194

に

ニーエアバッグ.....	32
荷物	
積むときの注意.....	147

ぬ

ぬかるみにはまった (スタックした).....	332
----------------------------	-----

ね

燃費	
1 分間燃費.....	79
瞬間燃費.....	78
平均燃費.....	78
燃料.....	336
給油.....	172
種類.....	336
燃料残量警告灯.....	278
燃料残量警告メッセージ.....	286
容量.....	336
燃料計.....	74

は

パーキングブレーキ.....	164
操作.....	164
ブレーキ警告灯.....	71, 276
未解除走行時警告ブザー.....	286
メンテナンスデータ.....	339
パーソナルランプ.....	205
操作.....	206
ワット数.....	341
排気ガス.....	56
ハイビーム (ヘッドランプ).....	165
スイッチ.....	165
電球 (バルブ) の交換.....	256
ワット数.....	341

ハイブリッドシステム.....	57
EV ドライブモード.....	153
運転のアドバイス.....	183
オーバーヒート.....	328
回生ブレーキ.....	58
ガス欠になったとき.....	63
緊急始動機能.....	319
緊急時の停止方法.....	270
緊急停止システム.....	62
駆動用電池冷却用吸入口.....	62
警告メッセージ.....	280
高電圧部位.....	61
サービスプラグ.....	64
事故が発生したとき.....	65
始動できないときは.....	318
始動方法.....	148
車両接近通報装置.....	58
充電.....	59
注意.....	61
特徴.....	57
特有の音と振動.....	60
パワー (イグニッション)	
スイッチ.....	148
補機バッテリーがあがった.....	322
メンテナンス・	
修理・廃車するとき.....	60
ハイブリッドシステム	
インジケーター.....	76
ハイマウントストップランプ	
電球 (バルブ) の交換.....	263
ハザードランプ (非常点滅灯).....	267
スイッチ.....	267
電球 (バルブ) の交換	
.....	260, 261, 263
ワット数.....	341

挟み込み防止機能	
スライドドア	98
パワーウィンドウ	134
発炎筒	268
バックアップランプ (後退灯)	
電球 (バルブ) の交換	261
ワット数	341
バックドア	104
スマートエントリー&	
スタートシステム	104
バッテリー (駆動用電池)	61
警告メッセージ	285
充電について	59
搭載位置	61
冷却用吸入口	62
バッテリー (補機バッテリー)	
搭載位置	237
補機バッテリーがあがった ...	322
補機バッテリーを	
交換するとき	325
バニティ (化粧用) ミラー	214
バルブ (電球)	
交換要領 (外装バルブ)	254
ワット数	341
パワーウィンドウ	133
ウインドウロックスイッチ ...	133
閉めることができない	
ときは	134
操作	133
挟み込み防止機能	134
巻き込み防止機能	134
パワーコントロールユニット	61
パワー (イグニッション)	
スイッチ	148

パワーステアリング	178
機能	178
警告メッセージ	283
パワーステアリング警告灯 ...	277
パワーสライドドア	95
操作	95
挟み込み防止機能	98
パンクした	
応急用タイヤ装着車	295
タイヤパンク応急修理キット	
装着車	305
番号灯	
(ライセンスプレートランプ) ...	165
スイッチ	165
電球 (バルブ) の交換	263
ワット数	341
ハンドル	
(ステアリングホイール)	
位置調整	127
ステアリングスイッチ ...	78, 219

ひ

ビークルスタビリティ	
コントロール (VSC)	178
ヒーター	
シートヒーター	203
フロントエアコン	190
リアエアコン	197
非常点滅灯	
(ハザードランプ)	267
スイッチ	267
電球 (バルブ) の交換	
.....	260, 261, 263
ワット数	341

尾灯 (テールランプ)	165
スイッチ	165
電球 (バルブ) の交換	263
ヒューズ	251
表示灯	72
日よけ (サンバイザー)	214
ヒルスタートアシスト	
コントロール	178

ふ

ブースターケーブルのつなぎ方	
.....	322
フォグランブ	167
スイッチ	167
電球 (バルブ) の交換	257
ワット数	341
ブザー	
高水温	276
シートベルト非着用	278
スマートエントリー&	
スタートシステム	291
パーキングブレーキ	
未解除走行時	286
パワーステアリング	277
半ドア	91, 110
半ドア走行時	285
ブレーキ	280
窓開	135
油圧	280
ランプ消し忘れ	166
リバース	159
フック	
買い物フック	216
けん引フック	273
フロアマット固定フック	22

フューエルメーター (燃料計)	74
フューエルリッド (給油口)	172
冬の前の準備 (寒冷時の運転)	185
冬用タイヤ	185
ブレーキ	
回生ブレーキ	58
緊急ブレーキシグナル	178
警告ブザー	280
警告メッセージ	280
パーキングブレーキ	164
ブレーキ警告灯	276
メンテナンスデータ	339
ブレーキアシスト	178
ABS & ブレーキアシスト	
警告灯	71, 277
機能	178
ブレーキ付近からキーキー音が	
聞こえる	143
ブレーキフルード	339
フロアマット	22
フロントシート	114
正しい運転姿勢	24
調整	114
手入れ	233
ヘッドレスト	118
フロントパーソナルランプ	205
操作	206
ワット数	341
フロントフォグランブ	167
スイッチ	167
電球 (バルブ) の交換	257
ワット数	341
フロント方向指示灯	163
電球 (バルブ) の交換	260
方向指示レバー	163
ワット数	341
フロントワイパーデアイサー	192

へ

平均燃費	78
ヘッドランプ	165
スイッチ	165
電球（バルブ）の交換	256, 263
ライトセンサー	166
ランプ消し忘れ警告ブザー	166
ランプ消し忘れ防止機能	166
ワット数	341
ヘッドランプオートレベリング システム	166
警告灯	71, 277
ヘッドレスト	118
ベビーシート	42

ほ

ホイール 交換（タイヤ）	295
メンテナンスデータ	340
方向指示灯	163
電球（バルブ）の交換	260, 261, 263
方向指示レバー	163
ワット数	341
補機バッテリー 搭載位置	237
補機バッテリーがあがった	322
補機バッテリーを 交換するとき	325
ホーン（警音器）	127
保証	9
ボトルホルダー	209
ボンネット	236
開け方	236

ま

マスターウォーニング	278
マルチインフォメーション ディスプレイ	77
エネルギーモニター	82
警告メッセージ	280
ドライブインフォメーション	78

み

ミラー インナーミラー	129
ドアミラー	130
パニティミラー	214

め

メーター（計器類）	74
警告灯	71
表示灯	72
照度調整	75
マルチインフォメーション ディスプレイ	77
メーター	74
メカニカルキー	87
メンテナンスデータ	336

も

モーター（電気モーター）	57
モーターでの走行 （EVドライブモード）	153

ゆ

ユーザーカスタマイズ機能	342
雪道ですべて動けない （スタックした）	332
油脂類	336

ら

ライセンスプレートランプ	
(番号灯)	165
スイッチ	165
電球 (バルブ) の交換	263
ワット数	341
ラゲージルーム内装備	226
デッキフック	227
デッキボード	226
ラジエーター	
オーバーヒート	328
メンテナンスデータ	339
ランプ	
インテリアランプ	206
室内灯	205
電球 (バルブ) の交換	254
パーソナルランプ	206
非常点滅灯	
(ハザードランプ)	267
フロントフォグランプ	167
ヘッドランプ (前照灯)	165
方向指示灯 (ターンシグナル	
ランプ/ウインカー)	163
ライトセンサー	166
ランプ消し忘れ警告ブザー	166
ランプ消し忘れ防止機能	166
ワット数	341
ランプ消し忘れ警告ブザー	166
ランプ消し忘れ防止機能	166

り

リヤウインドウデフォグガー	
スイッチ	192
リヤエアコン	197
リヤクーラー	200
リヤシート	115, 117

リヤ方向指示灯	163
電球 (バルブ) の交換	261
方向指示レバー	163
ワット数	341
リヤワイパー	170

る

ルームミラー	
(インナーミラー)	129
ルームランプ (室内灯)	205
操作	206
ワット数	341

れ

冷却水	339
水温警告灯	71, 276
冬の前の準備	185
メンテナンスデータ	339
冷却装置 (ラジエーター)	
オーバーヒート	328
メンテナンスデータ	339
レバー	
給油口	173
シフト	156
ハンドル位置調整レバー	127
方向指示	163
ボンネット解除	236
ロック (レバー)	91, 93

ろ

ロック	
ウインドウロック	133
スマートエントリー&	
スタートシステム	90
チャイルドプロテクター	96
ドア	90
ワイヤレスリモコン	86

わ

ワイパー &	
ウォッシャー	168, 170
ワイパーブレード (寒冷地用) ...	186
ワイヤレス充電器 (おくだけ充電)	
.....	220
ワイヤレスリモコン	86
作動の合図	90
操作	86
電池の交換	249
半ドア警告ブザー	91, 110
ワックス	230
ワット数	341
割り込み表示	79

ガソリンスタンドでの情報

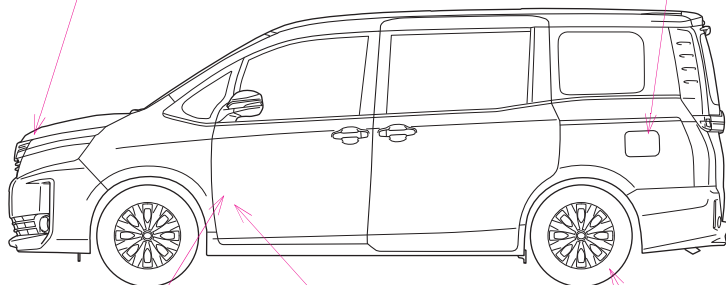
給油や交換などの際に必要な項目をまとめてあります。

ボンネットフック

P. 236

給油口

P. 172



BTOPCDU001

ボンネット解除レバー

P. 236

給油口オープナー

P. 173

タイヤ空気圧

P. 340

燃料の容量 (参考値)	55L
燃料の種類	<ul style="list-style-type: none"> ・ 無鉛レギュラーガソリン P. 336 ・ バイオ混合ガソリン (レギュラー) ※ ※ エタノールの混合率 10%以下または、ETBEの混合率 22%以下のガソリン (酸素含有率 3.7%以下) を使用することができます。
タイヤが冷えているときの空気圧	P. 340
エンジンオイル容量 (参考値)	オイルのみ交換時： 3.9L オイルとフィルター交換時： 4.2L
エンジンオイルの種類	トヨタ キヤッスル モーターオイル <ul style="list-style-type: none"> ・ SN 0W-20 (API SN/RC, ILSAC GF-5, SAE 0W-20) ・ SN 5W-20 (API SN/RC, ILSAC GF-5, SAE 5W-20) ・ SN 5W-30 (API SN/RC, ILSAC GF-5, SAE 5W-30) ・ SN 10W-30 (API SN/RC, ILSAC GF-5, SAE 10W-30)

お問い合わせ、ご相談は
下記へお願いいたします。

トヨタ自動車株式会社 お客様相談センター
全国共通・フリーコール

 **0800-700-7700**

オープン時間 365日 9:00～18:00

所在地 〒450 - 8711 名古屋市中村区名駅4丁目7番1号

「個人情報保護方針」については、
<http://www.toyota.co.jp>にて掲載しております。

トヨタ自動車株式会社
<http://toyota.jp>



M 28792
01999-28792
IB-2015年 4月10日
2014年 1月20日 初版
2015年 4月17日 7版
ヴォクシー(ハイブリッド車)